

平成28年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画
成果目標(変更)

平成29年2月21日

那覇市	1	嘉手納町	180
宜野湾市	41	北谷町	185
石垣市	49	北中城村	188
浦添市	64	中城村	197
名護市	76	西原町	202
糸満市	84	与那原町	209
沖縄市	90	南風原町	213
豊見城市	102	渡嘉敷村	224
うるま市	112	座間味村	227
宮古島市	121	粟国村	230
南城市	129	渡名喜村	234
国頭村	136	南大東村	236
大宜味村	141	北大東村	238
東村	144	伊平屋村	240
今帰仁村	147	伊是名村	247
本部町	152	久米島町	252
恩納村	157	八重瀬町	256
宜野座村	160	多良間村	262
金武町	164	竹富町	265
伊江村	168	与那国町	271
読谷村	173		

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		歴史ある那覇のまち、観光客誘客促進・受入基盤強化事業	H24 ～ H33					
1	1	那覇市伝統工芸ブランド確立事業	H24 ～ H33	<p>個性的な本市工芸品を国内外にアピールし、本市工芸品の知名度向上を図るため、イベントや宣伝等を行う。本市工芸品を展示・販売・体験できる那覇市伝統工芸館の来館者へ快適な空間を提供し、来館者増を図るため、工芸館の機能強化を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸品等のイベント 1回 ・特別展示室の企画展 1回 ・伝統工芸館A棟(展示室・体験工房等) 空調設備改良 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント集客 110人以上(H27年:125人) ・企画展集客 1,800人以上(H27年:1,708人) ・伝統工芸館環境改善(展示品鑑賞環境、工芸体験環境) 	<p>(今後の取組) H29～32年度 イベント企画展各1回開催</p> <p>(事業実施後の効果) H31年度 イベント集客:130人 企画展集客:1,880人 伝統工芸館来客数:16,800人</p> <p>H32年度 イベント集客:140人 企画展集客:1,900人 伝統工芸館来客数:17,000人 (H26工芸館来客数:16,109人)</p> <p>(今後の展開方針) ・本市伝統工芸品の企画展及び催事の実施継続しながら、県外を対象とした宣伝広告の拡大。 ・本市伝統工芸品認知度普及啓発。 ・機能強化による来館数の拡大。</p>	2月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
1	2	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ H33	<p>アンケート等によるニーズの把握を行いながら、外国人観光客への案内サービスや観光情報の提供を継続的に行う、那覇市観光協会による観光案内所事業を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語、中国語、韓国語での観光案内の実施に必要なスタッフ(常勤7名、パート4名)配置等に係る経費を支援する。 ・アンケートの実施等により利用者の満足度及びニーズを把握し、サービスの更なる充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の案内所の利用者:年間8,500人(基準:平成25年度7,472人) ・利用者ニーズに対応した観光案内の実施 	<p>(今後の展開方針) 外国語対応スタッフの配置支援 H29年度:11人 H30年度:11人 H31年度:11人 H32年度:11人 H33年度:11人</p> <p>利用者アンケートの実施</p>	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	3	バス停上屋整備事業	H24 ～ H31	観光客等が沖縄の強烈な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえよう、バス停上屋を整備する。	バス停上屋の設置（設置箇所：銘苅・真嘉比）	・バス停上屋の設置：3基 ・バス停利用者に対し満足度調査を実施（「概ね満足」回答を8割以上）	(今後の展開方針) H29年度 バス停上屋設置：4基 H30年度 バス停上屋設置：4基 H31年度 バス停上屋設置：6基 (事業実施後の効果) 観光客が快適に公共交通を利用できる。	
1	4	交流オアシス整備事業	H24 ～ H32	観光客と市民との交流・憩いの場を創出するため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース(交流スペース)の整備を行う。	交流スペースの設置：2箇所	・交流スペースの設置：2箇所 ・利用者の満足度調査（「良かった」との回答を8割以上）	(今後の展開方針) H29年度 設置工事：2箇所 H30年度 設置工事：2箇所 H31年度 設置工事：2箇所 H32年度 設置工事：1箇所 について各年度に工事を実施予定 (事業実施後の効果) 観光客と市民が交流・憩いの場として活用できる。	8月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
1	5	歴史散歩道整備事業	H24 ～ H30	観光客が那覇の歴史に触れ、楽しく歩けるよう、歴史的由来のある道路や、駅と歴史・文化遺産をつなぐ道路に、道標や歴史説明板、カラー舗装、憩いの場等を整備するものである。	歴史散歩道路線の調査・整備(赤平当蔵線、崎山4号、赤田寒川線)	・歴史散歩道の整備：3路線(赤平当蔵線、崎山4号、赤田寒川線) ・観光客等への満足度（「歴史を感じ散歩を楽しめた」の回答を8割以上）	(今後の展開方針) H29～30年度 整備工事：首里・小祿・那覇・真和志地域 (事業実施後の効果) 観光客が歴史散歩道を周遊することによって、観光客の満足度の向上を図る	
1	6	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ H33	観光都市にふさわしい景観形成を図るため、幹線市道や観光地周辺市道の街路樹の緑化や美化を推進し、快適な道路環境を創出するとともに観光地としての魅力の向上とイメ・ジアップを図る。	・幹線道路及び観光地周辺市道の除草：約9,000㎡ ・街路樹の剪定：約300本 ・天久安里線植栽工事：約2,000㎡ ・満足度調査の実施	・天久安里線の緑化整備率：50% (1.8km / 3.6km) ・観光客満足度70%	(今後の展開方針) ・幹線道路等の除草・街路樹の剪定 H29～H33 13路線程度/年 ・植栽工事 H29：天久安里線外1路線 H30：天久安里線外7路線 H31：5路線 H32・H33：4路線 (事業実施後の効果) 観光客の満足度向上を那覇(県)のイメージアップに繋げ、観光振興に寄与する。	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	7	ベランダ緑化推進事業	H24 ~ H28	観光都市として、亜熱帯ならではの魅力的な都市緑化景観を創出するため、那覇市の市花であるブーゲンビリアによるベランダやバルコニー等の緑化推進を図る。	・講習会の実施：7回 ・苗等の配布：110鉢	・講習会参加者数：55世帯以上 ・苗配布率：100% (H28までの配布目標360世帯、H28年度累計360世帯)	平成24年度から5年間本事業を観光路線を対象に展開し、魅力的な都市緑化景観を創出してきており、平成28年度を持って一度事業を終了する。 (事業実施後の効果) 市花であるブーゲンビリアを配布することにより、ベランダ、バルコニー等の緑化推進を図る。	
1	8	花いっぱい運動推進事業	H24 ~ H33	観光都市として、亜熱帯ならではの魅力的な都市緑化景観を創出するため、観光振興に資する対象路線沿線の民間の花壇に対し、草花苗の配布を行う。併せて、公共花壇にも年間を通して草花苗の植え付けなどを行い、潤いのある都市空間づくりを行う。	・対象路線沿線の自治会、幼保小中学校、ボランティア団体等へ草花苗の配布数：約23,000鉢 ・公共花壇の年間管理：7箇所	観光客に対し、本事業に対しての満足度調査を実施 ・満足度：70%	(今後の取組方針) H29年度 23,000鉢、7箇所 H30年度 23,000鉢、7箇所 H31年度 23,000鉢、7箇所 H32年度 23,000鉢、7箇所 H33年度 23,000鉢、7箇所 (事業実施後の効果) 都市緑化景観の満足度を向上させ、観光振興に資する。	
1	9	桜の名所づくり事業	H24 ~ H29	観光都市として日本一早い沖縄県の桜まつりが那覇市首里地区においても実現するよう寒川緑地を桜の名所として整備し観光客の誘客、まちの活性化を図る。	首里地区の桜の名所として、寒川緑地を整備する。 ・桜の植栽：15本	桜の植栽率：約90% (植栽全体本数177本のうち平成28年度末163本植栽)	(今後の取組方針) 平成29年度 植栽率100% 植栽14本(累計177本) (事業実施後の効果) 首里地区の桜の名所として、寒川緑地を整備し観光資源の開発を図る。	
1	10	デイゴ・リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ~ H33	観光資源である景観を保護するために、県花であるデイゴや琉球松への薬剤注入による害虫駆除及び予防対策を行う。	・デイゴ薬剤注入50本(新都心公園内)	・デイゴ枯損木を8本以下へ減少させる(平成26年度デイゴ枯損木8本)	H29 リュウキュウマツ薬剤注入(620本) H30 デイゴ薬剤注入(50本) H31 リュウキュウマツ薬剤注入(620本) H32 デイゴ薬剤注入(50本) H33 リュウキュウマツ薬剤注入(620本) (事業実施後の効果) デイゴ・リュウキュウマツへの害虫による被害をなくし沖縄独特の景観を保護する	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	11	那覇爬龍船競漕振興事業	H24 ～ H33	本市の伝統文化行事である「那覇ハーリー」を充実強化し、観光誘客を促進するため、行事開催支援を行う。また、来場者がより安全に参加、見学できるよう会場警備を行う。	・「那覇ハーリー」事業等の開催支援 ・「那覇ハーリー」における雑踏警備の実施	那覇ハーリー来場者数: 210,000人(現状維持) (基準値: 平成27年 210,000人)	(今後の展開方針) H29～33年度 ・那覇爬龍船振興会及び那覇市観光協会への支援の実施 ・雑踏警備の実施 ハーリー会場来場者目標 H33年度 210,000人 (事業実施後の効果) 那覇爬龍船振興会が継続して那覇ハーリーを実施するための経済的基盤の醸成	
1	12	那覇大綱挽振興事業	H24 ～ H33	本市の伝統行事であり、ギネス級のイベントである「那覇大綱挽」を本市の観光資源としてPRし、観光誘客を促進するため、「那覇大綱挽まつり」の開催支援を行う。また、来場者がより安全に参加、見学できるよう会場警備を行う。	・「那覇大綱挽まつり」の綱製作や会場確保など事業実施に係る支援 ・「那覇大綱挽まつり」における雑踏警備の実施	「那覇大綱挽」来場者数: 280,000人 (前年度比約1%増) (基準値: 平成27年 275,000人)	(今後の展開方針) 平成29～33年度 ・那覇大綱挽保存会及び那覇市観光協会への支援の実施 ・雑踏警備の実施 大綱挽来場者目標 H29年 283,000人(対前年約1%増) H30年 285,000人(対前年約1%増) H31年 287,000人(対前年約1%増) H32年 290,000人(対前年約1%増) H33年 293,000人(対前年約1%増) (事業実施後の効果) 那覇大綱挽保存会が継続して那覇大綱挽まつりを実施するための経済的基盤の醸成	

H28活動目標(指標): 平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標): 平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	13	琉球王朝祭り首里振興事業	H24 ～ H33	「琉球王国のグスク及び関連遺産群」である首里城のある首里地域における文化資源であり観光資源である「琉球王朝祭り首里」を活用し観光誘客を促進するため、祭り開催支援を行う。また、来場者がより安全に参加、見学できるよう会場警備を行う。	・「琉球王朝祭り首里」の古式行列や広報活動などを支援 ・「琉球王朝祭り首里」における雑踏警備を実施	「琉球王朝祭り首里」来場者数：80,000人(現状維持) (基準値：平成26年 80,000人)	(今後の展開方針) 平成29～33年度まで 首里振興会及び那覇市観光協会への支援の実施 ・雑踏警備の実施 琉球王朝祭り首里来場者目標 H33年度 80,000人(現状維持) 会場の大きさに限りがあるため (事業実施後の効果) 首里振興会が継続して琉球王朝祭り首里を実施するための経済的基盤の醸成	
1	14	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ H33	「琉球王朝絵巻行列」で実施する国王王妃行列・冊封使行列・伝統芸能行列を観光資源として活用し、観光客誘客を図るため、行列開催の支援を行う。	・首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数：37,000人 (対前年12%増) (基準値：平成26年 33,000人)	(今後の展開方針) 平成29～33年度 首里城祭実行委員会へ事業実施への支援の実施 絵巻行列来場者目標 H29年度 38,000人(対前年約3%増) H30年度 39,000人(対前年約3%増) H31年度 40,000人(対前年約3%増) H32年度 41,000人(対前年約3%増) H33年度 42,000人(対前年約3%増) (事業実施後の効果) 首里城祭実行委員会が継続して琉球王朝絵巻行列を実施するための経済的基盤の醸成	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	15	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ H33	スポーツコンベンション拠点地としての那覇市の観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・巨人主催試合を「那覇の日」協賛試合として「キャンプ地那覇」をPR活動を実施し、キャンプ誘客を図る。 ・雨天時のキャンプに対応する大型テントを設置する。 ・屋外ブルベン及びグラウンド等整備し、キャン実施支援を行う。 ・奥武山野球場内に選手食堂整備する。 ・陸上競技場、補助競技場をプロ野球キャンプ仕様に整備作業を行う。 ・来場者と選手の安全確保を行う。 ・公式戦開催に向け主催者の事業費を支援する。 ・移動式防球フェンス・芝刈機を購入する。 	読売巨人軍那覇キャンプの継続及びキャンプ一日平均見学者数 8,000人/日(対前年度5%増) (基準値:平成24年度 5,796人/日)	<p>(今後の展開方針)</p> <p>H29～H33: 読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化、公式戦の誘致活動</p> <p>目標値(指標):一日平均見学者数:10,000人(H33)</p> <p>(事業実施後の効果) スポーツコンベンション拠点地としての知名度の向上を図る</p>	10月変更(計画変更に伴う活動目標変更)
1	16	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ H33	スポーツコンベンション拠点地としての那覇市の観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ期間中ステージイベント等の実施 ・案内施設等の設置 ・運営(インフォメーションブース、受付ブース、選手ケータリングブース、警備員控室、マスコミ控室、スタッフ控室、ゴミ箱の設置、各種案内看板の設置、夜間警備) ・キャンプ休養日警備。 ・広報活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・読売巨人軍那覇キャンプ一日平均見学者数 8,350人/日(前々年度比5%増) (平成26年度 7,952人/日) ・来場者満足度80%以上の維持 	<p>(今後の展開方針)</p> <p>H29～H33:読売巨人軍春季キャンプ会場周辺のにぎわい創出</p> <p>目標値(指標):一日平均見学者数:10,000人(H33)</p> <p>(事業実施後の効果) スポーツコンベンション拠点地としての知名度の向上を図る</p>	
1	17	マチグラーのにぎわい事業	H24 ～ H33	観光客や地元客の誘客を図り、マチグラー地域を活性化するため、当該地域内にある「ひやみかちマチグラー館」を充実するとともに当該施設を拠点としたイベントなどを開催する。	ひやみかちマチグラー館で集客イベント等の実施:週4回以上 (例 ステージイベント、市民講座、展示会など)	集客目標(施設利用者):前年度比3%アップ(約42,700人) (基準:施設利用者 H26.6月～2月 41,500人)	<p>(今後の展開方針)</p> <p>H33年度集客目標:約50,000人 (毎年約3%の利用者増加)</p> <p>(事業実施による事業効果) マチグラー館において集客をはかることで、回遊性の向上へつながり、歩行者通行量が増加する。 平日90,315人(H26年度82,105人の10%アップ)</p>	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	18	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ H33	観光客が多く訪れる国際通りの周遊性を高め、地域の活性化を図るため、国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	国際通り商店街振興組合連合会のトランジットモール実施を支援 (平成28年度実施回数目標数:35回)	歩行者通行量1日:H27年度比1%増 (平成28年度目標数:22,121人) 【参考 H27 21,902人】	(今後の取組方針) H29～H33 トランジットモール実施支援 歩行者通行量目標 H33:1日23,216人 (H27年度比6年間で6%増 年1%増) (事業実施後の効果) 那覇市の観光地としての知名度を図る。	
1	19	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ H33	観光客の誘客及び伝統文化の継承を図るため、国際通りにて開催される「一万人のエイサー踊り隊」を支援する。	一万人のエイサー踊り隊の開催支援 (8月上旬に開催 22回目の実施)	来場者数目標:H26年度比6.3%増 (H28年度来場者目標数:100,000人) 【参考 H27 65,000人(雨)、H26 94,000人】	(今後の取組) H29～H33 イベント開催を支援 H33年度来場者目標数:100,000人 (10万人規模のイベントを維持する) (事業実施後の効果) 那覇市の観光地としての知名度を図る。	
1	20	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ H33	那覇市内観光の魅力向上を図り、観光客の市内の周遊性を高めるため、那覇市観光協会が実施する市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」を自立化に向けて支援する。	「那覇まちまーい」の実施に係る費用の支援	・まちまーいの実施回数:2,450回 (H26年度実施回数:2,358回 前々年度比104%) ・まちまーいの参加者数:15,500人 (H26年度参加者数:12,233人 前々年度比126%)	(今後の展開方針) H29～H33年度 「那覇まちまーい」の実施支援 H33年度目標 実施回数:2,600回 参加者数:18,000人 (事業実施後の効果) 「那覇まちまーい」の実施体制の強化を図り、自立化を図る。 本市の新たな魅力の発信と、リーダーの獲得に繋がる。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	21	歴史博物館企画展事業	H24 ～ H33	特色ある琉球・沖縄の歴史・文化の情報を発信し、市県民や観光客に対し、歴史博物館の認知度を高め集客に結びつくよう企画展を開催する。	・企画展の開催(年間6回) ・企画展開催広報:年間6回(チラシ・ポスター作製) ・企画展パネル作製(年間6回) ・県内関係機関から借用の資料梱包運搬業務(年間3回)	歴史博物館来館者数前年度比3%増 (平成28年度来館者目標数:16,000人) 【参考 平成27年度来館者数:15,066人】	H24～33年度 那覇の歴史文化に関する企画展を開催 平成33年来館者数:20,000人 (事業実施後の効果) 那覇市歴史博物館の認知度の向上	
1	22	公衆無線LANサービス提供モデル事業	H24 ～ H29	国際観光地としての観光基盤の強化に向けて、国際通りなど本市の主要観光スポットを訪れる外国人等観光客の情報収集の利便性向上を図るため、公衆無線LANサービスを提供する。	・市内115ヶ所のアクセスポイントの運用	・認証ベース月平均利用回数 13万回以上(月平均) ・市内観光の強化に向けた外国人観光客の動向情報の把握	(今後の取組) H29 115箇所アクセスポイントの運用 H30年度以降の運用のあり方について検証 (事業実施後の効果) 観光交流都市としての情報通信基盤の強化を図る	
1	23	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ H33	那覇市の観光地としての魅力の向上を図るとともに観光情報を発信するため、那覇てんぷすビジョンを活用した取組を実施する。	・観光プロモーション映像等の放映(毎日9:00～20:00) ・那覇大綱挽等のイベント中継(年4回以上) ・てんぷす広場とビジョンを活用したにぎわい創出イベントの実施:年2回程度	観光情報活用の向上 視聴者測定システムによる集計数 前年度比2%程度増の15,000人(月平均) 【参考 H26 14,673人(月平均)】	(今後の取組) H29～H33年度 ・観光プロモーション映像等の放映 ・観光情報の発信 ・イベントの開催(年2回程度) (事業実施後の効果) 大型ビジョンの多様活用により国際通りの観光地としての魅力向上を図る。 イベント連携による集客により、中心市街地における歩行者通行量が増加する。 平日歩行者通行量目標 90,315人 (H26年度比82,105人の10%増)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	24	景観まちづくり推進事業	H24 ～ H33	魅力ある那覇らしいまちづくりの推進に向けて、地域の特性及び特色を活かした街並みを形成するためのデザインの発想と創意工夫の手助けとなるデザインマニュアルを作成する。	・建築物、工作物及び屋外広告物のデザインマニュアルの検討	・効果的な指導及び助言等の実施により魅力的な街並みへの誘導及び創出を図るためのデザインマニュアルの作成	(今後の取組) 平成29年度 屋外広告物実態調査 平成30年度 優良屋外広告助成等 平成31年度 屋外広告物実態調査 平成32年度 優良屋外広告助成等 平成33年度 優良屋外広告助成等 (事業実施後の効果) ・「龍潭通り」や「やちむん通り」等を屋外広告物の協定地区指定等により、優良広告物を増加させることで通りの賑わいの創出を図ることが出来る。 優良広告基準適合割合:50%以上	
1	25	市民体育館イベント誘致機能強化事業	H24 ～ H33	観光振興と経済活性化に向けて、スポーツツーリズムの魅力向上を図るため、各種スポーツの全国大会、バスケットプロリーグ戦や東京オリンピックに向けた事前合宿等の開催が可能な施設として、那覇市民体育館の充実・強化を図る。	・重荷重対応床面整備工事の実施 ・バスケットボール移動式リングの購入:3セット	・重量のある仮設席、舞台の設置やバスケットリング等の設置が可能となり、各種イベントの開催、プロバスケットリーグ戦(興行)等やオリンピック参加国の事前合宿等が可能となる。	(今後の取り組み) H29年度 サブアリーナ重荷重対応床面整備 H30年度 バレーボール公式コート整備 H31年度 トイレ・更衣室等利用者環境整備(第1期) H32年度 トイレ・更衣室等利用者環境整備(第2期) H33年度 トレーニング室利用者環境整備 (29年度～30年度の展開方針等) 沖縄県、那覇市経済観光部等関係部署、関係団体と連携して、県外からのスポーツイベント、合宿及び興行等の誘致活動を行う。 (整備後の活用:H34年度) ・プロバスケットやバレーボールリーグ公式戦の開催 ・全国・九州大会などの大規模大会、展示会・見本市などのイベントの開催	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	27	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ H33	外国人観光客の増加に対応した那覇市内の外国人観光客の受け入れ体制の強化に向けて、街中での案内、観光関連事業所への外国人対応職員の派遣、語学講座の実施、クルーズ船入港に伴う外国人観光客受入の事業支援を行う。	・まちなか案内サポートの配置:216件 ・語学講座の開催:40コマ(1.5時間×10回を1コマ) ・クルーズ船受入に係る事業に対する支援	・那覇市内の外国人観光客の受け入れ体制の強化 ・サポート要員派遣店舗数:216店舗 ・語学講座受講生の数:延390人 ・船会社への満足度調査の実施:満足度65%	(今後の展開方針) H29～H33: ・案内サポートの配置:8人/年 ・語学講座の開催 (H24～H33受講生累計:390人) ・那覇クルーズ船受入の充実 ・観光客の満足度の向上(船会社へのアンケート) 中間目標値(H30): 満足度70%、 最終目標(H33): 満足度80% (事業実施後の効果) 那覇市内の外国人観光客の受け入れ体制の強化	
1	28	マチグラー総合案内所事業	H26 ～ H33	中心商店街(マチグラー)の名所や魅力を効果的に情報発信し、観光客及び地元客の周遊の利便性向上を図るため、マチグラーの案内・広報紙の配布と案内人の配置を行う。	案内所の運営 案内スタッフ 常時1名以上配置 (開所時間9時～20時 年中無休) マチグラーの案内、広報紙の配布	案内所利用者数:H26年度比6%アップ(約15,500人) (H26年度実績 14,612人)	今後の取組 案内スタッフの配置:常時1名以上 マチグラーの案内・広報紙の配布 H33年度目標 案内所利用者数:約18,000人 (H26年度より、毎年3%の増加) 平日歩行者通行量目標 90,315人 (H26年度82,105人の10%増)	
1	29	観光客に快適な都市環境創出事業	H26 ～ H30	市内の観光地周辺に生息する飼い主のいない猫を対象に不妊去勢手術を実施し、繁殖の抑制を図ることにより、糞尿被害、道路上の轢死等の環境衛生上の問題を軽減し、もって観光客に快適な都市環境を創出する。	・捕獲実施場所:12箇所 ・不妊去勢手術の実施数:100匹	・不妊去勢手術実施率 88%	(今後の取組) ・不妊去勢手術の実施数 H29・30年度 100匹 ・不妊去勢手術実施率 H29年度 90% H30年度 90%以上 (事業実施後の効果) 猫による被害「有り」の割合を前年度比 減	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	30	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ~ H28	第一牧志公設市場の全国的な知名度を活用し今後とも観光客の誘客を図るため、再整備基本計画の作成に向けた、建替予定地に係る測量等の調査を実施する。	測量等の調査実施	調査結果を反映させた基本計画の策定	第一牧志公設市場の再整備に向けた各種取り組みの実施	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1	31	沖縄国際映画祭関連事業	H25 ~ H33	多くの来場者が訪れる沖縄国際映画祭のメイン会場となっている那覇市の観光地としての知名度向上を図り、市内へ観光客を誘客するため、映画祭関連イベントを支援する。	沖縄国際映画祭関連イベントの実施に対する支援	沖縄国際映画祭那覇市来場者数:6万2千人 (基準値:H26年度:6万人)	(今後の展開方針) H29~H33:沖縄国際映画祭関連イベントへの支援 来場者目標 平成29年度 65,000人 平成30年度 68,000人 平成31年度 71,000人 平成32年度 73,000人 平成33年度 75,000人 (事業実施後の効果) 那覇市の観光地としての知名度の向上を図る	
1	32	観光宣伝誘致強化事業	H24 ~ H33	航空路線直行便発着都市で開催される現地イベントの来場者に対して、本市への誘客強化を図ることを目的に、効率的かつ効果的な観光プロモーション活動を実施する。	・県外観光PR業務:2都市(名古屋市、神戸市) (那覇観光キャンペーンレディの行政、メディア等訪問) (イベント会場等におけるPRブースの設置) (リーフレットや物産等のPR用品配布) (アンケート等による来場者意識調査の実施)	・那覇市PRブース来場者数 1,600人×2都市 ・県外現地メディアを活用したパブリシティ効果 (5メディア(媒体)×2都市)	(今後の展開方針) プロモーションの実施予定 H29:2都市(神戸市、大阪市) H30:2都市(大阪市、福岡市) H31:2都市(福岡市、名古屋市) H32:2都市(名古屋市、神戸市) H33:2都市(神戸市、大阪市) 中間目標値(H30:ブース来場者数1,800人×2都市) 最終目標値(H33:ブース来場者数2,000人×2都市)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	33	観光イベント等映像発信事業	H25 ~ H33	クルーズ船で訪れる観光客及び祭り・イベント会場の観光客を市内観光へと誘客するために、移動式車載大型ビジョンを活用した本市の観光情報を発信する。	<ul style="list-style-type: none"> 移動式車載大型ビジョンによるイベント時の現場映像の放映および県外・国外観光客への観光案内・PR等:100回/年 クルーズ船の那覇港寄港時の歓送迎:85回 那覇大綱挽まつり:2回 読売巨人軍那覇キャンプ:キャンプ期間中随時 沖縄国際映画祭:1回 	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船の那覇港寄港数:85隻(基準値:平成26年度実績80隻) クルーズ船による来客数:81,250人(基準値:平成25年度実績76,457人、1隻平均1,250人) 読売巨人軍那覇キャンプー日平均見学者数:8,000人/日(基準値:平成26年度7,952人/日) 	<p>(今後の方針) H29～H33:クルーズ客船セレモニー対応、イベント活用を行う。</p> <p>中間目標値(H30): クルーズ船対応:85回 那覇ハーリー:3回 大綱挽:2回</p> <p>最終目標値(H33): クルーズ船対応:90回 那覇ハーリー:3回 大綱挽:2回</p>	
1	34	亜熱帯庭園都市の道づくり基礎調査事業	H27 ~ H29	観光都市にふさわしい観光サービスの環境改善に向け、「人にやさしい道づくり」や「誰もが移動しやすい観光サービス道路の整備等」につなげていくための基礎調査を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 基礎調査・環境改善基礎調査:首里・小祿地域 	<ul style="list-style-type: none"> 首里・小祿地域における調査を踏まえた整備方針や箇所の設定 	<p>(今後の展開方針) H29年度 那覇西・那覇北地域 H30年度以降 本基礎調査を基に、平成30年度以降、道路整備を実施する。</p> <p>(事業実施後の効果) 事業後は、既存補助事業等へとつなげ、整備を行う。</p>	
1	35	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24 ~ H33	観光客が快適に公園利用することで沖縄観光のサービス向上につながるように、観光地周辺における公園の美化、トイレ等の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 便所整備工事の実施(実施箇所:与儀公園) 植栽剪定業務の実施(実施箇所:若狭公園、希望ヶ丘公園) 	<ul style="list-style-type: none"> 便所等整備:60%完了(予定箇所総数15箇所、H28年度までの整備累計9箇所) 植栽剪定:33%完了(予定箇所総数12箇所、H28年度までの整備累計4箇所) 	<p>(今後の取組) H29 改修工事 美栄橋公園 剪定業務 希望ヶ丘公園、若狭公園 H30 改修工事 漫湖公園 剪定業務 与儀公園 H31 改修工事 旭ヶ丘公園 剪定業務 首里崎山公園、末吉公園 H32 改修工事 漫湖公園 剪定業務 新都心公園 H33 改修工事 旭ヶ丘公園、松山公園 剪定業務 漫湖公園</p> <p>(事業実施後の効果) 公園内美観向上と快適に使用できる便所による観光サービスの向上</p>	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	36	中心市街地における公園再生計画推進事業	H28	国際通り周辺の中心市街地にある公園をより機能的で賑わいのある都市公園として、観光客を含む公園利用者に提供し、地域の活性化、防災機能の向上、観光振興を図るため、「中心市街地における公園再生基本計画(H25年度作成)」を基にその実現へ向けた、行動計画(実現化方策)を作成する。	・対象公園の優先順位等の検討を行い、公園再生計画の具体化(対象公園:希望ヶ丘、緑ヶ丘、十貫瀬、牧志南、美栄橋、城岳、松尾の公園等)	・中心市街地における公園再生行動計画(実現化方策)の作成	本行動計画を基に、平成29年度以降、都市計画変更等の諸手続きを経て、公園再生整備を推進していく。	
1	37	観光入込統計調査事業	H28 ~ H33	那覇の観光に対する満足度や潜在ニーズ、課題等を把握し、那覇市の観光のさらなる発展を図るため、那覇市内に1泊以上宿泊した国内観光客を対象にアンケート調査を実施する。	・年間1,200人に対して調査を実施	・国内観光客の実態について、より正確な把握・分析を行うことにより、本市における観光施策の企画・立案及び成果検証に活用する。	(今後の展開方針) H29～33年度 国内観光客の旅行実態を正確に把握し、観光施策の企画、立案及び成果検証を実施。	
1	38	バリアフリー改装補助事業	H26 ~ H30	既存の民間商業施設等をバリアフリー化することによって、集客力をより高め、沖縄観光の発展を図るため、既存の民間商業施設等の改装工事に支援する。	・店舗等のバリアフリー改装への支援:7施設	『市内施設の観光客受入基盤の強化』 バリアフリー化施設の増加 ...平成25年度246施設 平成28年度262施設	(今後の取組) H29・30年度 年10施設支援 H30年度までの支援累計:36施設 当該補助事業利用率:12.7% (平成26年4月時点で沖縄県バリアフリーマップで公開されている246施設に加えた36施設が当該補助事業利用施設) 平成26年度5施設増加 251施設 平成27年度4施設増加 255施設 平成28年度7施設増加(予定) 262施設 平成29年度10施設増加(予定) 272施設 平成30年度10施設増加(予定) 282施設 (事業実施後の効果) 障がい者や高齢者にやさしい観光地づくりの推進	2月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	39	那覇市営奥武山野球場イメージアップ事業	H28～H30	観光振興と経済活性化に向けて、奥武山野球場のプロ野球キャンプ及び公式戦の観客動員数の増加を図り継続誘致を行うため、鉄骨大屋根部分にオレンジ色を基調としたデザインの配色のイメージアップ塗装を行い機能強化を図る。 また、那覇市では野球場を津波緊急一時避難施設に位置付けていることから、津波緊急一時避難者とキャンプ観覧のため来県した観光客やイベント時の会場利用者の安全を確保するため、スタンドを覆う鉄骨大屋根部分の塩害防止対策を行う。	那覇市営奥武山野球場大屋根鉄骨部分の錆除去・防食工事及びイメージアップ塗装に係る設計業務の着手	那覇市営奥武山野球場大屋根鉄骨部分の錆除去・防食工事及びイメージアップ塗装に係る設計図書の完成	(今後の展開方針等) プロ野球春季キャンプの継続、プロ野球公式戦(2試合)の継続開催、野球の全国・九州大会を開催する。 目標 平成31年度 プロ野球春季キャンプの継続、プロ野球公式戦(2試合)の継続、その他全国・九州等大規模大会3大会	5月変更(事業追加)
1	40	福州園再整備事業	H28～H32	県内唯一の中国式庭園である福州園は、大型旅客船バースが近くにあり外国人観光客も多く訪れる施設として期待されている。観光客を含めた福州園利用者数増加を目的として、施設再整備と夜間の景観演出等、各種イベント会場として使用するための機能強化を図る事業である。	福州園再整備全体基本計画策定業務の着手	・福州園再整備の全体基本計画策定業務の完了	H29 基本設計 H30 実施設計 H31 整備工事 H32 整備工事 (今後の展開方針) 観光客を含めた福州園利用者数増加を目的として、施設再整備と夜間の景観演出等、各種イベント会場として使用するための機能強化を図る。	5月変更(事業追加)
1	41	めんそーれ観光充実事業	H28～H30	「那覇市観光基本計画」に基づく観光振興策のひとつである「安全・安心・快適なまちづくり」を実現するため、地元の通り会と連携して要請や普及活動を行い、メインストリートである国際通りを中心に、強引な客引きなどの迷惑行為等に対する防止手法の、計画期間中の確立を目指す。	・具体的手法の検討(月1回以上) ・是正要請活動の実施(月25日以上(通り会との連携による要請は随時)) ・広報活動の実施(市の広報誌やホームページを活用し随時)	・「具体的手法等に関する中間とりまとめ(平成28年度)」の作成 ・「迷惑行為防止重点地区」における是正要請相手方の30%が是正	(今後の展開方針) H29～H30: 31年度からは地元の通り会等が単独で是正要請にあたるよう、要請に伴う問題点の整理及び道路管理者等との連携体制の確立を目指す。	5月変更(事業追加)
1	42	那覇ハーリー会館観光誘客促進事業	H28～H30	那覇ハーリー会館の展示室内に設置する展示物を制作し、那覇爬龍船の歴史・文化情報の発信を充実させ、来場者の満足度向上を図る爬龍船振興会による事業を支援する。	・那覇ハーリー会館展示物の充実に係る費用への支援実施	・那覇ハーリー会館来場者数: 1,600人(基準年度: 平成27年度1,529人)	(今後の展開方針) H29～H30: 伝統継承の中核となる自立的な運営組織の構築	5月変更(事業追加)

H28活動目標(指標): 平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標): 平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	43	首里金城町無電柱化推進事業	H25 ~ H31	王朝時代の佇まいを今に伝える貴重な首里金城町において、当該地域の石畳や石垣などの魅力を高め、更なる観光客等の誘客を図るため、当該地域の無電柱化を実施していく。	電線共同溝詳細設計:1件 電線類等移設補償(詳細設計):2件 ・金城東西線 電線共同溝概略設計委託発注:1件 ・金城西2号線 ・東門川・仲之川線	電線共同溝詳細設計及び電線類等移設補償:1路線 ・金城東西線 電線共同溝概略設計:2路線 ・金城西2号線 ・東門川・仲之川線	(今後の展開方針) 電線類地中化予定 H29年度 1路線 (電線類地中化率10%) H30年度 1路線 H31年度 1路線 (事業実施後の効果) 辛うじて戦災を免れた貴重な首里金城町の石畳や石垣等、昔ながらの景色魅力の向上	8月変更 (事業追加)
1	44	観光都市なは受入環境整備基礎調査事業	H28	観光都市として、宿泊施設は交流活動を支える重要な都市機能の一つであり、適切な地域に宿泊施設の誘導を積極的に図る必要がある。中心市街地や交通結節点における基盤整備状況、宿泊施設集積状況、観光資源の分布状況などの基礎調査を行う。今後増大する観光客の受け皿確保のため、容積緩和可能な地域、課題のある地域等を整理し、宿泊施設を誘導する地域の方針(案)を作成する。	中心市街地や交通結節点における基盤整備状況、宿泊施設集積状況、観光資源の分布状況などの基礎調査の実施	宿泊施設を誘導する地域の方針(案)を作成	(今後の展開方針) H29:宿泊施設を誘導する地域の方針策定 H30:都市計画決定	8月変更 (事業追加)
2		那覇市の水産・農業振興活性化推進事業	H24 ~ H33					
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ~ H33	近海漁業の振興に向けて、市魚マグロの認知度を高めるため、PRイベントの開催、マグロを活用したイベント開催支援を行う。	・PRイベント開催1回 ・連携実施4回 ・PRイベント開催支援:2件	・PRイベント来場者30,000人 (H24~H26年度累計150千人) ・学生等若者向けの料理教室等マグロPR事業の参加者:90人 ・泊いゆまちの売上高18億円 (基準値:平成24年度16.3億円)	(今後の取組方針) H29~33年度 PRイベント開催:1回/年 PRイベント連携実施:4回/年 PRイベント支援:2件/年 (H33イベント来場者累計:150千人) (事業実施後の効果) ・泊いゆまちの売上高:1.8億円 ・市魚マグロの認知度:35%	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24～H33	水産業振興に向けて、就労環境の改善を図り漁業従事者数を維持・確保するため、漁船設備の近代化を支援する。	漁船近代化機器等の設置経費への支援実施:10件	・漁業従事者数:133名(H23年度133名) ・市漁協会員水揚げ高:5500トン	(今後の展開方針) H29～33年度 設備近代化支援:10件/年 (事業実施後の効果) H33年度 漁業従事者数:133人 市漁協組員水揚げ高:5500トン	
2	3	ワッター野菜がジョートーサー事業	H24～H28	本市農業の振興発展に向けて、那覇の伝統野菜の周知を図り、流通促進を図るため、市内農産物のPRイベントを開催する。	・地元食材のPRイベント:年5回 ・地元農家の紹介:5件	・PRイベント参加者数:100人 ・農作物出荷額:320千円(H23年度284千円)	(今後の取組) H29～H33 PRイベントの開催:5回/年 農家紹介:5件/年 (事業実施後の効果) 農産物出荷額350千円(H34年度)	
2	4	外国人漁業研修生受入推進事業	H26～H33	水産業の振興に向けて、マグロ漁船数の維持確保のため、市内漁業協同組合等が行う外国人漁業研修生受入事業を支援する。	漁業関係団体への支援1件	外国人研修生受入:15名	(今後の展開方針) H29～33年度 外国人漁業研修生受入事業を支援 (毎年15名受入実施) (事業実施後の効果) マグロ操業船の維持確保 H34年度:50隻 (参考:H23年度50隻)	
2	5	那覇市戦略的水産拠点強化事業	H28	本市の水産拠点である「泊魚市場」及び「泊いゆまち」などの水産関連施設を活かし観光客の集まる水産拠点として活用に向けて、施設の現状把握と課題整理を行なう為の基礎調査を実施する。	基礎調査の実施	水産関連施設を活かし観光客の集まる水産拠点としての活用に向けた報告書作成	(今後の取組方針) 報告書を基に関係機関と協議を行い、那覇市の水産拠点の機能強化を図る。	
3		沖縄の伝統工芸、地元産業の振興推進事業	H24～H33					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ H33	本市産業の振興発展に向けて、市内の中小企業が新規開発した商品・サービスの県外・海外へ販路拡大を図るため、中小企業事業者へ支援を行う。	・販路拡大支援：7件 (県外5件、海外2件)	「商談件数：150件」 「商談成約件数：15件(商談件数のうち10%)」	(今後の展開方針) H29～H33年度 中小企業者支援の実施 (事業実施の効果) ・商談件数：1,500件 (H24～H33累計) ・商談後の成約率の向上 H26:10% H33年度:20%	12月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
3	2	那覇の物産展事業	H24 ～ H33	産業振興に向けて、本市特産品の認知度の向上と物産展の充実を図るため、那覇の物産展を開催するとともに、事業者の新商品開発意欲の喚起を目的に那覇市長賞を授与する。	・那覇の物産展の開催 ・市長賞の授与	物産展来場者数：3%増(H26年度：15,518人 H28年度15,983人) 物産展売上高：3%増(H26年度売上額：1,231万円 H28売上目標額：1,267万円) 新規開発商品数：6品	(今後の展開方針) H29～33年度 那覇市物産展の開催 市長賞の授与 (事業実施後の効果) H33年度目標 物産展来場者数16,500人 物産展売上額：1,330千円 H33年度開発商品数累計30品	
3	3	沖縄の産業まつり事業	H25 ～ H33	本市地場産業の振興に向けて、本市地場産品をPRし認知度の向上を図るため、沖縄の産業まつりへの市内事業者の出店を支援する。	市町村コーナー出展支援：8件 (市長賞受賞企業2社、その他6社)	地場産品出品数：8品	(今後の展開方針) H29～33年度 沖縄の産業祭りへの出店支援：10件/年 (事業実施後の効果) H33年度目標 地場産品出品数累計：50品	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	4	企業誘致活動サポート事業	H24 ～ H33	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致専門家による調査分析に基づく企業誘致活動を実施するとともに、ビジネスマッチングの場の提供、市内の不動産の物件情報発信を行う。	意向調査:3,000社以上に実施 企業訪問:本市へ立地可能性の高い企業を50社以上訪問 市内投資環境視察や勉強会及びビジネスマッチング:1回 市内不動産の情報のWEB発信:50件以上	誘致企業2社 ビジネスマッチング参加企業:30社 WEB閲覧件数(年間):300回	(今後の展開) 様々な角度から誘致にむけたアプローチを継続的に実施。 毎年2社の誘致 H33年までに情報関連産業の企業立地数220社を目標 (沖縄21世紀ビジョンのH33年度目標数440社のうち50%)	
3	5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ H33	市内の中小企業の海外への輸出額の増加による経営基盤の安定強化に向けて、海外への販路拡大等のノウハウを持つ人材を育成するため、経営者等を対象に人材育成講座を開催する。	県外・海外への販路拡大に向けた講座の開催:3回	講座受講者:30人(30社)	(今後の展開方針) H29～33年度 人材育成講座の開催 (年3回) (事業実施後の効果) 中小企業のH33年度海外輸出額 (沖縄県):805,890,000千円 (H26年度比で10倍 H26年度海外輸出額80,589,000千円)	
3	6	頑張るマチグッー支援事業	H25 ～ H33	観光客の誘客及び地元客の呼び戻しを図り、中心商店街の賑わいを創出するため、中心商店街活性化に向けた取り組みを支援する。	商店街振興組合等が取り組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援(17件程度)	中心商店街の平日歩行者通行量 83,500人 (H26年度比1.7%増) (H26年度平日歩行者通行量 82,105人)	(今後の展開方針) H27～H33:中心商店街活性化に向けた事業支援を継続的に実施 H33年度の平日歩行者通行量目標:90,315人 (H26年度82,105人の10%アップ)	
3	7	那覇市創業相談支援事業	H28 ～ H31	地元産業の振興と活性化に向けて、創業予定者及び創業者、第二創業者に対して、経営、財務、人材育成、販路開拓等に関しステージにあわせた支援を行うため、「ワンストップ相談窓口」を設置する。	ワンストップ相談窓口の設置	・窓口相談件数:120件 ・年間創業者数:20件	(今後の展開方針) H29～31年度 ワンストップ窓口の設置 (事業実施の効果) 創業数:80件 (H28～H31年度累計) ・専門支援機関とも連携し、創業後のフォローアップも含めた支援を行う。	5月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	8	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ~ H33	情報通信産業をはじめ、国際物流産業、観光関連産業等の振興発展と那覇市経済の活性化を目的に「なは産業支援センター」に入居する企業及び市内関連企業等を対象として育成支援のための事業を実施する。	経営課題に対する各種相談及び指導:50回以上 企業ニーズや関連業界のトレンドに関する教育研修・セミナー:5回以上 事業マッチング支援:5件以上 地域の企業、学校、住民等、参加型のキャリア教育支援又はキャリアアップ支援に繋がるイベントの開催。	・入居期限の3年後の卒業に向け、アンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、課題を解決し、事業、販路、売上等の拡大が図られたと回答した企業の割合70%以上 ・教育研修・セミナー参加者20名以上 ・事業マッチングによる新規事業創出2件 ・キャリア教育等に繋がるイベント参加者100名	(今後の展開方針) 入居企業や創業期の企業を対象に、経営課題等に関する支援を継続し、2020年までに、卒業企業の市内立地数7社以上を目指す。また育成した事業者が地域で定着することで、新たな雇用を創出し、周辺企業に波及効果をもたらすことで、地域の経済を活性化させる。	5月変更 (事業追加)
3	9	なは産業支援センター機能強化事業(駐車場整備)	H28 ~ H29	本市の産業振興を支える企業の育成支援施設「なは産業支援センター」の機能として不足している駐車場(自走式駐車場)の機能拡充を図る。	・基礎調査及びプランニングの実施(整備位置、施設規模など)	・基礎調査およびプランニングの完了	(今後の展開方針) ・事業スケジュール H29年度 実施計画・建設工事 H30年 4月供用開始予定 ・利用可能台数 70台	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
3	10	那覇市IT創造館基盤整備事業	H28	那覇市IT創造館においてさらなる創業支援、企業立地促進、立地企業の高度化・多様化、人材の育成・確保を図るべく、同施設の機能強化を図り、本市情報通信関連産業の振興を図る。	・那覇市IT創造館におけるインキュベーター室の増設 ・防犯カメラの設置14台	・インキュベーター室を増加させたことに伴う創業支援対象企業の増加 ・防犯カメラの設置による、入居企業のセキュリティの強化完了	おきなわSmart Hub構想、沖縄県アジア経済戦略構想に基づく県の施策(沖縄IT産業戦略センターの設置、大容量国際海底ケーブルの敷設等)と連携した、本市の積極的な情報通信関連産業の施策展開	10月変更 (事業追加)
3	11	企業立地促進事業	H28 ~ H33	那覇市における産業振興と雇用の創出・拡大を目的として、市内に事務所等を設置し、一定数・一定期間以上、市民の新規常用雇用を行う企業に対し、支援を行う。	・市民を新規雇用した市内企業への支援実施	市民の新規雇用者数:55名 市内への新規企業立地数:7社	・企業誘致活動サポート事業との連携 ・なは産業支援センターやIT創造館との連携	10月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	12	牧志公設市場(衣料部・雑貨部)活性化基礎調査	H28	牧志公設市場(衣料部・雑貨部)の活性化を図るため、今後の課題及び方向性を検討するための基礎調査(利用者実態調査等)を実施する。	利用者実態調査の実施 施設利用状況調査の実施	調査報告書の完成	(今後の展開方針) 平成29年度以降 牧志公設市場(衣料部・雑貨部)の今後のあり方について方向性を定める。	10月変更(事業追加)
4		海外と日本各地を結ぶアジアの国際物流拠点、港湾施設整備事業	H24 ~ H33					
4	1	那覇港総合物流センター整備事業	H25 ~ H30	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、従来型物流の高度化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	・ランプウェイ躯体工事の実施 ・物流センター本体部基礎工事の実施 ・構造規模:鉄筋コンクリート造・一部、鉄骨造 ・建築面積:1.5ha ・延べ面積:4.6ha	ランプウェイ躯体工事の完了 物流センター本体部基礎工事の完了	【事業目標(完了予定H29)】 総合物流センターの整備(H29) 【整備後の活用見込み】 那覇港の取扱貨物量(H33): 2,840万トン 那覇港の取扱貨物量(H26): 1,032万トン	
4	2	冷凍冷蔵コンテナ用電源整備事業	H28 ~ H29	新港ふ頭の国際コンテナターミナルには、冷凍食品等低温輸送用コンテナのため既存のリーファー電源が設置されているが、年々増大している冷凍冷蔵コンテナの需要に対応するため、さらなる増設を行う。	・リーファー電源及び電気室の実施設計の実施 ・リーファー電源10口設置工事の実施	リーファー電源及び電気室の実施設計完了 リーファー電源10口設置完了	【事業目標(完了予定H29)】 リーファー電源の整備90口(H29) 電気室増築工事の完了	10月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	3	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業	H28	離島航路の維持・改善及び離島振興に向けて、排出ガス削減、騒音抑制を図るなど良好な港湾環境の改善を図るため、泊ふ頭に陸上電力供給施設を整備する。	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設の実施設設計並びに整備工事の実施	陸上電力供給施設整備 3基	[今後の目標] 良好な港湾環境の継続的確保	10月変更 (事業追加)
5		生き生き人材育成・雇用促進事業	H24 ~ H33					
5	1	なはし就職なんでも相談センター運営事業	H24 ~ H33	一人でも多くの求職者の就労へ結びつけるため、求職者や失業者を対象に就職相談、求人情報の提供等を行う「なはし就職なんでも相談センター」を設置する。	・なはし就職なんでも相談センターの設置 ・就職相談員の配置:1名	・就職相談 600人 ・求人情報の提供 3,000人 ・就職に結びついた相談者数:100人 (参考:H26実績91人就職)	(今後の取組) H29~33年度 ・なはし就職なんでも相談センターの設置 ・就職相談員の配置:1名 (事業実施後の効果) 就職に結びついた相談者数:450人 (H29~H33年度累計)	
5	2	生き生き人材育成支援施設整備事業	H26 ~ H30	観光産業分野等で活躍できる人材の育成を図るとともに、地域住民と在住外国人との交流、地域づくりやまちづくりの活動を支援するための拠点施設を整備する。	・実施設計業務の着手実施(法令上の諸条件の調査及び関係機関との打合せ、実施計画方針の策定、実施設計図書を作成、概算工事費の検討)	・実施設計業務の完了	(今後の展開方針) H29年度…建設用地の購入、施設整備、研修カリキュラム作成 H30年度…備品整備、供用開始予定 当該施設は、年間約5万人の利用を見込んでいる。観光事業者等の語学力向上及び地域住民と在住外国人との交流を図り、協働でまちづくりに取り組む。	8月変更 (事業追加)
6		なはが好き!子どもの笑顔が輝く教育のまち推進事業	H24 ~ H33					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、算数を中心とした学力の向上を図るため、市内小学校に学習支援員を配置する。また、学習に遅れのある児童生徒への学習支援を行うためのボランティアを派遣する。	・学習支援員の配置 (小学校全36校) 対象:小学校3年生算数を中心とした学習支援 ・学習ボランティアの配置 (小中学校) 対象:学校から申請のある学年・教科で個に応じた学習支援	全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率) 小学校算数A:2.5%(H25～H27平均1.9%) 中学校数学A:-4.0%(H25～H27平均-5.7%)	(事業実施後の効果) H33事業終了後: 全国学力・学習状況調査において小中学校の平均正答率が、全国平均以上に向上	
6	2	英語指導員配置事業	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、長期的な英語指導を通じたコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図るため、英語指導員を市内全小中学校に配置する。	・英語指導員の配置 小学校(外国人:18人、日本人:20人) 中学校(外国人:10人)	英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合:38%(H26実績:30% H27実績:47%)	(事業実施後の効果) H33事業終了後: 英語能力判定テストにおいて、英検4級レベル以上の生徒割合が現状の30%前後から45%に向上	
6	3	特別支援教育充実事業(小中学校)	H24 ～ H33	特別な支援を要する児童生徒への支援体制を整備し、学習環境全体の充実を図るため、特別支援教育ヘルパーを各学校へ配置し、特別支援教育相談員(臨床心理士)の派遣等、専門家と連携した支援を行う。	・特別支援教育ヘルパー配置数 小中学校:計87人 ・学校の要請により相談員の派遣: 教育相談・検査・面談等の実施	・支援児童生徒数:300人 ・特別な支援を要する児童生徒の学校生活環境の充実 ・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率) 小学校算数A:2.5%(H25～H27平均:1.9%) 中学校数学A:-4.0%(H25～H27平均:-5.7%)	(今後の展開方針) 対象となる児童生徒数や状況を見極め、適正なヘルパー配置をとおし、児童生徒の安全性の確保、教育の公平性を確保する。	
6	4	特別支援教育充実事業(幼稚園)	H24 ～ H33	障害のある幼児の自立などに向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、特別に支援を要する幼児に対し、特別支援教育ヘルパーを必要な園へ派遣し、臨床心理士による巡回相談等も活用しながら、支援体制の充実を図る。	特別支援教育ヘルパー配置数: ・午前中 49人 ・預かり保育 20人 巡回指導員の派遣数 ・依頼のある園(幼稚園、公立こども園)32回	園児の安全性、教育の公平性を確保し、子どもの環境適応能力を高める。 ・対象児童数:(午前中)184人、(預かり保育)124人	(今後の展開方針) 対象となる園児数や状況を見極め、適正なヘルパー配置をとおし、園児の安全性の確保、教育の公平性を確保する。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	5	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27 ~ H33	特別な支援が必要な乳幼児を早期に把握し、必要な支援につなげられるよう、健診後の4～5歳児発達相談、親子教室、育児教室等を開催する。就学後の不適応行動を最小限にとどめられるよう母子保健推進協議会の発達支援部会で乳幼児期の発達支援体制について検討を行う。	・親子教室:24回実施 ・育児教室等の実施:12回 ・4～5歳児の発達相談の実施:25回 ・母子保健協議会の発達支援部会の開催:3回	乳幼児健診後の精神発達面のフォロー数:212人 (平成26年度:354人)	(今後の展開方針) 乳幼児健診後の精神発達面のフォローできる数の増加に向け、事業内容を改善しながらH33年度まで支援を継続する。	8月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
6	6	預かり保育推進事業	H25 ~ H33	公立幼稚園における午後の預かり保育を実施するため、預かり保育指導員を配置するとともに、きめ細かな預かり保育の実施のため、午前中の教育時間と午後の預かり保育を円滑につなぐ預かり保育指導員を午前中から各園に1人ずつ配置する。	臨時:預かり保育指導員配置園:32園 配置人数:32人 非常勤:預かり保育指導員配置園:32園 配置人数:56人	日々の子どもの状況を見ながら、きめ細やかな保育を実施する。 ・対象児童数:1,500人	(今後の展開方針) 全市立幼稚園、公立こども園で預かり保育を実施。各園に1名の臨時職員を午前から配置して、午後の預かり指導員(非常勤)へ子どもたちの情報共有し、きめ細やかな保育を実施する。	
6	7	不登校対策等支援事業	H24 ~ H33	不登校児童生徒等にかかる教育相談全般(不登校、遊び・非行傾向、高校進学等)に対応し登校復帰や将来の社会的自立促進を図るため、臨床心理士や支援員等を配置し、個別又は少人数形式で学校内での対応が難しい児童生徒等の支援に取り組む。	臨床心理士等配置数:9人 きら星学級支援員配置数:9人 きら星学級支援事務員配置数:1人 学習支援員配置数 上半期(4月～9月):2人 下半期(10月～3月):4人	不登校率の改善:小学生0.44%、中学生3.20% (H26実績:小学生0.46%、中学生3.53%) 中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合の改善:25.0%(H26実績:30.8%) 高等学校進学率の向上:98.2% (H26実績:98.1%)	(平成33年度の事業終了後には、以下の数値を全国平均値とする) 不登校率:小学生:0.39%、中学生:2.76% 中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合:約10% 高校進学率:98%台後半	
6	8	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興にむけて、学校内での不登校及び不登校傾向の児童生徒や保護者の相談・支援に取り組むため教育相談支援員、生徒サポーターを配置する。	・教育相談支援員の配置率(数) 小学校100%(36校36名) 中学校100%(17校17名) ・生徒サポーターの配置率(数) 中学校100%(17校×2名)	小学生の不登校率:0.44% 中学生の不登校率:3.20% (平成26年度実績:小学生は0.46%、 " :中学生は3.53%) 中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合:25.0%(平成26年度実績:30.8%)	平成33年度の目標 本市小学生の不登校率0.46% 全国平均の0.39%。本市中学生の不登校率3.53% 全国平均の2.76%。 中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合30%台 全国平均の約10%。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	9	青少年旗頭事業	H24 ～ H33	児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、文化の継承・発展に取り組むことを通して、地域社会に積極的に貢献できる新しい時代の活力に満ちた青少年の育成を図ることを目的に、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	・全小中学校を対象に、旗頭修繕、制作及び演技指導等を実施 (小36校・中18校、全54校) ・旗頭フェスタの開催	旗頭フェスタに参加した児童生徒数:1,230人 (H26実績・参加児童生徒数:945人)	(今後の展開方針) 更なる参加人数の増加を目指し、全小中学校の参加とその定着を目標にするとともに、旗頭をきっかけに地域社会と子どもたちとのつながりを強めていく。 (事業実施後の効果) ・児童生徒にとって伝統文化に直接触れる体験となり、フェスタ参加により達成感を創出する。 ・児童生徒及び学校と地域社会とのつながりが深まる。 ・旗頭フェスタ開催の観客動員により、市民や観光客にも伝統文化(旗頭)に親しむ機会となる。	
6	10	街頭指導(がいとうPolaris)事業	H24 ～ H33	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員を学校外に配置し青少年の溜まり場等の巡回指導を行う。また、全中学校区に青少年指導員を配置し、月2回の夜間街頭指導等を行う。	・専任指導員配置数:6人 ・青少年指導員配置数:80人	・青少年の深夜徘徊補導人数:9,000人 (平成26年実績:9,572人)	沖縄県の青少年の深夜徘徊補導人数(人口千人当たり)は多く全国最下位が続いている。本市は年間9,572人となっており、8,000人未満にすることを平成33年度の目標とする。	
6	11	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ H33	沖縄のスポーツ振興に資する人材育成のため、学校教育以外のスポーツ活動で、市・県を代表する児童・生徒に対して支援を行う。	県外大会派遣児童生徒支援	大会等派遣児童生徒数(年間):390人	(今後の展開方針) 大会等派遣児童生徒数(累計) H33年度:3,800人	
6	12	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ H33	学校教育における文化活動を含む部活動を通じた人材育成のため、教育活動の一環として行われる部活動等で、市・県を代表して派遣される児童・生徒に対して支援を行う。	児童生徒の県外大会派遣支援	県外大会等派遣児童生徒数(年間):500人	(今後の展開方針) 大会等派遣児童生徒数(累計) H33年度:5,000人	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	13	自然体験学習事業	H24 ～ H33	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、児童の豊かな人間性や社会性を育むため、市内全小学校5年生を対象に、自然特性を生かした自然体験活動を実施する。	自然体験学習実施学校数：小学校：27校(5年生対象)	・自然体験活動を実施した児童数：3,100人 ・自然体験活動実施による児童の変化(社会性の向上)：90%	(今後の展開方針) 自然体験活動実施児童数(累計) H33年度：31,000人	12月変更(計画変更に伴う活動目標変更)
6	14	学校施設環境整備事業(冷房設置)	H24 ～ H29	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応した学習環境を確保するため、学校施設に冷房機を設置する。	・小学校冷房機設置整備：12校 ・中学校冷房機設置整備：3校	・平成28年度の冷房機の整備によって、小・中学校において学習環境の改善を図る。 市内小学校25教室への整備による冷房機設置教室の整備率：85% 95%(対象児童数 約550人) 市内中学校5教室への整備による冷房機設置教室の整備率：92% 100%(対象生徒数 約170人)	(今後の取組み) ○小学校 平成29年度：小学校12校冷房機設置整備 平成29年度で事業終了 ○中学校 平成28年度で事業終了 (事業実施後の効果) 沖縄の夏季期間においても、教室内に快適な学習環境を確保することができるため、授業への児童・生徒の集中力の向上が期待できる。	
6	15	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ～ H33	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、学校校舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	・小学校校舎等外壁整備：1校 ・中学校校舎等外壁整備：1校	・H24～H33計画の進捗率：50%	(今後の展開方針) H28年度以降：各年度2校整備 (事業実施後の効果) 本事業により、校舎等の建て替えサイクルが約10年延びることが見込まれ、本土並みの約45年に改善される。	
6	16	学力向上に向けた調査研究事業	H25 ～ H33	学力調査を小学校で実施し、調査結果の分析を基にした基礎資料を得て、教師や児童の学習への取組の強化を図り、指導法や学習効果を高めるため調査研究を実施する。	小学校第2学年、第4学年の全国比較が出来る学力調査の実施	小学校2年生、4年生の学習実態、課題の把握	平成30年度までに那覇市内36全小学校が全国平均を超えることを目指し、定着を確認するため平成33年度まで毎年実施予定。	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	17	小中一貫教育推進支援事業	H27 ~ H33	<p>当市では学力向上や不登校等の問題行動が、人材育成の大きな課題となっている。この課題解決のため小中一貫教育を導入し、小中学校が共通に抱える学習指導等の課題解決のための非常勤講師を配置し支援を行う。</p>	<p>・非常勤講師7人の配置</p>	<p>・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率) 小学校算数A: 2.5% (H25~H27平均: 1.9%) 中学校数学A: -4.0% (H25~H27平均: -5.7%)</p> <p>・小中学校の不登校率 小学校: 0.44% (H25: 0.52% H26: 0.46%) 中学校: 3.20% (H25: 3.57% H26: 3.53%)</p>	<p>・(H33事業終了後)全国学力・学習状況調査において小中学校の平均正答率が、全国平均以上に向上する。 ・(H33事業終了後)那覇市小学生の不登校率0.52%を全国平均の0.36%とし、那覇市中学生の不登校率3.57%を全国平均の2.69%とする。</p>	
6	18	教育用ソフト購入事業	H27 ~ H33	<p>教育環境の充実を図り、将来の沖縄振興に資する人材を育成するため、主要教科のデジタル教科書を市内小中学校に配付し、児童生徒の学習能力の向上を図る。</p>	<p>教育用ソフト配布学校数 中学校18校</p>	<p>・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率) 中学校数学A: -4.0% (H25~H27平均: -5.7%) 中学校国語A: -2.8% (H25~H27平均: -3.7%)</p>	<p>(H33事業終了後)全国学力・学習状況調査において小中学校の平均正答率が、全国平均以上に向上する。 H31年度: 小学校改訂デジタル教科書購入 平成32年度: 中学校改訂デジタル教科書購入</p>	
6	19	なは若者人材育成事業	H27 ~ H29	<p>市民協働のまちづくりの推進に向けて、若者の力を活性化させるため、各種青少年関係団体に係る調査を実施するとともに、活動のサポートを行う。また、地域の青少年活動に係る担い手の育成や、若者の社会参画・各種活動を促進するため、啓発活動を実施する。</p>	<p>・青少年団体等の活動をサポート・評価することにより、青年の社会参画活動の促進を図り、地域社会の活性化につなげる: 20団体 ・成人式準備委員会、シンポジウム、成人式アワードの開催: 参加者計200人 ・成人式実行委員会や青年会等、各種青少年関係団体について、組織体制や活動状況の調査・把握(アンケートや対面調査(訪問電話含む)データの作成)</p>	<p>地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成ができ青年の社会参画活動が活発な社会にする。 ・シンポジウム、成人式アワードに参加した者による評価: 「満足した」「よかった」の回答5割(アンケートによる集計) ・地域への功績等が認められる青少年の表彰(成人式アワード等により実施): H28年度30人程度(3年間で約100人)</p>	<p>(今後の展開方針) ・青少年育成団体、青年団体、NPO団体等の活動サポート、ネットワーク形成につながる仕組みづくりを行う。 ・若者育成や社会参画のあり方について、シンポジウムや表彰等を通した啓発活動を展開する。 (事業実施後の効果) ・地域貢献活動を体験する若者の増加。 ・若者と地域社会とのつながり、及び青少年関係団体同士の連携の広がりを作りだす。</p>	

H28活動目標(指標): 平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標): 平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	20	幼稚園情操教育充実事業	H28～H30	幼稚園の開園前時間を利用し、各園に派遣されたシルバー世代の方との共同した活動を行わせることで、園児の情操教育を充実させるとともに、共働き世代等の就労支援、高齢者の生きがい創出を図る。	・市内幼稚園への地域の高齢者派遣(1名/園)の実施 ・開園前における園児の情操教育体制の整備	・早朝登園園児の安全確保のための見守り体制の構築完了 ・園児の情操教育の実施	認定こども園移行完了(H30年度予定)まで継続する	10月変更(事業追加)
7		伝統文化と新たな文化創造の発信都市へ！文化のまち推進事業	H24～H33					
7	1	文化芸術ふれあい事業	H24～H33	伝統芸能の普及・継承・発展のため、組踊作品や地域に根ざした文化芸能作品の公演を実施する。また、市民文化の振興を図るため、那覇市収蔵作品のうち、沖縄出身の画家の作品等に特化して保存・修復を行い、展示会を開催する。	組踊公演を2回開催 地域文化芸能公演を1回開催 那覇市収蔵品展示会を1回開催	来場者数:610名(前年度までの平均比10%増) 来場者数:820名(前年度までの平均比10%増) 来場者数:550名(交付金事業実施前平均比500名の10%増)	(今後の取組)H29～33年度 沖縄芝居公演を年1回開催 地域文化芸能公演を年1回開催 那覇市収蔵品展示会を年1回開催 (事業実施後の効果) 来場者累計:12,040人(H24～33年度) 来場者累計:6,140人(H27～33年度) 来場者累計:4,400人(H26～33年度)	
7	2	市民文化育成発信事業	H24～H33	伝統文化の継承発展と市民文化活動の活性化を図るため、市民参加・創造型の芸術展を開催する。	・なは市民芸術展を1回開催	・応募者数140名(前年度までの平均比10%増) ・来場者数1,590名(前年度までの平均比10%増)	(今後の取組) H29～33年度 なは市民芸術展を年1回開催 ふれあいジャズフェスティバルを年1回開催 うちなーぐち講座・成果公演を年1回開催 (事業実施の効果) 応募者累計:1,260名・来場者累計:14,360名(H25年度～H33年度) 生徒出演者累計:4,200名・来場者累計:17,900名(H24年度～H33年度) 受講者累計:340名・来場者累計:2,730名(H25年度～H33年度)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	3	市民文化支援事業	H24 ～ H33	地域の伝統文化の保存・継承・普及に向けて担い手を育成するため、地域の伝統文化活動を支援する。	地域の伝統文化活動の支援:7件	地域の伝統文化の保存・継承・普及に向けた担い手育成環境の充実	(今後の取組)H29～33年度 地域伝統文化活動の支援 (H24～H33年度支援累計63件) (事業実施の効果) 地域の伝統文化の保存・継承・普及に向けた担い手育成環境の充実にを図る。	
7	4	伝統文化継承種まき事業	H24 ～ H33	伝統文化の継承・発展に向けて、幼少時期から伝統文化に触れ合う機会を創出するため、保育所へ専門講師を派遣する。	公立保育所への講師派遣:7ヶ所 (252回)	伝統文化に触れあう園児数:494人 市内保育所(私立・公立)における伝統文化に触れ合えることのできる環境の整備	(今後の取り組み) H29～H33年度:市内公立保育所 7ヶ所へ専門講師を派遣 (事業実施後の効果) 市内保育所全てで幼児期から伝統文化に触れ合うことのできる環境の整備	
7	5	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ H33	伝統文化の継承・発展に向けて、子ども達の伝統芸能活動等の発表の場を創出するため、「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	「子どもフェスタinなは」を開催	子ども達の伝統芸能活動等の発表の場を創出 子どもフェスタ参加児童生徒数:730人	(今後の取組) 参加児童生徒数730人規模の毎年度開催を維持しつつ、参加団体間の情報交換、連携の強化につながる、満足度の高いフェスタ運営を目指す。 (事業実施後の効果) ・児童生徒が伝統文化に触れることで、伝統芸能・文化等の継承・発展につながる。 ・児童生徒の活動発表の場を創出することで、達成感と自信を持てるようになる。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	6	郷土資料整備事業	H24～H33	伝統文化の継承・発展に向けて、市民への郷土に関する情報を提供し、地元への関心を高めるため、郷土資料を購入する。	郷土関係資料の購入:約1,100点	・H28年度までの購入目標 5,500点 50.0% ・H28年度の郷土関係資料の貸出目標:約14,000点 (参考目標実績) H33年度までに郷土関係資料を11,000点購入 H24～H26までの購入点数 3,351点 30.6% H27年度までの購入目標 4,400点 40.0%	(今後の展開方針) 郷土関係資料の購入 H29年度 約1,100点購入 H30年度 約1,100点購入 H31年度 約1,100点購入 H32年度 約1,100点購入 H33年度 約1,100点購入 (事業実施後の効果) 購入整備した資料を市民へ提供して地元への関心を高めることにより文化の継承・発展につなげる。		
7	7	鳥クツバ継承・普及小冊子製作事業	H24～H33	伝統文化の継承発展に向けて、鳥クツバを次世代へと繋げるため、鳥クツバ小冊子を製作し、小学校の児童に配布して学校及び家庭での積極的な活用を推進する。	・しまくとぅば普及小冊子作成数:約3,500冊×2種類 ・活用状況調査実施	小冊子活用状況調査における小学校利用率(日常的な活動を通して):80%	(H33事業終了後)小冊子活用状況調査において、日常的な活動を通しての活用率が100%に向上する。		
7	8	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24～H32	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、県都である特性を活かした新たな文化の殿堂・沖縄の伝統文化の発信拠点となる新文化芸術発信拠点施設を建設する。本年度は、施設本体の基本設計や校舎解体の実施設計、建設敷地の拡大に向けた補償物件調査等を実施する。	施設本体基本設計業務委託 一式 建物等補償物件調査 建物等8件 用地補償技術支援業務 一式 管理運営基本計画業務委託 一式 校舎解体工事実施設計業務委託 一式	実施設計に向けた施設本体の基本設計や、校舎解体の実施設計の実施及び施設開館に向けた管理運営に係る基本計画の策定。	H29年度:用地取得、本体実施設計、 校舎解体工事 H30～32年度:本体工事 H33年度:開館 予定	10月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更) 12月変更(計画変更に伴う事業内容、活動目標変更)	
7	9	御細工所跡緊急発掘調査事業	H27～H30	王府時代の御細工所跡を歴史的観光資源として活用するため、発掘調査による遺跡の全容解明に向けた図面記録等の分析・整理を行なって、調査報告書や図録・モニュメントを作成する。またその間、周知に向けた展示会や報告会などを併せて実施する。本年度は遺構図版および写真図版等の作成と資料整理成果の報告会や展示会を開催する。	・遺跡の全容解明に向けた発掘調査による図面記録等の分析・整理及び図録作成用資料の抽出作業の実施 (遺構図版及び写真図版等の作成) ・資料整理成果の報告会や展示会の実施	・観光資源として活用できる資料を抽出しリストを作成し、また報告書遺構編を作成 ・報告書図版作成および美術工芸や産業振興の資料としても活用できるよう図録作成準備:進捗率25% ・報告会及び展示回の来場者:500人	H29年度 出土遺物についての分析 展示会・報告会開催 H30年度 調査報告書の刊行 図録の刊行 モニュメントの設置		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	10	壺屋の歴史・文化発信事業 (特別展事業)	H24 ～ H28	壺屋博物館を観光施設として活用し、観光客の誘客を図り、また、日本本土とは異なる本県特有の歴史・文化を県内外の方々に広く発信するため、初期琉球陶器及び関連する陶器資料等の展示紹介、関連文化講座等、朝鮮人陶工が沖縄に陶器の技術を伝えてから400年を記念した特別展を開催する。	・特別展の開催:50日 ・特別展開連文化講座実施:3回	・特別展観覧者数:3,000人 ・特別展開連文化講座参加者数:100人	(事業実施の効果) 本事業の実施により、県内外の方々の本県固有の歴史文化に対する理解と知的探求の満足度を高めることができ、ひいては博物館入館者数の増加が期待される	
7	11	安谷川活用環境整備事業	H28	まちま～い事業などで観光客が訪れる市指定史跡「安谷川(アダニガー)」について、安全安心に活用できるようにするために、共同井戸の屋根構造物の修復や石積・通路等の整備を行い、市文化財の保全継承並びに観光振興を図る。	活用環境整備に係る工事実施	活用環境整備に係る工事の完了	活用環境整備工事を実施し、文化財の保全並びに文化資源を活用した観光振興を図る。	10月変更 (事業追加)
8		ちゅい助き助き沖縄のチムグクル福祉のまちづくり事業	H24 ～ H33					
8	1	認可外保育施設的环境整備事業	H24 ～ H33	認可外保育施設指導監督基準を満たした施設が指導監督基準を維持継続し保育環境の向上を図るための改修整備費の補助を行う。 また、認可外保育施設の害虫駆除を行い、衛生管理の向上を図る。	保育所及び小規模保育事業所の施設基準での改修。 専門業者からの助言による衛生環境の向上	改修施設数 2施設 防虫駆除実施施設数 約90施設	補助対象施設となり得る施設数は約18箇所と見込む。賃貸の施設が多いが、地域のニーズに対応できる施設の整備を行う。 害虫駆除の委託業者から専門的な助言を得て、各施設が衛生面を保てるよう指導も並行して行う。	12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
8	2	児童クラブ賃借料補助金	H24 ～ H33	子育て世帯の多くが共働きであることから、安心した子育て環境の充実に向けて、民間施設等を賃借している児童クラブに対して活動支援を行う。	民間施設等を賃借して活動している児童クラブに対し、家賃等の補助を行う。 ・賃借料補助を行う児童クラブ数:43か所	公的施設で活動している児童クラブとの格差是正を図る。 ・受入児童数:43クラブ1,930名 (総数79クラブ3,900名) (基準値:平成24年度17クラブ811名)	民間施設等で活動している児童クラブについては、今後も補助を継続する。	8月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	3	ナハノホイク案内人(ナビィ)設置事業(コンシェルジュ設置)	H25 ~ H28	市内の保育施設の効果的・効率的な利用に向けて、保育施設情報総合サイトによる情報発信を行うとともに、保育施設情報相談員を配置する。	保育施設情報相談員(1名)を設置 保育施設情報総合サイト「ナハノホイク」を活用した相談対応	保育施設情報相談の実施(目標:年間600件)	保育施設情報相談員(ナビィ)は、認可外保育施設を実際に見聞した上での情報を提供できる貴重な情報提供手段であるが、情報提供機能がナハノホイクとの競合していることもあり相談実績が必ずしも伸びていない。H30年以降は、利用者支援機能と統合して運用することも検討したい。	
8	4	認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25 ~ H33	認可外保育施設において、保育従事者に「絵本等読み聞かせ」を定着させるため、専門講師による研修を行い、絵本等を配付し、保育従事者の質向上を図る。	研修実施:施設訪問80か所 絵本等配付:児童2人に1冊以上配付する。 (絵本等とは、絵本、パネルシアター、大型絵本も含む)	研修実施による保育従事者の質向上 認可外保育施設約100施設、約670人の保育従事者に対し読み聞かせの研修を行う。 施設にあった絵本を配付し、立入調査とも連携させ保育従事者の保育の質向上を確かなものにする。	各施設へ指導を重ねている中で、こどもと向き合う研修の一つとなってきた。繰り返し訪問し実践し、保育従事者が絵本から学びが得られるよう支援していく。	
8	5	ふれあいのまちづくり事業	H27 ~ H33	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等のさまざまな人を支援するため、総合相談窓口を設置する。	那覇市社会福祉協議会に総合相談窓口設置	相談者を支援まで繋ぐ体制の強化	(今後の取組) H29~30年度 総合相談窓口の設置 困っている人が気軽に相談でき、早期に支援を受けられる体制を引き続き維持する	
8	6	ボランティア振興事業	H27 ~ H33	高齢化社会に備え、ボランティアの活性化を図り、インフォーマルな支援の担い手を養成する。	ボランティア市民講座の開催 ボランティア連絡会の開催 ボランティアに関する広報誌の発行	ボランティアコーディネート件数 1580件 【最終目標の96.9%達成】	平成29年度コーディネート件数 1585 平成30年度コーディネート件数 1590 平成31年度コーディネート件数 1600 平成32年度コーディネート件数 1620 平成33年度コーディネート件数 1630	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
8	7	発達障がい者サポート事業	H27 ～ H33	発達障がい者の円滑な社会生活の推進を図るため、保健、医療、福祉、教育等関係機関と連携し、発達障がい者本人及びその家族へ支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援:1000回実施 ・ペアトレーニング:80回実施 ・ティーチャーズトレーニング:20回実施 ・就労支援及び本人支援の講座:500回実施 ・発達障がいに対する啓発目的の研修会:10回実施 ・家族会:36回実施 ・本人支援の居場所の提供:230回実施 	発達障がい者が適切な人間関係を構築し、円滑な社会参加を可能にすることにより、発達障がい者のQOLの向上 次の支援方法において、初回と終了時にアンケートをとって、その評価を考察 ・相談支援(18項目・90ポイント満点):利用者の合計点数が平均2ポイントの向上 ・ティーチャーズトレーニング(18項目・90ポイント満点):参加者の合計点数が平均3.5のポイントの向上 ・ペアトレーニング(18項目・72ポイント満点):利用者の合計点数が平均3.5ポイントの向上	・ペアトレーニング及びティーチャーズトレーニングを継続実施し、ニーズに併せて内容を改善し、支援者のスキルアップを図る。 ティチャーズトレーニング参加者 目標 H32年度 60人/年 参考 H27年度 30人/年		
9		万国津梁、世界に広がるウチナンチュネットワークの拡充事業	H24 ～ H33						
9	1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24 ～ H33	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、南米各国の那覇市民会から推薦された2世・3世らを研修生として受け入れ、民間企業等での研修や沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の那覇市民会から研修生の受入:2名 ・沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修生による報告書の作成及び本市での研修報告の実施 ・研修生による帰国後の研修報告の実施 	(今後の取組み) H33年度まで 計20名の研修生受入 (事業実施後の効果) 現地市民会・県人会活動において、中心的役割を担い、今後の交流関係の拡充に寄与する人材となる。		
9	2	那覇長崎平和交流事業	H25 ～ H33	平和に対する意識を高め、今後の沖縄での平和活動に貢献できる人材育成を目的とし、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に中学生を派遣する。 また、平和の尊さと社会参加の意義を学ぶことを目的に、長崎市と那覇市の少年・少女がお互いの連帯と友情を深める平和学習・交流を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「青少年ピースフォーラム」への平和学習派遣の実施:8名 ・長崎市の中学生との交流会や沖縄南部戦跡巡りの実施:40名 	<ul style="list-style-type: none"> ・「青少年ピースフォーラム」の参加を通して、平和に対する意識が高まった学生:8名 ・長崎市の中学生との交流会・平和学習を通して、平和の尊さを学び共有することができた学生:40名 	(今後の取組み) ・「青少年ピースフォーラム」への平和学習派遣生徒数(累計) H25～33年度:72名 ・長崎市の中学生との平和学習参加生徒数(累計) H25・28・30・32年度:160名 (事業実施後の効果) 沖縄戦の実相や平和の尊さを学ぶことにより、平和に対する意識を高め、今後の沖縄での平和活動に貢献できる人材の育成を図る。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10		未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	H24 ～ H33	那覇軍港の跡地利用計画策定段階である第2ステージにおける取り組みを整理し、跡地利用計画策定にかかる手順等をまとめた(仮称)那覇軍港跡地利用計画策定手順書を策定するとともに、地権者等との合意形成活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等の開催:3回(手順書策定に係る検討) ・地主会理事会との意見交換の実施:3回(手順書策定に係る意見聴取) ・地主会等勉強会の開催:2回 ・次世代の会の活動実施:9回(今後の展開を検討) ・地主会理事会と次世代の会意見交換会の開催:1回(参加者数15名) ・情報誌の発行:2回(発行部数2,000部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)那覇軍港跡地利用計画策定手順書の策定 ・地権者等との合意形成活動の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)那覇軍港跡地利用計画策定手順書に基づく取り組みの実施 (今後の取組) H29年度:跡地利用基本方針策定に向けた基礎調査 H30年度:跡地利用基本方針(案)策定 H31年度:跡地利用基本方針の策定 H32年度:跡地利用計画に向けた基礎調査 H33年度:跡地利用計画(素案)の策定 (事業実施後の効果) ・跡地利用計画策定にかかる手順等を明示化し、地権者等との合意形成活動を実施することにより、跡地利用計画策定を円滑に進める。 	
11		環境共生都市の構築推進事業	H24 ～ H33					
11	1	水資源有効利用推進事業	H24 ～ H33	都市化の進展に伴う雨水流出量による浸水被害の軽減・流量抑制のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留・浸透施設の設置又は修繕に対して支援を行う。	雨水施設等設置費支援件数:20件	水資源の有効利用を図ることによって、浸水被害の軽減や流量抑制に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> (今後の展開方針) H29～33年度 ・施設設置補助の実施:20件/年 ・設置促進に向けた周知活動 1、各支所・自治会へのチラシ配布 2、市民の友広報 3、建築士会へのチラシ配布 4、雨水施設等設備量販店にチラシ配布 (事業実施後の効果) 都市化に伴う雨水流量抑制・浸水被害の軽減効果が期待される。 	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11	2	ハブ・衛生害虫等対策事業	H27 ～ H33	ハブ咬症防止の啓発、ハブの捕獲・捕獲器の貸出し等のハブ対策及びネズミ・ゴキブリ・蚊など衛生動物、衛生害虫の防除並びに感染症に関する消毒業務を実施し、観光客をはじめ市民の安心、安全と衛生的な環境の確保を図る。	捕獲器の設置数:150基 ハブに関するパネル展等の開催:4回 衛生害虫重点薬剤散布箇所の調査・散布:27箇所、各箇所2回	ハブの捕獲数:70匹 パネル展来場者数:計1,600人 安全と衛生的な環境の確保に向けて市内の散布が必要な箇所への散布:27箇所、散布回数54回	(今後の取組) H29～H33 捕獲器の設置数:150基/年 ハブに関するパネル展等の開催:4回/年 衛生害虫重点薬剤散布箇所の調査・散布:27箇所、各箇所2回 (事業実施による効果) 観光客をはじめ市民の安心、安全と衛生的な環境の確保を図る。	
11	3	ハイブリッド塵芥収集車導入事業	H28 ～ H29	低炭素・資源循環型社会への転換、環境共生都市を目指し、那覇市環境基本計画及び那覇市総合計画のエコカー導入の取組のさらなる推進を図るため、ハイブリッド塵芥収集車を導入する。	2t級パワーゲート付深ダンプ車両本体部分の製作	ハイブリッド車の導入にむけて、車両本体部分の製作	H29年度 ・2t級パワーゲート付深ダンプ車の架装部分の製作 (事業実施による効果) ・低炭素・資源循環型社会の実現、環境意識の啓発に取り組む。	
12		安心安全な防災都市の構築推進事業	H24 ～ H33					
12	1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ H33	観光都市としての魅力向上に向けて、観光客の受け入れ体制の強化を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	・講習会講師の配置:4名 ・定期救命講習会の実施 普通 年/12回 普通 年/8回 上級 年/3回 普及員年/4回 入門コース・出前講習 随時開催 ・応急手当、救命講習に係る広報活動の実施。	応急手当講習受講者数:6,000人(H26年度実績5,929名) 各応急手当講習会 入門コース 1,420名 普通救命講習 1,500名 普通救命講習 280名 上級救命講習 100名 応急手当普及員講習 100名 その他講習 2,600名	H29年～33年度 ・講習会講師の配置:4名 ・定期救命講習会の実施 普通 2回/年 普通 8回/年 上級3回/年 普及員4回/年 入門コース・出前講習 随時開催 ・応急手当、救命講習に係る広報活動の実施。 (事業実施による効果) 市民の救命能力の向上及び普及啓発を図り、観光客の受け入れ体制の強化	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
12	3	小中学校AED整備事業	H28	自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害時の収容避難所に指定されている市内小中学校にAEDを整備し、収容避難所としての機能を高める。	市内小中学校へのAED整備	市内小中学校へのAED整備:53校	(今後の展開方針) 災害時に適切に使用できるよう適切な日常点検を実施する。 (事業実施による効果) 観光客をはじめ、避難者の安心・安全の確保を図る。	
12	4	消防・防災機能強化事業	H28	高層化や大規模化が進む宿泊施設及び商業施設や海底トンネル等における火災や多種多様な災害に対応するため、遠隔操作可能な自走式大量噴霧放水大型プロア一車を購入し、県内の消防防災機能を強化する。	大型プロア一車の配備(1台)	劇場・ホール・倉庫・工場等の開放性の高い大空間における排煙・排熱活動。 地下空間、地下工事、共同溝等における酸欠、有毒可燃性ガス滞留の希釈、拡散活動 トンネル火災における排煙・排熱活動。 中高層建築物等の堅穴区画を利用したクリアゾーンの設定と排煙・排熱活動。 消防隊員が近寄れない場所への、遠隔操作による消火・救助活動。 開放空間にて、煙等の希釈・拡散と活動隊員・要救助者等のヒートストレス軽減のため送風活動。 上記活動に必要な体制の整備完了	(今後の展開方針) 平成28年度に導入し沖縄県消防相互応援協定に基づき、大災害発生時沖縄県全域へ出動する。	5月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
12	5	災害時応急給水体制強化事業	H28～H32	沖縄県が島嶼県である地理的特殊性により、災害時における全国からの応急給水の支援体制が困難な状況においても、応急給水体制を強化することを目的に、地域防災計画において緊急給水の高い優先順位に位置づけされている重要病院(特に人工透析治療施設)、社会福祉施設等への水道水の応急給水に必要な車両一体型応急給水車の購入と、市民への水道水の応急給水活動に必要な車両積載型加圧式給水タンクを購入する。	・車両一体型応急給水車(1,800ℓ)1台購入 ・車両積載型加圧式給水タンク(1,650ℓ)1基購入	災害発生時における応急給水体制の整備 ・車両一体型応急給水車:[18,000ℓ/日] ・車両積載型加圧式給水タンク:[16,500ℓ/日]	(今後の展開方針) H29～H32にかけて車両積載型加圧式給水タンクを1基ずつ購入。 (事業実施後の効果) 災害時における重要病院(特に人工透析治療施設)や社会福祉施設等、市民への水道水の応急給水活動のため、本市の危機管理計画に基づき訓練を実施し、応急給水体制の強化を図る。	5月変更(事業追加)
12	6	公立公民館・図書館AED整備事業	H28	台風や大雨洪水等の小規模な災害時に非難する施設として、地域住民及び観光客の受入体制を確保すると共に、長寿県復活に向け多くの高齢者や児童が利用する地域の活動拠点施設として、緊急時の即時対応による安心・安全の確保と充実した地域活動・生涯学習活動を支援するため、公立公民館・図書館にAEDを整備し、施設機能を高める。	AED整備:公立公民館・図書館7館	公立公民館・図書館でのAED整備完了:7館	(今後の展開方針) 年1回は救急救命(AED)講習を実施し、職員・利用者が緊急時に救命措置を行うことができるようにする。	8月変更(事業追加)
12	7	大規模災害等対応資機材整備事業	H28	観光都市として今後観光客の更なる受入を図っていくにあたり、消防防災体制機能を一層強化する必要があることから、大規模な自然災害等発生時において、消防活動をより効率的かつ安全に実施するための資機材を整備する。	・大規模災害時の消防活動体制強化に資する資機材の整備実施 ・各資機材に対応した活動マニュアルの作成	・大規模災害等対応資機材の各消防部隊への配備完了 ・大規模災害等発生時および消防部隊管轄地区における軽微な救助事案等に対応可能な体制の整備完了	沖縄県において大規模災害等が発生し、他市町村から沖縄県消防相互応援協定に基づき要請があった際には、沖縄県全域に応援出動する。	10月変更(事業追加)
13		いい暮らしより楽しい暮らし、更なる沖縄の飛躍促進事業	H24～H33					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
13	1	地下壕対策事業	H24 ~ H33	沖縄戦時に使用され、その後の長い米軍統治を経て、現在も未対策のまま放置されている地下壕に起因する陥没・落盤等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻等の対策を行う。	現存する地下壕について、対策実施可能な箇所を選定及び対策工法案の検討を行う。また、次年度(H29年度)対策予定箇所(4箇所)の実施設計を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 地下壕実態調査検討業務報告書作成(H28年度版) (現存する地下壕について、対策実施可能な箇所を選定及び対策工法案の検討を行う。この報告書をもとに今後の地下壕対策箇所を選定する。) 次年度(H29年度)対策予定箇所(4箇所)の実施設計。 	<ul style="list-style-type: none"> (今後の展開方針) 危険な地下壕について順次、埋戻等を行っていく。 (今後のスケジュール) 平成29～32年度 ・地下壕対策工事(前年度設計分) ・実施設計(次年度対策箇所分) 平成33年度 ・地下壕対策工事(前年度設計分) 	
13	2	戦略的交通まちづくり推進事業	H24 ~ H33	沖縄特有の歴史的背景・要因を踏まえ、市内の交通渋滞の緩和に向けて、車から公共交通への利用転換を促すため、交通に対する意識啓発に取り組むとともに、観光都市に相応しい安心安全な市内交通環境の確保に向けてLRT導入の検討及び自動二輪車実態把握調査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> なほモビリティウィーク&カーフリーデーの実施(9/16～22日) 公共交通ハンドブックの作成・配布:12,000部 LRT導入可能性検討業務 自動二輪車等実態把握調査 	<ul style="list-style-type: none"> 「なほモビリティウィーク&カーフリーデー」では、カーフリーデーの実施意義への理解80%以上を継続して確保する。 公共交通ハンドブックを作成し市内への転入者へ配布することで、公共交通の利用を促す。 LRT導入可能性調査により、過年度で整理した各導入ルート案に対する、採算性、導入効果、導入空間の課題整理などの詳細な検討を行いLRT導入にむけた可能性を検討する。 自動二輪車等実態把握調査により、自動二輪車及び自転車の利用促進を図るための駐車場・駐輪場整備のあり方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> (今後の展開方針) 平成29～33年度 ・なほモビリティウィーク&カーフリーデーの実施 ・公共交通の利用転換を目的とした公共交通ハンドブックの作成・配布 ・既存の自動二輪車駐車場、駐輪場の実態把握調査の実施 LRT導入可能性検討 H27年度 ・那覇市の現況及び交通課題を整理 ・LRT導入ルート案を抽出(3案程度) H28年度 ・LRT導入ルート案を選定 ・採算性、導入効果等の検討 	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
13	3	亜熱帯庭園都市形成推進調査(道路)	H24 ~ H30	戦後無秩序に市街化が進み基盤整備が遅れたことにより、未だ残る都市防災上等の課題を改善するため、長期未着手の都市計画道路について、平成28年度は、歴史的な魅力を活かした安心・安全な歩行空間の確保を目的に、都市計画決定の見直し方針を定めるための基礎調査を行う。	・まちづくり基礎調査業務の委託発注 ・大中町細部街路19路線の現況調査、歴史・文化遺産の整理及び土地利用調査 ・交通量調査 4箇所 ・地域懇談会 2回 ・登記簿の整理及び地権者一覧表の作成	・都市計画道路の変更(案)の策定に向けた現況及び課題整理(大中町細部街路) ・都市計画道路変更(案)の策定に向けた報告書作成	(今後のスケジュール) 平成29年度:地域との合意形成 平成30年度:都市計画決定に向けた予備設計を実施。 (事業実施後の効果) 大中町細部街路の基礎調査結果をベースに、地域住民のコンセンサスを得ながら、当該地域の特性である歴史的な魅力を活かした、主要生活道路等の整備を推進することにより、戦後無秩序に居住されてきた地域の生活環境の改善等を図る。	
13	4	アメリカ統治下議会議事録電子化事業	H25 ~ H29	祖国復帰前のアメリカ施政権下における本市議会の記録・議事録(1955年~1957年分 約15,000ページ)を電子化し、本土とは異なる政治形態下における議会の記録として市民ならびに沖縄の歴史研究等に提供できるよう整備する。	議事録電子化の実施 対象議事録:15,000ページ	電子化した議事録をホームページで公開する。 ホームページ(電子書籍ページ)の閲覧数 年間:500	(今後の展開方針) 平成29年度 1948年から1954年分の議事録について電子化 (事業実施後の効果) 本土とは異なる政治形態下における議会の記録の提供	
13	5	亜熱帯庭園都市形成推進調査(住環境基礎調査事業)	H27 ~ H29	戦後、基盤が未整備のまま無秩序に市街地が形成され、都市防災上、危険な状況にあり、中心市街地(まちなか)においては、長期的な人口減少が進んでいることから、まちなかの密集住宅市街地の実態の把握のための調査と住宅ストック活用に向けてモデル事業を実施する。	・まちなかの密集住宅市街地の実態調査 ・住宅ストック活用モデル事業の実施	・まちなかの密集住宅市街地の実態の把握 ・モデル事業の課題、効果の検証 ・業務報告書作成	(今後の展開方針) 住環境の改善の実施に向け、具体的施策の取り組みを進める (事業実施後の効果) 住環境改善施策を進めることで、土地利用の増進、防災性の向上、まちなか居住推進によるまちの活性化が期待される。	
14		元気いきいき「チャーガンじゅう」長寿沖縄の健康づくり事業	H25 ~ H33					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
14	1	職場が主体的に取り組む健康づくり実践支援事業	H25 ～ H30	働き盛り世代の「早世予防」に向けて、職場における健康づくりの取り組みを推進するため、事業所の主体的取り組みを支援するモデル事業を引き続き実施するとともに、他の事業所(支援対象外の事業所)へも職場における健康づくりのモデルとするため、支援した取り組みの周知を図る。また、効果的な取り組み例として活用するため、支援した取り組みの評価・検証を行う。	・公募、審査の実施 ・支援件数:8事業所 ・支援事業所への進捗状況確認・相談支援:8事業所×4回/年 ・補助事業所の健康状況を評価・検証 ・報告会の開催:1回	・事業所からの健康づくりの企画・応募:8団体(H27:8団体) ・実践事業所の健康づくり評価指標の向上 支援した事業所の健診結果の改善 (有所見率、BMI、等)	(今後の展開方針) H28～30年度:モデル事業の実施 (H28年度:8事業所、H29～30年度:10事業所)、進捗確認・相談、報告会、事業検証 H30年度:事業総括 取り組みの事例を整理し、成功モデルとして、他の事業所の参考となるよう紹介していく。	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
14	2	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ H33	生涯スポーツのまちづくりを目指し、ウォーキングを通じた市民の健康づくりの推進に向けて、市民に運動を習慣化することの大切さを認識してもらうため、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	健康ウォーキング大会 1回 ウォーキング講座 4回	健康ウォーキング大会 参加者 5,000人 満足度 90%(参加者アンケート) ウォーキング講座 講座終了後も継続して歩く割合 80%(受講者アンケート)	(今後の取組) 平成29年度～33年度 健康ウォーキング大会の開催 「健康フェア」の同時開催 開催数:1回/年 大会参加者:47,000人 (H26～33年度累計) ウォーキング講座の開催 開催数:5講座(20回)/年 講座参加者:5,000人 (H26～33年度累計) (事業実施後の効果) 当該事業を通して、日頃から歩くことを習慣化することで、市民一人ひとりの健康意識が高まり、生涯スポーツのまちづくりの推進に繋がる。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたのもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたのもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
14	3	生活習慣病重症化予防モデル事業	H26～H29	<p>長寿県沖縄復活に向けて、心疾患や糖尿病等の合併症・重症化を防ぐため、要医療者や治療コントロール不良等の者へかかりつけ医等と連携した保健指導を実施する。</p> <p>また、レセプトを活用して、医療費削減効果等の成果についての検証・資料化を行うとともに、特定健診(健康診査)を受けていない者を対象に、郵送型血液サービス(スマホドック)を実施し、有所見者の早期発見及び治療勧奨、健診受診の動機付けを行う。</p>	<p>対象者への保健指導率80% (3,000人中2,400人)</p> <p>保健指導実施者について、レセプトからの医療費の削減効果を分析し、資料化する。(市民への公表)</p> <p>30代若年者2,700人中、8%が申込みを行い、40代3,000人中、3%が申込みを行う。</p>	<p>未治療者の受療率50%(383人中192人)</p> <p>人工透析新規導入者が前年度より増えない(69人以下)(国保加入者の新規透析導入者データ H24年69人、H25年89人、H26年80人、H27年62人)</p> <p>要医療者の翌年改善率50%(439人中220人)</p> <p>定期健診受診者リピーター率71%</p> <p>30代・40代の有所見D判定者合わせて50人が病院受診意向を示す(アンケートから)</p>	<p><今後の取組></p> <p>高血圧・高血糖等の者への保健指導:2,400人</p> <p>(H26～H29年度累計:延10,928人)</p> <p><事業実施後の効果></p> <p>糖尿病性腎症等の栄養指導及び保健指導を更に強化して、新規透析導入者を抑制:国保新規導入者数72人以下</p> <p>(国保新規透析導入者数H25年89人、H26年80人、H27年62人)</p> <p><今後の取組(スマホドック)></p> <p>H28事業の実施結果を踏まえ、事業効果の確認(特定健診の動機付けとなっているか、有所見者を受療支援につなげることができているか等)を行いながらモデル事業として継続できるかどうかを検証する。</p>	<p>8月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)</p>
14	4	歯とお口の健康普及啓発推進事業	H27～H33	<p>歯科保健に対する正しい知識やむし歯や歯周病が全身に及ぼす影響、口腔機能の低下によりもたらす誤嚥性肺炎の防止等を市民に対して普及啓発と歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図るため、デンタルフェアの開催を支援する。</p>	<p>・デンタルフェア開催支援</p> <p>5会場で開催(本庁、首里、小禄、真和志南、真和志北)</p>	<p>・来場者数前年度比5%増</p> <p>(H27年度2,459人 平成28年度2,582人)</p>	<p>(今後の取組)</p> <p>H29～H33年度</p> <p>デンタルフェアの開催支援</p> <p>(事業実施後の効果)</p> <p>市民に向けて、歯科保健に係る知識や歯科疾患の身体に及ぼす影響等についての普及啓発を図る</p>	
14	5	健康長寿ゆいまーるモデル事業	H28～H30	<p>早世予防と平均寿命(健康寿命)の延伸に向けて、生活習慣病のリスクの高い青壮年期の健康意識の向上と行動変容へとつなげるため、職場、各種学校、地域と連携した市民総がかりによる健康づくりに取り組む。</p>	<p>・「健康づくり市民会議」に参加する職場・地域・大学・専門学校が取り組む健康づくり実践への支援事業実施</p> <p>・健康づくり市民会議の開催:2回</p> <p>・ホームページ等を活用した広報の実施</p> <p>・キャッチコピー・イベント用マスコット等の作成</p>	<p>・「健康づくり市民会議」参加団体(地域・大学・専門学校を含む):30団体</p> <p>・健康づくりに取り組む中小事業所(各職場):20箇所</p> <p>・健康づくりのホームページの充実・強化</p> <p>・市民向けのキャッチコピーを活用した生活習慣改善に向けた行動変容を促す啓発活動の実施</p> <p>・「健康づくり市民会議」及び参加団体における啓発・活動内容に係る報告書作成</p>	<p>(今後の展開方針)</p> <p>H29～H30年度</p> <p>・健康づくりの気運が参加団体の口コミにより市民へ拡大</p> <p>(H29年度市民会議参加団体:35団体、H30年度:37団体へ増加)</p> <p>・SNS・ツイッター・YouTubeを活用した健康づくりの広報の実施</p> <p>(事業実施後の効果)</p> <p>市民の健康に対する意識の啓発に向けた、健康づくりを実践しやすい環境づくりの推進</p>	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		道路景観整備事業	H24 ～ H33	プロ野球キャンプを活用した観光振興を図るため、横浜DeNAベイスターズがキャンプを行う市立野球場及び海浜公園から国道58号線までの市道及び、沖縄コンベンションセンターから国道58号までの市道の景観整備を行う。	真志喜9号の工事 真志喜26号の景観設計	真志喜9号の工事完了(路線(歩道等)延長の約3分の1完了) 真志喜26号の景観設計完了	(今後の展開方針等) 良好な景観形成を目的として道路整備を行うことで、コンベンションエリアへの集客の増加や、歩行者の安全性、快適性の向上を図る。 H29～H30:真志喜26号の工事	
1		はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24 ～ H33	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援する。	はごろも祭り・カチャーシー大会への支援	はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 来場者数:141,000人 (基準値:H27年度 140,000人)	(今後の展開方針等) 同大会を継続して開催することにより、市民意識の高揚と親睦を深め、来場者数の増加を図り、西海岸地域活性化に繋げていく。 はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 目標値(H29年):145,000人	
1		宜野湾市産業まつり支援事業	H24 ～ H33	市の特産品のPRや産業振興及び観光振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりへの支援	宜野湾市産業まつり来場者数 H28年 26,000人 (参考 H26年 25,000人)	(今後の展開方針等) 来場者数の増加に向け、まつりの開催時期、内容を改善しながらH33年度まで支援を継続する。	
1		ぎのわん車いすマラソン大会補助事業	H25 ～ H33	障がい者スポーツの振興及び観光振興を図るため、本市の海浜公園及びその周辺で開催されるぎのわん車いすマラソン大会に対して支援する。	ぎのわん車いすマラソン大会への支援	平成28年度:大会参加者(実走者)目標数 全体260名(内県外参加者50名) 基準値:平成27年度大会参加者 全体256名(内県外参加者29名)	(今後の展開方針等) 同大会に継続して補助を行い、一層充実したものにしていくことにより、全国的な大会として、より一層認知されるように取り組み、障害者スポーツの振興、本市及び沖縄県のPRにつなげる。 大会参加者(実走者)目標数(H33) 全体265名(内県外参加者55名)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			琉球海炎祭支援事業	H25 ～ H33	日本で一番早い夏の大火火をキャッチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティーに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	琉球海炎祭への支援	琉球海炎祭有料エリア来場客数:12,000人 有料観覧エリア県外客数:5,100人 (基準値:H27年度: 琉球海炎祭有料エリア来場客数:11,386人 有料観覧エリア県外客数:4,081人)	(今後の展開方針等) イベント開催を支援することにより、観光・コンベンション機能の充実を図り、認知度向上のため、PRを継続して行う。 琉球海炎祭有料エリア来場客数目標値(平成29年)13,000人	
1			横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25 ～ H33	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	植樹する花の苗 (10,000鉢)	プロ野球キャンプ見学者数 目標値(H28年度):26,000人 基準値(H24年度):22,300人	(今後の展開方針等) キャンプ見学者数増加に向け、当該イベントを継続して開催し、情報発信強化を図る。 プロ野球キャンプ見学者数目標 H33年度 28,000人	
1			トロピカルビーチ賑わい創出事業	H26 ～ H28	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を開催することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	イベントの開催	イベント来場者数:ビーチ内9,000人 (基準値:H26年度 4,703人)	(今後の展開方針等) 当該イベント来場者数増加に向け、企画内容を充実させ、西海岸地域における新たな観光スポットとして定着を図る。 イベント来場者数目標値(H29年):9,800人	
1			エンタテインメント産業支援事業	H26 ～ H28	エンタテインメントを沖縄の成長産業として育成していく試金石として、次世代を担う若年層が世界のエンタテインメントの最前線から直接学ぶ機会を提供するとともに、宜野湾市の新たなイメージを創出するオープンスクールイベント開催を支援する。	オープンスクールイベントの開催 (イベント回数:1回)	オープンスクールイベント来場者数 (来場者数:100人)	(今後の展開方針等) エンタテインメント産業における人材育成を図るため、継続して当該イベント開催を支援する。	
1			博物館機能強化事業	H26 ～ H33	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の機能強化を実施する。	常設展示室整備	常設展示室整備完了	(今後の展開方針等) H29以降:館内整備等を行い機能強化を図る。 H28目標:10,000人 展示室整備に伴う休館予定期間(12月～3月)を除く	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H24 ～ H28	宜野湾市内外に周知されたプロ野球チームのキャンプ地である市立野球場において、キャンプ受入体制を確保するため、市立野球場の施設整備を行う。	市立野球場内野スタンド棟の外壁の補修、塗装の実施	市立野球場内野スタンド棟の外壁の補修、塗装を完了し、観光客等の安全性を向上させる	(今後の展開方針等) 継続して観光資源としてのプロ野球キャンプの活用を図り、見学者の増および安定確保を目指す 目標 H33年度 28,000人 参考 H24年度 22,300人	5月変更(事業追加)
2			スクールカウンセラー活用事業	H24 ～ H33	スクールカウンセラーを市内4小学校に定期的に派遣し、学級担任、児童生徒、保護者との相談(不登校・いじめ・非行・発達に関する問題等)を行い、教育相談の充実を図る。	スクールカウンセラー2名派遣(市内4小学校)	小中学校における不登校出現率 小学校0.35%以内 中学校3.0%以内 (出展)『平成27年度宜野湾市の学校教育』P44に準じた目標値	(今後の展開方針等) スクールカウンセラーとの情報交換や学校への聞き取り調査を行い、児童生徒の不登校やいじめ、その他の問題行動の未然防止、早期発見、早期解決を図るため相談業務を充実させる。	
2			スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ H33	近年の子供たちを取り巻く社会環境が著しく変化するなかで、遊び非行型及び心因性による不登校児童生徒の増加が懸念されている。このようなことから、スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校児童生徒の学校復帰に繋げる支援に取り組む。	スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室SSWアドバイザー(1名) 第一相談室SSWコーディネーター(4名) 市内小学校SSW(9名) 市内中学校SSW(8名)	平成28年度目標 学校復帰人数 17名 学級復帰人数 26名	(今後の展開方針等) 非行系急学の不登校、心因性による不登校児童生徒の教育相談・家庭訪問・登校支援などの支援活動を行い、不登校児童の学校復帰、学級復帰に努める。	
2			適応指導教室事業	H24 ～ H33	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	適応指導教室在籍児童生徒数:4名	適応指導教室への通級日数 目標:出席すべき日数の80%以上	(今後の展開方針等) 他の適応指導教室との宿泊学習での交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に適応するための意識向上やコミュニケーション能力向上を図るための支援を行う。	
2			児童生徒相談事業	H24 ～ H33	市内の幼児、児童生徒(18歳未満)及び保護者等の悩みや教育上の問題について、青少年教育相談指導員、臨床心理士を配置し、問題解決を図るために相談業務の充実を図る。	青少年教育相談指導員配置:3名(第二相談室) 臨床心理士配置:3名(第二相談室)	学校復帰人数6人	(今後の展開方針等) 心因性による不登校児童生徒の相談支援、登校支援を行うなかで登校に向けての自立心の養成を促す。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ H33	児童・生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して少年少女の問題行動に対して必要な注意・助言・指導を行うため、夜間街頭指導員を配置する。	深夜はいかいする児童・生徒の指導件数:400件	夜間巡回活動の巡回箇所の見直し、指導の強化を図り児童生徒の事件事故等の未然防止に繋げる。	(今後の展開方針等) 夜間のはいかい箇所の集約に努め巡回箇所の見直しを図り、児童生徒の犯罪や事故等の未然防止と抑止に繋げる。		
2	学習支援員活用事業	H24 ～ H33	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置する。	学習支援員の配置:13校13人 小学校9人・中学校4人	宜野湾市総合平均と全国平均との差 H28年度小学校-0.3%、中学校-7%以内 (H27年度小学校-0.3%、中学校-7%)	今後の展開方針等 宜野湾市総合平均と全国平均との差 H33年度 小学校±0%、中学校-5%		
2	派遣費補助金交付事業	H24 ～ H33	児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を支援する。	県外派遣された団体への支援を実施 支援団体数:15団体 (文化活動団体数:5団体、スポーツ活動団体数:10団体)	児童生徒の文化活動およびスポーツ活動において、県外派遣補助金を交付することで、保護者の経済的負担の軽減を図る。	(今後の展開方針等) H29～H33の支援団体見込数は、概ね75団体 各年度:15団体		
2	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ H33	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成を図るため、一定の基準を満たすスポーツ少年団等の県外派遣を支援する。	県外派遣された団体への支援を実施	県外派遣補助金を交付することによって、保護者の経済的負担軽減、児童生徒の健全育成を図る。	(今後の展開方針等) スポーツ活動による児童生徒の健全育成を図り、H33年度まで支援を継続する。		
2	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ H33	特別に支援を要する幼稚園・小学校・中学校の児童生徒に対し、特別支援教育支援員を派遣し、臨床心理士や指導員と連携した支援体制の充実を図る。	臨床心理士1人配置 指導員1人配置 特別支援教育支援員派遣 (幼稚園:13人、小学校44人、中学校19人)	学校長、保護者の満足度評価(内部評価):60%以上 市特別支援教育推進協議会、学校評議員による事業の充実度評価(外部評価):60%以上	今後の展開方針等 H29以降の配置 特別支援教育支援員の配置:幼稚園9園13人、小学校9校44人、中学校4校19人 保護者への学校教育への満足度及び市特別支援教育推進協議会、学校評議員による充実度評価60%以上目標とする。	5月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	文化財保存整備事業	H24 ～ H33	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	指定文化財の測量・地質調査・設計実施:1件	整備工事を行う環境が整う。	(今後の展開方針等) H28年度の設計後の翌年に整備工事を実施する。 市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行い、観光振興・文化教育につなげる。		
3	歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ H33	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、公文書等の整理、保存及び、検索システムへの登録や公開にあたっての基準づくりを行う。	歴史的価値を有する公文書等の整理:250冊 公文書の一般公開に向けた基準作り	公文書整理全体計画の17.5%完了 (平成27年度:公文書整理全体計画の13.2%完了) 公文書一般公開に向けた基準作成完了。	(今後の展開方針等) H29年度中の公開(予定)にむけ、整理と活用の併用。		
4	平和市民啓発事業	H24 ～ H33	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名(中学生)を派遣する。 沖縄戦から70年余が経過する中で、平和祈念事業を実施し、改めて戦争の悲惨さ・平和の大切さを市民に啓発する。	平和学習派遣生徒数:8人 平和祈念事業を行う	命の尊さや平和意識の向上を図る 平和祈念事業対象者数:1,000人	(今後の展開方針等) H24～H33年度 【平和学習派遣】 各年度8人 累計80人		
4	小学校英語教育課程特例校事業	H24 ～ H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手(ALT)及び日本人英語教師(JTE)を小学校に派遣し、コーディネーターと連携した指導体制の充実を図る。	コーディネーター1名配置 ALT(外国人英語指導助手)及びJTE(日本人英語教師)を配置 :全小学校(9校) ALT9人 JTE9人	小学校児童英語検定平均点 小5ブロンズコース88.5点以上 (平成26年度88.3点) 小6シルバーコース83点以上 (平成26年度82.9点)	(今後の展開方針等) H33年度 児童英語検定 小5ブロンズコース90点以上 小6シルバーコース85点以上		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	外国人教師招致事業	H24 ～ H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)の配置 全中学校(4校) (各中学校1人配置)	中学校英語検定受験率 3級以上の受験率を50% (平成26年49.2%) 中学校英語検定合格率 5級合格率87% (平成26年度86.1%)	(今後の展開方針等) H33年度 中学校英語検定受験率 3級以上の受験率を53% 中学校英語検定合格率 5級合格率88%		
4	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ H33	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ICT活用支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を実施する。	IT活用主任嘱託員1名、補助員1名 配置 情報夏期講習会 8回 情報教育研究会検証授業 13回	授業にICTを活用して指導できる教師の割合:80%	(今後の展開方針等) 積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。		
4	ICT機器活用推進事業	H28	生徒の情報活用能力の育成環境を整備するため、中学校の普通教室やパソコン教室、理科室等の特別教室に電子黒板機能を持ったインタラクティブプロジェクター及び書画カメラ、主要5教科のデジタル教科書を整備する。	各中学校へICT機器の整備を行う 電子黒板機能を持ったインタラクティブプロジェクター:109台 書画カメラ:109台 デジタル教科書:主要5科目	ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた生徒の割合:80%	(今後の展開方針等) 教員を対象にした研修会を実施し、ICT機器を活用した情報教育授業を推進する。		
5	市民防災事業	H27 ～ H33	沖縄県は、島しょ県であるとともに、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対する備えを万全にする必要がある。本事業では、宜野湾市地域防災計画に基づき食糧等の備蓄や自主防災組織の育成支援を行い、災害に強いまちづくりを推進する。	4,000食の備蓄食料を備蓄する。 設立した自主防災組織への資機材整備の支援を行う。	保存食の備蓄 H28年度備蓄食糧率68% (H27年度備蓄食糧率48%) 自主防災組織への資機材整備 (H28年度整備:1団体)	(今後の展開方針等) ・平成29年度までに目標の2万食の備蓄を行ったあとは、保存期限が過ぎた食糧分の備蓄を年次的に行い、常に2万食を備蓄し、大災害に備える。 ・市内すべての自治会(23自治会)において自主防災組織の結成を支援し、設立後は資機材整備に係る補助金を交付し、地域の自主防災力の向上を図る。	12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24 ~ H33	本市の面積の約3割を占める広大な米軍基地は、住みよいまちづくりをする上で最大の阻害要因となってきた。土地を住民から強制接収した経緯から土地の約9割以上が民有地となっており、公共用地が極端に少ない状況であり、駐留軍用地の返還後の跡地利用推進を図るため、宜野湾市特定駐留軍用地内土地取得事業基金を設置し、早急に公共用地を確保する。	基金の積立を行う。 普天間飛行場の土地を取得する。	普天間飛行場【特定事業の見通し】(115,000㎡)に対し(45,357㎡)を取得する。達成率:40%	(今後の展開方針等) 返還後の跡地利用の推進を図るべく、平成33年までの間で、普天間飛行場における必要な土地について100%の取得をめざし、計画的かつ継続的に先行取得を行っていく。	12月変更(計画変更に伴う成果目標変更)	
7	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ~ H33	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「N Bミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民、地権者の活動支援及び意向醸成、地権者の意向調査	平成24年度に策定した全体計画の中間取りまとめをもとに情報を発信し、跡地利用計画(素案)策定に向けて、市民及び地権者の意向把握を継続して行う。	(今後の展開方針等) 広く周知を図った上で、地権者の土地利用意向等のアンケート調査を実施し、跡地利用計画に反映していくと共に、市民・地権者を中心とした合意形成並びに参画するしくみづくりへ取り組む。		
7	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同事業)	H24 ~ H33	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信	全体計画の中間取りまとめの配置方針図の更新	(今後の展開方針等) 平成29年度に跡地利用計画(素案)を策定		
8	被覆資材等導入推進補助事業	H27 ~ H33	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。	申請件数の増加 9件 (基準:H25年度申請件数 8件)	被覆資材等導入面積の増加を図る。 H28年度目標:8,000㎡ (参考 H25年度実績:7,418㎡)	(今後の展開方針等) 台風等の気象災害や害虫による農作物被害を軽減する為、被覆資材等導入にかかる経費に対して支援し、導入面積率を上げる事で、安定的な農業生産活動を推進する。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				9	多様な働き方就労支援事業			
10	宜野湾市ひとり親家庭生活支援事業	H28 ～ H30	保護が必要なひとり親の中でも自立に向けた具体的な目標及び意欲のある世帯に対し、より安定した生活基盤を整え早期の自立につなげるため、就労支援等の総合的生活支援の一環として一定期間の家賃補助による住宅支援を行う。	生活支援コーディネーターによる生活全般の相談及び同行支援 家賃補助支援対象者 5世帯	安定した生活環境整備・経済的自立率:8割	(今後の展開方針等) 支援対象者 H29年度 8世帯 H30年度 10世帯		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		観光誘客プロモーション事業	H24～H33	年間を通じた観光誘客のために、観光情報の発信及び観光プロモーションイベントなどに取り組む。リピーター需要が安定的なダイビングはじめ石垣島ファンの掘り起しを行い、シーズン毎の誘客要素をメディア媒体を活用して広報するなど、石垣島に対する親近感や関心を喚起するプロモーション活動によって観光需要の継続した創出を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・メディア媒体を活用した情報発信業務 ・ダイビング誘客PR業務 ・観光誘客PR業務 ・台湾人観光客誘致媒製作 	入域観光客数前年比10%増 島外誘客イベント等の実施 3件 メディア媒体による情報発信での商品造成1件 台湾人観光客向け媒体製作完了	観光誘客の年間での平準化を図り、観光需要の安定化を確保する。そのために観光動態調査等による戦略的な誘客事業を推進する。	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1		スポーツウェルカム!石垣島!事業	H24～H33	スポーツツーリズムを推進し離島振興につなげるため、国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等の誘致を目的に営業活動を実施する。また、受入環境整備及び受入体制強化のため、選手等への快適な環境づくりと、歓迎装飾やキャンプとタイアップしたイベント等の賑わい創出により地域活性化へつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムの推進とスポーツコンベンションの誘致を営業を通して行う。 ・観客動員数の多いキャンプは、警備員を配置し、安全性と快適性を確保し、受入環境を整備する。 ・受入体制を強化の一環として、装飾等で歓迎ムードを創出する。 ・芝・グラウンド等管理機械の購入 	・プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致合わせて3団体以上 ・警備員の配置、プレハブ等施設の設置撤去 ・プロ野球キャンプ期間中を通して来場者数対前年度比3%増。 2015春季キャンプ観衆実績18,300人 2016春季キャンプ現在実施中(2/1～20まで) ・芝・グラウンド等管理機械の購入完了6台	・体育施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供や受入を積極的に行う。 ・プロ野球キャンプの受入が継続できるよう来場者と選手に安全で快適な会場を提供する。	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1		八重山博物館所蔵資料修復及び整理活用事業	H24～H33	博物館資料の保存・活用を図るため、博物館所蔵資料のうち、虫食い等により状態の良くない古文書等の修復を行うとともに、修復した資料のデジタル化を行う。	所蔵資料の修復及びデジタル化23件	H28年度入館者数6,480人 H.24年度入館者数6,400人の1%増	所蔵資料のうち状態の良くない資料を年次的に修復し、デジタル化を図りながら活用にする。併せて、資料の保存管理を図る。	
1		石垣島ミュージックフェスティバル事業	H25～H30	観光閑散期の底上げを目指した、新規個人客層の誘客及びリピーターファン獲得のため、音楽やアート等を魅力にして石垣島らしさをアピールする音楽イベントを開催する。今年度は、次年度の開催に向けた広報及び商品造成等を構築、発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの開催内容を見直し、音楽だけでなく、アートや食文化等といった様々なコンテンツを複合的に展開するイベントを構成する。(プレイベントにて試験的に導入) ・次回開催内容を決定して、広報、商品造成等の体制構築を行う。 	プレイベントの実施 集客数5,000人 イベントフェイスブックの「いいね数」1038件 3000件 イベントオフィシャルツアーの造成 500名 次回開催に向けた広報(ホームページ、宣伝)等の制作と発信	H29年度、平成30年度に開催、その後はチケット収入、協賛等での民間移管を計画。そのための知名度向上を推進していく。	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	石垣島シネマフェスティバル事業	H24 ~ H33	最新の上映システムを使用し、ロードショー作品や八重山諸島で撮影された映画等の上映会を行うと共に島の魅力発信に繋がるような屋外イベント等を通じ、島の自然、文化、人の魅力を国内外に発信し、映画・ドラマ等のロケの誘致に繋げることを目的に開催する。またそれにより観光客や、映画館のない当市の市民に、島の魅力や劇場で鑑賞する映画の楽しさも再認識してもらう。	シネマフェスティバルの開催	H28年度の目標入場者数:7000人 H24年度入場者数:3,733人 H25年度入場者数:6,034人 H26年度入場者数:5,003人 H27年度目標入場者数:7,000人	今後の展開方針等 ・目標総入場者数8万人 ・目標マスコミ媒体30社以上(年累計)		
1	いしがきの原風景写真等デジタル化事業	H24 ~ H28	市史編集課により収集された歴史的な写真・ネガフィルム等をデジタルデータベース化し、インターネット上で「石垣市史デジタルアーカイブ」として公開することによって、新たな観光資源として活用する。	写真等デジタル化 「石垣市史デジタルアーカイブ」構築	写真等デジタル化:12,189枚 「石垣市史デジタルアーカイブ」構築:写真等12,189枚のカテゴリ化・データベース作成、インターネット公開	<今後の展開方針> デジタルアーカイブの充実を促進するため、今後も史資料収集・整理を継続し、利用に供する。		
1	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ~ H33	本市の玄関口となる新石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象とした観光案内サービスを実施する。観光情報等の提供により観光地としての信頼度を高める取り組みを行う。また、常設の観光アンケートの実施、案内所スタッフによる瓦版的な簡易な観光情報紙の発行を行う。台風時やイレギュラー時を想定した連携体制の構築も推進する。	・観光案内人による情報提供 ・接客力の向上	観光アンケートの回収件数:500枚以上 情報紙の発行:月1×12か月 案内人接客向上を目的とした研修参加の実施	本市玄関口での観光案内人による接客力を高めること、また案内所に付加価値を図れるよう推進したい。		
1	観光地受入基盤強化事業	H26 ~ H33	観光地としての満足度を向上させリピーター層を増やすこと、石垣島らしさの観光ブランディングを構築するために星空資源の広報、ウェルカム業務の実施、コンテンツプログラム(南の島の星まつり、とぅばらーま大会、新春花火、文化観光コンテンツ)に取り組む。また、観光地マネジメントを推進する観光会議の開催やユニバーサルマナーの講習会に取り組む。	・MICE等ウェルカム業務 ・ユニバーサルマナー講習会 ・石垣市観光プラットフォーム会議の推進 ・石垣島新春花火業務 ・文化観光コンテンツ推進業務 ・星空資源広報業務 ・星空保護区認定に向けた調査 ・南の島の星まつり、とぅばらーま補助 ・原付バイク用「ご当地ナンバープレート」のデザインを作成。	ウェルカムの取り組みの実施件数 20件 ユニバーサルマナー講習会の開催(1回) 星空学びの部屋の来場者数(3,300名) 南の島の星まつり(1回)・とぅばらーま大会(1回)・新春花火大会の開催(1回) 星空保護区認定への申請 文化観光コンテンツ媒体の制作 観光プラットフォーム会議の開催(3回) 「ご当地ナンバープレート」デザイン作成完了	・『石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策を本事業において取り組んでいきたい。 ・ナンバープレートについては本市にゆかりのあるデザインの周知広報を図り、さらなる観光振興を目指す。	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			安心・安全なまちづくり推進整備事業	H27 ～ H28	本市の繁華街地区において、市民や増加する観光客が安全で安心するまちづくりを目指し、事件事故の未然防止や犯罪の抑止を図るための整備を行う。	防犯カメラの設置	・防犯カメラ2基の設置完了	・事業スケジュール H27年度 防犯カメラ4基設置 H28年度 防犯カメラ2基設置	
1			石垣市内文化財環境整備事業	H27 ～ H33	石垣市内にある指定文化財の環境を整備するため、土地買い上げに向けた土地価格調査及び文化財説明版設置を行う。	・石垣市指定文化財の説明板設置10基 ・文化財関連用地土地鑑定評価10筆	・適正な土地の評価額を把握する ・指定文化財の説明版の設置と活用	・指定文化財の周辺環境を整備し、観光に活かすことができる。 ・指定文化財に関する情報を発信することができる。	
1			美崎町賑わい創出実験事業	H28	美崎町の市道を一部占用(車道を一方通行(十分な幅員の歩道がある場合は歩道を活用)とし、歩行者空間及びオープンカフェ用地に充てる)し、オープンカフェや屋台等の実証実験(年6回程度想定)を行い、観光客や市民の集客による賑わい創出について検証する。	実証実験の際に効果を高める工夫等を検討する。また、実験の結果を踏まえ、美崎町再開発構想へのフィードバック等、その後の賑わい創出につなげる。	・実証実験の実施(6回) ・実証実験結果の検証	平成28年度 オープンカフェ等実証実験業務委託費 4,000千円 ・オープンカフェ等実証実験 ・実証実験結果の検証・取りまとめ	5月変更(事業追加)
1			漁場環境ツーリズム事業	H28	漁業者の漁具破壊や、釣果を横取りする有害水産生物駆除を実施し、生産性の向上や漁業者の安全性を確保する必要があるため、新たな観光事業としての可能性を調査、実施する。	・サメ駆除の調査委託 ・模擬プログラムを実施(4回)	・事業目的に沿った駆除ポイントを策定 ・高付加価値の観光プログラムの創出(ファミリーバック、海人バックなど) ・満足度アンケートの実施(4回)	独立採算制が可能かどうかを精査し、本事業で得た成果をワークショップ等でブラッシュアップを行い、新たな観光資源創出の実現に向けて取り組む。	5月変更(事業追加)
1			大浜地区歴史遺産活用事業	H25 ～ H29	大浜地区には国指定史跡フルスト原遺跡をはじめ、宇根井戸や大底御嶽など多様な歴史遺産が所在している。これらの歴史遺産を連結させるため、フルスト原遺跡の近接地に広場(駐車場を含む)の整備を実施し、広場に案内板等を設置する。	構造物(トイレ、東屋)の実施設計面積3514.96㎡の整地。(コンクリート基礎、コンクリート塀、擬木、門扉の撤去、処分処理、撤去後の整地)	構造物(トイレ・東屋 各1)の実施設計完了 来年度の工事に向け、3514.96㎡の整地工事完了	今後、基本設計、実施設計に基づき、駐車場、トイレなどを設置し、広場とし整備をすすめる。	10月変更(事業追加)
1			ビックデータ戦略的活用事業	H28	ビックデータの戦略的な活用を図ることにより、本市を訪れる観光客の動態等の把握・分析を行い、観光客のニーズに応じた振興施策等の更なる充実を図るためのデータの整備を図る。	戦略策定委員会の開催(4回)	戦略策定報告書の作成完了	委員会で選定されたビックデータを今後活用していく。	10月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	ドローン活用推進事業	H28	ドローン(無線操縦による無人航空機)の離島における新しい観光プログラムの開発や、活用方法を検討するため、ドローンレース等のイベントや実証実験を行う。	ドローンイベントの実施 実証実験の実施	ドローンイベント現地観客動員(1,000人以上) ドローンレース参加者(30以上) ドローンレースインターネット視聴者数(20,000人以上) 実証実験報告書の作成	ドローンを使った観光体験プログラムの展開や、イベントの誘致を図る。また、離島間の物資輸送などの用途開発を進める。	12月変更(事業追加)	
1	石垣市民会館設備改修事業	H25 ~ H31	島内外のプロを始めとするアーティスト及び団体による多くの公演の誘致につなげるため会館設備を改修し、良好な環境を提供しやすい施設として整備する。そのことにより、それら公演及びアーティストのファンをイベントツアーで誘客し島の魅力をアピールすることでリピーターとしての新たな観光客の誘致活動を行う。	公演に必要な照明機材の購入	公演に必要な照明機材の購入完了	今後の実施予定内容等 ・H29年度:音響設備改修工事 ・H30年度:中央監視盤、非常用発電機設備改修工事 整備完了後:公演数10公演増 利用者数8,000人増	2月変更(事業追加)	
2	クルーズ船寄港誘致支援事業	H24 ~ H33	大型クルーズ船の寄港の際必要となる大型タグボートの備船費の一部支援を実施し、船社の負担軽減を行う事で、寄港誘致を図る。	クルーズ船社への助成金交付	クルーズ船入港タグボート経費助成件数 2件	タグボートに係る費用支援を行うことでクルーズ船客にオフシーズン時の観光を体験して頂き、フルシーズンにおいて観光地となることを目指す。		
2	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24 ~ H33	観光客の受入れ基盤の強化を図るため、観光施設の整備、改修を行う。	観光施設等の設計及び改修整備	観光施設等の基本実施設計完了:1箇所(底地海水浴場) 観光施設等の改修整備完了:2箇所(玉取崎展望台・底地海水浴場ハブクラゲネット)	(今後の展開方針) ・玉取崎展望台 ・底地ビーチ ・米原キャンプ場 今後主要な観光施設の整備を行い、受入基盤の強化を図る。	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)	
2	平久保半島エコロード整備事業	H25 ~ H33	平久保半島は国立公園区域に指定されている区域である。本業務では、市道平久保半島東線周辺に位置する河川の水生生物に係る情報を収集し、エコロード整備に対する留意事項の検討を行う。また、車載カメラ及びドローン搭載カメラによるエコロード周辺状況の撮影を行う。 また、平成26年度に策定した「平久保半島エコロード基本構想・基本計画」に基づき、当該道路の一部において道路整備実施設計を行う。	・エコロード周辺に位置する水生生物の情報収集 ・車載カメラ及びドローン搭載カメラによるエコロード周辺状況の撮影 ・道路整備実施設計委託	・自然環境情報図の作成(H27年度成果へ追記) ・車載カメラ及びドローン搭載カメラによるエコロード撮影動画の作成を行い、エコロードの状況確認及び観光客への魅力アピールの材料とする。 ・道路整備実施設計完了	H29年度以降:「平久保半島エコロード基本構想・基本計画」で示した優先順位に基づいて実施設計を行い、整備を進めていく。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		石垣市風景計画改訂検討事業	H27 ～ H28	魅力的な石垣島らしい風景を保全・創出し、市民及び観光客の満足度向上を図る。 そのため、石垣市風景計画についての検証を行う。	H27年度の成果を基に、庁内調整会議及び(仮称)石垣市風景計画検証委員会において見直しの検証を行う。また、市民意見等を聴取するため、アンケート調査やパブリックコメント、意見交換会等の開催を行う。	H27年度に作成された改訂素案を基に、検討委員会等の開催や、住民の意向等を把握し、改訂案を作成する。	石垣市風景計画の改訂に向け、平成28年度に検討委員会等の開催や、住民の意向等の把握に努め、平成29年度に法手続きを行う。	
2		川平風致公園観光利便性向上施設整備事業	H25 ～ H29	川平湾を訪れる観光客の利便性の向上や地域振興の為、物産販売所やグラスボートのチケット売場などの施設を統合した施設の実施設計業務を行う。	川平風致公園利便性向上施設の実施設計の実施(平面、立面、断面、仕上材の検討等)	実施設計の完了	H28年度:実施設計 H29年度:造成工事・整備工事	
2		人工ビーチ整備事業	H27 ～ H28	石垣港新港地区において整備を進めている人工ビーチの一部供用開始に向け、遊泳者等の安全確保の為、遊泳区域ネットの設置、AED、救命ボード等の必要な備品を整備する。	・遊泳区域ネット設置工事 ・備品購入	・一部供用開始に向けた事業の着実な実施	平成28年度内、期間限定の一部供用開始。	
2		旧石垣空港跡地環境影響評価事業	H28 ～ H31	石垣市は旧石垣空港跡地への土地区画整理事業導入を検討しているが、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施し、円滑な都市計画決定、事業認可につなげ、跡地の早期利用を図る。	配慮書、方法書、現況調査、準備書、評価書手続を行うことにより、その後の円滑な都市計画決定、事業認可、事業実施を図ることができ、跡地の早期利用につながる。	【配慮書手続の完了】 ・配慮書作成 ・住民説明会、公告・縦覧 ・住民、沖縄県、関係機関の意見聴取 ・県との調整 ・公表	・H28年度 配慮書手続 10000千円 ・H29年度 方法書手続 10000千円 現況調査 50000千円 ・H30年度 現況調査 50000千円 準備書手続 35000千円 ・H31年度 評価書手続 35000千円	
2		美ら星ゲート事業	H28 ～ H29	全88の星座のうち84の星座を見ることができるといふ優位性を活かし、市街地において身近に「星の島」としての石垣島の魅力を発信する施設を創出することで、時間的・空間的に点在するコンテンツを連携させ、その魅力を発信する。	調査報告書の策定	調査報告書の策定完了	美ら星ゲート施設の創出(工事) 美ら星ゲート利用者数18万人/年間	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		亜熱帯都市公園整備促進事業	H25 ～ H30	石垣市の街区公園は、良好な緑地を有し、独特の景観を残している。また、地域文化の象徴でもあり、重要な観光資源の一つでもある。その街区公園の利活用を目的として、石垣市特有の街区公園整備を行う。	・用地の取得(字真栄里1,958㎡3筆)	・全体計画用地取得率 38% (累計取得面積 3,503㎡)	H28年度:用地取得(あんぐん公園) H29年度:用地取得(うぶ公園) 整備工事(あんぐん公園・宮島公園) H30年度: 整備工事(うぶ公園・あんぐん公園)	5月変更 (事業追加)
2		新港地区国際埠頭整備事業	H28 ～ H29	石垣港新港地区に新たに建設する大型クルーズ船パースの供用に際し、外航クルーズ船寄港に対応するための施設整備を行う。	・基本設計および実施設計の検討 ・保安規定の検討	・基本設計および実施設計の完了 ・保安規定の策定	平成30年1月の大型クルーズ船パース供用に向け、早期の整備を図る。	8月変更 (事業追加)
2		石垣市中央運動公園リニューアル事業	H27 ～ H33	石垣市における運動施設の中核を担う石垣市中央運動公園において、八重山圏域唯一の運動公園としての存在価値を高めるために公園全体のリニューアル整備を行う。	八重山圏域唯一の公認陸上競技場の第3種公認取得のために必要な備品の購入 プールコースロープの購入	八重山圏域唯一の公認陸上競技場の第3種公認取得のために必要な備品の購入完了 プールコースロープの購入完了	石垣市中央運動公園において、八重山圏域唯一の運動公園としての存在価値を高めるために公園全体のリニューアル整備を推進する。	2月変更 (事業追加)
3		石垣市資源循環アイランド推進事業	H25 ～ H30	市の第4次総合計画における柱の1つ、“島の自然環境を守り生かす「いしがき」- 環境と風景 - ”及び「石垣市エコアイランド構想」を強力に推進するツールとして、「石垣市資源循環産業都市構想(仮称)」の策定に向けた検討をする必要がある。そのため、廃棄物系バイオマス資源として利用する島内のシステム作りを検討し、発生から利用までを効率的なプロセスで結び体制を構築する。	作物への消化液散布 メタン発酵テストプラント通年運転	散布結果分析報告書等の作成 メタン発酵テストプラントの通年運転の実施	策定されたバイオマス活用計画に沿った取組を進めることにより、石垣市内外の産学連携を一層強化し、循環の島の構築と環境を調和した産業を確立する。 目標 H30 メタン発酵施設整備	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		ものづくり、マーケティング総合支援事業	H27 ～ H29	製造業及び特産品の振興を図ることを目的に、特産品プロモーション(販路拡大を含む)、特産品開発支援、人材育成、原材料確保支援などを総合的かつ網羅的に展開し全体としての効果の発現を目指す。	(1)国内外の都市における特産品プロモーション実施 4回 (2)Webによる販路拡大システム実証 1事業者 (3)特産品加工施設の実証稼働 1カ所 (4)開発商品の製造先確保、商品化、販路獲得 1アイテム (5)ものづくり産業人材育成 1コース(織物) (6)原土の掘削・運搬 2回	(1)メディア(テレビ、ラジオ等)でのPR 各2社 (2)モデルケース1事業者 出荷アイテム3アイテム (3)石垣島産パインアップル使用の加工品 取引先2社 (4)石垣市プロデュース特産品(前年度分含む)4品目 売り上げ30万円以上 (5)作品展示会の開催(1回) (6)原土の使用事業者数 60%増(5 8事業者)	(1)国内外での物産展・見本市への出展を継続し、メディアプロモーションの充実を目指す (2)本市に多い小規模事業者による輸出を可能にする。 (3)平成29年度には売り上げ4,000万円以上を目指す (4)品目数を5品目に増やし、平成29年度には売り上げ40万円以上を目指す (5)ものづくり産業人材育成事業を継続する (6)優良な原土を確保し、窯業の振興に資する	
4		商店街・中心市街地活性化ならびに商業振興事業	H27 ～ H29	「石垣まちなか活性化戦略プラン」のリーディング事業である(仮称)八重山フレッシュマーケットの実証実験を行い、常設化へ向けた基本計画を策定する。現公設市場のリニューアルに向け基本構想を策定する。 また、個別プロジェクトとして商業空間高質化を目的に中心市街地の街灯(照明)の照度等を調査する。	(1)(仮称)八重山フレッシュマーケットの実証実験の実施、基本計画の策定 (2)現公設市場のリニューアル構想づくり (3)街灯の照度等調査の実施	(1)(仮称)八重山フレッシュマーケットの試験的開催及び基本計画の策定完了、実施体制づくり(マネジメント機能の確保) (2)公設市場のリニューアルへ向けたコンセンサス形成、利害関係者の意向把握、方向性を盛り込んだ構想の策定完了 (3)照度等調査によるエリア別現状の把握	(1)実証結果の検証と参画事業者の掘り起しを実施。将来のハード整備へ向けた基本計画づくり、常設後の運営組織体制の検討を行う (2)新公設市場の基本計画、設計 (3)調査結果に基づき照明整備の計画を策定	
4		社会復帰支援モデル実証事業	H27 ～ H28	失業や傷病等で長期間常用就職の機会から離れている生活困窮者に対し、一般企業での常用就職を目標として、就労の機会を提供し職業訓練を行う。同時に就職活動の支援を行い、生活困窮からの脱却を目指す。	対象となる生活困窮者を作業員として、一時的な就労の機会となる本市の主催事業による行事やイベント、また、管理する施設の整備作業等へ派遣し、就労の経験を積みながら段階的に常用就職を達成するための契機とする。同時に履歴書の作成方法の指導やハローワークと連携した求職支援を行う。	10名に6ヵ月間の支援を実施する。一般企業で就職を達成し、経済的に自立することが最終目標であるが、失業や傷病等で社会参加から遠ざかっている対象者の社会的自立を促す目的も備わっている。	(1)事業の周知 事業について広報し、支援につなげる。ハローワークとの連携で、支援対象者となりうる者への事業の案内を行う。 (2)支援体制の強化 様々な支援対象者に対応出来るよう、職業訓練の場となる受入先の開拓を行う。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		伝統芸能・文化発信ホットステーション創出事業	H28～H33	商店街における公共スペースを有効活用し、定期的に市民が郷土芸能ライブの開催等を行える地元での伝統芸能・文化の発信スポットを創出する。また、併せて地元ゆかりのクリエイター等が作品の展示や販売をするイベント等も開催する。	イベント 36回	イベント来場者 1,800名	イベント来場者が商店街に足を運ぶことにより、商店街の活性化に繋げる。	
4		CCRC導入検討事業	H28	都市圏に在住する高齢世代が希望に応じ石垣島に移住し、地域住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるまちづくりを目指す。	基本構想の策定	基本構想の策定完了	基本構想を踏まえ、その後の目標を設定	
4		南ぬ島移住・定住支援プロジェクト事業	H28	移住・定住を支援するプロモーション活動を効果的に実施し、移住者受入れに係る連携体制の構築を図る。	行政と関係団体の官民連携の協議会の設立 移住支援プロモーションの実施 マッチングイベントの企画・実施 定住をテーマにしたテレビ番組の誘致・制作	協議会の開催(5回) 移住支援プロモーションの実施回数 3回 各種イベント参加者のアンケートにおいて「移住を前向きに検討する」回答70%以上	移住定住支援協議会を立ち上げ、受け皿の整備と、プロモーション企画の両輪を進行させ移住定住支援を図る	5月変更(事業追加)
4		地域ポイントカードを活用した新たなゆいまーの創出事業	H28	地域ポイントカードシステムを活用した地域ポータルサイトを創設し、地域のセール情報やイベント情報等の市民や観光客にとってお得な情報の配信を行うとともに、これと連携して、個々の商店が個別に見込み客に誘客を促すサービスシステムを創設する。	決済端末の基盤を有効に活用した地域商店に効果的に誘客を促す仕組みの構築 地域ポータルサイトの創設	地域ポイントカード会員 ・平成27年度比で1.5倍に増加 加盟全店舗の売りに占める電子マネーによる取引割合 ・全体の15%以上 加盟店への来客数 ・20%増加	本システムによる決済データの有効な活用を図り、地域経済の実態や観光客の周遊ルート等の把握・分析するとともに、商店街振興の具体的な企画・立案にも活かしていく。	8月変更(事業追加)
4		食文化発信事業	H28	石垣島の食文化を伝承・発信するために、一般の市民が島由来の食材を活用した「家庭料理」を提供できる場を創出するとともに、地元食材を活用した新たなレシピの開発を行う。	・活動拠点整備および運営 ・島由来の食材を活用した新たなレシピの開発	・営業日数 60日以上 ・来場者数 1800人以上 ・レシピ開発数 5以上	料理教室や食文化に関する講習会の開催、SNSの活用等、食文化発信事業を展開していく。	8月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	離島保育士確保総合対策事業	H28 ~ H29	待機児童解消に必要な保育士を確保するために、保育所等が実施する取り組みについて支援を行うことと、保育士の新規確保を図る。	島外保育士の渡航費・転居費等の支援 潜在保育士の再就職の支援 未就学児を持つ保育士の再就職の支援 保育士養成校の誘致に係る環境整備	島外保育士の確保 県外 20人 県内 10人 潜在保育士の再就職 15人 未就学児をもつ保育士の再就職 10名 ピアノ購入完了10台	待機児童解消を図るために必要な保育士数 70人の確保	10月変更(事業追加)	
5	"石垣産の牛"生産推進事業	H24 ~ H33	肉用牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の導入費用や淘汰費用の一部を助成し母牛群の更新・改良を図る。また、口蹄疫等の家畜伝染病を未然に防止するため、空港、港湾での靴底消毒を徹底し水際対策を強化する。その他害虫の駆除や石垣牛の宣伝及び増頭支援など、肉用牛生産を一体的に推進する。	靴底消毒の実施(空港、離島ターミナル) 優良母牛導入補助の実施 高齢母牛淘汰補助の実施 石垣牛広告を電光掲示 殺虫剤購入費補助の実施 優良肥育素牛への補助実施	口蹄疫等の侵入リスク低減(発生がないこと) 導入120頭 計画に対する進捗率82% 淘汰200頭 石垣牛ブランドの周知 12,500頭への殺虫剤塗布 島内保留優良肥育素牛180頭の育成	全項目とも継続する必要がある 水際対策の徹底 目標:H33年度 500頭 実績:H26年度まで172頭 母牛更新・改良を推進するPRを行い、観光業にも寄与する肉用牛全頭への実施を検討 育成頭数を今後更に増頭	8月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	
5	水産振興事業	H24 ~ H33	沖縄ミーバイ養殖の種苗は、現在沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから種苗を購入し石垣島まで輸送しなければならず、漁業者の負担が大きく経営圧迫になる恐れがある。養殖漁業者の負担軽減を図るため、沖縄ミーバイの種苗輸送支援を行う。	沖縄ミーバイ種苗の輸送支援	沖縄ミーバイ種苗輸送数:60,000尾	(今後の展開方針等) ・沖縄ミーバイ輸送費補助事業: H26~H33まで実施 ・本事業の目標:沖縄ミーバイ生産量を23t(H23)から49t(H33)までの向上に資する。	10月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	
5	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ~ H33	生鮮水産物の生産量の増加に向け、石垣市から沖縄本島への出荷する生鮮水産物の輸送が、陸路のみの輸送費となるよう、支援を行う。	・生鮮水産物の輸送支援(沖縄本島)の実施	・生鮮水産物の輸送量(沖縄本島): 平成28年度 120,127kg	(今後の展開方針等) 生鮮水産物流通条件不利性解消事業:H25~H33まで実施 漁協水揚量2,254t(H24)から2,304t(H33)までの向上に資する。		
5	特用植物利活用推進事業	H26 ~ H28	お土産や食材として需要が高まっているヒハツモドキ(ビパーチ)は栽培技術が確立されておらず、原料の安定供給が課題である。このため、特産品製造原料の安定確保を図るため、平成27年度事業に引き続き技術の導入を実施し、栽培実証内容のデータ化及びマニュアルを作成し6次産業化を推進する。	栽培技術展示圃の設置	・栽培技術展示圃設置完了 ・栽培マニュアルの作成	島ハーブ(ビパーチ)の栽培技術を確立し、原料の安定確保を図る。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
パ	細				H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H28事業内容					
5			農水産物プロモーション事業	H27 ～ H29	本市では、国内において最高品質の熱帯果樹や、牛肉、水産物等が生産される。しかし、首都・関西圏の市場から日本一遠隔地にあることや、商品ロットが少ないことから輸送経費が高い。また、最高品質の農林水産物を販売する期間が限定されることから、より効率的なPRが必要である。農水産物の販路拡大／開拓のための戦略的プランを作成し体制構築を図ると同時に、高級量販店等のバイヤーなどを対象とした本市農林水産物のプロモーション活動を並行して実施し農水産物のブランド力向上に取り組む。	(1)戦略プラン立案検討 (2)県外プロモーション活動	(1)石垣市農水産物プロモーション戦略プラン(仮称)の策定完了 (2)プロモーションを実施する企業数…5社以上、うち取引成立数…3分の1以上	戦略プランが策定されることにより、市、県、JA、生産団体等の役割が明確となり、効率的かつ効果的なプロモーション実施を目指す。さらに、その取り組みをつうじて石垣市産農水産物のブランド価値のより一層の向上を目指す。		
5			島野菜・ハーブの生産・加工・販売推進事業	H28	島由来の野菜やハーブの安定的な生産を推進するとともに、販路確保・拡大に向けた調査を行う。	生産状況及び流通経路調査の実施	生産状況及び流通経路調査の完了			
5			水産加工施設機能強化支援事業	H28	現在の水産加工施設において、新たにモズク塩蔵ラインを設置し、水揚げの効率化を図ることで、生産量を増加させるとともに、モズク養殖業への新規漁業者の参入を促進する。	・モズク塩蔵ライン一式の設置	・モズク塩蔵ライン一式の設置完了	・新規モズク養殖漁業者の参入 目標 H29年度 18経営体 参考 H26年度 15経営体 ・モズク生産量の増加 目標 H29年度 1,500t 参考 H26年度 1,000t	8月変更 (事業追加)	
5			葉物野菜生産推進事業	H28	新たな産業・雇用創出を目的として、LEDと砂栽培による植物工場整備に対し補助を行う。	LEDと砂栽培による葉物野菜生産工場の建設及び葉物野菜の生産・販売を行う。	新規雇用者 8人 年間生産量 11万株(2種) 販売先の開拓 学校給食・病院・市内スーパー3店舗以上	年間を通じて、葉物野菜の安定的な供給が見込めるよう生産効率の向上を図る。	12月変更 (事業追加)	
6			地域防災力強化育成事業	H24 ～ H28	市内の公民館、又は自治会単位で自主防災組織を立上げ、防災倉庫及び救急救助資機材を整備し、地域防災力の強化、育成を図る。	自主防災組織を2カ所立ち上げる。	・各自治会に、自主防災会についての説明会を行い、自主防災組織を立上げてもらう。(現在4カ所の自主防災組織があるが、2カ所増やし、4カ所とする。)	自主防災組織を立ち上げると共に、実際に資機材を活用できるよう訓練及び消火栓操法大会等行って、自主防災組織の強化を図る。	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	防災体制整備事業	H24 ～ H33	本市では、過去に地震・津波による甚大な被害を受けてきた歴史があり、今後起こりうる地震や津波などの災害発生時に、迅速かつ確かな対応を図るため、多種多様な情報伝達をはじめ、住民等の避難行動、災害応急対応、災害復旧復興等の諸活動を円滑に推進するための仕組みを整備する。	防災無線未整備地区及や難聴地区への整備及び改善を図る。また、地震体験車両での震度の体感や防災マップの全世帯及び事業所等へ配布、津波一時避難ビルへの避難標識を整備することで、身を守る行動や津波浸水想定、避難場所等を事前に認識してもらい的確な避難行動に繋る。	防災行政無線整備率:85%(H28 3基整備)累計57基 防災マップ配布:全世帯・事業所等 26,000部 地震体験車両レンタル:1台 3日間レンタル 避難標識整備:7箇所 戸別受信機整備:4台 防災行政無線増設工事実施設計に繋る。	防災行政無線整備:目標67基 防災行政無線を軸にした情報伝達網で、災害時における住民の迅速かつ適切な避難行動を図る。		
6	福祉避難所兼ふれあい交流施設整備事業	H24 ～ H28	災害時において、高齢者や障がい者等の要援護者が、安心・安全に避難生活がおくれるように配慮した「福祉避難所」の整備を行う。	現建物撤去 境界線測量実施	現建物撤去完了 境界線測量完了	H29年度 建設工事予定	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	
7	気になる子のすこやかな学び支援事業	H25 ～ H33	特別に支援を必要とする乳幼児期から青年期に対して、専門的立場から支援するために臨床心理士、子育て相談員を雇用し、必要に応じて各保育所・幼稚園や学校、関係機関に派遣し、学校・家庭、関係機関の支援体制の充実を図る。	臨床心理士2人配置 幼稚園に子育て相談員5人配置	・教育相談件数:70件 ・子育て相談件数:250件	・平成33年度までは本事業を継続する。 ・臨床心理士については、本事業において専門的立場からの支援効果を検証し、本事業終了後は、本務採用を検討する。		
7	「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	H24 ～ H33	各種学力・学習状況調査の結果が全国や県と比べ低い状況がある。そのため、学力向上を喫緊の課題としている。中でも学力調査の無回答率が高く、学習意欲の向上、一人一人の個に応じた対策が必要である。そこで児童生徒の個に応じたきめ細かな学習を支援するため、学校教育支援員を配置する。また、小学5・6年生による外国語活動が必修科目になったことに伴い、中学校だけでなく、小学校へ外国語学習支援員(ALT)を派遣する。そして、小中学校教諭の指導力、授業力向上のため、学力先進地域視察研修を行う。このような取組から児童生徒の個に応じた学習支援が充実し学力向上が推進できる。	・学校教育支援員支援員配置数 35名 ・外国語学習支援員配置数 小学校:3名、中学校2名 ・学力先進地域視察研修への派遣10名	・本市で実施している学力到達度調査の無回答率を1.0%下げる。 ・全国学力・学習状況調査による正答率の5%UPさせる。	学校教育支援員の配置やICT機器の活用により、学校の状況に対応した、個に応じた適切な学習支援を行うことが可能になる。 また、教員の指導力・授業力が向上することで学習意欲を高め学力向上が期待できる。 生きた英語に多く触れることにより、英語教育、国際理解教育がより推進され、英語学習のモチベーションの向上とグローバルな時代に対応できる人材育成に寄与する。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ H33	市外・県外で開催される大会等へ参加する際に生じる保護者負担を軽減し、離島の児童・生徒が派遣に行きやすい環境づくりを目指すため、市が派遣費の一部を支援する。	・児童生徒の派遣支援	・派遣児童生徒数：4,300名	[H28～H33年度] 各年度4,300人 累計：25,800人 沖縄本島と離島の児童生徒には、派遣に係る保護者の費用負担にかなりの格差がある。 市が派遣費の一部を補助し格差を是正することで、保護者が子供を派遣に行かせやすい環境づくりを目指す。		
7	ユースアドバイザー事業	H24 ～ H33	不登校、引きこもり等の児童・生徒及び社会生活を営むうえで困難を有する若者の自立支援のため、ユースアドバイザーを配置し支援体制を整備する。	ユースアドバイザーの配置：3人	児童生徒の学校復帰：2名（1名） 若者の自立（就労等）：2名（1名） （）内はH26実績	児童生徒については、年度替わりの支援空白期間の解消を図る。 若者支援については、子ども若者支援地域協議会と連携を密にし、支援の継続、連携を図る		
7	子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業	H26 ～ H33	石垣市に居住する社会生活を円滑に営むうえで困難を有する子ども若者の自立に向け、総合相談窓口を開設してワンストップ相談対応を行うほか、関係機関で構成する「石垣市子ども若者支援地域協議会」の円滑な運営及び支援機関の連携を図り、包括的、継続的な相談並びに支援等の体制を整備する。 また、常に実態やニーズの把握に努め、適切な相談並びに支援体制の整備を図る。	・子ども・若者相談員の配置：1人 ・代表者会議：年2回 ・実務者会議：年4回 ・個別相談会：年4回 ・スパー・ハイズ：年6回 ・広報啓発：随時 (市広報誌掲載のほか、ポスター、チラシ等を随時作成、配布する)	相談件数に占めるリファラーの割合：70% (38%) ()はH26年度実績。	特にひきこもり等の客観的にみて支援を要するが自発的な援助を求めることができない者等を支援の入り口である総合相談窓口へ誘導する等の早期発見、早期支援体制の整備を図る。 また、対象者抱える課題を解決し、目的達成のために必要な具体的支援やサービスを提供する社会資源の掘り起しを図る。		

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	情報教育充実事業	H24 ～ H33	教育の質の向上、情報教育の環境整備として、情報教育器機の整備を行う。教育の質の向上として、デジタル教材等を整備し、機器活用を支援するためにICT支援員を派遣する。ICT教育環境及び情報教育への機会を充実させ、学力向上に努める。	・デジタル教科書(中学校9校全学年分:国語、数学、英語、理科、社会) ・学習プリント作成問題データベースを整備(小学校20校全学年分:国語、算数、理科、社会、中学校9校全学年分:国語、数学、英語、理科、社会) ・学校ICT支援員(4名)による各学校への巡回及び研修会で、ICT機器の利用促進を図る。	・沖縄県学力到達度調査(2月実施) 【小学校5年:平均正答率】 平成28年度:国語、算数とも県の平均正答率を超える。 【中学校2年:平均正答率】 平成28年度:全教科で県の平均正答率を超える。	ICT機器整備の基盤となる環境整備(中学校無線LAN)を推進し、電子黒板やタブレット等を連携させた総合的な運用を検討する。また、費用対効果の高い事業実施を図り目標達成を実現する。		
7	平和推進事業	H24 ～ H33	先の大戦の記憶を風化させず後世へつなぐため、「平和を考えるフォーラム」等の開催や沖縄慰霊の日に「八重山戦争マリア犠牲者追悼式」、「全戦没者追悼式並びに平和祈念式」を行う。また、次世代を担う児童生徒を対象に平和の大切さについて考え学ぶ機会をつくる。	平和フォーラム等開催:3回 広島・長崎への平和大使派遣:4名 ○八重守之塔敷地整備実施	平和フォーラム等参加者:700人、派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者:100% ○八重守之塔敷地整備完了	沖縄慰霊の日の「追悼式並びに平和祈念式」、「平和フォーラム」、「平和大使派遣」を継続実施する。	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)	
7	姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ H33	国際性豊かな人材育成を図ることを目的に、市内中学生を姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ派遣し、国際交流や異文化体験、平和学習の機会を与える。	カウアイ郡中学生派遣:3名 報告書作成:2,000部 市主催イベント協力	派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者:100% 報告書を見て、英語や外国に以前より興味を持った生徒の割合:70%	カウアイ郡派遣、報告書作成等を継続実施し、派遣者には市主催の多文化共生イベントに協力してもらい、国際化のすそ野を広げることにつなげる。		
7	いきいきスポーツ活動助成事業	H26 ～ H30	指導者派遣事業については、トップアスリートとして経験等を有する優れた指導者、又そのレベルの指導者を招聘し、本市ジュニアアスリートの競技力向上を推進するとともに、地元スポーツ指導者の資質向上を図る。スポーツ交流においては県外市町村の青少年と、民泊、スポーツを通して交流を図り、お互いの文化、生活の違いなど体験し交流を深める。	【スポーツ教室】 ・児童生徒を対象にしたバレーボール教室及び駅伝(長距離走)教室、合同練習、指導者講習会、気候に合った練習法の研究。 【友好都市スポーツ交流】 ・稚内派遣事業事前調査、稚内派遣児童生徒募集、感想文提出、報告書作成	【スポーツ教室】 ・スポーツ教室各10回(1回2教室) ・合同強化練習 ・指導者講習会各3回(計6回) 【友好都市スポーツ交流】 ・派遣事業(17名)(団員13名、リーダー1名、指導者3名)	バレーボールベスト、駅伝共に県大会上位入賞を果たし、九州大会へ出場する。また、スポーツ交流事業について、県外地域の文化・伝統に興味を持つ児童生徒が80%以上を目指す。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			冠鷲プロジェクト地域・家庭教育支援事業	H26 ～ H33	スポーツ少年団父母会、PTA有志、退職教員、将来教職を目指している高校生ボランティア等の協力を得て、学校の授業終了後から部活動が始まるまでの隙間時間及び長期休暇等を利用した学習支援活動を行い、授業に対する予習・復習や家庭学習の習慣化を促進し、本市児童の学力向上に資する。	・事業実施団体数:24団体以上 ・参加児童数:650人以上	・アンケートを実施し、この事業が家庭学習の習慣化に寄与しているという回答の比率:70%以上	昨年度以上に各地域の自治公民館における学習支援が実施できるよう、連携・協力を進めていきたい。 また、中学生への学習支援の取り組みを強化していきたい。	
7			石垣市学びの基礎力育成支援事業	H28 ～ H30	指定市立幼稚園に学びの基礎力育成支援アドバイザーを配置し、小学校校区内の保幼小の連携体制を構築するため、支援が必要な施設を巡回することにより、状況の把握及び教育支援活動の充実に努め、学びの基礎力を育むと共に、幼児教育の充実と小学校への円滑な移行を図る。	接続期カリキュラムの策定(チェックリストから見た課題の検証) 学びの基礎力推進協議会の開催	幼小連携実施達成率 100% 保幼小連携実施達成率 60%(前年度) 90%へ 接続期カリキュラム作成について アプローチカリキュラム作成 7園 18園へ スタートカリキュラム作成 11校 16校へ	接続期カリキュラム100%達成することで、幼児期の学びを小学校の学びにつなげるなど学力の向上が期待できる。	
7			石垣市小中学生交流事業	H28 ～ H33	国内をはじめ、アジアや、世界の人々との交流をすることにより、次代を担う国内外で活躍できる人材の発掘と、将来、本市の活性化の核となる人材の育成を図る。	参加児童 ・蘇澳鎮との交流:12名	・アンケートを実施し、交流の参加により意識の高まりがあった、変化があったという回答の比率:70%以上	市・県・学校に、現在行われている修学旅行の訪問先を、これらの交流先とするよう働きかけ更なる交流の輪を広げるよう取り組みたい。	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)
7			国内外大学インターンシップ推進事業	H28 ～ H32	夏季(7～9月)の観光トップシーズン等に国内外の大学生を主に観光分野のインターンシップとして受け入れ、併せて日本語語学研修や、地元の観光産業を担う人材や国内大学生等との交流等を体験できるプログラムを創出する。このことによって、新たな人の流れをつくり、人材の育成・確保につなげる。	観光、商工、教育、文化、行政等の関係者からなるインターンシップ推進協議会(仮称)による連携体制を整備。	・海外からのインターンシップ年間30人以上 ・国内大学からのインターンシップ年間30人以上	観光分野において、インバウンド観光客への対応力向上と、トップシーズンにおける人材確保を同時に志向する。 大学生等の長期滞在による様々な交流や体験を通じて、石垣の魅力への理解を更に深めてもらうとともに、その国内外への発信やリピーター創出にもつながる。	
7			専門人材育成事業	H28 ～ H33	観光や教育に関し専門的な技術や知識を持った人材の育成を目的として各種講座を開催する。	・一般・教職教養、専門教科試験対策講座の実施 ・外国語講座の開催 ・外国人観光客向け人材バンク業務	・教員採用試験対策講座受講者数 ・小学校 70人 ・中学校 50人 ・教員採用試験合格者数 ・小学校 7人 ・中学校 2人 ・人材バンクの活用(3件)	教員採用試験対策事業についてはH33年度まで事業を継続し、県平均合格率を上まわる。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			石垣市発達支援システム事業	H28 ～ H33	発達に支援が必要な「気になる子」について、乳幼児期から就労支援までライフステージに応じた一貫した支援をするため、臨床心理士による発達相談等を実施し、関連課等(保健・福祉・教育・就労)の連携を密にし、切れ目のない適切な支援を行なう。	・島外臨床心理士の渡航費・転居費の支援	島外臨床心理士の確保 県外2名	・臨床心理士については、本事業において専門的立場からの支援効果を検証し、本事業終了後は、本務採用を検討する。	12月変更(事業追加)
7			学校給食施設環境改善事業	H28	亜熱帯気候地域である沖縄県特有の強烈な日差し等によって建物内の温度・湿度が上昇し、給食調理作業時の衛生管理・安全面に支障をきたす恐れがあることから、給食施設に冷房機を設置し学校給食の安全性及び調理員の衛生管理の確保を行う。	単独調理校の調理室へスポットクーラーの整備	スポットクーラー整備完了(9台)	安心安全な給食供給環境の維持を行う。	2月変更(事業追加)
8			国際定期便誘致事業	H24 ～ H33	新石垣空港国際線施設を活かした就航路線の増便及び定期便化を実現するため、台湾、韓国、香港等の東アジア圏域を主な開拓市場とし、台湾以遠の各国も視野に入れた本市の認知度向上を図るプロモーション活動を実施する。また、石垣＝台湾間の通年運航の達成を目指して、冬季に交流基盤を図る取り組みを行う。	・香港への誘客PR業務 ・石垣島誘客イベントの開催 ・アジアゲートウェイ交流事業の実施 ・誘客パンフレットの制作	香港市場を対象に直行便継続就航へつなげるための誘客PRイベントの実施 台湾路線における就航回数の前年比増	南ぬ島石垣空港国際線施設の活性化を目指した、継続したプロモーション及びセールス活動の取り組みを沖縄県と連携して取り組む。	8月変更(計画変更に伴う各目標変更) 2月変更(計画変更に伴う各目標変更)
8			新石垣空港国際線旅客施設強化事業	H27 ～ H29	八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、南ぬ島新石垣空港国際線旅客ターミナルを本格整備することによって、外国人観光客受入体制を整える。	実施設計完了後、積算及び建築確認申請業務を経て、建設工事の発注を行い、工事に着手する。	建築工実施(進捗率40%)	平成28年度:建築工事(進捗率40%) 平成29年度:施設整備完了 平成30年度:供用開始	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			浦添市来り来り推進事業	H24 ～ H29	市既存の観光資源の活用及び新たな観光資源を創出するため、課題抽出及び取組施策に向けた調査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 屋富祖・オリオン通り周辺地区 <ul style="list-style-type: none"> 協議会開催(2回程度) 地域住民アンケート調査実施 道路整備事業手法、周辺土地利用のあり方を具体化させるための基本計画(案)検討 シンボルロード沿線地区 <ul style="list-style-type: none"> 有効な沿道土地利用へ誘導、整備を行うための基本構想(案)検討 港川道路シンカー周辺地区 <ul style="list-style-type: none"> 地域住民ワークショップ開催(2回程度) まちづくり事業の導入に向けた基本構想策定検討 	<ul style="list-style-type: none"> 屋富祖・オリオン通り周辺地区基本計画(案)作成の完了 シンボルロード沿線地区基本構想(案)作成の完了 港川道路シンカー周辺地区基本構想策定の完了 	(今後の展開方針) 屋富祖・オリオン通り周辺地区・整備計画(案)の作成(H29年度) シンボルロード沿線地区・基本構想の策定(H29年度) 港川道路シンカー周辺地区・整備計画(案)の作成(H29年度)	
1			てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業	H24 ～ H33	スポーツツーリズムを推進し、本市の歴史・文化、地域特性を活かした交流の輪を広げ、一人ひとりに合わせた「生きいき生涯健康づくり」を推進するため「てだこウォーク」を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 「てだこウォーク～てだこの都市・浦添 あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク～」の開催 新聞、ラジオを活用したプロモーションの実施(新聞掲載2回、ラジオ放送50本以上) 市内小中学校参加の推進 歴史ガイドによる史跡紹介 コースの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> てだこウォーク参加人数 7,800人(平成26年度 7,419人) 	(今後の展開方針) てだこウォーク参加人数目標: H30年7,900人 H33年8,000人以上	
1			ありんくりんクリーン事業	H24 ～ H33	史跡浦添城跡などの古城跡や中頭方西海道及び普天満参詣道などの歴史の道、石橋、歴史上の人物の墓などのほか、地域の御嶽や湧水等を観光資源として活用するために、それらの文化財の環境整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の清掃:1箇所 文化財の除草等環境整備:10箇所 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財見学者数:2,500人 	H33年度(目標値) 文化財見学者3,000人をめざす 基準値=H23年度:2,204人	
1			歴史・文化ガイド強化事業	H25 ～ H33	国指定史跡「浦添城跡」をはじめとする市内の文化財を浦添市の観光資源としての活用推進につなげるため、市内の歴史・文化ガイド強化施設において、受入体制の充実および情報発信の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 市内ガイド施設へのガイドの配置:2名/312日 文化財案内ガイドブックの作成: 繁体字 2,000部 簡体字 2,000部 	<ul style="list-style-type: none"> ガイド施設入館者数:7,200人 参考: H24～26年度平均値 ガイド施設年間入館者数:6,718人 	観光客の受入体制の強化を実施すると共に、文化財案内の充実および多言語化を推進し、更なる情報の発信強化を図る。 [ガイド施設入館者数] 基準値:H24年度(5,563人) 中間値:H30年度(7,600人) 目標値:H33年度(8,200人)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24～H33	都市モノレール延長整備や西海岸地区の都市機能用地の埋立など今後、都市景観に大きな影響をもたらす大型の社会資本整備が進む地区を中心に、普遍的観光資源である『沖縄らしい美しいまちなみ景観』の創出、保全、再生を図る。	シンボルロード沿線地区(浦添警察署～安波茶交差点)の景観地区素案の検討 都市モノ沿線の屋外広告物基準案の検討 都市モノ沿線景観地区のガイドラインの検討 てだこ浦西駅周辺地区の地区計画素案の検討 西海岸都市機能用地地区の景観地区都市計画決定 港川地区の地区計画素案の検討 風景づくりに係る人材育成の実施。風景学習対象小学校1校4年生90名 まちなみ景観修景支援 2地区 景観まちづくり活動団体支援 3団体	・シンボルロード沿線地区(浦添警察署～安波茶交差点)の景観地区素案策定完了 都市モノ沿線の屋外広告物基準案策定完了 都市モノ沿線景観地区のガイドライン策定完了 てだこ浦西駅周辺地区の地区計画素案策定完了 西海岸都市機能用地地区の都市計画決定完了 港川地区の地区計画素案策定完了 良好な景観形成の取り組みを担う人材の育成。 修景件数18件 ・歴史探検ウォーク等開催 4回 ・自然体験学習参加者数 20名 ・自然観察ガイド養成講座 30名 ・仲間重点地区内のまちなみ景観修景活動 40名	【事業目標(完了予定H33)】 ・景観地区指定数2地区 (基準値:平成24年0地区) ・景観重要公共施設指定数2施設 (基準値:平成24年0施設) ・まちづくり活動支援団体数4団体 (基準値:平成24年0施設) 【事業目標に向けた展開】 H29～H33 ・景観地区や景観重要公共施設指定に向けた調査業務の実施 ・風景づくりに係る人材育成の実施 ・まちなみ景観修景支援の実施 ・景観まちづくり活動団体支援の実施	
2			地域資源復元推進事業	H24～H33	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、文化・観光資源の振興を図る。そのために、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルートの整備を行う。	史跡安波茶樋川の復元整備工事: 312.95㎡	史跡安波茶樋川の復元整備工事完了	・歴史の道のルート上へ石畳舗装工事を実施(H29～H33) ・市内指定文化財の復元整備を実施 (H29:1件・クバサーヌ御嶽、H32:1件・仲間火叉神)	
2			浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業	H24～H29	浦添グスクの麓に位置する仲間地区の主要な道路について、通常舗装(黒舗装)から、コーラル舗装をイメージした「カラーアスファルト舗装」を施し、城下まちにふさわしい道路景観の創出を図る。	仲間地区主要道路の美装化工事 カラーアスファルト舗装:450㎡	平成28年度末 整備率 87% 全体計画 7,047㎡ 平成27年度末時点 5,697㎡整備済 平成28年度末時点 6,147㎡整備済予定	(今後の展開方針) 沖縄らしい風景づくりを推進するため、道路美装化を継続的に実施していく。 H29:900㎡	
2			カーミーゼ地区景観整備基本構想・基本計画策定事業	H28	良好なサンゴ礁群と砂浜が残る空寿崎(カーミーゼ)地区周辺において景観整備基本構想・基本計画を策定し、魅力ある海岸空間の創出を図る。	・基本構想・基本計画の検討 ・住民ワークショップ(3回) ・庁内検討委員会(3回)	空寿崎(カーミーゼ)地区周辺の基本構想・基本計画の策定完了	(今後の展開方針) 策定した基本構想・基本計画を基に、海岸利用空間の整備を図る。 H29～H30:基本設計、実施設計 H30～H32:用地取得 H31～H33:工事	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		悠々ロマン漆とアートに出会うまち浦添推進事業	H24～H28	琉球漆器の歴史や文化、アジアの美を紹介する浦添市美術館において、漆芸や移民関連の企画展開催、常設展の充実などを図り、戦略的観光振興を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> 企画展の開催 4回 漆キット製作 広報宣伝事業(ラジオCM、モノレール・京急広告等) 展示室環境改善事業実施(LEDスポット50個購入) 収蔵品充実事業(作品2点購入・1点修復)実施 講演会実施 10回 常設展音声ガイド(日英中3種)3回 企画展パンフレット印刷500部、年間スケジュール印刷9,000部、企画展チラシ印刷30,000部 看板・パネル作成(展覧会2回・常設展3回) 作品撮影35点 	年間来館者数: 70,000人 常設観覧者数: 3,000人 参考: 平成22～26年度平均値 年間来館者数 67,369.6人 常設展観覧者数 2,694.2人	H29:「うるし不思議物語展(仮)」 「漆芸作家展」等の実施、作品購入・修復、展示室環境改善、講演会等の実施、広報宣伝実施など (事業実施後の効果) 魅力ある常設展や展覧会実施により、来館者を増やし観光振興を図る。	
4		浦添「よりみち」観光振興事業	H24～H28	浦添市への観光客誘客の為に、物産を利用した観光展の実施及び「観光客ニーズ」に沿った観光商品の磨き上げを行う。併せてプロ野球キャンプを生かした観光客誘客事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 物産と観光展の実施(4回) 着地型観光商品の調査(海洋調査1件) 着地型観光商品の磨き上げ(修学旅行へのプラン・平和学習作成)2件 観光商品の事業所向け提案(修学旅行プラン)2件 ヤクルトファンおもてなしステージ(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> 物産と観光展販売額 4,000千円(H25年度 1,600千円) 着地型観光商品の調査 1件 着地型観光商品の利用者数 1,432人(H27年度見込 1,544人) 観光商品の磨き上げ 2件 観光商品の販売締結 2件 ヤクルトファン誘客 18,000人(H26年度 18,000人) 	平成29年度以降については、観光コンテンツの拡充及び広報を行い、着地型観光商品のバージョンアップを図る。市産品販売を行う事での観光PRについては、観光客に焦点をあてるのはもちろん、市民への認知度も上げていく。	
4		来て・見て・楽しい”まるごと浦添”観光情報発信事業	H24～H28	観光客を誘客するため、これまで開発してきたポータルサイトの更なる機能拡充、コンテンツの高度化・創出・情報発信強化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイトの機能拡充 コンテンツの高度化・創出・情報発信強化、インバウンド旅行者への実態調査 スイーツや麺を活用した誘客事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ポータルサイト訪問者数 170,000人(H26年度実績 149,845人) ポータルサイトページビュー数 360,000PV(H26年度実績 347,024人) 取材掲載件数 200件(新規と拡充含) 誘客事業の実施 2,500人(H26年度実績 1,400人) 	(今後の展開方針) 平成29年度以降については、更なるコンテンツの掘り起しと、ポータルサイトの内容を拡充することで、観光客への利便性を高め、誘客を図る。 (事業実施後の効果) ポータルサイトで情報発信を行い、観光客へ情報を届けることで、誘客へと繋がる。また、誘客事業を実施することで、誘客が図れる。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			島桑オジー & オバーで観光産業・街おこしプロジェクト	H24 ～ H28	沖縄の桑品種である「シマグワ」を利用した特産品の開発・普及を、年々増加する高齢者労働力を活用し推進することで地域の活性化を促進する。	・桑の栽培 ・商品製造 ・新商品開発2商品 ・販売促進	事業に要する桑園契約面積 8,800坪 乾燥桑葉原料 2,400kg 桑関連商品合計販売額 12,000千円 基準値: 事業に要する桑園契約面積(H24年度) 3,836坪 乾燥桑葉原料(H25年度) 360kg 桑関連商品合計販売額(H24年度) 90千円	スケールアップした内容で事業化モデルの構築を目指す。 【H33年度(目標値)】 事業に要する桑園契約面積8,800坪 乾燥桑葉原料6,000kg 桑関連商品合計販売額40,000千円	
4			浦添市農業フェスタ支援事業	H24 ～ H28	県内農作物・特産品、浦添特産品である島桑を原料にした桑茶等の販売を行っている農協まつりを活用し、市民だけでなく観光客も楽しめるまつりを開催を支援することで、観光振興・産業振興を図る。	農協まつり開催支援 (支援概要) 集客イベント開催 黒糖作りコーナー 会場整備の実施 広告活動	農協まつり来場者数:3,000人 (平成26年:3,178人)	今後は農協まつり来場者数が3,000人を維持できるよう活動を行う。	
4			浦添市観光振興計画策定支援事業	H28 ～ H29	顕著に推移する沖縄県の観光産業を下支えするため、浦添市の観光振興の指針となる浦添市観光振興計画策定に向けた各種支援業務、調査業務及び計画策定を行う。	観光振興計画策定に向けた調査業務 1件 観光振興計画策定に向けた支援業務 1件	調査・支援業務報告書の完了 1件	・調査・支援業務報告書に沿って観光振興計画を策定する。また、計画の施策を実施し、本市のさらなる観光振興を目指す。	10月変更 (事業追加)
5			スーパー・コミュニケーション・スクール事業	H24 ～ H28	国際社会に対応できる人材を育成するため、英語と中国語を集中的にマスターするための教育機関として、スーパー・コミュニケーション・スクールを設置し、人材の育成を図る。	・スクール運営 語学学習 522時間 企業研修 1回 就職支援 15人 郷土学 8講座	・中国語検定試験3級の全員取得(15人) ・第3期生のうち半数(8名)が中国語検定試験2級を取得 ・卒業生の就職率100%	第3期生を語学に長けた人材へと育成し、全員を就職へと導くことを通じて、観光等の産業振興を図る。	
5			創業者定着支援事業	H28 ～ H30	浦添市内における雇用の創出及び就労機会を創出するため、若年者、女性、退職後の創業を希望する創業予定者や創業間もない方々に対して、創業・ビジネス情報を発信し、創業・ビジネスセミナーを実施する。また、市で支援する対象者を決定するため、創業コンテストを実施する。	・創業・ビジネスセミナー等の開催 6回 ・創業・ビジネスコンテストの開催 1回	・創業・ビジネスセミナー等への延べ参加人数 200人 ・支援対象者の決定 5件	【事業目標(完了予定H30)】 本事業で支援した事業者の5年後生存数、5件中3件を目指す。 市内空き店舗への入居件数 5件 (今後の展開方針) 今年度、支援対象として決定した業者をITを活用して2年間支援する。支援しながら得られた情報を分析後、市が保有し、活用することで、市内での創業、創業後の事業の定着を支援していく。	8月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		浦添市企業立地・雇用施策方針策定事業	H28 ～ H29	本市の雇用環境の状況を把握し、雇用施策の改善・充実のため、雇用・企業立地に関する基礎調査を実施し、「企業立地・雇用施策方針」を策定する。また、基礎調査の結果をもとに、浦添市の企業立地の方向性を探るため、企業立地フォーラム等を行い、企業立地への機運を高める。	・企業立地・雇用施策方針策定のための基礎調査実施 ・企業立地フォーラムの開催 1回	・企業立地雇用施策方針策定にむけての、本市の現状、課題の把握 ・企業立地フォーラムの参加者 100人	【事業目標(完了予定H29)】 策定した指針をもとに、本市独自の雇用環境改善に向けた取り組みを推進していく。	8月変更 (事業追加)
6		那覇港総合物流センター整備事業	H25 ～ H30	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、従来型物流の高度化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	・ランプウェイ躯体工事の実施 ・物流センター本体部基礎工事の実施 ・構造規模：鉄筋コンクリート造・一部、鉄骨造 ・建築面積：1.5ha ・延べ面積：4.6ha	ランプウェイ躯体工事の完了 物流センター本体部基礎工事の完了	【事業目標(完了予定H29)】 総合物流センターの整備(H29) 【整備後の活用見込み】 那覇港の取扱貨物量(H33)： 2,840万トン (那覇港の取扱貨物量(H26)： 1,032万トン)	
6		臨港道路浦添線無電柱化事業	H27 ～ H30	那覇港浦添ふ頭地区の臨港道路浦添線において、観光立県沖縄のウォーターフロント景観の向上及び災害に強い安心安全な港まちづくりに向けて、無電柱化を行う。	入線に関する委託業務(補償)及び入線工事の実施(補償)。	入線に関する委託業務の完了(電線管理者への補償) 早期の事業進捗を図る。	【今後の展開方針】 入線工事(本管部)の完了(H29) 観光立県沖縄のウォーターフロント景観の向上及び災害に強い安心安全な港まちづくりを図る。 那覇港臨港道路浦添線無電柱化区間：1.5km	10月変更 (事業追加)
6		那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業	H28	粟国村、渡嘉敷村、座間味村のフェリーが係留する泊ふ頭の各岸壁に、接岸中の船舶の電力供給用として陸上電力供給施設を設置する。	陸上電力供給施設整備 3基	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備工事年度内完了	【今後の目標】 良好な港湾環境の継続的確保	10月変更 (事業追加)
6		冷凍冷蔵コンテナ用電源整備整備事業	H28 ～ H29	現在、新港ふ頭の国際コンテナターミナルには、冷凍食品等低温輸送用コンテナのため既存のリーファー電源が設置されているが、年々増大している冷凍冷蔵コンテナの需要に対応するため、さらなる増設を行う。	リーファー電源の実施設計 リーファー電源工事(10口分)	リーファー電源の実施設計完了 リーファー電源工事(10口分)完了	【事業目標(完了予定H29)】 リーファー電源の整備 電気室増築工事の完了	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ~ H33	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会で活躍できる体制を強化するため、全国大会(ブロック大会含む。)に参加する児童生徒(大会登録選手に限る)を対象として、大会開催地までの渡航に必要な費用の一部を支援する。	・県外大会等派遣支援の実施	・大会等派遣生徒数:延450人/年間	(今後の展開方針) H28年度~H33年度・年間:延450人 ・事業目標(指標):県外派遣機会の拡充や他県の児童生徒と交流し、技術向上や健全育成を図るとともに経済的負担軽減を図る。	
8		エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24 ~ H33	将来の浦添市、エコアイランド沖縄を支えていく人材の育成を図るため、市内全11小学校の5年生全員を対象に、農漁村部での2泊3日の宿泊体験学習を行う。	農漁村での2泊3日の宿泊体験学習の実施 全11小学校の5年生全員約1250名対象	児童意識調査におけるキャリア発達との関連の強い14項目で「あてはまる」と回答する児童の割合増加 5%以上増加 (事前調査5月、事後調査9月実施)	<今後の展開> H29~H33 宿泊体験学習 民泊を含む体験活動の充実 宿泊体験学習の事前、事後指導の計画的な取り組みによるねらいの達成、充実度の向上 <事業実施後効果> 職業に対する視野の拡大 自然環境についての興味、保全への意欲の増大 豊かな人間性 キャリアの発達	
8		学力等底上げ推進支援事業	H24 ~ H33	各小中学校へ学校教育支援員や日本語教育支援員を配置し、児童生徒の学力の底上げを図る。	学校教育支援員 ・小学校 22名(各校2名) ・中学校 10名(各校2名) 日本語教育支援員 ・4名	学校教育支援員・日本語教育支援員 全国学力調査での全国平均の差 ・小学校 算数 0ポイント(全国平均並み) ・中学校 数学 -5ポイント(2ポイント改善) 4月本調査と9月追調査の正答率30%未満の子の割合 ・小学校:4月の全力学力調査における正答率30%未満の子の割合を9月の追調査では半減させる。 ・中学校:4月の全力学力調査における正答率30%未満の子の割合を9月の追調査では半減させる	<今後の展開> 平成29~33年度 学校教育支援員等の派遣 ・学校教育支援員 H28~H33年度まで学校教育支援員を継続配置し、全国平均との差が継続的に0以上になるように学力の底上げを図ると共に、学力の二極化の改善を図る。 ・日本語教育支援員 支援を必要とする児童生徒数が増加傾向にある。事業を継続し、支援を続けていく。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		課題を抱える児童生徒支援事業	H26～H33	不登校児童生徒の登校復帰及び社会的自立を支援するため、各種相談員及び自立支援員を配置する。また地域の人材を活用し、あそび・非行傾向生徒の居場所づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理相談員1名 教育相談員 6名 青少年相談員 10名 教育相談支援員 16名 生徒サポーター 7名 青少年指導員 35名 自立支援室設置 自立支援員 3名 軽自動車 2台リース 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒数前年度比 10%減 H28年度不登校児童数45名以下 H26年度50名 H28年度不登校生徒数162名以下 H26年度180名 不登校児童生徒の登校復帰率 60% H28年度不登校児童30名復帰 H26年度不登校児童数50名を分母に算出 H28年度不登校生徒108名復帰 H26年度不登校児童数180名を分母に算出 遊び非行型生徒の問題行動発生件数の減少 H28年度問題行動発生件数120件以下 H26年度134件 	H29年度:教育相談支援員の勤務時間数増により、不登校の兆しがある児童生徒の支援を強化する。事業終期のH33年度において、不登校児童生徒の出現率及び中学校の不登校生徒に占める遊び非行型生徒の割合が全国平均となることを目指す。	
8		適応教室適応指導員配置事業	H26～H33	不登校児童生徒の学校復帰を支援するため、個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談などの支援活動を行う指導員を適応指導教室に配置する。	<ul style="list-style-type: none"> 適応指導教室に適応指導員2名配置 適応指導教室入級児童生徒数:5名以上 不登校児童生徒保護者交流会の年3回実施 	<ul style="list-style-type: none"> 適応指導教室入級児童生徒全員を学校に足を向かせる。 適応指導教室入級児童生徒の支援期間中の登校率45%以上 [支援登校率 = 支援登校日数 / 総支援日数] 	H29～33:適応指導員2人/年 (目標値) 支援期間中の登校率44%(H25) 50%(H33)	
8		ICTを活用したわかる授業構築を支援するためのIT指導員派遣事業	H26～H33	わかる授業の構築(情報活用能力の向上)を図るため、教育用PC、電子黒板及び、実物投影機、情報端末などのICTを活用した授業を支援するIT指導員を学校に派遣する。	<ul style="list-style-type: none"> IT指導員3名 各校(16校)に年間30日程度派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した授業の割合 小学校36%(H26 35%) 中学校24%(H26 23%) 教員のICT活用して授業を行った人数の割合 小学校で75%(H26 74%) 中学校で65%(H26 61%) 	H29～33:IT指導員:3人/年度 (目標値) ・小中学校の各学年におけるICTを活用した授業を総時数に対し、小学校40% 中学校30% ・ICTを活用して授業を行なった教員 78%(H29) 82%(H33)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ~ H30	浦添市の児童生徒が、ICT機器を活用して主体的に学習するための環境を整備し、児童生徒の学力向上、情報活用能力の向上に資する。	・ICT支援員2人をモデル校に派遣(業務委託)	モデル校3校について ・県到達度調査算数数学(小3~中2)の結果 H27(2月) H28(2月)同一母集団 県平均との差を+1ポイント以上 ・児童生徒の情報活用能力向上 タブレット端末で自分の意見を発表 児童生徒の6割以上(H26 1割程度)	H29: 機器整備、ICT支援員 H30: 機器整備、ICT支援員 (最終年度の目標) ・算数数学の検査結果が全国平均並になる。 ・児童生徒の情報活用能力を向上させる。	
9		浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ~ H33	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添市出身者子弟を招聘し、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献する人材を育成する。	南米移住者子弟研修生受入:5人 ・世界のウチナーンチュ大会への参加 ・地域との交流 ・海外浦添市出身者への浦添市紹介 ・帰国後の現地報告会の開催	研修生を通じて浦添・沖縄または移住先国への理解を深めた人の割合 90% アンケート先 ・県内で交流した際の交流相手方 ・移住先国の浦添市人会会員	[H29~H32] 研修生の受入 2人/各年度 [H33] 研修生の受入 6人 第7回世界のウチナーンチュ大会に合わせて研修生を招聘し、大会に参加した浦添市出身者と浦添市及び地域との架け橋として活動する。	
10		浦添市学童っ子応援プロジェクト	H24 ~ H33	保護者の負担軽減を図り子育て環境を整備するため、公的施設に入居していない学童クラブに対し、公的施設移行までの間、支援を行う。	学童クラブへの支援	学童クラブへの支援件数:15件	H29~33年度:17件 (実施後の効果) 保護者の負担軽減及び学童クラブの運営支援を行うことで、子ども達の居場所づくりや環境づくりを図ることができる。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10		公立幼稚園給食導入事業	H28 ~ H31	子育て支援のため、公立幼稚園において給食導入に向けた施設整備等を行い、子育て環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> 給食受室整備に係る実施設計の実施 (浦添幼稚園・牧港幼稚園・浦城幼稚園・内間幼稚園・前田幼稚園・神森幼稚園・当山幼稚園・港川幼稚園の8園) 給食受室整備に係る工事の実施 (浦添幼稚園・牧港幼稚園の2園) 給食導入に係る備品・消耗品整備 (浦添幼稚園・牧港幼稚園の2園分) 	<ul style="list-style-type: none"> 給食受室の建設着手に向けた実施設計の完了 (浦添幼稚園・牧港幼稚園・浦城幼稚園・内間幼稚園・前田幼稚園・神森幼稚園・当山幼稚園・港川幼稚園の8園) 給食受室の工事の完了 (浦添幼稚園・牧港幼稚園の2園) 給食導入に係る備品・消耗品整備の完了 (浦添幼稚園・牧港幼稚園の2園分) 	(今後の展開方針) ・平成29年度 受室建築工事(6園) 備品・消耗品購入(6園分) ・平成31年度 受室実施設計(3園) 受室建築工事(3園) 備品・消耗品購入(3園分)	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標の変更)
11		災害時備蓄食糧購入強化促進事業	H24 ~ H28	大規模災害への備えとして、浦添市地域防災計画に基づき食糧を備蓄する。	食糧(乾燥米)の備蓄 H28年度合計15,600食 <ul style="list-style-type: none"> 大平特別支援学校 2,200食 各児童センター1,100食×11か所 = 12,100食 浦添市役所 1,300食 	H28年度 備蓄食糧充足率 100% 目標値: 市人口114,000人の20分の1の3日分 $114,000 \times 1/20 \times 3 \text{食} \times 3 \text{日} = 51,300 \text{食}$ H28.3.31食糧備蓄見込 35,700食(69.59%) H29.3.31食糧備蓄見込 51,300食(100%)	大規模災害時において被災者(住民、観光客等)に対し適切な食糧配給を行うことができるよう備蓄食糧充足率の維持に努めていきたい。 また、食糧については賞味期限(5年)があることから、期限満了間近のものを対象とした炊き出し訓練の実施や、学校給食への提供等とおして地域における防災意識の高揚を図りたい。	
11		災害時備蓄食料保管倉庫等整備事業	H24 ~ H28	大規模災害への備えとして、収容避難所、福祉避難所に対し防災資機材及び保管倉庫を整備する。	H28年度整備予定箇所 6箇所 <ul style="list-style-type: none"> 収容避難所(大平特別支援学校) 福祉避難所(児童センター5か所) 購入予定資機材等 <ul style="list-style-type: none"> 保管倉庫 6棟 浄水機 1台 発電機 12台 簡易トイレ 76個 トイレ用テント 76個 発電機用オイル 1個 燃料携行缶 1個 投光器 84個 	H28年度 整備率 100% 収容避難所及び福祉避難所全22箇所	今後は、防災資機材の使い方の周知や避難所運営訓練の実施を促すことで、地域における防災意識の高揚を図り、地域の安心安全を高める。	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11		浦添市統合型防災情報システム事業	H27 ~ H29	災害時における住民等の被害を最小限に留めるため、市内全域に防災情報等の伝達・収集が可能なシステムの構築を図る。	システム構築に係る工事の実施 (市内全域へ無線LAN基盤の構築、 画像情報に関する設備構築)	・市内全域無線LAN基盤の整備完了 ・画像情報に関する設備の整備完了	・H29年度実施予定 音声情報に関する設備の整備 文字情報に関する設備の整備 (防災ポータル)の整備) ・防災情報等の伝達、収集にかかる指数 < H26年度 > 音声情報:25%(市域の4分の1の区域) 文字情報:エリアメール等の対応端末 画像情報:0% < H29年度 > 音声情報:100%(市内全域) 文字情報:メールアドレスを持つすべての端末 画像情報:100%(災害危険箇所の情報把握)	
12		航空機騒音基礎調査事業	H24 ~ H33	普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生し、市民生活に大きな影響を与えていることから、基地から派生する航空機騒音の軽減を図るため、市内3カ所の測定局で騒音被害の具体的なデータを収集分析する。	・昼夜を問わず、1年を通して安定したデータ測定。 ・苦情や騒音被害の実態を示す基礎資料としての活用。 ・速報値を市ホームページへ掲載。	・航空機騒音被害に関する基礎資料の作成	基地から派生する航空機騒音の軽減を図るため、測定データの分析・実態把握に努め、国や米軍に対しその改善を継続的に求める。	
12		浦添市中学生平和交流事業	H25 ~ H33	平和への願いを風化させることなく次代に引き継ぐため、市立中学校から推薦を受けた中学生を対象に平和学習を実施する。	市立中学校5校より、中学生10人、教諭1人を中学生平和交流団として平和学習を実施。 ・事前研修、事後研修(県内) ・本研修(3泊4日 長崎市) ・宮崎県日向市との平和交流 ・浦添市戦没者追悼式への参加	浦添市ピースメッセンジャーを通じて平和への理解を深めた人の割合 90% アンケート先 ・保護者 ・平和交流相手方 ・校内生徒	・実施予定内容 [H29~H33] 市立中学校5校より、中学生10人、教諭1人を浦添市中学生平和交流団とし、県内及び長崎市で平和学習を実施する。 研修終了後は浦添市ピースメッセンジャーとして認定し、市が実施する平和に関する行事に積極的に参加し、平和のメッセージを未来に向けて多くの人に語り伝えていく。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
12			里道及び水路の境界確定復元事業	H24 ～ H33	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	・里道及び水路の隣接地権者との境界立会による、表示登記 里道の登記済延長 15km	・約125kmの里道及び水路の境界復元・確定。 平成27年度までに登記済延長31kmで25%終了 H28の目標登記済延長率:37%目標	(今後の展開方針) 里道及び水路表示登記延長率 H29:50% H30:63% H31:76% H32:89% H33:100% (事業実施後の効果) 里道の境界復元・確定を行い、公共用地を適正に管理する。	
12			牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24 ～ H33	牧港補給地区の地権者等が自立し、跡地利用が円滑に進められるよう、地権者等が主体となったまちづくり活動を支援する。	・まちづくり活動支援(勉強会等4回) ・活動情報発信(1回)	・勉強会等への参加者満足度 80% ・勉強会等への参加者数 延べ48人(毎回過半数以上の出席) 地主会若手組織会員数23人	・跡地利用特措法や土地区画整理事業等に関する法令及び制度への理解を深めるための勉強会等の支援。 ・国が示す返還計画を見据えた若手組織の活動計画の具現化。	
12			牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業	H27 ～ H33	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するにあたり、基金を造成する。	公園緑地としての土地先行取得に向けた基金積立。	・特定事業の用に供する土地取得目標 14,100㎡(達成率13.8%) 達成率:先行取得目標面積(102,000㎡)に対する取得面積の割合	・H29～H33 基金積立。 ・公園緑地として、H33年までに約10.2ha用地取得する。	
12			施設型共同墓整備事業	H27 ～ H29	多様化する市民の墓地需要に対応するとともに墓地散在化の抑制及び既存墓地の整理統合を図るため、納骨壇と合葬室を併せ持つ施設型共同墓を整備する。	・施設型共同墓整備に係る実施設計の実施(建築・設備に係る詳細設計) ・管理運営方針の検討に向けた準備	・施設型共同墓の建設着手に向けた実施設計の完了 ・供用開始を見据えた管理運営方針の検討に必要な基礎資料の収集・整理	(今後の展開方針) ・平成29年度 建築工事 ・平成30年度 供用開始 ・供用開始後、現在、市域の約20%となっている個人墓地禁止区域を50%程度まで拡大する。 (事業実施後の効果) ・新たな墓地建設の抑制及び既存墓地の整理統合を図ることで、住環境や景観に配慮したまちづくりを展開していくことができる。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
13		CKD(慢性腎臓病)重症化予防モデル事業	H28 ～ H30	県民(市民)の健康長寿を延伸させるため、生活習慣病により透析のリスクが高い方に対し、CKD重症化予防プログラムを実施する。	CKD重症化予防プログラムの実施 25名	プログラム参加者について ・腎機能を維持した人の割合 60%以上 ・生活習慣(食事・運動・服薬等)を改善した人の割合70%以上	・重症化予防プログラムの実施 H29 20人 H30 20人 ・前年度参加者の事後フォロー H29 25人 H30 20人 ・H30年度 参加者等による患者会の立ち上げ ・新規透析者数の減少 H29年度以降 24人未満 参考 H26年度 新規透析者数24人	12月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
14		浦添市LED防犯灯導入調査事業	H28 ～ H32	市民生活の環境配慮型ライフスタイルへの転換を推進するため、市内の既存防犯灯を高効率照明機器(LED)への切り替えを推進するための導入調査を行う。	LED防犯灯導入に向けた調査の実施	・市域全体における防犯灯の状況把握 (既存防犯灯の基数、設置状況等) ・具体的な温室効果ガス削減目標の設定 ・調査報告書の完了	(今後の展開方針) ・平成29～32年度 自治会への設置補助金 (事業実施後の効果) 市内の防犯灯のLED化により温室効果ガスの削減を図り、環境配慮型ライフスタイルへ転換を進める	10月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			名護市特色ある教育環境整備事業	H24 ～ H33					
1			学習指導支援者配置事業	H24 ～ H33	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	学習指導支援者17人の配置 対象: 主に配置小学校の3・4年生の算数 主に配置中学校の数学 小規模校においては状況に応じて他教科も支援する	沖縄県学力到達度調査における県平均との差 小学校3年生 算数:1ポイント以内 (参考 H26年度 県平均85.2点、本市81.9点) 中学校2年生 数学:3ポイント以内 (参考 H26年度 県平均42.9点、本市37.2点)	(今後の展開方針) ・H33年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、沖縄県平均を上回る。	12月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
1			生徒指導支援者配置事業	H24 ～ H33	個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒及び問題行動の見られる児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通じた個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	生徒指導支援者9人を配置 2小学校・5中学校 登校支援、教育相談 関係機関(教育相談室、適応指導教室)と連携した支援	不登校児童生徒数の減少(前々年度比2割減) 小学校の不登校児童数:7名 (参考 H26年度不登校児童数:9名) 中学校の不登校生徒数:55名 (参考 H26年度不登校生徒数:69名) 児童生徒の問題行動の未然防止体制の強化	(今後の展開方針) ・H33年度まで事業を継続し、不登校児童生徒数の減少(前年度比2割減)を目指す。 ・児童生徒の問題行動の減少	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1			小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	小中英語支援員10人を市内公立小中学校にシフト配置	児童英検(小5～6年生対象)の平均正答率の向上 小5 ブロンズ:82%(参考 H26年度:80.4%) 小6 シルバー:78%(参考 H26年度:75.4%) 沖縄県学力到達度調査における県平均との差 中学2年生 英語:2ポイント以内 (参考 H26年度 県48.7%、本市44.5%)	(今後の展開方針) ・H33年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(中学:英語)において県平均を上回る。	
1			中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ H33	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	派遣生徒選考人数:12人 事前研修会の実施 短期留学の実施 帰国後の研修会及び報告会の実施	短期留学を実施した結果、英語を学ぶ関心・意欲が高まり視野が広がった生徒の割合:100% 報告会の参加者数:2,000人	(今後の展開方針) ・派遣予定人数 H24年度～H33年度:各年度12人 累計120人 ・派遣留学生のみならず、報告会の実施による波及効果により市内の児童生徒の英語への学習意欲が高める	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	適応指導教室に支援員4人を配置 通級児童生徒に対する学校復帰への支援 不登校児童生徒に対する支援	学校復帰できた児童生徒の率:40% (参考 H26年度:通級児童生徒16人中4人 = 25.0%) チャレンジ登校のできた児童生徒の率:100% (参考 H26年度:通級児童生徒16人中2人 = 12.5%)	(今後の展開方針) ・H33年度まで事業を継続し、不登校児童生徒の学校復帰40%以上を目指す。	12月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
1		名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校の生徒の県外で開催される運動競技会又は文化関係大会への参加を支援する。	大会等派遣生徒数:80人	文化・スポーツ活動を通じた児童生徒の心と体の健やかな育成を図る。	(今後の展開方針) 児童生徒がスポーツ及び文化活動において全国大会で活躍する機会を増やし、質の高い競技に触れさせることで、児童生徒自身の成長につなげる。	
1		小中一貫教育推進事業	H26 ～ H33	平成28年4月開校の名護市立小中一貫教育校「屋我地ひるぎ学園」において、教育課程研究に基づく特色ある取組の実践による学力向上を図るため非常勤講師を配置する。	非常勤講師の配置数:2人	乗り入れ授業・TT授業:1408時間/年 教材研究:352時間/年	(今後の展開方針) 平成33年度まで事業を継続し、これまで研究してきた教育課程の実践的取組や特色ある教育課程の取組支援を行い、児童生徒の学力向上につなげる。	
1		教育用ソフト購入事業	H24 ～ H33	児童の学習意欲を高め、学力の向上を図るため、平成28年度の中学校教科書の改訂に伴う、学習環境を整備する必要があることから、デジタル教科書を購入する。	市内公立中学校8校の3学年を対象とし、主要教科である国語・数学・英語・理科・社会のデジタル教科書を購入	沖縄県学力到達度調査における県平均との差 中学2年生 国語:2ポイント以内 (参考 H26年度 県平均55.7点、本市52.4点) 中学2年生 数学:3ポイント以内 (参考 H26年度 県平均42.9点、本市37.2点) 中学2年生 英語:2ポイント以内 (参考 H26年度 県平均48.7点、本市44.5点) 中学2年生 社会:1ポイント以内 (参考 H26年度 県平均53.0点、本市51.9点) 中学2年生 理科:1ポイント以内 (参考 H26年度 県平均43.2点、本市40.8点)	(今後の展開方針) H32:小学校の導入 H33:中学校の導入 ・H33年度まで事業を継続し、沖縄県学力到達度調査(国語・算数)において、沖縄県平均を上回る。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		教育用実物投影機購入事業	H28	名護市の児童生徒の学力向上を図るため、情報通信技術(ICT)を活用した学びの推進が必要である。市内の全公立小・中学校(小学校13校、中学校8校)の普通教室、特別支援教室、理科室に教育用実物投影機を整備する。	市立小・中学校の291教室に設置 【内訳】 小学校 普通教室 157教室 小学校 理科教室 29教室 小学校 特別支援教室 11教室 中学校 普通教室 68教室 中学校 理科教室 18教室 中学校 特別支援教室 8教室	市立小・中学校への実物投影機整備目標達成率 第2期教育振興基本計画(文科省)での目標水準 実物投影機の整備(1学級当たり1台) 普通教室への整備状況 100% 理科教室への整備状況 100% 特別支援教室への整備状況 100%	・整備されたICT機器を活用した「分かる授業」を実践し、沖縄県学力到達度調査(国語・算数)において、沖縄県平均を上回る。	12月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			名護市地域資源と地域特性を生かした観光基盤整備事業	H24～H33					
2			ファイターズ・キャンプ支援事業	H24～H33	北海道日本ハムファイターズ春季キャンプへの誘客強化を図るため、観光PRイベントを札幌ドームで開催するとともに春季キャンプに向けた広告やキャンプ期間中における見学者等の安全対策を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保及び見学者の誘致。(シャトルバスの運行/球場周辺の警備員・誘導員の配置) 春季キャンプに向けた広告の実施 札幌ドームで「名護デー」開催(球場入口にて、名護市観光施設・宿泊施設の案内等の配布/観光と特産品のPRブースの設置/試合前セレモニー) 	<ul style="list-style-type: none"> プロ野球キャンプ見学者数 H28年度目標:16,000人 キャンプ期間が半月になるため。 (H27年度目標:20,000人) (H26年度実績:28,228人) (H25年度実績:17,125人) (H24年度実績:17,799人) 名護デー観覧者数 H28年度目標:20,000人 (H27年度実績:16,749人) (H26年度実績:23,243人) (H25年度実績:19,095人) 	(今後の展開方針) H29～H33年度:キャンプ支援の実施 名護デー開催 プロ野球キャンプ見学者数 H28年度目標:16,000人 H29年度目標:17,000人 H28～H29年はキャンプ期間が半月になるため。 H33年度目標:40,000人	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)
2			名護市特産品販路拡大支援事業	H25～H28	特産品の販路拡大を行うため、名護市に興味のある事業者やバイヤー等を市内に招聘し、市内においてビジネスマッチングを開催するほか、県内外において観光PRも併せた物産展を開催し、販路拡大および地場産業の育成を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスマッチングの開催:1回 物産展開催:県内1回、県外1回 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスマッチング・物産展参加企業数:70社 (H27年度見込:15社) (H26年度実績:5社) (H25年度実績:21社) 物産展等総売上高:4,800千円 (H27年度見込:4,300千円) (H26年度実績:4,029千円) (H25年度実績:1,152千円) 	(今後の展開方針) 名護市中小企業・小規模企業振興ビジョンに基づき、市単独予算において、地域資源活用事業等を実施し、引き続き、企業の振興を支援する。	
2			轟の滝周辺整備事業	H24～H29	魅力ある観光スポットを活用した、まちの活性化、観光振興に繋げるため、貴重な文化財である轟の滝の周辺整備を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 委託業務 6件(資材調査、現場技術業務、工事監理業務、実施設計(管理用道路)、設備設計(管理施設工)、用地測量) 工事 2件 用地買収 8筆 	<ul style="list-style-type: none"> 管理用道路に必要な用地取得 整備工事、建築工事の完了 	(今後の展開方針) H28～29年度:用地買収、実施設計、周辺整備、建築工事 H30年度:供用開始予定 県文化財指定の名勝地を自然・景観を活かした貴重な地域資源として効果的に活用する。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		やがじ夢の懸け橋事業	H27 ～ H29	屋我地地域の地域観光産業の振興による定住促進に向けて、平成27年度に実施した民泊事業者とのワークショップ、モニターツアーでの資源活用及び今後の民泊可能性を基に、地域住民が主体となり屋我地地域のエリアマネジメント計画を検討・策定する。	・エリアマネジメント計画の検討 ・モニターツアーの実施(2回) ・ワークショップの実施(4回)	・エリアマネジメント計画 5件 ・モニターツアーの参加者 30名 ・ワークショップの参加者 60名	(今後の展開方針) 前年度の事業及びアクションプログラムを精査し、事業を進める。 H29年度: 民泊等観光従事者60戸(累計)	
2		嵐山展望台周辺整備事業	H25 ～ H30	羽地内海が見渡せる絶景スポットである嵐山地域を観光拠点として活用するため、新たに観光エリアとして整備する。	基本設計の検討	基本設計の完了	(今後の展開方針) H28年度:実施設計(土木、建築) H29～30年度:整備工事(土木、建築) H31年度:供用開始予定 年間来場者見込み:35千人	5月変更 (事業追加)
2		真喜屋運動広場整備事業	H24 ～ H28	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。	整備工事の実施:1件	真喜屋運動広場整備工事の完了	(今後の展開方針) H29年度 4月供用開始予定 施設利用者数 目標 H29年度 14,000人/年 参考 H24～26年度平均 9,191人/年	5月変更 (事業追加)
2		名護市ICT利活用モデル事業「Wi-Fi化整備」	H25 ～ H28	名護市役所周辺に無料公衆無線LAN環境を構築し、名護市の情報配信など、ICTを利活用し、外国人を含む観光客等の来訪者への対応、まちあるき観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	市街地及び観光施設等への整備:4拠点	無料公衆無線LANの活用に向けた基盤の拡充	フリーWi-Fiスポットの整備により、外国人や観光客等の利便性向上を図る。	10月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			やがじ地域観光拠点整備事業	H28 ~ H29	屋我地地区の地域資源を活かした観光振興に向け、観光拠点機能や体験メニュー施設機能などの調査検討を行い、必要な施設機能などの基本計画を策定する。	基本計画の策定	基本計画の完成	基本計画を踏まえた施設整備等の推進	12月変更(事業追加)
3			名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ~ H29	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	自転車レーンの整備率:83.62% (H28整備目標3,660m)	平成28年度自転車指導レーン整備延長3,660mの整備完了	(今後の展開方針) H29年度整備率:100% H30年度全面供用開始 H30年自転車利用増加率 H24(264台)を基準として51%増	
4			名護市雇用創出・企業誘致促進事業	H24 ~ H33					
4			名護市金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ~ H33	金融・情報通信関連企業の立地による雇用創出や定住人口増加の基盤となるまちづくりや人材育成・就労支援等を効果的に推進するため、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動を実施し、金融・情報関連企業の誘致を促進する。	・金融・情報通信関連企業の経営者等の招致開催 ・学生・市民向け金融・IT講座の開催:2回 ・沖縄県開催企業誘致イベントへの参加:県外イベント1件、海外イベント1件	招聘セミナー参加企業:10社/20名 学生・一般市民の金融基礎知識の習得:220名 県外イベント来場者数:120名 海外イベント来場者数:200名	(今後の展開方針) H29~H33年度: 金融・情報通信関連企業の経営者等の招致 学生・市民向け金融・IT講座の開催 県外・海外企業誘致イベントへの参加	
4			名護市超高速通信サービス整備事業	H28 ~ H29	対象地域に光ファイバ網による超高速ブロードバンド環境を整備する。実施するサービス提供に対する事業費を負担する方式を採用し、整備・運用を実施する民間通信事業者をプロポーザル方式により選定し、企業誘致・雇用促進・定住環境の改善を図ることを目的として本事業を実施する。平成28年度においては、整備のための基本設計を実施する。	基本設計の実施	基本設計の完了	H28:基本設計の実施 H29:詳細設計・整備事業	10月変更(事業追加) 2月変更(計画変更に伴う事業期間、事業内容、各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			名護市地場産業の活性化及び6次産業推進事業	H24 ～ H31					
5			優良繁殖雌牛導入事業	H27 ～ H31	名護市における畜産業振興のため、市内の肉用牛繁殖農家に対し優良繁殖雌牛の導入を支援することで、繁殖生産基盤の拡充、強化を図る。	優良母牛導入支援 20頭	優良母牛20頭を導入することで、やんばる和牛改良組合の子牛生産基盤の一部強化を図る。 導入目標頭数:20頭 今年度導入率:40%(全導入目標頭数:100頭)	(今後の展開方針) H27年度～H31年度:毎年度20頭 合計100頭の導入 老廃母牛更新及び母牛優良化促進により、子牛の生産基盤の強化、安定した農家経営を図る。	
5			農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)	H24 ～ H28	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。	観光ハウス、栽培ヤード、ハーブ園の建築工事着手	観光ハウス、栽培ヤード、ハーブ園整備の完了	(今後の展開方針) H29年度:アグリパーク全施設の供用開始	5月変更 (事業追加)
5			名護市食鳥処理施設整備事業	H28	新たな食鳥処理施設の整備に必要となる用地を取得することによる事業環境の整備を通じ、食肉処理施設の再編や県内鶏肉の衛生・品質管理の高度化を促進する。	施設整備に必要な用地購入	施設整備に必要な用地取得の完了 購入面積:17,668㎡	・HACCP対応型の食鳥処理施設の整備による県産鶏肉の安全・安心の確保 ・県産鶏肉の衛生管理・品質管理の高度化によるブランド強化 ・食鳥処理羽数 17,000羽/日(平成34年度)	12月変更 (事業追加)
6			名護市安全・安心のまちづくり事業	H24 ～ H33					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

名護市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		救命処置普及強化支援事業	H27 ～ H31	市民や観光客等に重篤な傷病者が発生した際に、居合わせた方が適切な救命処置を行えるよう救急救命士等の資格を有する人材を配置し、応急手当の普及を強化する。また24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置し、安全安心で観光に強いまちを形成する。	・救命講習普及支援員配置数:3名 ・各種講習会回数 98回	講習会受講者数:2,627人 小学校(6年生655人) 中学校(2年生672人) 事業所・一般受講者(1,300人) まちかど救急ステーション認定事業所(5事業所)	(今後の展開方針) H29～H31年度: 支援員3名/年 各種講習会数 98回/年 平成31年度 市民の半数(約3万人)が救命講習を受講する。 まちかど救急ステーション認定事業者数23事業者	
6		ハブ対策事業	H27 ～ H33	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいてタイワンハブ等が多く出没しており、やんばる地域の北限が本市となっている。外来種のやんばる地域への拡散を防ぐため、捕獲器の設置を行う。	ハブ捕獲器の設置・点検:180器	タイワンハブの捕獲・駆除数:200匹	(今後の展開方針) H29～H33年度: ハブ捕獲器の設置点検:900器 咬傷事故が未然に防がれ、安全・安心なまちづくりが推進される。	
6		水難救助車等整備事業	H28 ～ H29	近年増加するリゾートホテルや海上レジャー等における市民や観光客等の水難事故等に迅速に対応するため、水上バイク、牽引車、トレーラーを整備し、初動対応の体制を強化する。	水上バイク・牽引車両・トレーラー各2台 購入	水上バイク・牽引車両・トレーラー各2台 配置(消防本部、出張所) 水上バイクによる水難救助体制の強化	名護市における水難救助体制の強化	8月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			生活感幸(観光)環境づくり事業	H24 ~ H33	観光地としての魅力の向上を図るため各地域の歴史・民俗地図等資料を作成する。また、市民等を対象に地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催する。	・字糸満での歴史民俗情報確認調査の実施 ・字糸満の歴史民俗地図・現況図の印刷 ・市史講座の開催(2回)	・市史講座の参加者数 50人	(今後の展開方針) H28年度:旧糸満町民俗地図印刷 H29年度:旧喜屋武村民俗概要調査 H30年度:旧眞壁村民俗地図印刷 H31年度:旧摩文仁村民俗概要調査 H32年度:旧喜屋武村民俗地図印刷 H33年度:旧摩文仁村民俗地図印刷	
1			冬場のエコスポーツ拡大事業	H24 ~ H28	冬場の観光振興策として、全国的なマウンテンバイク競技大会を開催する。	・マウンテンバイク競技大会の実施	・競技参加者数 300人 ・来場者数 300人(観覧者)	(今後の展開方針) H29年度:大会来場者数 550人 H29年度:日本マウンテンバイク協会公認J2クラス競技を開催する	
1			新しい公共交通検討事業	H24 ~ H28	観光客の誘客を図るため、空港直行バス(いとちゃんバス)及び地域観光交通(いとちゃん mini)実証実験を、本市全域を対象に行う。	・臨時職員1名任用 ・空港直行バス・地域観光交通検討委員会各3回開催 ・公募型プロボ選定委員会1回開催 ・那覇空港直行バス実証実験の実施 ・地域観光交通実証実験の実施 ・観光プログラムの実施 ・空港直行バス・地域観光交通利用者実態調査 ・空港直行バス・地域観光交通 本格運行準備業務の実施	・那覇空港直行バス実証実験 H28 5月1日から5か月実施 県外・海外からの観光客利用 5,100人 ・地域観光交通実証実験 H28 5月1日から9か月実施 県外・海外からの観光客利用 2,500人 ・観光プログラムの実施 H28 8件以上 観光プログラム申込数 180件 420人 ・空港直行バス・地域観光交通 本格運行準備業務 H28.10 空港直行バス本格運行、H29.02 地域観光交通本格運行	(今後の展開方針) ・空港直行バスは、10月1日以降、民間公共交通事業者主導による独自運行を目指す。 ・地域観光交通は、平成29年2月1日以降、市委託による本格運行を目指す。	
1			サンゴ移植造成事業	H26 ~ H28	サンゴ礁等の観光資源の保全のため、平成26年度に那覇空港滑走路埋立区域から西崎地先に移植した天然サンゴの定着、増殖の状況及び魚種、慮数の変化等の経過観察を行う。 また、平成26年度から平成28年度までの経過観察結果、平成24年度から平成27年度までに植えたサンゴ及び糸満海域に自生するサンゴの映像等を素材にサンゴ保全の普及啓発を目的とする映像を制作する。	・経過観察1回実施 ・普及啓発映像制作	・魚種類数・・・対象区比:150% ・魚の数・・・対象区比:600% ・サンゴの面積・・・H26比:600% ・サンゴ生存率・・・H26比:70%	(今後の展開方針) 事業としては、平成28年度で終了。制作した映像を今後の普及啓発活動に使用する。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		沖縄らしい風景づくり事業	H24 ～ H32	糸満独特の風景・まちなみ創生の整備を図ると同時に、糸満漁港周辺地区の重点地区指定に向けた取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 重点地区の施設整備に向け、逐次糸満協議会の開催 重点地区景観形成への支援 糸満ロータリー周辺施設整備に向けた事業用地取得交渉 糸満漁港周辺地区の重点地区指定に向け適宜地域ワークショップ等の開催 米須重点地区の施設整備基本計画の策定に向けた米須集落部会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄らしい風景づくり計画を推進し、観光地づくりを進める。 米須重点地区の施設整備基本計画策定 米須重点地区景観形成ガイドライン策定 	(今後の展開方針) ・糸満重点地区及び米須重点地区における風景・まちなみ創生の整備実現	
2		省エネ設備化推進事業	H24 ～ H29	環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、公共施設の照明にLED対応器具を導入する。	<ul style="list-style-type: none"> 西崎運動公園内照明のLED化(117灯) (従来品) 0.210kw × 4,000h × 117灯 × 0.858kg・co2/kwh=84,324kg (LED) 0.078kw × 4,000h × 117灯 × 0.858kg・co2/kwh=31,320kg 84,324kg - 31,320kg = 53,004kg 	<ul style="list-style-type: none"> 約53,004kgのCO2削減 【内訳】 運動公園照明施設(53,004kg) 	(今後の展開方針) H29以降:小中学校体育館、糸満市消防本部等 (CO2削減量:kg/年) H24～26は実績、H27以降は目標 H24:31,938 H25:249,990 H26:372,320 H27:102,700 H28以降:443,004	
2		燃料ごみ処理モデル事業	H24 ～ H29	廃棄物の減量化及び資源化を推進するため、モデル地区の可燃ごみの固形燃料化を支援するとともに、同モデル地区との連携による他自治会への広報による周知等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 燃料ゴミ収集活動の実施100回/年 燃料ゴミ化推進広報の実施10回/年 	<ul style="list-style-type: none"> 再資源化(RPF)量129トン 	(今後の展開方針) モデル地区拡大、燃料ごみ(再資源化)量を毎年度3～5トン増、H29年度には135トンを目指す。	
3		観光地危険生物駆除事業	H25 ～ H33	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ハブ捕獲器の設置 ハブ生息地の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ハブ捕獲頭数200匹/年 	(今後の展開方針) 平成29～33年度 発生区域の把握、ハブ捕獲器及び注意喚起看板等の設置により、ハブ咬傷被害0件を目標とする。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	観光地危機管理対策事業	H28～H31	大型ホテルやマリレジャー施設、道の駅等の観光施設が立地する本市にあって、観光客の増加に伴う事故や不測の事態へ対処できる体制の確立のため、防災拠点及び指定避難所の非常食・毛布・炊出し資器材等の整備、防災行政無線の増設(難聴地域)を行う。	・指定避難所へ防災倉庫、資機材を整備(3箇所) ・防災行政無線の増設(難聴地域5箇所)	・指定避難所への防災倉庫、資機材の整備完了(3箇所) ・防災行政無線の増設(難聴地域5箇所:字糸満上之平自治会、阿波根ニュータウン、字糸満南区自治会、字武富自治会、糸満小学校交差点)	(今後の展開方針) H29年度 避難所整備 3箇所 防災カメラ設置 H30年度 避難所整備 3箇所 H31年度 避難所整備 3箇所		
4	糸満イベント推進事業	H24～H29	域内への観光誘客力を高めるため、夏場にふるさと祭り、沖縄観光の閑散期である冬場に平和の光(イルミネーション)事業の支援を行う。	・糸満ふるさと祭りの開催 ・平和の光イベントの開催	・糸満ふるさと祭り来場者 46,000人 ・平和の光イベント来場者数 91,000人	(今後の展開方針) ふるさと祭来場者数 H29年度:48,000人 平和の光イベント来場者数 H29年度:92,000人		
4	体験交流促進事業	H24～H29	潜在的な観光資源の顕在化や地域人材の育成を図るため、体験メニューや民泊世帯などを活用した観光メニューを創出する。	・体験メニュー実証 3回 ・民泊受入民家向け講習会開催数 6回 ・新規民泊世帯登録支援 5件	体験型観光の充実 ・体験観光メニュー商品開発 2メニュー ・民泊受入民家向け講習会受講者数 150人 ・民泊受入世帯数 65世帯	(今後の展開方針) H26～H29年度 滞在型観光メニューの商品化 体験交流事業参加者数 40,000人(累計) 講習会受講者数(延)600人 民泊観光客数 2,000人		
5	小規模農家支援事業	H24～H28	小規模農家の作業の効率化と農家経営の安定化のため、防風ネット、簡易パイプハウスの施設整備支援を行う。	農業飛散防止ネット整備 10箇所 簡易パイプハウス設置 12箇所	農業飛散防止ネット整備数 ・整備率:100% (整備予定数140箇所 H24～H27:130箇所【見込み】) パイプハウス整備数 ・整備率:100% (設置予定数127箇所 H24～H27:115箇所【見込み】)	(今後の展開方針) ・農業飛散防止ネット整備 H24～28年度:累計140箇所 ・パイプハウス整備 H24～28年度:累計127箇所 H29年度:対象品目出荷量: 1,601t (H24年度:1,477t)		
5	糸満和牛群改良整備事業	H24～H28	農家の経営の安定化に向けて、仔牛のブランド化を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。	優良母牛のり-ス:50頭	優良母牛導入率:100% (導入予定頭数224頭 H24～H27:174頭【見込み】)	(今後の展開方針) 優良母牛り-ス頭数 H24～28年度:累計224頭 H28年度:子牛平均価格(税込) 540,000円 (H23年度:321,583円)		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			地場産品販路拡大事業	H24 ～ H30	地場産品の販路拡大のため、県内外の消費者及び販売業者に向けた物産展を県内及び姉妹都市・友好都市・大都市圏において開催する。	物産展の開催:5回 商談会実施回数:6件 糸満フェアの開催:1回	物産交流会参加事業者数(延)60事業者 物産交流展来場者数(延)300,000人 商談成立5件 糸満フェア参加事業者数20事業者 糸満フェア来場者数33,000人 糸満フェア売上高2,000,000円	(今後の展開方針) 物産交流展来場者数 H29年度:(延)79,900人 (商談累計目標) 商談件数36件、商談成立18件 フェア来場者数 H25～29年度:120,000人(累計)	
6			平和学習受入体制整備事業	H24 ～ H33	平和教育・平和観光に役立てるため、体験者の証言の映像記録、「平和ガイド」の育成等を行う。また、戦争遺構の整備等を行う。	平和ガイド育成:研修6回、実践1回 糸満市平和祈念祭への関心・参加率 戦争体験証言収録 戦争遺構概要版看板設置	平和ガイドの市関連事業参加率70% イベント参加者の行動意識変化 アンケート回答のうち30% 証言の映像化30人分 概要版看板設置箇所:2か所	(今後の展開方針) H29～30 ガイド育成、平和意識の高揚並びに時代に切れ目のない「沖縄戦の継承」が図れる。 証言映像化60人分 戦争遺構の整備 観光客や次世代の平和学習の利活用が促進される。	
7			確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ H33	学習支援や学校生活への不適応の児童生徒の学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習指導等支援員を配置する。	学習指導等支援員配置数 小学校:10人 中学校:6人	学習指導等支援児童数 小学校:175人 生徒数 中学校:107人	(今後の展開方針) 学習指導等支援員 H29 毎年度19人配置 ・全国学力学習調査及び標準学力調査において全国との差を縮めていく。	
7			英語指導事業	H24 ～ H33	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	英語指導助手配置数 小学校:4人、中学校:3人	英語指導助手配置クラス数 小学校:44クラス、中学校:62クラス	(今後の展開方針) 英語指導助手 H29 毎年度7人配置 ・全国学力学習調査及び標準学力調査において全国との差を縮めていく。	
7			適応指導教室設置事業	H25 ～ H33	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	適応指導教室 主任担当者配置数:1人 補助担当者配置数:1人 教育相談員:2人	サポート児童生徒の平均登校日数:80日	(今後の展開方針) 主任担当者・補助担当者・教育相談員配置 H29 毎年度4人配置	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	障害児学習環境づくり事業	H24 ～ H33	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒を支援するため、支援ヘルパー及び特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	障害児支援ヘルパーの配置 幼稚園:10人、小学校:23人、中学校:1人 特別支援教育指導コーディネーター配置1人	支援園児・児童・生徒数 幼稚園:20人、小学校:49人、中学校:1人 市内幼稚園・小中学校・保育園及び保護者への指導・相談 年120回	(今後の展開方針) 障害児支援ヘルパー H29 毎年度36人程度配置 特別支援教育コーディネーター配置 H29 毎年度1人配置		
7	情報教育環境づくり事業	H25 ～ H33	より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、情報機器および学習支援ソフトを導入する。また、情報教育支援員を派遣する。	情報教育支援員配置1人 教育用コンピュータ整備: 小学校2校(67台) 中学校3校(123台) デジタル教科書整備: 中学校6校 電子黒板: 小学校10台(各校1台)、中学校6台(各校1台) 学習支援ソフト: 小学校10校、中学校6校	情報教育支援員の派遣 小学校10校、中学校6校 市内小中学校における教育用コンピュータの整備率:81.5%(498台) デジタル教科書整備率:100% 電子黒板整備率:100% 学習支援ソフト整備率:100%	(今後の展開方針) 情報教育支援員配置 H29 毎年度1人配置 教育用コンピュータ整備 H29:中学校1校(41台) H30:小学校2校(72台) 整備総数:611台(100%) 中学校教科書改訂にあわせデジタル教科書を整備し、更なるICT環境の充実を図る。	10月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)	
7	教育環境整備事業	H25 ～ H30	幼児・児童・生徒の教育環境を改善するため、小・中学校及び幼稚園の屋根等断熱防水工事と空調機設置工事を行う。	小学校屋根断熱防水施工数:1校 中学校屋根断熱防水施工数:1校 幼稚園園舎断熱防水施工数:1園 小学校1年生普通教室空調機設置工事施工数:3校	全体計画の進捗率:81%	(今後の展開方針) H28:(断熱)小1校、中1校、幼1園(空調機)小学校3校 H29:(断熱)小1校、中1校、幼1園	5月変更(計画変更に伴う事業内容、活動目標変更)	
7	学習環境整備事業	H28	図書館の学習スペース・研修室等を利用する児童・学生等の学習環境と、糸満に関する資料を含む沖縄郷土資料等の保存環境の向上を図る為、断熱防水工事を実施する。	・実施設計の実施 ・断熱防水工事の実施	・実施設計の完了 ・断熱防水工事の完了	(今後の展開方針) 教育・学習環境及び郷土資料の保存環境の維持	5月変更(事業追加)	
7	学校給食施設環境整備事業	H28	沖縄県特有の亜熱帯気候の影響により、建物の老朽化の進行が著しく、強烈な日差し等の気象的要因による建物内の温度・湿度の上昇等により、衛生管理、安全面に支障をきたす恐れがあることから、断熱防水工事を実施し、及び学校給食の安全性及び施設の長寿命化を図る。	・実施設計の実施 ・断熱防水工事の実施	・実施設計の完了 ・断熱防水工事の完了	(今後の展開方針) 安心安全な給食供給環境の維持	5月変更(事業追加)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8			子育て応援NPO活動支援事業	H24 ～ H33	子育ての困難な親などの養育支援を行うため、NPOを活用して相談や学習会等を開催する。	・相談活動 ・訪問活動 ・親対象の学習会 ・支援者対象研修	・相談活動 80件 ・訪問活動 70件 ・親対象の学習会 10回 ・支援者対象研修 12回	(今後の展開方針) H28～33年度 ・相談活動 80件/年 ・訪問活動 70件/年 ・親対象の学習会 7回/年 ・支援者対象研修 9回/年 ・要支援家庭に対する定期的・継続的な体験学習(親子) 240回/年	
8			障がい者就労支援事業	H24 ～ H28	障がいのある方が従事する施設で製造する商品等を自ら販売するため、市内数ヶ所に販売所を設置するとともに、商品開発、商品PR等物販に係るノウハウを習得のための支援を行う。	事業所職員研修の開催4回	新商品開発件数:3件	(今後の展開方針) H27～H28年度 市内就労支援事業所への個別支援(市内全17箇所) 商品開発、販路拡大等件数(累計)48件	
8			放課後児童クラブ巡回支援事業	H27 ～ H29	放課後児童クラブ運営の適正化や指導員の資質の向上を図るため、専門員を巡回派遣し各クラブへ指導、助言を行う。	・巡回指導員の配置 ・研修会の実施	支援相談 200件/年 研修会参加者 100人/年	(今後の展開方針) H27～H29年度 支援相談 600件(のべ件数) 研修会参加者 300人(のべ人数)	
8			幼稚園児預かり支援事業	H27 ～ H29	幼稚園児預かり支援の充実を図るため、預かり支援を実施する学童クラブの支援を行う。	学童クラブへの支援	対象園児数 160人/月の受け入れ体制を確保	(今後の展開方針) H27～H29年度 対象園児 5,760人(36ヶ月のべ人数)	
9			運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ H28	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・芝管理機械の導入 ・西崎運動公園有効活用具体化の検討 ・西崎運動公園の芝管理	・西崎陸上競技場及び西崎球場の合宿数増加9団体(H27見込) 11団体(H28) ・西崎運動公園有効活用具体化検討の完了 ・合宿受入態勢の強化	(今後の展開方針) 来場者数増 H26年度:207,743人(実績)	10月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
9			パークゴルフ場整備事業	H27 ～ H28	身近で手軽に行える運動に触れる機会を提供することで、生涯スポーツ人口の増加に努め、スポーツアイランド沖縄の取り組みを一層充実させるため、生涯スポーツ施設等の整備を行う。	・パークゴルフ場整備工事の実施 ・管理棟整備工事の実施	・パークゴルフ場整備工事の完了 ・管理棟整備工事の完了	(今後の展開方針) H29年度:来場者見込み 200,000人	
9			西崎みどりの遊歩道整備事業	H27 ～ H28	観光地としての魅力向上及びウォーキングコースとしての活用による生涯スポーツの推進を図るため、西崎工業団地海岸沿いを周遊できるよう遊歩道を整備する。	・遊歩道実施設計の実施 ・遊歩道整備工事の実施 (W=約10m、L=約3km)	・遊歩道実施設計の完了 ・遊歩道整備工事の完了	(今後の展開) H29供用開始	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		kozaフィルムオフィス事業	H24 ～ H33	伝統文化や景観など本市の魅力ある地域資源を広く内外へ発信するため、映画・ドラマ等の撮影誘致及び撮影サポートを支援する。	誘致活動 3回 撮影支援の実施 エキストラデータベース充実 ロケ地マップ等の製作	映画・ドラマ等撮影支援件数 75件 (H26年度実績:59件)	(今後の展開方針) H28～H33:撮影件数の増加に向け、誘致活動や撮影サポートの内容を改善しながらH33年度まで支援を継続する。	
1		音楽資源活用事業	H24 ～ H33	音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ、戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽・芸能資源の収集・整理、収集した資料を活用した企画展の開催、展示室の運営、関係者への聞き取り調査などを行う。また、音楽によるまちづくりの更なる推進のため音楽資料の常設展示(音楽ミュージアム)に向け取り組む。	音楽・芸能資源収集数:150点以上 企画展の開催:2回以上 展示室の運営	企画展集客数:1,500人/回 (H26実績:平均1,066人/回) 展示室入場者数:9,000人	(今後の展開方針) H29年度 企画展の開催 (集客数目標:1,500人/回) 展示室の運営 (入場者目標:9,000人)	
1		音楽観光誘客事業	H24 ～ H33	本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、沖縄市のアーティストやライブハウスなどの音楽情報を広く発信するとともに、ライブハウスを活用した定期イベントや沖縄の伝統音楽および民俗芸能などを中心とした音楽イベントを開催する。また、にぎわいの創出が期待できる音楽イベントに対して支援する。	ライブハウス定期ライブ160回 野外音楽イベントおよび沖縄芸能企画展の開催 1回 ワークショップの開催 5回 音楽イベント補助金交付 3件 音楽イベント月間の開催 10月～12月	ライブハウス入場者数 ライブ160回で5,120人(32人/1回あたり) (H26実績:ライブ222回で6,846人)(30人/1回あたり) ライブハウス集客率 78%(H26実績:77%) 野外音楽イベント 2,000人 ワークショップ参加者数 150人(H26実績:130人)	(今後の展開方針) H28年度 音楽情報の発信・広報プロモーション ライブハウス定期ライブ 野外音楽イベントの開催 1回 ワークショップの開催 15回 音楽イベント補助金5件 (目標) ライブハウス入場者数 5,120人 野外イベント集客数 2,000人	
1		文化活動拠点施設機能強化事業	H24 ～ H28	文化の振興および観光誘客の拡大を図るため、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設の舞台機構、舞台照明など、設備の機能充実を図る。	沖縄市民小劇場あしびなーフォロースポットライト整備	フォロースポットライト整備の完了	(今後の展開方針) H29年度 市民会館、市民小劇場あしびなー共に、改修工事計画は無し H30年度 市民会館については、耐震診断調査結果を踏まえ、H28年度に基本計画の策定を計画していることから、その基本計画に基づき、施設の補強工事を行う予定。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			国際交流事業	H24 ~ H28	多様な国籍の住民等が交流できる国際交流の拠点を目指し、コザインターナショナルプラザにおいて県内関係機関や兄弟姉妹都市等の国際交流協会などとの連携を図り、拠点施設としての機能充実を行う。	コザインターナショナルプラザの運営 語学講座(英・中・スペイン) 週3回 多言語相談窓口(生活)(上記言語) 週3回 日本語交流会 週2回 異文化理解講座 月1回 情報発信(市広報誌、多言語情報広報誌)	受講者等人数(人数・件数は述べ) 語学講座(英・中・スペイン) 3,000名(H26実績 3,217名) 多言語相談窓口(生活)(上記言語) 180名(152名) 日本語交流会 500名(469名) 異文化理解講座 1,000名(1,272名) 情報発信5,000件(フェイスブック閲覧件数) 多言語情報広報誌の発行 1,500部	(今後の展開方針) 29年度 語学講座(英・中・スペイン) 週3回 多言語相談窓口 週3回 日本語交流会 週2回 異文化理解講座 月1回 情報発信 3回	
1			エイサーのまち推進事業	H24 ~ H33	エイサーを活用した観光振興および地域活性化を図るため、エイサーによるまちづくりの拠点施設となる(仮称)青年エイサー会館整備に向けた取り組み及びエイサーのまち沖縄市のPR活動等を行うとともに、沖縄全島エイサーまつりの充実に向け取り組む。 また、エイサーファン拡大のため、エイサー検定を支援する。	・エイサー相談窓口の実施 ・エイサー体験メニュー制作の実施 ・エイサー企画展の実施 ・(仮称)青年エイサー会館実施設計 ・(仮称)青年エイサー会館展示調査設計 ・エイサーパナーの掲揚 3ヶ月 ・沖縄全島エイサーまつりシャトルバスの運行 2日間 ・沖縄全島エイサーまつり打上花火、レーザーショー等の実施 2日間 ・エイサー検定の支援(沖縄市観光物産振興協会への補助金交付) 3級~1級:常時、特級:2回	・エイサー資源観光活用事業利用者数 22,500人(H26年度実績:10,546人) エイサー体験 エイサー相談窓口等 ・(仮称)青年エイサー会館実施設計の完了 ・(仮称)青年エイサー会館展示調査設計の完了 ・エイサーイベント参加者数 385,300人(H26年度実績:349,242人) ・エイサー検定受験者数 11,000人(H26年度実績:10,200人)	(今後の展開方針) H28~H33:エイサーイベント参加者数の増加に向け、エイサーのまち沖縄市のPR方法の改善およびエイサーイベントの魅力・利便性の向上を図る。 エイサー検定受験者数の増加に向け、PR活動を改善しながら、H33年度まで支援を継続する。 エイサーによるまちづくりの拠点施設を整備するため、平成29年度に既存施設の改修を行い、(仮称)青年エイサー会館を開館する。	5月変更(計画変更に伴う事業内容変更、各目標変更)
1			伝統文化観光推進事業	H24 ~ H33	伝統文化の継承発展と観光誘客の拡大を図るため、伝統行事である「ンマハラシー(美ら競馬)」の開催および普及活動等を支援する。	ンマハラシーの開催 3回 ンマハラシーの普及活動	ンマハラシー入園者数 6,000名 H26実績(入園者数4,425名)	(今後の展開方針) H28~H33:ンマハラシー観覧者の増加に向け、イベントの魅力向上や誘致・PR活動の改善を図りながらH33年度まで支援を継続する。	
1			地域自然環境調査事業	H24 ~ H28	平成24年度から本事業で行ってきた沖縄市全域の生物の生息状況をもとに、展示・普及書の発刊を行い、広く沖縄市の身近な自然についての教育普及を行う。また、その成果を事業完了後も活用できるよう、常設展示に取り入れる。	企画展の開催 1回 普及書の発刊 1回	市内陸域の動植物調査実施率 100% 採集した標本を活用した展示会 来館者 12,000人 (基準 H24年度の年間統計 11,142人)	(今後の展開方針) 28年度 普及書作成および展示	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
バ	細				H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1			観光宣伝事業	H25 ～ H33	観光誘客の拡大を図るため、効果的なPR活動等を実施するとともに、観光体験等による誘客活動を支援する。	観光情報誌等の制作 5種類 観光キャラバン隊の派遣 3回 ガイド養成講座の実施 2種類 モニターツアーの実施 4回 観光メニュー制作の実施 4回 沖縄市観光振興計画の策定 観光戦略推進会議等の開催 19回 外国語イベントPRチラシ等制作 18回	主要イベント来場者数 685,700人 (H26年度実績:592,534人) 主要施設来場者数 2,513,500人 (H26年度実績:2,457,315人) 観光体験メニュー利用者数 6,000人 (H26年度実績:4,743人) 沖縄市観光振興計画の策定完了	(今後の展開方針) H28～H33:観光誘客の拡大を図るため、戦略的なPR活動および新たな観光資源の創出を図る。 観光体験による誘客拡大を図るため、誘致活動や新メニュー創出等の支援を継続する。		
1			文化芸能推進事業	H25 ～ H28	本市独自の魅力ある伝統芸能と観光を連携させ、沖縄市をPRしさらなる誘客を図るため、沖縄市伝統の文化芸能作品の公演を街中で実施する。	フェスティバル実施 1回 ステージ数 10ステージ	プレ公演入場者数 200人 本公演入場者数 13,000人	(今後の展開方針) 平成29年度 フェスティバルの継続実施 公演ステージ 10ステージ		
1			戦後文化資料等展示事業	H24 ～ H29	沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」における観光誘客のさらなる拡大を図り、地域の活性化へつなげていくため、本市関係の戦後資料である新聞記事資料のデジタル化及び収集した資料の公開に向けたシステム構築を実施する。「ヒストリート」の魅力向上と本市の個性豊かな歴史文化資源の効果的な情報発信に向け、展示室拡充を図るため移転先の改修及び移転を実施する。	・戦後新聞記事データベース作成業務:1981年～1987年(7年) (新聞記事デジタル化率10%) ・公開システム構築 ・新ヒストリートの基本計画策定 ・新ヒストリートの基本設計業務	・新聞記事デジタル化率 88%達成 ・公開システム構築の完了 ・新ヒストリートの基本計画策定完了 ・新ヒストリートの基本設計完了	(今後の展開方針) H29年度 ・新聞記事データベース作成業務:1988年～1995年(8年) (新聞記事デジタル化率100%達成) ・公開システム利用開始 ・実施設計・改修工事	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	
2			スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ H33	スポーツコンベンションシティの推進による観光振興を図るため、プロスポーツ団体等のPRをはじめ、関係団体や地域等とのスポーツ交流・体験およびイベントの開催など、「スポーツコンベンションシティ沖縄市」の定着に向け取り組む。	スポーツ合宿誘致 12ヶ月 プロスポーツ団体等活動支援3団体 スポーツコンベンション推進協議会開催	スポーツ合宿延べ宿泊者数 15,000人 (H26実績:14,688人)	(今後の展開方針) H28～H33:スポーツ合宿者の増加に向け、誘致活動の改善および2020年東京オリンピックに向けた合宿の誘致活動を強化する。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			商店街スポーツイベント等連携促進事業	H25 ~ H28	商店街等とスポーツイベントとの連携を促進し、地域への波及効果を創出する仕組みを構築することで、観光振興による商店街等の活性化を図るため、市内で開催されるスポーツイベントに訪れる観光客等を商店街等に誘導・回遊させるための調査・実証業務を行う。	シャトルバスの運行(沖縄市開催時)まち歩きツアー等の実施 1回 商店街等利用ポイントラリーの実施 2ヵ月	来場者に占めるシャトルバス利用者の割合 10%以上(平成26年度 5.9%) まち歩きツアー等参加者数:10人 商店街店舗等利用回数(利用ポイント発行数) 1,250回	(今後の展開方針) 対象スポーツであるバスケットボール等の開催シーズンに合わせH28年7月までの期間を実証実験として実施 H28の7月以降は調査・実証業務の成果等を検討し、今後の展開方針を定める。	
2			スポーツ推進整備事業	H24 ~ H28	スポーツ環境を活かした観光を推進するため、沖縄市総合運動場における運動器具等の備品を充実し、施設の機能強化を図る。	映像分析装置一式購入 ミスト発生器購入 大型LED表示機一式の購入	コザ運動公園体育施設 利用者数 H28年度 739,300人(H26実績:728,405人) スポーツ合宿者延べ数 H28年度 15,000人(H26実績:14,688人)	(今後の展開方針) H28事業で完了。 施設の新設があった場合に、再度、備品の導入を検討する。	
2			モータースポーツ推進事業	H27 ~ H31	本格的なモータースポーツの拠点となる(仮称)沖縄サーキットの整備実現に向け、モータースポーツの振興を図るイベントを実施し、モータースポーツに関する理解と機運を高める。	モータースポーツ振興イベントの実施	イベント来場者数(2日間)延べ25,000人 (H27実績:17,000人 1日のみ開催)	(今後の展開方針) モータースポーツの振興を図るイベント等を実施することにより、モータースポーツに関する理解と機運を高め、将来的なモータースポーツの拠点となる(仮称)沖縄サーキット建設を実現する。 H28~H31:イベント実施	
3			道路景観形成推進事業	H24 ~ H33	観光周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保並びに温室効果ガス(CO2)の排出抑制に向け、道路植栽等整備工事や環境負荷の少ないLED道路照明器具の整備等を行う。	道路植栽等整備実施設計 1路線 道路植栽等整備工事 2路線 照明灯LED化取替 11基	実施設計(道路植栽等) 1路線の完了 道路植栽等整備 2路線の完了 照明灯LED化 取替11基の完了 主要施設来場者数 H28:241万人 CO2排出量の削減 削減目標値:7,800kg-co2	H29年度 道路植栽等実施設計 1路線 道路植栽等整備工事 1路線 照明灯LED化取替 8基 H30年度~H33年度 道路植栽等実施設計 道路植栽等整備工事 照明灯LED化取替	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		観光地周辺道路整備事業	H24 ～ H28	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性を確保するため、歩行空間におけるサイン等整備工事を行う。	サイン(照明)整備工事 1路線	主要施設来場者数 H28:241万人	(今後の展開方針) 整備したサイン等を観光関連イベント等のPRに活用するなど、イベント主催者や関係団体等と連携しながら、観光まちづくりに向けて取り組む。	
4		子ども科学力育成事業	H24 ～ H33	子どもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントや科学体験プログラムの実施、学校等における出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。	科学普及イベント開催:3回 科学体験ワークショップ開催:30回 出前科学教室開催:100コマ	科学普及イベント参加者数:16,000人 科学体験ワークショップ参加者数:(50人/1回) ×30回=1,500人 出前科学教室参加者数:(40人/1クラス)×100コマ=延べ4,000人	(今後の展開方針) H28～33年度 科学普及イベント・ワークショップ開催による意識啓発及び出前科学教室による学力向上を並行的に実施。	
4		児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ H33	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学校支援教育補助者、キャリア教育コーディネーター、教科コーディネーター、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	キャリア教育コーディネーターの配置 2人 教科コーディネーターの配置 3人 日本語指導員の配置 4人 外国語指導助手の配置 25人 学習支援員の配置 24人 学校支援教育(TT及び少人数加配)の配置 2人	キャリア教育コーディネーターの配置 2人 目標 対応可能児童生徒数 3,284人 研修会等 24回 教科コーディネーターの配置 3人 目標 対応可能児童生徒数 2,516人 授業日数:203日 学習支援員の配置:24人 目標 対応可能児童数1,587人 授業日数:208日 日本語指導員の配置:4人 目標 対応可能生徒数:30人 授業回数:1,200回 外国語指導助手の配置:25人 目標 対応可能生徒数14,758人 授業日数:221日 学校支援教育補助者の配置 2校 目標 対応可能児童生徒数 823人 授業日数:203日	(今後の展開方針) H28～33年度 コーディネーター及び学習支援員、指導助手等の配置 標準学力調査の実施及びその結果を活用し、沖縄県の総括目標に沿って、H29年度までに全国学力学習状況調査及び沖縄県学力到達度調査の市結果において、正答率の割合を高め全国水準に到達できる活動を推進する。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ H33	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	看護師1人 幼稚園特別支援学級担当29人 幼稚園特別支援教育支援員7人 心理士2人 保健師 1人 看護師2人 市スクールカウンセラー9人 心の教室相談員8人 市スクールソーシャルワーカー1人 学校支援教育補助者16人 特別支援教育補助者45人 教育相談員2人 適応指導教室指導員2人 巡回支援指導員4人 適応指導教室正式入級のうち70%を学校復帰できるよう指導	・看護師 1人 目標:園児1名の対応 ・幼稚園特別支援学級担当 29人 目標:園児79名の対応 ・幼稚園特別支援教育支援員 7人 目標:園児155名の対応 ・心理士 2人 目標:検査件数160件 ・保健師 1人 目標:相談及び指導助言件数60回、健診業務16回 ・看護師 2人 目標:児童対応数2名 ・市スクールカウンセラー 9人 目標:カウンセリング実施数650件 ・心の教室相談員 8人 目標:相談件数650件 ・市スクールソーシャルワーカー 1人 目標:対応件数150件 ・学校支援教育補助者 16人 目標:不登校児童生徒数H26年度292件を基準として毎年10%減(H28:238件) ・特別支援教育補助者 45人 目標:支援生徒数180名 ・教育相談員 2人 目標:相談活動等300件 ・適応指導教室指導員 2人 目標:適応指導教室正式入級数のうち70%を学校復帰できるよう指導 ・巡回支援指導員 4人 目標:巡回支援回数500回以上	(今後の展開方針) H28～33年度 幼稚園・小学校・中学校へ特別支援担当及び教育補助者の配置 スクールカウンセラーの配置 16校/年 適応指導教室教育相談員及び指導員、巡回支援指導員の配置	12月変更 (計画変更に伴う活動目標・成果目標変更)	
4	青少年等支援事業	H25 ～ H29	青少年の非行防止および健全育成を図るため、青少年教育相談指導員を配置し、電話・来所・訪問相談、登下校の巡回指導、各種体験活動等を行うとともに、青少年指導員による夜間の街頭指導を行う。 また、若者相談窓口担当相談員を配置し、困難を有する若者の自立や非行に関して悩みを抱えている家族や本人等に対し、情報提供や支援を行う。	青少年教育相談指導員配置 嘱託職員8名 青少年指導員配置 126名 若者相談窓口担当相談員配置 嘱託職員2名	登下校の巡回指導 200回 夜間の街頭指導 250回	(今後の展開方針) H28～29年度 登下校の巡回指導 200回/年 夜間の街頭指導 250回/年		
4	中学生海外短期ホームステイ派遣事業	H25 ～ H29	「国際文化観光都市」を宣言している沖縄市では、次代を担い、これからの国際化社会に活躍できる人材を育成することを目的として、市内中学校の生徒を対象に、夏休み期間中の海外ホームステイ活動を支援する。	生徒派遣人数 8名	派遣後、アンケートによる意識調査等により、派遣前英検取得より上位級の取得を促す。 また、本市で主催する行事等において通訳ボランティア補助として活用する。	(今後の展開方針) H28～33年度:短期ホームステイ活動支援 派遣人数 8名/年間		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			若年者就労等支援事業	H24 ~ H28	沖縄市の小中高校生の勤労観・職業観の育成を図るため、沖縄市グッドジョブ連携協議会において、産学官、地域連携によるキャリア支援事業を実施する。	・職業意識の向上に資する講演会等の開催 ・講話等について、教育現場からの要望に応じた企業と教育現場のマッチング ・生徒と地域の産業界とが連携しての、地元の特産品開発や流通工程を活用した取り組み	就業意識向上支援事業参加者数 200人 アンケートにおける就業意識の改善	(今後の展開方針) H28年度 講演会等の開催 4回 就業意識向上支援事業参加者数 200人	
5			就労支援センター事業	H25 ~ H28	雇用の対策を図るため、沖縄市就労支援センター等において、求職者を対象に、就労相談や就労支援講座等の開催および職場体験のコーディネート、職業斡旋などをおこなう。	就労相談 約2,000人/年 就労支援講座の開催 11回 職場体験 35件 職業斡旋(想定件数)500件/年	就職決定者数 700人 (H26年度実績:671件)	(今後の展開方針) H28年度 就労相談約 2000人/年 就労支援講座の開催:12回 職場体験:40件 職業斡旋(想定件数)500件/年 就職決定者 750人	
5			中小企業人材育成支援事業	H25 ~ H30	市内中小企業者に対し、技術力の向上や能力開発のための人材育成支援をはじめ、在沖米軍発注業務の受注にかかる通訳・翻訳などの契約業務を支援することにより、本業務にかかるノウハウを持った人材を育成し、産業の振興や新たな雇用の創出を図る。	人材育成講座の開催 9回 米軍発注業務受注支援(情報発信) 12ヶ月	人材育成講座受講者数 162人 米軍発注業務受注件数 10件 米軍発注業務受注金額 1億円	(今後の展開方針) これまでの取り組みの成果等を検証し、改善を図り、実施する。また、今後の展開方針を定める。	
5			雇用環境基盤検討調査事業	H24 ~ H28	本市雇用情勢の改善を図るため、内陸部準工業地域内において雇用創出の受け皿となる製造関連産業などの企業誘致を行うための環境整備等を検討する。	・企業誘致に資する交通に関する調査検討を行う。	・交通(追加インターチェンジ)に関する調査検討の完了	(今後の展開方針) H29以降:内陸部準工業地域内環境整備、追加インターチェンジの整備	
5			(仮称)雇用促進施設整備事業	H26 ~ H28	中心市街地における大型空き店舗を取得し、企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として再整備することにより、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図る。	・雇用促進施設としての再整備のため、修繕、改修工事を行う。	・修繕、改修工事の完了(達成率100%)	(今後の展開方針) 事業実施後(概ねH29年度目標) 被雇用者目標:300人 現状約150人	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		(仮称)情報通信産業施設整備事業	H28	情報通信産業の振興による企業誘致及び雇用の確保を図るため、情報通信関連施設の現状把握や施設の充実化に向けた方向性について調査を行う。	対象3施設の利用状況、機能、建物本体の状況の整理	対象3施設の調査、課題整理の完了	(今後の展開方針) H29年度 基本・実施設計 H30年度 施設整備	
5		中城湾港新港地区物流促進支援事業	H24 ～ H28	港湾機能の充実により地元中小企業の振興と雇用の創出を図るため、中城湾港新港地区において運送等物流促進を支援する。	運送等物流促進を支援	中城湾港における実証実験船貨物量 250t / 回	(今後の展開方針) H29年度以降 定期船を週1回以上就航させることにより、中城湾港新港地区西埠頭を充実強化し、市の産業振興を図る。	8月変更 (事業追加)
6		地域ブランド推進事業	H24 ～ H29	魅力ある沖縄市ブランドの確立によるものづくり産業を振興するため、市内の優れた地域資源(二次加工品等)を沖縄市ブランドとして認定しPR等を行う沖縄市地域ブランド認定制度等を支援する。	地域ブランド認定制度 3商品 地域資源選定制度 10商品 プロモーション活動 10ヶ月 商品のブラッシュアップ等支援 3件/年	コザスター商品認定数 延べ13商品 コザチョイス商品選定数 延べ93商品 商品のブラッシュアップ支援 3件	(今後の展開方針) H29年度 地域ブランド認定制度 延べ16商品 地域資源選定制度 延べ103商品 プロモーション活動 10ヶ月 商品のブラッシュアップ等支援 3件/年	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				7		地域防災対策事業		
7		災害時緊急避難通路整備事業	H24～H33	自然災害などに対する防災力の向上のため、低地における里道を利用した緊急避難通路を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計の実施 ・整備工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計1ヶ所の完了 ・整備工事2箇所(H25年度実施設計箇所)の完了 整備工事の完了により、津波時における住民の徒歩による避難通路を確保することができ、自然災害からの被害軽減が図られる。 (整備予定である7路線中3路線の完了) 	(今後の展開方針) H29年度 避難通路整備工事1ヶ所 H29～H33年度 避難通路整備工事 ・避難所までの避難時間の短縮 整備前:平均15分 整備後:平均8分(7分短縮) 仮の避難ルート(正式には自主防災組織にて決定)の距離をネット上で計測しているため、おおよその避難時間で算出	12月変更(計画変更に伴う活動目標・成果目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		救命処置普及強化事業	H25 ～ H29	災害時等において、市民等に重篤な傷病者が発生した場合、居合わせた方が救命処置をおこなえるよう、受講者の育成、応急手当講習会の開催を増やすとともに、24時間営業のコンビニエンスストア等にAEDを設置する。	コンビニエンスストアへのAED設置 (新規1店舗) 応急手当講習会の開催 228回	市内コンビニエンスストア等AED設置率 100% 応急手当講習会開催 受講者数 4800人 (H26年度実績:4170人)	(今後の展開方針) H29年度 応急手当講習会 252回 受講者数 5300人 (応急手当講習会受講者述べ人数 目標:21,500人)	
7		学校安全対策強化事業	H24 ～ H33	安全教育(防災・交通・防犯)で、子どもたちの安全への意識を高めるために、土地の標高や避難場所、危険箇所等の情報を盛り込んだハザードマップを、子どもたちが普段から活用できる下敷き(各学校区ごとに作成)にして子どもたちに配布する。	各学校区ごとの安全・防災下敷き作成・配布	各学校年2回活用 (新年度:4月、津波防災の日:11月)	(今後の展開方針) H29～33年度 市内の幼稚園及び小学校に通う児童全員(約12,000人)に配布し、災害時の避難経路、学校周辺の危険箇所を身に付け、安全への意識を高める。	
8		里道および水路の境界確定復元事業	H24 ～ H33	戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業をおこなう。	里道の境界確定測量実施 水路の境界確定測量実施	里道 7,090mの境界確定測量完了 (全体に対する整備率 約22.51%) 水路 3,000mの境界確定測量完了 (全体に対する整備率 約56.52%)	(今後の展開方針) H28～33年度 里道の測量 各年度 9,000m 水路の測量 約18,000m	
9		東部海浜地区開発事業	H25 ～ H28	東部海浜開発地区景観基本方針検討調査に取り組むとともに、イベント等を活用したPR業務を行う。また、東部海浜開発事業を推進するため、東部地域と連携し、地域活性化を推進する業務を行う。	東部海浜開発地区景観基本方針検討調査の実施 東部海浜開発事業PR業務の実施 東部海浜開発地域活性化推進業務の実施	東部海浜開発地区景観基本方針に関する検討事業PRブースへの来場者目標:6,000人 (H27:5,850人)	(今後の展開方針) H28年度中に東部海浜開発地区に関する各種取組を見直しを行い、H29年度の実施事業に反映させる。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10		コミュニティーパーク整備事業	H24 ～ H28	市民の健康づくりや地域住民相互の交流等を促進するため、地域住民の意見・ニーズを反映させた実施設計をもとに、誰もが快適に健康づくりを行える公園整備工事を実施する。	<p>【若夏公園】 (委託) ・若夏公園確認探査業務委託 ・若夏公園管理棟新築工事監理業務委託 ・若夏公園管理棟新築工事意図伝達業務委託 ・特別調査 (工事) ・若夏公園整備工事1工区 ・若夏公園整備工事2工区 ・若夏公園整備工事3工区 ・若夏公園管理棟新築工事</p> <p>【(仮称)美東公園】 (工事) ・(仮称)美東公園施設整備工事</p>	若夏公園:施設整備工事の完了 (仮称)美東公園:施設整備工事の完了	<p>(今後の展開方針) 【整備後の施設活用した取組】 (市民の健康づくり関連) ・スポーツ・レクリエーションを楽しむ、健康づくりのできる場として、園路や多目的広場を利用する。</p> <p>(地域住民相互の交流等) ・周辺から見通しのきく植栽配置や施設配置、近隣にある公共施設とのスムーズな連絡など安全な利用ができる。</p>	
11		沖縄こどもの国推進事業	H27 ～ H33	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化に向け、情報発信メディア整備、マーケティング計画等を戦略的に実施するため、ソフトサービス関連実施計画を策定する。	沖縄こどもの国の機能強化のため、ソフトサービス関連の計画の検討。	ソフトサービス関連実施計画の策定完了。	<p>(今後の展開方針) H29～H33:今後も計画性をもって、計画事業スケジュールに基づき、適正な事業実施を行い、沖縄こどもの国の充実を図る。</p>	5月変更 (計画変更に伴う事業内容変更) 2月変更 (計画変更に伴う事業内容変更)
12		沖縄市優良母牛リース支援事業	H27 ～ H29	肉用牛の改良により市内畜産農家の経営基盤安定化を図るため、優良繁殖母牛の導入を支援する。	優良母牛のリース事業を行う団体に対して支援する。(40頭の導入支援)	優良母牛を各農家へ全体計画の60%を目標に導入することで、繁殖母牛の若齢化や肉用牛の改良等がすみ改良基盤の安定化が図られる。	<p>(今後の展開方針) H29まで継続して優良母牛を導入することで、経営基盤安定化が図られる。 H29:40頭(全体計画100%達成) 全体計画は、H27～H29までの3年間に100頭の導入支援。</p>	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
13		郷土資料整備事業	H27 ~ H33	沖縄県・沖縄市に関する歴史や文化、産業に関する郷土資料を収集し、本市の伝統文化と異文化が融合した特徴的なコザ文化をはじめとする地域文化を学ぶ環境づくりに努める。	郷土資料の購入・収集の実施 2,133点	郷土資料の購入・収集 2,133点完了 郷土資料の利用点数 延べ 1,025点	(今後の展開方針) H28: 2,133点 郷土資料の購入資料の閲覧、貸出等共用開始 (H29年3月) H29～H33: 各1,385点 郷土資料の購入・資料の閲覧、貸出	
14		高原周辺地域排水処理現況調査事業	H28	本市高原地区や与儀地区、比屋根地区等において、米軍統治下時代に敷設された地下污水管への排水処理状況等を特定するための調査を行う。	地下污水管等の調査の実施	地下污水管等の調査の完了	(今後の展開方針) 本事業の調査結果を活用し、当該地域の排水処理の適正化を図る。	
15		跡地利用計画策定事業	H28	知花ゴルフ場跡地の有効利用による地域活性化や福祉の向上などを図るため、跡地利用に向けた調査を行ない、基本構想及び基本計画を策定する。	基本構想の検討 基本計画の検討	基本構想の完成 基本計画の完成	(今後の展開方針) 策定した基本構想及び基本計画に基づき、北部地域の活性化に向けた施策を展開する。	
16		沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ~ H33	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設等の整備やサイン等の整備、拡充予定地の用地測量を行う。	既存区域の基本設計の実施 拡充予定地用地測量の実施 新規動物舎の基本実施設計の実施 琉球弧エリアの施設演出実施設計の実施 エントランスから琉球弧エリアにかけてのサイン等整備の実施	既存区域の基本設計完了 拡充予定地用地測量完了 新規動物舎の基本実施設計完了 琉球弧エリアの施設演出実施設計完了 エントランスから琉球弧エリアにかけてのサイン等整備完了	(今後の展開方針) H28～H33: 今後も施設整備基本計画に基づき、沖縄こどもの国の機能強化のため、施設の充実を図る。	5月変更(事業追加) 8月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		地域特性を活かした観光振興事業	H24 ～ H33					
1		瀬長島観光拠点整備事業	H24 ～ H28	瀬長島全体の利便性の向上を図り、平成24年度に策定した「瀬長島観光拠点整備基本計画」を踏まえ、観光拠点として必要な施設並びに設備等の整備を行う。	瀬長島内の施設並びに設備等の整備を実施。(委託、防犯灯施設490m、駐車場等施設、レトロ角柱、サイン看板)	全体整備計画の事業100%完了(委託、防犯灯施設490m、駐車場等施設、レトロ角柱、サイン看板の完了)による瀬長島全体の利便性向上	(今後の展開方針) 平成28年度事業完了以降の瀬長島における将来の来島者数目標値:160～192万人/年	
1		文化観光創出事業	H24 ～ H33	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・豊見城城址跡地用地(約16,600㎡)の用地取得と立木等の補償 ・園路及び地下埋設物、雨水排水施設等の整備 ・斜面緑地ゾーン法面調査実施設計	平成30年度中の一部供用開始に向けた事業の着実な実施を目指す。 ・用地全体の約70%確保(全体面積約13.5ha) ・園路及び地下埋設物(整備延長L 540m)、雨水排水施設(整備延長L 180m)等の整備 ・斜面緑地ゾーン法面調査実施設計 一式	【今後の展開】 ・用地取得と立木等の補償(～H30年) ・園路等の施設整備 ・駐車場の整備 ・グスクの復元(～H33年)	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1		とみぐすく祭り事業	H26 ～ H33	歴史文化に育まれた子どもエイサーや豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつなぐ響むまちとみぐすく」の実現を目的とする。	とみぐすく祭りの開催	とみぐすく祭りの開催 とみぐすく祭りの来場者数:91,500人 県外観光客数:14% 基準年:H26・90,765人	来場者数及び県外観光客の増	
1		観光振興等支援事業	H25 ～ H29	市観光協会などが実施する観光資源の開発やイベント事業を支援することにより、観光振興や地域振興に取り組む担い手となるまちづくり団体を育成し、観光振興に取り組める環境づくりを図る。また、オフシーズンの誘客対策として新たな特色ある観光事業の誘致や開催を検討するとともに、観光PR活動を行う。	・豊見城市観光協会等の補助対象団体からの補助対象事業を公募し、選定委員会にて将来、豊見城市の観光振興に資する事業で自立が見込まれる内容を適切かつ公平に2～3団体選定、補助金交付。 ・観光PRツール制作	・観光地点等入込客数 約230万人(H23年度) 約299万人(H28年度)	・同事業の周知を広く行い、更なる観光客の誘客促進、地域活性化を図る。 H29入域観光客数:307.5万人	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ H33	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹木の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	植樹木の除草清掃(1390株、3回除草清掃) プランターの植栽管理(464個)	植樹木の除草清掃、プランターの植栽管理を行い、魅力ある観光地づくりに寄与する。	(今後の展開方針) 植樹木の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。	
1		豊見城市景観重点地区調査検討事業	H28 ～ H29	市景観計画に基づき、本市の自然や歴史・文化資源などの地域資源をまもり、育て、豊見城らしい景観まちづくりを推進し、地域資源を活用した新たな観光資源の創出や地域の活性化を図るため、景観重点地区(モデル地区)の指定に向けた、調査・検討を行う。	地域資源、住民意向を把握し、重点地区指定に向けて、住民の合意形成を図り地区方針等を検討する。	景観重点地区指定基礎調査報告書の作成	(今後の展開方針) H29年度:景観重点地区計画策定及び重点地区の指定	
1		新たな公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28 ～ H32	公共交通機関の利用低下や沖縄県が行う鉄道を含めた新たな公共交通システムに対応し、観光客・住民の生活利便性の向上及び産業の振興を図るため、本市における公共交通の現状把握及び課題の整理、新たな公共交通システムの導入の意義、将来像やモデルルートの設定と需要予測、実現に向けた施策の展開等の調査及び検討を行う。	新たな公共交通システム導入可能性の調査及び検討	新たな公共交通システム導入可能性調査検討報告書の作成	(今後の展開方針) H29年度:詳細検討、実証実験の検討 H30年度:実証実験 H31年度:本格運用 H32年度:本格運用	
1		豊崎総合公園シャトルバス実証実験事業	H28	豊見城市民体育館におけるイベント時の駐車場対策に対応するため、豊崎総合公園内のビーチ側から市民体育館までを往復するシャトルバスの試行・運行を実施する。	バス運行の計画検討 ・大型バス2台/日	実証実験の結果を出し、シャトルバス運行に向けての運営計画の策定	[今後の展開] バス運行の実験を基に定期的な運行を検討していく	
1		豊崎海浜公園景観保全事業	H28	公園利用者の休養・散策・運動等に供する施設の提供として、公園内にある枯損木の植え替えを行う。	景観保全工事を行う。	沖縄らしい景観を保つことにより、観光客増加を図りたい。	指定管理者における適切な管理を行い、公園の景観性向上を図る	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		観光力向上事業	H28 ～ H30	豊見城市の各種計画を踏まえ、将来への展望、背景等を考慮した提案を幅広く受け、豊見城市の観光に資するための人材育成を行い、今後の観光客の受け入れ態勢の充実を図る。	観光に資する人材を育成するための事業実施	人材育成された者等にアンケートを実施し[満足・やや満足・普通・やや不満足・不満足]の5つに分類し、不満足度が40%以下を目標値とする。不満足度 = やや不満足、不満足合計割合。	各年度の終了ごとに、観光関連の市内事業所(任意団体含む)等への定着を促す。	5月変更(事業追加)
1		豊崎美らSUNビーチ浚渫基礎調査事業	H28	公園利用者の利便性向上のため、豊崎美らSUNビーチの南北2つの浜の測量・潮流等の調査業務を行う。	豊崎美らSUNビーチ基礎調査業務の実施	豊崎美らSUNビーチ基礎調査業務を実施し、対策工法の検討を行う。(基礎調査完了)	(今後の展開方針) ビーチ利便性向上に向けた浚渫に関する調査の実施	5月変更(事業追加)
1		豊崎海浜公園東屋改修事業	H28	公園利用者が快適に施設を利用できるよう、東屋の柱のタイル工事を行う。	東屋の柱のタイル張り工事の実施	東屋の柱のタイル張り工事の完了	指定管理者における適切な管理を実施する。	8月変更(事業追加)
1		与根漁港複合施設整備事業	H27～ H29	複合施設を設置し、漁港利用者及び遊漁船利用者の利便性を高め、漁業活性化を図る。	与根漁港複合施設に係る実施設計の実施	与根漁港複合施設に係る実施設計の完了	H29建築工事 遊漁乗客数 基準年(H25)2500人 H30 2600人	12月変更(事業追加)
2		持続可能な安全・安心なまちづくり事業	H24 ～ H28					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			低炭素社会構築事業(省エネ設備導入促進事業)	H26 ~ H28	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	自治会等所有の防犯灯約700灯及び豊見城市所有の防犯灯等約80灯をLED化	自治会等が設置した防犯灯等が排出するCO ₂ 約126,892kg減量 基準年度:平成26年度(422,976kg) 自治会等及び豊見城市が所有している防犯灯等の温室効果ガス(CO ₂)排出量の合計値	(今後の展開方針) 平成28年度で事業終了ではあるが、自治会等が防犯灯等を設置する際は環境負荷の少ないLED照明の設置を推進する。	
2			低炭素社会構築事業(給食センター省エネ設備導入促進事業)	H28	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、照明施設(蛍光灯)を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	・学校給食センターLED照明設置234灯	学校給食センター照明施設 CO ₂ 年間削減量 7,400kg 基準年度:平成26年度(17,532kg)	エネルギー使用の効率化を図り、消費電力の削減とCO ₂ 排出量の削減を図る。	
3			地域特性を活かした産業活性化事業	H24 ~ H33					
3			とみぐすく産業まつり事業	H25 ~ H33	豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、市民および観光客等に対し、市内の各種産業のPRを行い産業の振興を図る。 また、異業種間での情報交換や交流の場とすることで、産業界間の連携を生み出し新たな産業の創出を図る。	とみぐすく産業フェスタの開催に係る経費の負担	とみぐすく産業フェスタの来場者数 36,000人 (H25:30,190人)	負担金の支出金額を減らしつつ、来場者数の増加を図る。	
3			県外販路拡大支援事業	H26 ~ H31	市内事業所が開発した商品・サービスの販路拡大を図るため県外において開催される展示会・見本市等への出展に対する支援を行う。	県外で開催される、展示会・見本市等へ出展する事業所に経費の助成を行う。	県外展示会・見本市等において、市特産品等のPRを行い、販路拡大につながるネットワークを構築	市内事業所の出展等ニーズに沿った展開を行う。	
3			豊見城産トマト・葉野菜販売促進事業	H27 ~ H29	豊見城産トマト・葉野菜は施設整備が進み生産量も増加傾向にあるため、今後県内への出荷が集中することによる価格の下落が懸念されている。 豊見城産トマトは、県の拠点産地に認定されており、また、葉野菜は県内有数の産地となっていることもあり、豊見城産ブランドをPRし、県内外において新たな販路拡大のための販売促進活動を実施する。	豊見城産トマト・葉野菜販売促進活動 6回	豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量 H28:543t(2年目) [H25:369t(基準)]	(今後の展開方針) 豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量 H25:369t(基準) H27:528t(1年目) H28:543t(2年目) H29:563t(3年目)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	優良母牛導入支援事業	H27 ~ H29	優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う。	優良母牛導入に対する補助	優良母牛の導入頭数 H28年度:15頭	優良母牛導入頭数 H27:15頭(1年目導入率33%) H28:15頭(2年目導入率66%) H29:15頭(3年目導入率100%)		
3	豊見城市いきいき野菜生産支援事業	H24 ~ H28	豊見城産野菜について、市場や量販店の求める定時、低品質等の安定供給を推進するためにも、天候悪化に左右されない耐候性野菜栽培施設を導入する。	耐候性野菜栽培施設導入に対する補助	H28年度:耐候性野菜栽培施設導入	(今後の展開方針) 耐候性野菜栽培施設を導入し、軟弱野菜の計画的な生産、安定供給が可能となり、販路拡大や生産農家の経営安定を図る。		
4	次世代育成支援事業	H24 ~ H33						
4	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ~ H33	公立幼稚園及び公立・法人・認可外保育施設における「特別な支援を必要とする子」への保育の充実ときめ細かい対応及び早期発見を図るため、臨床心理士の専門指導員を配置し、相談・支援を行う。	臨床心理士配置数:2人	「特別な支援を必要とする子」への対応や保護者への相談・支援件数120件	(今後の展開方針) 障害児保育等の実施、健診及び相談支援部門と保育部門の連帯性の確立		
4	心理相談事業	H26 ~ H33	乳幼児健診において臨床心理士を配置し、乳幼児健診の充実を図るとともに、発達支援を要する乳幼児の早期発見に努める。また、乳幼児健診後の事後フォローとして親子教室、個別相談を行い、適切な関わり方の助言や、育てにくさを抱える保護者の育児不安軽減を図る。発達支援を必要とする乳幼児については、保育所、療育機関、医療機関等と連携し早期支援につなぐ。	乳幼児健診における心理相談 30回 親子教室における心理相談 12回	健診事業等での発達相談 80件 個別相談 80件 親子教室から早期支援のための関係機関への移行 7組	(今後の展開方針) 健診及び相談支援部門と保育部門の連帯性の確立、保育士に対する普及啓発や研修の実施		
4	預かり保育事業	H24 ~ H33	市立幼稚園教育時間終了後、幼稚園施設内で預かり保育を実施し、園児の健やかな発達と子育て環境の充実を図る。	預かり保育担当教諭配置:40名予定	預かり保育を要する全園児の受入	(今後の展開方針) 預かり保育担当教諭を継続配置し、共働き世帯等の保護者の負担の解消及び園児の健やかな発達と子育て環境の充実を図る。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			生きる力を育む人材育成事業	H24 ～ H33					
5			学力向上サポート事業	H24 ～ H33	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員配置数(各学校1人) 小学校:8人 中学校:3人	全国学力調査での全国平均との差 小学校 5教科平均 +2.0ポイント以上(維持) H27年の差+3.18ポイント 【全国平均(63.28点) 本市(66.46点)】 中学校 5教科平均 -5ポイント(0.78ポイント改善) H27年の差-5.78ポイント 【全国平均(60.12点) 本市(54.34点)】	平成33年まで事業を維持し、全国平均との差を小学校+2ポイント、中学校0ポイントとする。	
5			情報教育補助員派遣事業	H24 ～ H33	コンピューター、電子黒板を使用する授業へICT教育補助員を派遣し、ICTを活用した授業をサポートする。	情報教育補助員配置数:3人	ICT機器等活用率:前年比+0.5ポイント (参考:平成26年度 小学生71.8ポイント 中学生24.6%)	平成33年度まで継続的に情報教育補助員の配置を行い、ICT機器等活用率90ポイントとする。	
5			適応指導教室学習支援員配置事業	H24 ～ H33	不登校児童生徒やその保護者に対し指導員を配置し、教育相談や適応指導等の適切な支援を行うことにより学校復帰及び社会的自立を支援する。	適応指導教室学習支援員配置数 適応指導教室:2人	学校復帰率:10%(学校復帰した児童生徒/教室に在籍した児童生徒)	平成33年度まで継続的に適応指導教室学習支援員の配置を行い、学校復帰率30%を維持する。	
5			自立支援教育指導員配置事業	H25 ～ H33	不登校や問題行動のある児童生徒の日中の居場所を確保し、学級復帰及び社会的自立を支援するため、指導員を配置する。	自立支援教室指導員配置数 中学校:3人(各中学校1人)	市内中学校における問題行動発生率 前年比-5%	平成33年度まで継続的に自立支援教室指導員を配置し、対象生徒数を各学校生徒数の1.5%以内に	
5			スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ H33	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善を図り、児童相談所等の関係機関とのネットワークの構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	SSW配置数:3人 市内小学校8校、中学校3校への巡回配置	支援対象ケース改善率 3%(改善ケース/支援対象ケース件数)	平成33年度まで継続的にSSWを配置し、関係機関との連携構築を行い、維持する。	
5			登校支援員配置事業	H25 ～ H33	不登校や不登校傾向にある児童やその保護者に対し、相談等の支援を充実するため、登校支援員を配置し巡回など行う。	登校支援員配置数 小学校:4人(小学校2校につき1人)	市内小学校における不登校児の学校復帰率 10%	登校支援員の継続配置を行い、学校復帰率(復帰人数/利用児童数)の改善(平成33年:30%)を図る。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		学習支援補助員配置事業	H26 ～ H33	市内各中学校等の別室にて不登校(心因性や遊び・非行型)や問題行動のある生徒の生活指導や学習支援等を行うため、学習支援補助員を配置する。(主に中学校、状況に応じて小学校に配置する。)	学習支援補助員配置人数 中学校等:3人(中学校区に1人)	問題行動等改善率:30% (補助員が関わった課題のある児童生徒のうち改善が見られた児童生徒数/補助員が関わった課題のある児童生徒数)	平成33年度まで継続的に学習支援補助員を配置し、問題行動等改善率を30%を維持する。	
5		パソコン教室整備事業	H25 ～ H33	パソコンを活用した学習カリキュラムを実施し、生徒の学習への興味、関心を高めながら学力の定着及び向上を図る他、情報端末操作技術の向上等、情報活用能力の向上のため、市内各小中学校におけるパソコン教室に備品(パソコン)を整備する。	5学校のパソコン教室のパソコン整備(サーバー機1台、先生機1台、生徒機42台)	ICT機器等活用率:前年比+0.5ポイント (参考:平成26年度 小学生71.8ポイント 中学生24.6%)	(スケジュール) 平成28年度:伊良波小学校、座安小学校、上田小学校、豊見城小学校、長嶺小学校 平成33年度までのICT活用率90ポイントとする。	
5		中学校デジタル教科書整備事業	H28	画像、音声及び動画など、マルチメディア資料を豊富に含むデジタル教科書を各中学校へ整備し、パソコン教室や電子黒板で活用するなど、学習環境の向上を図ることにより、生徒の学習に対する興味・関心を高める。	市内3中学校へのデジタル教科書の配備	デジタル教科書の配備:中学校3校完了	(今後の展開方針) 全国平均との差を小学校+2ポイント、中学校0ポイントとする。	
5		外国人英語講師配置事業	H25 ～ H33	児童生徒の英語学習や国際理解教育の向上を図るため、外国人講師を配置する。	外国語英語教師(ALT)の配置数 外国人:4名	児童生徒の英語学習への興味・関心度 66%	外国人英語講師を継続配置し、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、県学力到達度テスト県平均±0を目指す。	
5		小学校英語活動講師派遣事業	H25 ～ H33	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を派遣する。	英語指導講師派遣校数 小学校:8校	児童の英語学習への興味・関心度 75%	英語活動講師の継続派遣を行い、小学生の英語に対する興味関心を引き出すとともに、中学校進学後における県学力到達度テスト県平均±0を目指す。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			児童生徒派遣費補助事業	H25 ～ H33	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を助成	助成対象者に対する助成件数(%)：100%	(今後の展開方針) 33年度まで児童生徒の派遣費の助成を行う	
5			青少年国際交流事業	H25 ～ H33	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	市内中学生14名をハワイ州に派遣 報告会の開催(1回)	語学力向上等の興味関心度90%以上 (参考:H27「語学力の向上が図られた」86%)	県内で開催される国際大会(世界のウチナンチュ大会等)にボランティアとして派遣し、語学力を向上させる。	
5			電子黒板整備事業	H25 ～ H28	ICT活用を図り、効果的な授業を展開することで、児童生徒の理解を深めるため、特別支援教室及び普通教室の増クラス分へ電子黒板を整備する。	電子黒板の整備14台	電子黒板の整備完了 今年度は、電子黒板の整備を行い、ICT機器等活用率:前年比 +0.5ポイントにつなげる(操作・理解、関心・意欲) 電子黒板活用教科数:2教科以上(国語、算数・数学)	整備した電子黒板を活用した授業等の実施	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
5			特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ H33	市立幼稚園・小中学校において、特別に支援を要する幼児児童生徒の教育活動の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置し支援を行う。	特別支援教育支援員の配置:77人	支援を要する園児児童生徒への配置(%)：100%	(今後の展開方針) 33年度まで継続的に配置を行い、十分な教育受けることができるように配慮する。	
5			幼稚園保育室等クーラー設置事業	H28	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続く地域である。園児の健康維持や熱中症対策を行う必要があることから、クーラー設置を行う。	整備園数:5幼稚園(13室) 「長嶺幼稚園・座安幼稚園・豊見城幼稚園・伊良波幼稚園・とよみ幼稚園」	整備園数:5幼稚園(13室) 「長嶺幼稚園・座安幼稚園・豊見城幼稚園・伊良波幼稚園・とよみ幼稚園」	(今後の展開方針) H28年度:整備後供用開始	
5			小中学校クーラー設置事業	H24 ～ H28	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続く地域である。小中学生の健康維持や熱中症対策を行う必要があることから、クーラー設置を行う。	学校数:2小学校(5室) 2中学校(4室) 「豊見城小学校・伊良波小学校」 「長嶺中学校・伊良波中学校」	学校数:2小学校・2中学校(9室) 「豊見城小学校・伊良波小学校」 「長嶺中学校・伊良波中学校」	(今後の展開方針) H28年度:整備後供用開始	
6			文化のまちづくり推進事業	H24 ～ H28					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			文化財説明板設置事業	H24 ～ H28	本市に存する文化財に説明板を設置し、文化財に係る地域住民の理解を深め、保全を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。	市内文化財説明板設置件数 5基 ホームページを活用した文化財説明板設置個所の紹介	見学者が文化財へ訪れやすい環境の整備 (文化財説明板累計設置件数 25基) (HP内において設置個所の紹介 25件)	(今後の展開方針) 「史跡めぐり」等行事・イベントの開催やホームページ閲覧数の向上等で周知・紹介の機会を増加させる。 地域住民には文化財への理解と保全を促し、観光客には新たな観光資源の提供として活用していく。	
6			小中学校「空手」習得事業	H27 ～ H33	沖縄空手道会館が本市に建設されることに伴い、沖縄の伝統文化である空手を習得し、演武できる児童生徒を排出するため、市立小学校において、クラブ活動の時間に「空手」指導、中学校において、体育の授業を活用し、「空手」の指導を行う。	空手指導者の派遣 小学校8校、中学校3校	習得率(演武できる割合) 60%(習得人数/受講児童生徒数)	平成33年まで継続的に講師による授業を展開し、習得率100%を目標とし、沖縄文化を習得した人材(児童生徒)の輩出を行う。	
6			フィルム資料収集事業	H28 ～ H31	近代の歴史資料であるフィルム資料の収集を通じて、郷土資料の充実に資するため、豊見城に関するフィルム資料を収集し、撮影位置を調査・記録さらに原本の保存および複写を行う。 「豊見城市民が歩んだ沖縄戦からの復興と生活」をテーマに、沖縄戦をはじめとする様々な歴史的出来事に対して、豊見城市民が共に歩んできた様子、さらにそれらに立ち向かい復興を果たしてきた状況を伝える郷土の歴史資料を収集する。 収集した写真を基にトークイベントを開催し、市民への公開と更なる収集の呼びかけを行う。合わせて各機関が所蔵する豊見城市に関わるフィルム資料の収集を行う。	トークイベントの開催 4回 他機関写真フィルム資料事前調査	収集写真枚数 250枚 他機関所蔵写真フィルム目録作成	(今後の展開方針) 地域資料収集(H28～H31) 他機関事前調査(H28・H30) 他機関資料収集(H29・H31)	5月変更 (事業追加)
7			公営墓地整備事業	H27 ～ H31					
7			公営墓地整備事業	H27 ～ H31	平成27年度建設用地立地可能性調査を基に候補地・土地形態に応じた公営墓地形態の絞り込みを行う。	公営墓地整備基本計画の検討	H28年度：公営墓地整備基本計画のとりまとめ完了	(今後の展開方針) H29年度：基本設計 H30年度：実施設計 H31年度：工事施工	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		豊見城総合公園体躯施設機能強化事業	H28 ～ H31					
8		豊見城総合公園体育施設機能強化事業	H28 ～ H31	オリンピック・パラリンピック等のスポーツコンベンション誘致を推進するため、施設の現状と課題を抽出し、誘致に必要な条件、計画的な整備を推進するための検討を進め、市民のスポーツ振興及び競技力向上と観光客等の増加により地域活性化を図る	基本計画の検討	基本計画の取りまとめ完了	(今後の展開方針) 合宿誘致:5回(H32) 利用者数等:30,000人(H32)	
8		豊崎海浜公園テニスコート機能強化事業	H28	本市ではオリンピック・パラリンピック強化合宿を推進するため協議会を発足させ、誘致を強力に推進することとしている。 新設される、豊崎総合公園テニスコートにおいて、スポーツコンベンションを誘致するにあたり、観光振興の観点から大会・スポーツイベント等の開催を推進し、また、市民のスポーツへの参加意欲向上や健康増進と体力づくりを推進するためテニスコートの備品整備を行う。	テニスコートの備品購入	テニスコートの備品購入完了	H29年以降、大会・イベント・強化合宿等の誘致。	10月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	企業誘致推進業務委託事業	H24～H33	当市への企業立地を効果的に促進するために、企業情報を収集するとともに、本県へ進出を検討している企業に対し企業誘致を働きかけていく。	企業誘致訪問件数:年間120件	目標企業誘致件数:2社以上	H24年度:2社(実績) H25年度:6社(実績) H26年度:2社(実績) H27年度:2社(目標) H28年度～H33年度 各年2社以上の誘致を目標		
1	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24～H33	企業立地を促進するためには、技術者などの人材育成が重要であることから、ものづくりに関する人材養成事業(コンカレント人材養成事業など)を実施する。	人材育成 4研修実施 ・モールドエンジニア研修(ME) ・プロジェクトマネージャー研修(PM) ・コンカレントエンジニア研修(PM) ・短期研修	金型技術者人材育成数:30名	人材育成数 H24年度:59人(実績) H25年度:47人(実績) H26年度:71人(実績) H27年度:32人(目標) H28年～H33年度:各30人程度目標		
1	商品開発プロモーション事業	H25～H33	市内中小企業の商品開発の強化及び販路拡大を図るため、市産品や特産品、観光土産品の物産展やPR活動を行いながら、市産品の認知度向上に努め、販路拡大・開拓につながるよう事業を実施する。また、市の農水産物を活用した商品等の開発を支援し、売上の拡大等に繋がるようプロモーション活動を実施する。	・物産展回展回数:3回 ・商品開発講座にかかるワークショップ実施回数:5回 ・プロモーション関連活動数:2回	・物産展参加企業数:30社 ・物産展売上総額:750万円 ・商品開発講座参加事業者:8社以上 ・商談成立:2件	今後もうるま市の豊かな農水畜産物を使用した開発自体は事業者の自助努力で開発できるよう講座の開催及び助言を行う。事業者自身が知識を身に着け、売上効果が高くなるような仕組みを構築していく。		
1	EV自動車コミュニティ構築事業	H25～H33	中城湾港新港地区では、エンジニア養成事業を通じて多くの企業間の連携により小型EV自動車及びコンパクトEV車を製造するなど、新たな成果を納めている。「うるま市EVコミュニティ構築事業委員会」を設立し、EV自動車を本地域で製造・普及させるため調査を実施し、そのニーズを把握するための社会実験も合わせて実施することにより、ローカルニッチの新たなビジネスモデルの構築を目指す。	地域におけるEV普及の促進 地域での販売を見据えたEV製造経費低減の検証	EV普及のためのモニタリング(観光・企業・農家等) 観光利用者120回 企業利用8社 農家1回 製造経費低減に資するパーツの改良及び開発1パーツ及び既存車両の改良	【今後の展開方針等】 本地域でEVの製造、普及を図り、経済波及効果の調査、地域でのEVのあり方を検討し、新たな産業としてEV普及、製造を促進する。		
1	うるま市産業振興計画策定事業	H28	当市は、企業誘致、失業対策を積極的に行い、地域経済の活性化並びに就業環境の改善に取り組んできた。その事業効果検証と併せて、うるま市域における産業連関分析と生産関数アプローチによる分析を用いて今後の行動計画(計画期間、成果指標、達成のための取組)を策定し、年々変化する経済事情に即した質の高い事業の創出を図る。	各種基礎調査実施(県内企業、失業者へのアンケート調査、各種統計値の分析) 策定委員会の開催 3回	うるま市産業振興計画の策定	計画で設定した目標達成への事業の創出やその達成状況をフォローアップする。	8月変更(事業追加)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	うるま市地域雇用人材育成事業	H24～H33	<p>当市の厳しい雇用情勢を踏まえ、市内における雇用及び就業機会を創出するため、未就職卒業者を含む失業者に対して、民間企業との連携による人材育成(OJT等)を実施する。</p> <p>また、新たに求職者向けのスキルアップ講座や経営者向けの意識改善講座などを実施し多くの失業者が就労しやすい環境を整える。</p>	<p>委託先による座学を中心としたOJT民間企業と連携による人材育成研修生の数(実人数):23人</p> <p>未就労者のスキルアップ講座受講生150人</p> <p>企業向け意識講座 30人(経営者)</p>	<p>H28年度当該事業における受講生23人に対し就業者数:20人</p> <p>スキルアップ受講生の満足度(もしくは理解度)80%(アンケートにより把握)</p> <p>企業向け意識講座受講後における年度内の受講生の未就業者・離職者の割合 20%以内を目標</p> <p>(年度末アンケートにより把握)</p> <p>経営者向け講座受講者へのアンケートによる定着支援の達成度の把握</p>	<p>【新規雇用者数】</p> <p>H24年度 : 106人(実績)</p> <p>H25年度 : 100人(実績)</p> <p>H26年度 : 94人(実績)</p> <p>H27年度 : 22名(目標)</p> <p>H28年度 : 23名(目標)</p> <p>H28年度以降については、予算規模等を勘案し適宜目標人数等を検討する。</p>	8月変更(計画変更に伴う各目標変更)	
2	うるま市就労支援事業	H24～H33	<p>雇用の拡大を図るため、街角コンタクトセンターを設置し、相談員による就業相談、中小企業等の事業主に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供、就業者のスキル向上のための交流事業等を実施するとともに、FM放送局などを活用した求職情報等の発信を実施する。また、将来のまちづくりの担い手となる児童生徒の勤労観・職業観と学校をはじめ地域全体の連携による雇用問題の解決や商業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングをはじめとするキャリア教育を実施する。</p>	<p>相談の開設日数 240日</p> <p>年間相談件数:1,500件</p> <p>ジョブシャドウイング実施校:18校</p> <p>中学1・2年生(講座等):10校</p> <p>受入れ企業数:200社</p> <p>出前フォーラム市内高校:7校</p> <p>チャレンジJOBの実施</p> <p>高校生への人材育成研修</p>	<p>年間利用者数:4,600人(H27年1月末:4,049人)</p> <p>新規雇用へつながった失業者数 : 180人(H25年度 : 189人)</p> <p>失業者と企業の斡旋数 : 60人(H26年度(9月開始) : 28人(H27年1月末時点))</p> <p>キャリア教育実施人数</p> <p>小学6年生・中学1・2年生 約4,200人</p> <p>出前フォーラム受講生徒の満足度(もしくは理解度)80%(アンケートにより把握)</p> <p>チャレンジJOBの実施 : 30人</p> <p>高校生への人材育成研修(6名)</p>	<p>うるま市の提唱する一貫した就労支援の入口キャリア教育から出口となる就職支援までを兼ね備えた機能とする。</p> <p>【就職支援利用者数】 延べ8,000人</p> <p>【キャリア教育実施人数】</p> <p>H25年度 : 1,443人(実績)</p> <p>H26年度 : 4,460人(実績)</p> <p>H27年度 : 4,500人(目標)</p> <p>H28～H33年度年間4,000人程度(目標)</p>		
3	観光商品開発流通促進事業	H24～H33	<p>地域特性や地域資源を生かした観光振興・地域活性化を図るため、修学旅行等の教育旅行のニーズにも対応しうる体験型観光メニューの開発やモニターツアー等を実施する。</p> <p>本年度は、平成26～27年度に造成した体験型観光プログラムのバイヤーマッチングを積極的に展開しながら、新規商品開発及び既存商品ブラッシュアップを実施する。</p>	<p>新規体験型観光メニューの造成</p> <p>モニターツアーの実施数 : 3回</p> <p>体験型観光商品メニューのPR</p>	<p>新規メニュー造成数:5種類</p> <p>既存商品のブラッシュアップ数:20種類</p> <p>県外催事への出展6件</p>	<p>販売目標</p> <p>[平成28年度] 600件</p> <p>[平成29年度] 1200件</p> <p>[平成30～33年度] 1,500件</p>		
3	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24～H33	<p>観光地としての魅力を県外向けにPRし、効果的な観光誘客の拡大を図る。雑誌やインターネットなどのメディアを有効活用した観光情報配信等による観光誘客を実施する。</p>	<p>うるま市観光情報フェイスブック活用</p> <p>多言語対応の情報誌(又はWeb)制作:1件</p> <p>ニュースリリースによる記事掲載:4本</p>	<p>うるま市観光情報到達者数:50万人</p> <p>フェイスブック情報発信記事数:50本</p> <p>ライター編集記事:25本</p> <p>市民ライター投稿記事:25本</p>	<p>年次ごとに活用メディアの種類や活用方法について検討するとともに、コストパフォーマンスに優れた広報業務の仕組みを構築していく。</p> <p>【フェイスブック登録者数】</p> <p>H28年度 : 4,500人</p>		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	うるま発！冬季観光誘客促進イベント創出支援事業	H25 ～ H29	冬季における新たな観光誘客を図るため、沖縄文化を象徴するチャンプルー文化を進化させ、新しい文化産業の確立を目指した、文化芸術イベント開催への支援を行う。	・市内芸能団体の実施するイベント開催にかかる経費の一部支援	イベント来場者数：4,000名 うるま市外来場者：2,000人 市内芸能団体出演数：5組	[平成29年度] 来場者数：5,000人		
3	観光プロデューサー派遣事業	H26 ～ H28	観光物産振興に関する専門的な知識、企画力及び実行力を有するとともにうるま市の観光物産産業を総合的にプロデュースできる優れた人材を招聘し、観光物産振興事業の企画運営のあり方等について指導助言を実施することで、多分野にわたる観光産業の連携の強化、継続的な観光産業の拡大、地域活性化を図る。	観光プロデューサー業務 従事日数100日以上 セミナー・意見交換会等の実施回数：10回 指導助言を行う事業数：5本	セミナー・意見交換会参加者数：300名(延べ数) セミナー・意見交換会参加者アンケート：高評価者(役立つとの評価をした人)の割合80%	平成28年度の事業完了後も本事業で育成した観光振興人材をうるま市観光施策に活用していく。		
3	うるま市新観光振興ビジョン策定事業	H27 ～ H28	沖縄県では、来訪者数が過去最高を記録しており、今後も更なる伸張が予想される。それに伴い、増加する外国人観光客への対応・観光ニーズの多様化・2020年東京オリンピック開催に伴うスポーツコンベンションの推進等、観光振興に向けて取り組むべき新たな課題も生まれている。うるま市においてもこのような外部環境を取り込み、地域としての戦略的な観光地づくりに向けた計画策定に取り組む必要がある。 本年度は入域観光客数等の基礎調査を実施するとともに、行政、観光関連事業者、市民、専門家等を構成員とした委員会において調査結果や第一次観光振興ビジョンの成果・課題等を精査し、新たな新観光振興ビジョンを策定する。	・各種基礎調査の実施 ・策定委員会の設立運営	・各種基礎調査の完了 ・策定委員会参加者数 80人(延べ) ・うるま市新観光振興ビジョンの策定	新観光振興ビジョンにて策定された各種観光振興施策を展開し、うるま市観光の発展と地域経済の振興を図る。		
4	南風原文書整理翻刻事業	H24 ～ H28	当市の文化振興、人材育成を図るため、「南風原文書」等の整理、修復及び翻刻等を行い、生涯学習や学校教育の郷土学習教材として提供する。	南風原文書の整理、翻刻作業(総事業量に対する達成率100%) 常設展及び総合学習等の受入 南風原文書整理翻刻事業報告書等の発刊(2冊)	・常設展入場者数：4,500人 (基準値 H26年度実績値：4,308人)	(今後の展開方針) 南風原文書翻刻報告書等の発刊 企画展等の実施 学校教育及び生涯学習を通して資料の利活用を展開		

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		生涯学習・文化振興拠点整備事業	H24 ～ H28	当市には、エイサーをはじめ、闘牛、ウステーク、獅子舞、豊年祭など多種多様な伝統文化・行事が残されている。それらは、「うるま市ならでは」の地域資源である。それらを活用した文化振興及び生涯学習を振興するための拠点施設を整備する。	・生涯学習・文化振興拠点施設の本体建築工事(2期)、外構(建築、土木)工事着手 ・備品購入の実施	・生涯学習・文化振興拠点施設の本体建築(2期)、外構(建築、土木)工事完成 ・備品購入の完了	(今後の展開方針) H28年度:施設設備・外構工事 H29年度:供用開始	8月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
4		勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ H33	世界遺産として登録されている勝連城跡は、毎年多くの観光客が来場するものの、周辺施設の整備が不十分であることから観光消費及び地域活性化につながっていない状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした観光振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	・勝連城跡周辺文化観光施設基本計画の検討 ・物件補償調査等業務 ・変電所移転補償調査業務 ・入口ゲート実施設計業務 ・用地取得 ・物件補償	・勝連城跡文化観光施設基本計画の策定 ・物件補償調査等業務の完了 ・変電所移転補償調査の完了 ・入口ゲート実施設計業務の完了 ・用地の取得 711.4㎡ ・物件の除却 1件	【今後の展開方針】 H28～32年度:用地取得等 H29～33年度:実施設計、工事等 H34年度:全部供用開始予定 年間訪問者数30万人を目指す。	8月変更 (事業追加) 10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
5		沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ H33	当市の多彩で美しい景観・風景を守り、潤いと癒しのある住みよい住環境の保全・創造を図るため、市内1地区について景観地区の指定、その指定に向けた地域検討会の開催や景観地視察を実施する。	景観地区等の指定に向けた地域説明会の開催(浜比嘉地区:3回)	住民向けかわら版の作成・配布(浜比嘉地区):300部 浜比嘉景観地区の指定に関する都市計画案の作成	(景観地区等の指定) H29年度:浜比嘉景観地区の指定 H29～33年度:景観地区等の指定候補地の選定及び景観地区等の指定に向けた取組の実施 (まちなみ景観助成) H29年度:浜比嘉地区 H30～33年度:景観2地区及び他地区(景観重点地区)	2月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	島アートプロジェクト事業	H24 ～ H33	島の良さを再発見し、ゆったりとした島の空間を楽しんでもらう新たな観光スタイルの創出と島独自の地域活性化を図るため、若手芸術家や美術家、そして地元住民とのワークショップを開催し、アート(造形物、オブジェ、美術など)による島おこしを実施する。 本年度は前年度と同様、アートイベントを伊計島、宮城島、平安座島、浜比嘉島で開催するとともに、継続的な事業継続に向け入場料の徴収・ボランティアスタッフの更なる活用についても取り組んでいく。	アートイベント実施:1回 屋外アート作品の新規設置:30点	来場者数:10,000人(16日開催/入場有料) (H27年度 18,331人(16日開催/入場無料)) イベント来場者の満足度 : 80% (アンケートにより)	島しょ地域産品の物販等、地域経済の発展に寄与するイベントとすることを常に念頭に置くとともに、地域住民との意見交換をとおし、住民参加型のイベントとして更なるブラッシュアップを図っていく。 持続可能な仕組みづくりとして、継続的な料金徴収やボランティアスタッフ活用も検討実施していく。		
7	照間ビーグ活性化プロジェクト事業	H26 ～ H28	生産農家の高齢化による農家数の減少や後継者不足の課題に対し、後継者や担い手等にとって魅力ある産業を目指し、照間ビーグ(い草)ブランドの周知や生産農家の意識向上と高収益商品の開発を生産者と協働で実施していく。	・商品の製品化及び営業(雑貨類・食品類から3種類以上) ・テストマーケティングの実施(県内外 200件) ・ブランド構築用PRにおけるツール作成及び情報発信(3回)	・商品の製品化件数 : 3アイテム以上 ・パイヤーとのマッチングイベント開催及び宣伝広告(1回以上) ・PR用ツールの制作及び発信	(今後の展開) ・農家の積極的な商品展開 ・後継者、担い手の育成・確保 ・「照間ビーグ」のブランド化		
7	うるま市農業振興ビジョン策定事業	H27 ～ H28	うるま市は、県内において農業が盛んな地域であるが、その生産高・就農者数は年々減少している。その現状を踏まえて、「市の魅力が生きた農業」を目標とし、その実現に向け農家・農業関係者・市民等による取組を推進するために、同ビジョンを整備する。	策定委員会の開催:3回	うるま市農業振興ビジョンの作成	ビジョンで設定した目標については、達成状況をフォローアップする。		
7	肉用牛生産拡大強化事業	H26 ～ H28	市内肉用牛生産農家の所得向上と畜産業振興を図るため、優良繁殖雌牛の導入支援を行う。	年間120頭の優良母牛候補牛導入	・年間120頭の優良母牛候補牛導入 ・予定導入率の100%を目標とする	(今後の展開) 導入した優良繁殖雌牛より年1産を目標に、安定的肉用牛の生産に向けて支援する。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業	H24 ～ H29	当市は第1次産業が盛んな地域である。地域特性を發揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。	建築1期工事・外構1期工事着手	建築1期工事・外構1期工事の完了	H29年度 建築2期工事・外構2期工事 H30年度:供用開始 年間集客者数 : 69万人	8月変更 (事業追加)
8		小学校外国人英語助手派遣事業	H24 ～ H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、小学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	英語指導助手配置数 10人	「英語が楽しい」と回答した児童生徒の割合: 70% (児童へのアンケートによる)	(今後の展開方針) 平成27年度～平成33年度:英語指導助手配置数 10人 (市内小学校(18校)を10人で巡回指導を実施。) 英語助手の研修会を充実させ、指導法の統一を行い、児童に対しての授業の機会均等、異文化理解を図る。	
8		中学校外国人英語助手派遣事業	H24 ～ H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、中学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	英語指導助手配置数 6人	実用英語技能検定5級～準2級合格者180名以上 (H25年度 合格者数 393人)	(今後の展開方針) 平成27年度～平成33年度:英語指導助手配置数 6人 (市内中学校(10校)を6人で巡回指導を実施。) 生徒が自らの考えを表現する機会を提供するとともに、英語助手とのコミュニケーションが円滑に行われるような活動を奨励する。	
9		小学校学力向上対策推進事業	H24 ～ H33	小学校児童に対して、基礎学力の向上を図るため、学習支援員を配置し学習支援を実施する。	学習支援員配置数 33人	沖縄県学力向上到達度調査算数・国語の平均正答率30%未満児童の割合 3年 県平均 -2.0 5年 県平均 -2.0 (基準値:24年度 3年生-0.7 5年生-1.7%)	(今後の展開方針) 平成27年度～平成33年度:学習支援員配置数 33人 (市内全小学校へ各2名配置(彩橋小学校除く)) 児童の基礎基本の定着に効果のある取り組みの共有化を図る等、支援員の研修内容を工夫し、指導に活かすことで更なる学力向上を目指す。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9			中学校学力向上対策推進事業	H24～H33	中学校の生徒に対して、学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着等を図るため、学習支援員を配置し、学習支援を実施する。	学習支援員配置数 17人	沖縄県の平均点との差(中2数学 沖縄県到達度調査) 0 (基準値:24年度 沖縄県の平均点との差(中2数学沖縄県到達度調査 -1.6))	(今後の展開方針) 平成27年度～平成33年度:学習支援員配置数 17人 (市内全中学校へ各2名配置(彩橋中学校・津堅中学校除く)) 生徒の基礎基本の定着に効果のある取り組みの共有化を図る等、支援員の研修内容を工夫し、指導に活かすことで更なる学力向上を目指す。	
9			ICTを活用した学習支援・人材育成事業	H26～H29	ICT機器(電子黒板等)を市内小中学校の全教室(403教室)へ設置することにより、ICT機器を活用した授業の頻度を高め、児童生徒の高度情報化社会に対応できる情報活用能力・コミュニケーション能力の育成を目指す。	ICT支援員配置数 2人	・電子黒板の一台あたり使用時間数: 小学校 180時間/年 中学校 70時間/年	(今後の展開方針) 平成27年度～平成29年度:ICT支援員配置数 2人 小中学校へのICT支援員の派遣により、ICT機器を活用した授業構築を支援し児童生徒の情報活用能力の育成を図る	
10			配慮を要する子巡回指導事業	H24～H33	公立・法人・認可外保育施設における「配慮を要する子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士・認定心理士・保健師等の専門指導員を配置し、保育施設職員に対して、保育等に関する技術的助言・支援を行う。 また、各保育施設の保育の質の向上のため、巡回指導・園訪問と合わせて保育施設職員を対象に研修を企画・実施する。	・巡回指導対象保育施設件数 公立:5ヶ所 法人:26ヶ所 認可外:32ヶ所 ・保育施設職員を対象とした研修会 年4回開催	・巡回指導実施施設数(延数) 50件 (平成26年度 63件) ・園訪問(延数) 120園(平成26年度 176園) ・保育施設職員研修における理解度 90%以上 (平成26年度 97%)	H28～33年度 ・巡回指導実施施設数(延数) 各年度 50件 累計 300件 ・園訪問(延数) 各年度 120園 累計 720園	
10			放課後児童クラブ支援事業	H24～H33	学童クラブの運営に関する専門員と保育に関する専門員を担当課に配置し、学童クラブへの訪問指導や指導員の研修などを実施することにより、放課後児童クラブ運営の適正化と指導員の資質向上を図る。	学童クラブ訪問指導員の配置 4人 学童クラブ訪問指導回数 200回 学童クラブ指導員等研修会 5回	放課後児童クラブ指導員等研修 参加人数 300人	今後も訪問指導、研修会の充実を図り「安心して子育てができる環境整備」を図る。 ・訪問指導回数 毎年200回 ・上記事業により、学童クラブへの加入児童数の増加を図る。 平成27年度実績:1,419人 平成28年度～平成31年度 約300人 増加	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10			母子家庭生活支援モデル事業	H25 ~ H29	支援が必要な母子家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童の学習支援等を実施し、自立に向けた支援を行う。 また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	借り上げ居室部屋数(10部屋) 就労スキルアップ講座開催数(24回) 就労訓練講座への参加人数(2名) 入居者児童学習支援回数(150回)	支援全般に対する満足度(70%) 就労に繋がる資格等取得者数(4名) 学習支援の充実度(70%) (指標の説明) 満足度、充実度については、対象者へのアンケート調査により把握する。	事業を実施していく中で、入居世帯の個別のニーズにあった支援の拡充を図っていく。 県母連やハローワークとも連携し、早期自立へ向けた支援を行う。	
11			中学校教育指導推進事業	H24 ~ H33	教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱えた生徒に対し、当該生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく。	スク-ルソ-シャルワ-カ-配置数 4人	問題を抱える生徒に対する 相談及び支援の件数 2,000件	(今後の展開方針) 平成26~33年度:スクールソーシャルワーカー 4人配置 関係者のSSWに対する認識を深め、連携を行い、生徒への効果的な支援を行う。	
11			教育相談事業	H24 ~ H28	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援する。	・教育相談員配置数(8人)	・教育上の悩みを持った児童生徒・保護者等が学校内外で相談を受けられる体制を整える。 ・教育相談の目標の件数(1,500件) 基準値 H26年度実績値 2,273件 内訳 来室相談 1,516件 学校訪問相談 757件	(今後の展開方針) ・各地区に認定心理士等の資格を持った週5勤務の相談員を配置し、多種多様な教育上の相談に対応できる体制を整える。	
11			適応指導教室事業	H24 ~ H28	うるま市立小・中学校に在籍する心理的要因等による不登校児童生徒に対し、家庭以外で安心できる居場所の提供と個々の状態に応じた指導支援を行い、個別・集団活動を通して自立心・社会性を育み、学校復帰または、将来的な社会的自立に向けて、適応指導教室を開級する。	・適応指導教室指導員配置数(3人)	・チャレンジ登校の目標割合(60%) 基準値 H26年度実績値 50%(5/10人) ・中学3年生の卒業後の進路支援(進学・就職)や関係機関への引き継ぎの目標割合(100%) 基準値 H26年度 中学3年生8人中 進学6人 就職1人 進学準備1人 参考 H27年度 中学3年生4人 12月現在の希望進路 進学4人 ・通級生・保護者へのアンケート実施し、入級満足度80%を目指す。 基準値 H26年度 - 入級して - 通級生 とても良かった 87.5% 保護者 とても良かった 85.7%	(今後の展開方針) ・原籍校と連携を密に行い、個々の状態に応じた支援方法の検討と社会生活に適応するソーシャルスキルトレーニングを計画的・意図的に行い、学校復帰や卒業後の進路に向けて支援する。 (チャレンジ登校とは) 学校への登校復帰へ向けて、登校する時間、居場所、対応する教諭等、児童生徒の状況に配慮して段階的に行う支援	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				12	うるま市自主防災組織育成事業			

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光拠点強化事業	H24 ~ H33					
1			スポーツ観光交流拠点整備事業	H24 ~ H28	観光入域客数が年々増加する中、雨天時の観光客の活動範囲が限られており、より快適な観光振興を推進するため、年間を通して、軽スポーツが楽しめる、地域の伝統文化に親しむことができる全天候型のスポーツ・伝統文化交流拠点施設を整備する。	・スポーツ観光交流拠点施設建設工事(建築・電気設備・機械設備) 【施設面積】建築面積:6,068.21㎡、延べ床面積:5,652.97㎡ ・進入路整備:工事延長120m、幅員12.5m(空港前交差点改良含む)、用地買収:11筆 ・舗装、植栽工事 ・施設建設工事監理委託業務 ・現場技術委託業務	施設整備全工事の完了	・平成29年4月供用開始を行う。 ・年間施設利用稼働日数として、コンサートや会議等の興行利用:16日、観光関連や地域イベント利用:31日、一般利用:262日、会議室利用:304日を目標設定し、年間利用者数目標:7.4万人とする。	
1			宮古島市スポーツ施設機能向上事業	H26 ~ H28	宮古島市スポーツマネジメントプランに基づき、大規模スポーツイベントや大会が開催できる環境やプロスポーツチームのキャンプ地にふさわしい環境を目指し、スポーツ施設の機能強化及び施設整備等を行う。	・宮古島市民球場ブルペン建設工事(397.67㎡(投球レーン8箇所)) ・宮古島市民球場ブルペン建設工事監理業務 ・ピッチングマシン導入3箇所、各1台	・宮古島市民球場ブルペン建設工事完了 ・ピッチングマシンの導入完了 3箇所 各1台	整備完了後は、更なるキャンプ誘致やトップアスリート・一般競技者・観光客等スポーツを通じた交流促進及び観光誘客の拡大と地域活性化を図る。	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1			宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24 ~ H33	現在、平良地区に展開している歴史文化ロード「綾道(あやんつ)」を拠点とし、旧市町村の各地域に所在する「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心とする散策コース等の整備を行い、伝説と民話に彩られたロマン溢れる「宮古島特異の歴史と文化」を巡る新たな観光資源の一つとして広く活用する。	・綾道～伊良部地区コース～の策定/1コース ・コース上環境美化整備/3コース ・案内板・説明板作製設置/10基 ・コースマップデザインレイアウト/伊良部地区コース ・文化財web公開システム追加更新/伊良部地区コース ・来間島の石段復元/160㎡ ・コースパンフレット/伊良部地区コース12,000部	・新規コース「綾道～伊良部地区コース」策定/年間1コース整備し、年間利用者数1,000名以上 ・コース上環境美化整備/平良北コース及び下地来間コースは年間6回、砂川友利コースは年間4回実施 ・案内板・説明板作製設置/10基を設置完了 ・コースマップデザインレイアウト作製完了/伊良部地区コース ・文化財WEB公開システム閲覧数/年間5,000アクセス ・来間島の石段復元/復元工事の完了 ・コースパンフレット/市内各所(公共機関及び民間事業所等)にて設置配布	・平成33年度までに、全15コースを整備し、年間利用者数1,000名以上を目指す。 ・公開のために必要な文化財等の復元整備については、年間1件以上の実施を目指す。 ・忠導氏仲宗根家の復元整備については平成33年度工事完了を目指す。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			安全・安心なまちづくり推進整備事業	H28	市民や多くの観光客で賑わう繁華街における事件事故防止や犯罪の抑止を図るため、防犯カメラの設置を行う。	防犯カメラ設置：14台	・繁華街における事件事故の減少 基準値：51件(過去5年間の範囲内犯罪認知件数平均)	平良地区の繁華街は、人の出入りが多い場所を中心に防犯カメラを設置し、安全・安心なまちづくりを推進し、観光振興につなげる。	
1			観光地受入環境整備事業	H28	年々増加する観光客(外国人観光客を含む)の利便性と満足度の向上を図るため、公衆wi-fiを整備する。	Wi-Fiの整備	フリーWi-Fiスポットの設置完了	年々増加する観光客の受入環境を整えることで、観光客の満足度を高め、観光地としての持続的な発展を目指す。	2月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1			与那覇湾環境総合整備事業	H24 ~ H33	ラムサールに登録された与那覇湾の利活用についての総合的な整備計画を策定し、貴重な自然環境の有効活用を図る。今年度は遊歩道、自然観察施設工事等を実施する。	遊歩道整備 28m 自然観察施設(階段、スロープ等) 11箇所 遊歩道等全体設計業務委託	遊歩道整備 23% 自然観察施設(階段、スロープ等) 100% 遊歩道等全体設計業務委託の完了	・測量設計に基づき、引き続き遊歩道を整備する。 ・景観配慮型の遊歩道を整備し、市民や観光客の利用拡大を図る。	12月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1			新城海岸環境整備事業	H28	海岸利用者の利便性向上や観光客誘客のためトイレ、駐車場を整備する。	トイレ整備：51.82㎡ 駐車場整備：868㎡ 更衣室整備：10.40㎡	トイレ・更衣室、駐車場整備工事の完了	・海岸利用者の満足度調査(アンケート)の実施	5月変更(事業追加)
1			トロピカルフルーツパーク機能強化事業	H28 ~ H32	トロピカルフルーツパークを集客力のある施設として機能を向上させるため、熱帯果樹植栽、加工・研修・販売施設の整備を行う。	基本計画の検討	基本計画策定	H29年度：実施設計委託 H30年度：熱帯果樹植栽 H31年度：施設整備 H32年度：施設整備	5月変更(事業追加)
1			賑わいのまちづくり事業	H28 ~ H30	中心市街地における市民・観光客の集客交流拠点として位置づけ、イベント開催等を行うための賑わい創出の場として活用し観光振興に繋げるため、賑わい広場を整備する。	調査設計委託業務 不動産鑑定評価業務(5筆)	賑わい広場整備設計書の完成 不動産鑑定評価の完了	事業完了後は、市民・観光客のための中心市街地の観光振興拠点としての利活用を行う。 * 購入予定土地面積 1,467㎡ * 賑わい広場面積 0.22ha(2,207㎡)	10月変更(事業追加)

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	伊良部島・下地島間入り江整備事業	H24～H30	伊良部島・下地島間入り江を観光資源として最大限に活用するため、周辺水域の作濤を行う。	水路作濤箇所設計業務委託	水路作濤箇所設計の完了	水路作濤を行い、カヌー、SUP体験等の観光振興につなげる。	10月変更(事業追加)	
1	伊良部観光地重点整備地区実施計画策定事業	H27～H29	伊良部地区の観光地の充実化を図るため重点的に整備する場所や、整備の方法、整備内容の実施計画を策定する。	実施計画策定業務	伊良部観光地重点整備地区実施計画の策定完了	伊良部地区観光地重点整備地区実施計画をもとに、ハード面、ソフト面での充実を図る。	10月変更(事業追加)	
2	観光地の緑化美化・景観向上事業	H24～H33						
2	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24～H33	美しい島づくりを推進するため、観光地へのアクセス道路の環境美化を図る。	アクセス道路の美化清掃作業路線数 : 33路線	観光客の受入体制の整備	観光地アクセス道路環境の美化強化のため、引き続き取組を実施する。		
2	観光地公園環境美化強化事業	H24～H33	美しい島づくりを推進するため、観光地として利用されている公園の環境美化を図る。	・観光地公園の環境美化作業実施対象: 12ヶ所 ・定期的美化作業 宮古島: 年12回(月1程度) 伊良部島: 年4～5回	・観光客の受入体制の整備	観光地公園環境の美化強化の為、引き続き取組を実施する。		
2	イムギヤーマリンガーデン遊歩道整備事業	H25～H28	宮古島の美しい海岸線や入江を利用した海浜公園で、島内でも有数の観光地であるが、遊歩道や手すり等の経年劣化が著しいため、観光客が安心して散策出来るよう、遊歩道の整備を行う。	遊歩道の整備	遊歩道整備の完了	H29年度供用開始 イムギヤーマリンガーデン利用者数目標: 5万人	10月変更(事業追加)	
3	観光誘客促進事業	H24～H33						

H28活動目標(指標): 平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標): 平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			観光プロモーション事業	H24 ～ H33	入域観光客数の増加を目的として、ウェブサイトやSNS等を活用したプロモーション等を継続的に実施するとともに、本市の認知度向上に向け、県内外における集客力の高いイベント等へ参加する。また、観光閑散期対策として、閑散期(冬期)における誘客にも取り組む。	ウェブサイトやSNS等を活用したプロモーションの実施(コンテンツ等の整備) 閑散期対策(コンテンツの開発) 観光PRイベント等への参加	ウェブサイトやSNS等を活用した情報発信 観光メニューの開発 1件 観光PRイベント等への参加 7件	プロモーション活動を継続的に実施し、入域観光客数50万人を目指す。	2月変更 (計画変更による各目標変更)
3			宮古島フラダンス全国大会支援事業	H25 ～ H29	観光客の誘致拡大や、地域経済の活性化に寄与するため、フラダンスの全国大会の宮古島市の開催を支援する。	宮古島フラダンス全国大会の支援	来場者3,000人	本大会の知名度を高めるとともに、フラダンス愛好家から人気のある大会にすることで、大会参加者増による観光客の誘致拡大や地域経済の活性化を目指す。	
3			宮古島オリジナルMICE促進事業	H28 ～ H30	平成29年4月供用開始予定のドーム型施設の有効活用を図るため、MICE事業の一環であるインセンティブ(企業報奨・研修旅行)とイベント(文化音楽・産業・生涯スポーツイベント、展示会等)に特化した企画立案に取り組み、誘致活動に必要な備品の購入を行い、誘致活動を観光業界と連携して首都圏の企業やイベント主催者を対象にした誘致活動を実施する。	MICEドーム活用検討委員会 MICE人材育成講座 MICEドームキーパーソン招聘 宮古島オリジナルMICEメニュー開発 PR映像制作 MICEドームに関するイベント誘致 MICEドーム活用備品購入	MICEドーム活用検討委員会2回開催 育成講座2回開催 キーパーソン10名招聘 ソフトメニューとPR映像を活用したイベント誘致活動実施 MICE事業の推進に向けた必要備品整備完了	将来は島全体をリゾートMICEと位置づけドームを含めた既存の施設や観光資源を活用した宮古島のオリジナルMICE事業を構築し、新たな交流人口拡大へ向けた取り組みを展開する。	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
4			エコアイランド宮古島形成事業	H24 ～ H33					
4			バイオエタノール高効率製造・流通事業	H24 ～ H28	当市の基幹作物であるサトウキビのカスケード利用を通じた循環型社会の構築及び沖縄産バイオエタノールの事業化を実現するため「バイオエタノールの高効率製造事業」、「バイオ燃料の流通安定化検証及び普及拡大」、「付加価値の高いバイオエタノールの用途開発等調査及び商品の販路開拓」を実施する。	バイオエタノールの製造 効率的な製造方法及び有効利用方法の検討、蒸留残渣液の高付加価値商品の販路開拓	バイオエタノールの製造(20k/年) 宮古島バイオエタノール施設活用検討委員会(仮称)による関係機関との協力体制の構築による普及拡大を図る(委員会開催2回程度/年)	(今後の展開方針) 製造するバイオエタノールのポイラ燃料等多様な活用による製造増、残渣液から作る農業用液肥販売によるトータルコスト改善にて事業化を進め、また、サトウキビの増産、E10など燃料利用、普及も拡大していく。	2月変更 (事業計画変更による各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	エコアイランド宮古島ブランド推進事業	H28 ~ H30	エコアイランド宮古島の知名度は高まりつつあるが、ブランド化による関連産業の高付加価値化を通じて地域経済への波及効果を高めるため、初年度に調査及びアクションプランの策定を行い、2年目以降にアクションプランを踏まえた各種施策の展開を図る。	・現状調査：市民意識など実態を把握 ・分析等：課題や活用可能な資産を抽出 ・標語等策定：ブランドの定義と標語の策定 ・手法の開発：情報発信やコミュニケーション手法の選定と戦略策定 ・計画書策定：アクションプランへの落とし込み	エコアイランド宮古島ブランド化アクションプラン(仮称)の策定完了	(今後の展開方針) 策定したアクションプランに基づき、島内のブランド価値向上や島外向け情報発信・コミュニケーションツール開発等の施策を講じていく。		
4	電気自動車普及促進事業	H28 ~ H30	低炭素社会構築や生活コストの低減化、生活の質(QOL)の向上を目的として、電気自動車の普及促進を図るため、充電インフラの整備やその管理システム等が必要となることから、初年度には、電気自動車の利用者に対する利用実態やニーズに関する調査、充電インフラや管理システムのあり方の検討を行い、普及計画を策定し、次年度以降にシステムの構築等を行う。	・電気自動車利用者の利用実態・ニーズ調査 ・充電設備設置・運用の実態調査 ・電気自動車普及・充電設備等のあり方検討 ・電気自動車普及に係る基本計画の策定	電気自動車に係る充電インフラ整備基本計画書(仮称)の策定完了	(今後の展開方針) H29年度は電気自動車の普及に資する充電インフラ等のシステム基盤の構築を行い、H30年度には電気自動車の普及に必要な充電器設置等の施策展開を行う。		
4	宮古島市天然ガス資源利活用推進事業	H28	宮古島の地下資源である天然ガス及び付随水(温泉水)を利活用するため、各種調査を実施し利活用計画の策定を行う。	・生産試験等により必要となるデータの収集や解析 ・利活用計画の検討	宮古島市天然ガス資源利活用計画(仮称)の策定	(今後の展開方針) 地域エネルギーである天然ガス及び付随水(温泉水)を観光・農業等に利活用することにより、地域経済の活性化等に寄与する。	5月変更(事業追加)	
5	農林水産業活性化事業	H24 ~ H33						
5	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ~ H33	離島という地理的事情から生じる流通条件の不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、宮古島市に存する漁業協同組合(宮古島漁業協同組合、伊良部漁業協同組合、池間漁業協同組合)が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送に対し、支援を行う。	生鮮水産物の空路輸送に対する補助(3漁協)	生鮮水産物の沖縄本島への出荷：255トン(参考値 H26年度：184.2トン)	沖縄本島への出荷量の増加 H33年度目標：260トン		

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	宮古島市海業センター整備事業	H24～H30	水産業の振興に向け、安定的な種苗生産供給体制や養殖業の生産向上の支援を図るため、その拠点となる海業センターの機能強化を図る。	環境影響等調査委託の実施	平成29年度に行う取水管設置工事に向けた、着実な事業の実施（環境影響調査等業務の完了）	今後の展開方針等 H29取水管設置工事・水槽建築工事 H30研修施設建築・太陽光発電設置工事	5月変更（事業追加）	
6	救命処置普及強化支援事業	H28～H32	/		/		/	
6	救命処置普及強化支援事業	H28～H32	地域住民が安心・安全に暮らせるため、また増加傾向にある観光客に対応出来るように、24時間営業のコンビニへのAED設置および各種救命講習会の普及強化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・救命講習普及支援員：3名 ・各種救命講習会の受講者数1,000人 ・コンビニストアーAED設置数：22カ所 備品・AED：22器 ・使い捨て除細動パット：66枚 ・バッテリーバック：24個 ・AED / CPRレスキューキット：22個 ・AEDキャリングバック：22個 ・AED壁掛けホルダー22個 ・AED設置シール：22枚 ・AEDレポート表示・設定ソフトウェア：一式 ・Bluetoothアダプタ：2台 ・AEDトレーナー：2台 ・CPR訓練用人形(エリック)：3体 ・CPR訓練用人形リトルジュニア4体 バック：1セット ・CPR訓練用人形ベビーアン4体バック：1セット 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会受講者数：1,000人（内訳） 小学校（6年生：150人） 中学生：100人） 事業所・地域住民：750人 コンビニAED設置完了（22カ所）	目標：H29年度以降 講習会受講者1,500人 受講呼びかけ		
7	人材育成強化事業	H24～H33	/		/		/	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
 H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～H33	本市児童生徒の個々に応じた支援の充実に向け、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置し、学校からの要請に応じて、対象となる児童生徒宅を訪問し、保護者を交えた相談活動によりニーズを把握した上で、学校、関係機関、地域の協力者と連携・協働しながら、児童生徒の生活環境改善のための支援を行う。	・スクールソーシャルワーカーの配置(要請に応じ校区別担当校に派遣) 教育委員会学校教育課:6人	・各種研修会への参加や医療、福祉、警察など関係機関との連携により児童生徒の生活環境改善を図る。	(今後の展開方針) SSWr事業の周知とSSWrのスキルアップのため事例検討会、教育相談等連絡会、福祉医療等制度の勉強会等の研究及び研修を実施する。 また、学校訪問による情報連絡会の開催、連携支援を実施する。		
7	問題行動等学習支援者配置事業	H24～H33	本市の不良行為や不登校等の問題を抱えた児童生徒への適切な指導・支援の取り組み強化に向けて、問題行動等学習支援者を対象児童生徒の在籍する学校に配置する。	・問題行動等学習支援者の配置 中学校3人	学習支援や相談活動を行い、生活環境及び学習環境の改善を図り、学校復帰につなげる。	(今後の展開方針) 個別支援プログラムの作成と支援員及び関係機関(福祉、医療、警察など)との共同実践により、生徒の登校復帰を目指した取り組みを行う。		
7	選手派遣支援事業	H24～H33	本市の児童生徒がスポーツ、文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される際の、旅費の支援を行う。	・児童生徒の大会派遣(県内・県外)	大会等派遣児童生徒数:1,553人 内訳 小学校 599人(県外含む) 中学校 954人(県外含む)	(今後の展開方針) 大会等派遣生徒数 H24年度～H33年度 各年度平均実績:1,728人 累計:17,280人		
7	幼稚園空調機設置事業	H28	子どもたちの健康・安全確保を図るため、既存の遊戯室に空調機を設置する。	空調機器の設置:11園	空調機器の設置完了:11園	(今後の展開方針) 空調機を活用し、子どもたちの健康・安全確保を図っていく。	10月変更(事業追加)	
8	文化振興事業	H24～H29						
8	博物館収蔵品目録等作成事業	H24～H29	本市の博物館に収蔵されている資料の幅広い活用を図るため、収蔵資料の整理、データベース化、デジタル化及び図録等の作成を行う。	美術・工芸品の調査・資料整理・目録誌作成。 嘱託員2名	自然編、歴史編、民俗編、美術・工芸編の目録作成に向け、5カ年計画(H24～H28年度)の中で、年度ごとに目標整備率を設定。 ・美術・工芸品目録作成300冊:100% H27年度整備率(民俗編目録誌作成180冊)80% H26年度整備率(民俗編資料整理等)60% H25年度整備率(歴史編目録作成400冊)40% H24年度整備率(自然編資料作成500冊)20%	(今後の展開方針等) 目録等の作成 H29:美術工芸編目録作成(製本)300部		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宮古島市		計画 期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
8		博物館展示強化事業	H28 ～ H29	歴史、文化、自然等、宮古の特性を発信するため、博物館展示の充実を図り、新たな展示に向けた調査を行う。	土壌サンプルの含有鉱物の調査の実施 展示に向けた基礎資料作成の実施	土壌サンプルの含有鉱物の調査の完了 展示に向けた基礎資料作成の完了	調査を行った土壌を利用し、新たな展示につなげる等、博物館展示の充実を図る。
9	定住化対策推進事業	H28					
9	「サテライトオフィス@宮古島」誘致に向けた可能性調査事業	H28	離島における情報通信関連産業の振興並びに地域産業の新たな展開に向け、本市における情報通信関連企業のサテライトオフィス誘致可能性を調査・検討する。	・サテライトオフィス誘致に向けた可能性調査委託の実施 ・検討会議の開催(4回)	・サテライトオフィス誘致に向けた可能性の調査完了	(今後の方針) H28年度の調査に基づき誘致活動や市内視察の受入等を検討し、情報通信関連企業の誘致につなげる。	8月変更 (事業追加)
9	高等教育機関の設置可能性調査事業	H28	本市における高等教育機関の設置に向け、立地場所・既存ストックの活用・ニーズの有無等の可能性を調査・検討する。	・高等教育機関の設置に向けた可能性調査委託業務の実施	・高等教育機関の設置に向けた可能性の調査完了	(今後の方針) 調査の成果に基づき、高等教育機関の設置に向け、検討協議会等の設立、協議会等での設置実現の検討を行う。	8月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ H30	本市陸上競技場は、スポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持・管理する人材を育成する。	・芝生管理人の雇用(1人) ・芝生管理に精通した人材の育成 ・良質な状態での芝生の維持管理	サッカーキャンプ等の受け入れ (3チーム)	芝生管理人を継続雇用しながら、芝生を良質な状態で維持管理していき、引き続きプロサッカーチームのキャンプを受け入れていく。 プロサッカーチームのキャンプ等の受入を継続していくことにより、観光の閑散期である冬場に市内の宿泊施設などの利用増が見込まれる。	
1		観光交流サイン整備事業	H25 ～ H29	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	集落域文化遺産サイン設置工事:7集落	集落域文化遺産サイン設置工事完了:7集落 ・来訪者の文化遺産への理解や到達の利便性の向上 ・地域住民の地元にある歴史文化遺産の再認識、活用 ・市民と来訪者の歴史文化遺産を通しての交流促進	(今後の展開) 集落文化遺産サイン整備 H29年度:整備計画に基づき、集落単位でサイン整備を行う。 サイン整備により来訪者の利便性を高めるとともに、同時に整備を通じて住民自らが地元の歴史や文化遺産を再発見し、次世代へ伝えていく。	
1		尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ H30	平成25年度で策定された「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。尚巴志の普及、尚巴志スピリットの育成、エコミュージアムの基礎を築き、文化資源を活用した観光振興、地域振興を図っていく。	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 ・「紙芝居学校アウトリーチ」 市内小学校9校(各1回) ・「文化講演会」1回 2. 地域興しの人材育成 ・「尚巴志の語り部育成事業」 ワークショップ7回 3. エコミュージアムの創造 ・「文化遺産巡りコンサート」 市内文化遺産所在地区4箇所(各1回) ・「地域孫会議事業」 市内文化遺産所在地区公民館4箇所(各1回) ・「琉歌募集事業」 ・「大城城跡出土資料購入」	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 「紙芝居学校アウトリーチ」 市内小学校9校4年生:460名(久高小は全児童) 「文化講演会」 「文化遺産巡りコンサート」 ・参加者10名 2. 地域興しの人材育成 ・「尚巴志の語り部育成事業」 ・参加者30名 3. エコミュージアムの創造 「文化遺産巡りコンサート」 ・合計観客動員数:200名 「地域孫会議事業」 ・参加者30名 ・琉歌募集事業 ・応募者数:140首	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 H29～30年度:尚巴志グッズの開発、尚巴志副読本の発行、尚巴志まつりの実施 2. 地域興しの人材育成 H29～30年度:地域デザインと人材配置、実践事業 3. エコミュージアムの創造 H29～30年度:デジタルミュージアム作成、マーケティング H30年度事業完了時、「尚巴志」への認知度・愛着が高まり共通の知識を獲得、市民それぞれが情報を発信していくことで南城市の知名度がアップ、人気が高まり観光客が増える見込み。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光振興将来拠点整備事業	H25～H29	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地に於いて、公共駐車場や観光情報施設(宿泊施設・レンタカー営業所等)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。	・事業用地5,655㎡の用地購入 ・第1期造成工事	・用地交渉業務の完了(最終年度) ・第1期造成工事の完了	平成29年度以降も引き続き造成工事を実施。 事業完了後は、本市が掲げる「見る観光」から「感じる観光」への転換を目指し、事業完了年度に於ける本市主要観光施設利用者数を基本に、対前年度1%増を目指す。		
1	地域Wifiネットワーク整備事業	H27～H29	市内の観光スポットを中心に無線ネットワーク機器(アクセスポイント)を設置することで地域無線インフラの構築を行う。構築後は観光ポータルサイトの連動により観光情報の発信を強化し、外国人をはじめとした観光客の満足度及び周遊性の向上を図る。	無線アクセスポイントの整備(6カ所)	・無線アクセスポイントの整備完了 ・観光ポータルサイトを利用した観光情報のプッシュ型配信による施設案内の充実	構築後は観光ポータルサイトとの連動により観光情報の発信を行い、斎場御嶽のみではなく、市内の観光スポット等の紹介を行うことで、外国人をはじめとした観光客の満足度及び周遊性の向上を図る。		
1	南城市産商品販売力及び観光PR強化事業	H27～H29	本市への入域観光客数の増加や市産商品の販路拡大を図るため、県外・国外で開催される物産展への出展や、プロスポーツキャンプ及び公式戦の誘致等を行い、観光資源や市産商品の情報発信・広報活動に取り組む。	・関東や海外で開催される物産展への出展(各1回以上) ・東京都内で南城市制施行10周年記念イベントの開催(年1回) ・南城市ノベルティグッズの制作(年2種類以上) ・プロスポーツキャンプや公式戦の誘致活動(年1回以上)	・都市圏での物産展参加による南城市や市産商品の認知度の向上。 ・10周年記念イベントを東京都内で開催することにより、南城市の観光情報を発信でき、観光客誘客の促進。 ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く・長く発信。 ・プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進。	・観光客誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等誘致活動を継続的に開催する。 ・29年度までにプロスポーツキャンプ等の受入実績の増加を目指す。(1件(基準年度:26年度) 6件)		
1	観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想)	H25～H28	住民と観光客との交流拠点や防災機能拠点施設として整備し、地域の伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進し、観光振興を図る。	南城市知念地区におけるムラヤー新築工事	H29年度の供用開始に向けた事業の着実な実施(工事の完了)	体験交流施設整備により、地域の観光資源を活用した観光客の誘客に取り組み地域の活性化を図る。(目標利用者:500名)		
1	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27～H30	斎場御嶽を拠点に年間約40万人の観光客が訪れることから、集客エリアにおける休憩施設の基本設計及び久高島ロマンスロードの東屋機能強化を図り、受入体制を整え、更なる観光振興を図る。	・斎場御嶽休憩施設等整備(基本設計) ・久高島ロマンスロード東屋機能強化(設計・工事)	歩行者の安全・猛暑対策の充実 ・斎場御嶽周辺休憩施設等基本設計の策定 ・久高島ロマンスロード東屋機能強化(設計委託業務・工事)の完了	遊歩道と駐車場の整備により、車両と歩行者の安全が確保され、斎場御嶽を拠点とする市内周遊型観光の新たな体験交流事業の考案と地域活性化の取組に繋げる。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業	H27～H29	プロサッカーキャンプ受入及び公式戦受入の対応ができる陸上競技場・体育館施設の機能を強化整備し、市民の健康増進に対する意識の向上を推進していく。	実施場所：南城市陸上競技場 ・実施設計 ・測量業務 ・管理道路設計業務（屋上観客席868席、会議室（50人）、ロッカールーム（34人）×2部屋、トレーニングルーム、芝機械管理室、地下貯水タンク） ・用地購入(944.46㎡)	南城市陸上競技場に関する実施設計・測量業務・管理道路設計業務の完了 事業用地確保	施設整備後は、プロサッカーキャンプの受入体制を充実させながら、各種スポーツ合宿（大学等）の誘致にも取り組み、本市の滞在型観光を推進し地域活性化を図ると共に、機能強化により市民の健康増進への意識向上に繋げる。	10月変更（計画変更に伴う各目標変更）	
1	観光交流施設機能強化事業	H27～H29	市内に点在する観光地（城跡等）を訪れる観光客等の憩いの場として、新たな拠点地づくりを行い、グスクロード公園・知念岬公園（既存施設内）に遊具等を整備し、機能強化することで観光客等利用者の利便性の向上を図る。	グスクロード公園の施設整備 ・遊具の設置 ・休憩施設（ベンチ） ・修景施設（芝生） ・運動施設（バスケットコート（フェンス含む））	施設整備することにより公園機能が強化され、多面的に施設を活用することができるようになり、観光客・利用者の利便性の向上を図ることができる。	平成29年度は整備計画に基づき、知念岬公園の施設整備を行う。	8月変更（計画変更に伴う活動目標変更）	
1	南城市まつり実行委員会支援事業	H28	市内の優れた伝統芸能を一堂に会し新たな観光資源として、広く県内外へアピールし、観光誘客に繋げていく。さらに、琉球王国時代の最高神女である「聞得大君」の即位儀礼「御新下り（おあらおり）」を再現することで、世界遺産「斎場御嶽（せーふうたき）」の付加価値を高め、更なる観光振興を図っていく。	「南城市まつり」への開催支援	南城市まつり来場者数 H28年 40,000人	伝統芸能の活用・周知及び保存継承・技術の向上を図り、観光資源としての定着・普及に努める。また独自の文化遺産を活かした観光振興を目指す。		
1	南城市観光振興計画策定事業	H28～H29	平成30年度から10年間の観光施策を検討するにあたり、これまでの施策の検証を行なうとともに、各種アンケート調査等の基礎調査を行い、中核地を拠点とした南城市らしい観光振興計画を策定する。	アンケート、事業所ヒアリング、入込客数の調査・分析、課題整理	本市の現状・課題を整理し平成29年度計画策定の資料とする。	平成29年度：観光振興計画策定された計画に沿って各施策を実施し、本市のさらなる観光振興を目指す。		
1	観光施設危機管理対策事業	H28～H31	観光産業は、本市経済に大きく貢献する極めて重要な産業となっている。観光振興を図る上で、観光地の危機管理は喫緊に対応する必要がある。本市を訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、安心・安全な観光地形成に取り組んでいく。	観光危機管理計画の策定	計画策定により観光産業に負の影響を与える観光危機の軽減を図り、観光客に安心・安全な観光を提供する。	・事業計画 平成29年度 AED30ヶ所 平成30年度 誘導サイン5ヶ所 平成31年度 誘導サイン5ヶ所		

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
パ	細				H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1			海外交流推進事業	H28 ~ H31	アジアからインターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の魅力や課題を探り、外国人観光客に関するニーズやニーズを調査すると共に、アジアの旅行社や関係機関へ直接出向いて南城市をPRし修学旅行などのエデュケーショナルツーリズムに取り組み、観光振興に繋げていく。	・香港理工大学からのインターンシップ受入実施 ・香港における教育機関や旅行社へのPR活動	・インターンシップの成果として学生のプレゼンを実施 ・PR活動実施の完了	香港との関係が構築された後はアジアにおける他国への展開も予定している。		
1			南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ~ H31	観光コア施設を拠点として南城市の魅力を一元発信するため、特徴ある地域をサテライトとして位置づけることの決定やこれらをネットワーク化した全体的なマネジメントなどを明記した総論を策定する。	検討委員会、市民ワークショップ、ステークホルダーで検討し南城型エコミュージアム実施計画(総論)を策定する	南城型エコミュージアム実施計画書(総論)の発行(100部)	学生と地域のコラボによるコンペティションを行い、地域ごとの計画を各論として策定していく。		
1			芸術による地域活性化推進事業	H28 ~ H29	地域のムラヤーを活用し、地域と沖縄県立芸術大学の学生が協働で、地域資源を生かした沖縄ならではの美術工芸体験メニューを構築し、観光振興に繋げていく。	ワークショップ及び展覧会を実施する	・ワークショップの参加者 100名 ・展覧会の来場者 100名	体験メニューとしての位置づけを目指す		
1			南城市海岸線景観魅力アップ推進事業	H28 ~ H29	沖縄本島南部には、多くの様々な観光スポットが存在しており、観光客の多くは、東海岸の青い海を眺望しながら爽快にドライブし本市を訪れている。訪れた観光客がまた訪れたい魅力ある美しい景観の創出に取り組む。	知念区域(L=6.0km)の雑木等伐開実施	・知念区域(L=6.0km)の雑木等伐開完了	H29:雑木等伐開(玉城区域)	10月変更(事業追加)	
2			平和発信事業	H24 ~ H30	戦後70年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れている中、改めて市民一人ひとりが平和や命の大切さを考える機会として、南城市独自で制定した平和の日(8月10日)を中心にイベント等を開催する。	・8月10日市民平和の日 イベントの開催 ・アブチラガマ入壕体験 ・基本プラン作成	・平和の日を中心にイベントの開催 1回 ・アブチラガマ入壕体験 1回 ・基本プラン作成完了	地域間・異世代間の交流を図りながら、平和な社会の実現を図るため、市内外へを発信するイベントを継続的に開催する。 市民一人ひとりが平和について考え、語り合い、行動できるよう平和への意識を高める。		
2			平和学習受入体制強化事業	H25 ~ H31	平和学習の一環として第二次世界大戦の追体験を行っている糸数アブチラガマは、自然環境による崩落や周辺環境の変化による壕への影響も懸念され、見学者が安全・安心して見学・体験できるように危険度の調査を行う。	測量、ボーリング調査、現地調査等を行い、アブチラガマの危険度調査を行う。	調査結果に基づきアブチラガマの危険箇所を把握する。	危険箇所の年次的な補修		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			蔬菜花卉園芸施設整備事業	H24 ～ H28	強風等自然災害による被害を軽減し、農作物の安定生産が図れる施設栽培を奨励するため、既存施設の強化及び防風壁導入を支援する。	既存の農業用施設強化及び防風壁設置を支援	既存の農業用施設等の整備(5ヶ所)	事業により整備した施設の適正管理に関する助言及び実証による効果の検証を行う。	
3			耐候性野菜栽培施設整備事業	H27 ～ H29	定時・定量・定品質の農作物出荷を行うため、気象条件に生産量を左右されにくい耐候性ハウスを整備し、農家の経営安定及び産地の形成を図る。	耐候性ハウスの整備を支援	耐候性ハウスの整備(5,000㎡ 約20棟)	出荷量安定及び産地形成のため、耐候性ハウスを継続して整備する。 H29 5000㎡	
3			優良繁殖牛リース支援事業	H26 ～ H33	和牛繁殖基盤の改良強化を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良母牛導入支援	・導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5%(全導入目標頭数:400頭) ・母牛の若齢化 ・基本登録時審査成績向上	H29年度目標 ・母牛の若齢化 ・基本登録時審査成績向上 H30年度目標: ・母牛の分娩間隔短縮 ・出荷子牛のDG向上	
3			優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ H31	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良乳用牛導入支援	・導入頭数50頭 ・今年度導入率20%(全導入目標頭数:250頭)	H29年度目標: ・優良乳用牛への更新 ・生産乳量の増加 ・乳質の向上	
3			農業振興アクションプラン策定事業	H28	農業が市域経済の核となる産業として発展し、かつ、農業者が豊かに暮らせる産業として発展していくため、現状と課題の把握及び地域の特性を活かした農業生産・加工・物流を視野に入れた新たな農業展開のビジョンを画き、その実現へ向けたプランを策定する。	・農業生産者への意向調査(アンケート)実施(1回) ・地域の中心的農業生産者・団体へのヒアリング調査の実施(3回) ・農業生産者・団体及び地域住民との意見交換会実施(1回) ・検討委員会の実施(4回)	農業振興アクションプランの策定(現状の把握・課題の整理、施策の決定など)	当プランの策定により事業の効率的かつ健全な遂行が可能となり、当市の今後の農業振興及び農漁村の発展につながる。また、沖縄独自の地域性及び農業の持つ力(魅力)を活かした新たな事業展開が見込まれることや台風等の自然災害へ対する対策法の確率によって安定生産が図られ、農業経営の向上が期待できる。	
4			低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ H33	低炭素社会を構築するため、市内の防犯灯及び公共施設等の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替えることにより温室効果ガスの排出削減を図る。	調査業務の実施(防犯灯・街路灯及び公共施設の設置場所、設置状況及びCO2の排出量の把握)	市内の防犯灯・街路灯の設置状況の把握 自治会が管理する防犯灯及び市の管理する防犯灯・街路灯及び公共施設等のCO2排出量の把握	防犯灯・街路灯及び公共施設等の照明器具から排出される温室効果ガス(CO2)の排出量を把握し、環境負荷の少ないLED照明器具に切り替えていくことで温室効果ガスの排出量削減を図る。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		学習支援員配置事業	H25 ~ H33	<p>通常の授業についていけない児童・生徒への学習支援等を目的に、学級担任等の補助者として学習支援員を配置し、対象児童・生徒の習熟の程度に応じた指導や、一人ひとりの学習の定着状況に基づいたきめ細かな指導等、個々の実態に応じた学習支援を行う。</p>	<p>・市立8小学校へ学習支援員8名配置(支援児童数330名程度:支援員1名当り週35時間授業支援を行う。1授業当たり3名程度の児童を支援する。)</p> <p>・市立4中学校へ学習支援員4名配置(支援生徒数135名程度:支援員1名当り週35時間授業支援を行う。1授業当たり3名程度の生徒を支援する。)</p>	<p>・学力到達度調査において無回答率の縮小 小学校(5年)算数前年度比較0.5ポイント改善 H26年の無回答率 3.6ポイント H26県平均の無回答率 4.2ポイント 中学校(2年)数学前年度比較0.5ポイント改善 H26年の無回答率 12.7ポイント H26県平均の無回答率 14.9ポイント</p>	<p>H33年度まで事業を継続し、当該調査の無回答率を0に近づける。</p>	
5		特別支援教育・障害児ヘルパー配置事業	H25 ~ H33	<p>学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対し、適切な教育(特別支援教育)を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の通常学級への受入れ機会が増加している。そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員や障害児ヘルパーを配置し、担任教師と連携し、適切な特別支援教育を行う。</p>	<p>・市内4幼稚園へ障害児ヘルパー(保育)9名(対象園児17名)</p> <p>・市内8小学校へ障害児ヘルパー32名配置(対象児童88名)</p> <p>・市内4中学校へ特別支援教育支援員1名、障害児ヘルパー5名配置(対象生徒14名)</p>	<p>・学習や学校生活面においてのサポート体制を強化し安心して学べる学習環境の構築</p> <p>・幼児・児童・生徒個々の特別支援教育支援員・障がい児ヘルパー活用報告書の作成(年2回)</p>	<p>平成28年度~33年度</p> <p>・特別支援教育支援員・障害児ヘルパー配置</p> <p>・障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加を促し、「生きる力」を育成する</p>	
5		小・中学校電子黒板等整備事業	H28 ~ H31	<p>児童・生徒の学力向上の取り組みとして、ICTを活用し既存の学習活動と融合した効果的な授業展開を実施することを目的に、各小・中学校の普通教室や特別教室へ電子黒板等を整備する。</p>	<p>・玉城中学校電子黒板整備(普通教室12台・特別教室2台)、校内LAN整備</p> <p>・久高小中学校電子黒板整備(普通教室6台・特別教室2台)、校内LAN整備</p> <p>・知念中学校電子黒板整備(普通教室5台・特別教室2台)、校内LAN整備</p> <p>・佐敷中学校電子黒板整備(普通教室11台・特別教室2台)、校内LAN整備</p> <p>・大里中学校電子黒板整備(普通教室15台・特別教室2台)</p> <p>電子黒板整備台数 合計59台、校内LAN整備 合計4校</p>	<p>・学力到達度調査において無回答率の縮小 小学校(5年)算数前年度比較0.5ポイント改善 H26年の無回答率 3.6ポイント H26県平均の無回答率 4.2ポイント 中学校(2年)数学前年度比較0.5ポイント改善 H26年の無回答率 12.7ポイント H26県平均の無回答率 14.9ポイント</p>	<p>H31年度まで事業を継続し、市内全小中学校へ当機器等を整備することで、ICT教育へ対応した環境整備を図り、学力向上に寄与する。</p>	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ~ H33	本市は神の島「久高島」や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。 これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	「御嶽・グスク編」8回(会議、調査) 「資料集戦争」5回(会議、調査、情報収集) 「民俗」5回(検討会議)、12回(会議、調査、情報収集)	・「グスク(仮称)」刊行 ・「御嶽(仮称)」分類の確定 ・「資料集戦争」執筆要綱の完成 ・「民俗」調査体制の確立	(今後の展開) H29年度:「御嶽(仮称)」刊行 H29年度:「資料集戦争」原稿作成 H30年度:「資料集戦争」刊行 H29~H33年度:「民俗」及び「女性史」調査、情報収集、整理		
6	文化センター機能強化事業	H25 ~ H29	本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、屋外ステージの常設屋根設置工事に向けた設計業務を行う。	屋外ステージ常設屋根設置工事設計業務の実施	屋外ステージ常設屋根設置工事設計業務完了	(今後の展開) H29年度:屋根設置工事 ・文化芸術創造発信の拠点として活用 ・県内唯一の音楽専用ホールとしての活用を促進 ・文化芸術のさらなる発展への寄与		
6	文化のまちづくり実行委員会支援事業	H24 ~ H33	地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センター・シュガーホールを拠点に、音楽や演劇事業等の各種公演を実施する。	第22回おきでんシュガーホール新人演奏会(1回) 知念利津子リサイタル(1回) シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ(4回)	第22回おきでんシュガーホール新人演奏会 380名 知念利津子リサイタル 380名 シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ 800名	(今後の展開方針) 引き続きシュガーホールを拠点とした、クラシック音楽のみではない多様な文化芸術創造の場として活用していく。		
7	健康づくり支援調査検証事業	H25 ~ H28	市民の健康づくりを支援するため、健康教室等の開催及び児童生徒生活習慣病予防健診等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。	・講演会、健康体操等の実施 10回 ・中学生を対象とした健康調査及び保健指導の実施	・講演会、健康体操等の実施後に、アンケート調査等を行い、事業効果を評価検証し、市民の健康増進意識の向上を図る。 ・中学生(約450名)を対象とした血液検査を実施・検証し、その結果返しの中で、親子へ保健指導を行い、生活習慣病予防意識の向上を図る。	(今後の展開方針) 事業完了後も引き続き市民の健康づくりを支援する。健康づくりに無関心な層や未受診者へ、行政・地域・学校等からのアプローチで市民の健康への意識を高める。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		国頭トレイルランニング大会推進事業	H26 ~ H30	本村の森林資源を活用した新しいスポーツ「トレイルランニング大会」の開催を支援し、国頭村の認知度向上とスポーツツーリズムの推進による観光誘客を図る。	国頭トレイルランニング大会の実施	大会参加人数：県内1,250人 県外250人 基準年度：H26年度 県内1,300人 県外200人	H29（第5回記念大会） 県内1,200人 県外300人 H30 県内1,180人 県外320人	
1		国頭村観光振興基本計画策定事業	H28	地域資源を活用した観光振興を図るため、世界自然遺産候補地である本村において、観光施策の方向性を示す観光振興基本計画を策定する。	国頭村観光振興基本計画の検討 策定委員会の開催：4回	国頭村観光振興基本計画の策定	国頭村観光振興基本計画に基づき順次ソフト面、ハード面の整備	
1		国頭らしい景観計画策定事業	H28 ~ H29	国頭村の自然豊かな地域を保全・活用するため、国立公園・世界自然遺産登録の動きに対応するため、風景を活かし景観像を明確にした「国頭らしい景観計画」の策定を実施する。	景観計画策定基礎調査の実施 調査項目 基礎条件の整理 景観特性の分析・評価 景観計画の方向性及び景観形成方針の検討 景観誘導手法の検討(事例調査等)	基礎調査報告書の策定	平成29年度 国頭村景観計画の策定 国頭村景観条例の制定	
1		スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ~ H28	本村でのスポーツキャンプによる観光振興を図るため、受け入れ施設の充実・強化及びスポーツキャンプ地としての定着と新たなチームの誘致のための、営業活動を実施する。	陸上競技場・野球場冬芝植付：17,300㎡ くいなエコ・スポレク公園リーフレット作成：5,000部 外柵整備工事：125m 合宿誘致営業活動：県外3回 くいなエコ・スポレク公園(野球場)備品購入 くいなエコ・スポレク公園(トレーニングルーム)備品購入 くいなエコ・スポレク公園(施設全体)備品購入	スポーツキャンプ受入体制の強化 スポーツキャンプの受け入れ (野球：18団体/年) (陸上：38団体/年) (ウエイティング：4団体/年) H26年度スポーツキャンプの受け入れ実績 (野球：18団体/年) (陸上：38団体/年) (ウエイティング：0団体/年)	H29年度スポーツキャンプの受け入れ目標 (野球：18団体/年) (陸上：40団体/年) (ウエイティング：8団体/年)	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1		観光地の施設整備促進事業	H28	観光地のサービス機能の強化による観光客の利便性向上を図るため、野外公衆トイレ・シャワー等の施設を整備する。	建築設計業務の実施 建築工事（設備含む）実施 建築工事監理業務の実施	建築設計業務の完了 建築工事（設備含む）の完了 建築工事監理業務の完了	観光サービス機能の強化による観光客の利便性向上を推進していく。	8月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			ヤンバルクイナ生態保全確立事業	H26 ~ H30	「ヤンバルクイナ生態展示学習施設」に展示飼育しているヤンバルクイナの適切な飼育環境の確保と展示個体を活用した希少動物の保護普及啓発のため、展示飼育体制の構築及び保護普及啓発員(ガイド)の飼育技術育成を図る。	飼育及び飼育技術指導員の配置(週2日) 保護普及啓発員(ガイド)の配置1名	専門知識を有する保護普及啓発員の人材育成 飼育管理者(飼育技術指導員)の認定取得	H29: 村内飼育管理者1名 村内保護普及啓発員1名 H30以降: 村内飼育管理者及び村内保護普及啓発員(ガイド)の自立による飼育及び保護普及啓発を図り安定した展示飼育体制の確立を図る。	
3			辺戸岬周辺整備推進計画策定事業	H28	本村で最も集客力が高い辺戸岬及び周辺地域の施設整備を推進するため、平成26年度に辺戸岬周辺全体の整備方針及び課題整理等を目的に策定した辺戸岬周辺整備計画に基づき、具体的な施設整備推進計画を策定する。	辺戸岬周辺整備推進計画の検討 管理体制の創出:実行委員会4回 関連行政機関との調整:4回	辺戸岬周辺整備推進計画書の策定	辺戸岬周辺整備推進計画により集客効果の高い施設から優先的に整備を推進していく。	
4			農業・農村基盤整備事業計画策定事業	H27 ~ H28	農業生産基盤整備の遅れ等による農業の不利性からなる農家数の減少等の課題解決や計画的な農業基盤整備事業等を推進するため、農業基盤整備促進基本構想に基づく「農業・農村基盤整備事業計画」を作成する。	農業・農村基盤整備事業計画の検討 計画地域の現状と効果等の状況調査 地域活性化ワーキンググループの開催(3回) 組織化した法人及び集落営農への設立検討 実施地域の状況調査 専門講師の講演会の開催(3回)	農業・農村基盤整備事業計画書の策定	農業・農村整備事業計画に基づく農業基盤整備による目標 畑地かんがい整備率 H25年度:22.3% H33年度: 38% 農用地保全整備率 H25年度:0% H33年度:15%	
4			森林資源活用推進事業	H24 ~ H28	森林資源のさらなる有効活用のため、未利用有用樹種・有用植物を活かす取組などの新たな国頭型「森林業」創出するとともに、森林の癒し効果を活かした森林セラピーガイド育成や、国頭村木材を活かした「木育」を推進する。	森林セラピー推進協議会・運営委員会の開催(2回) 森林セラピーガイドステップアップ講座の実施(3回) 木育推進人材養成講座の実施(サポーター講座3回) 木育イベント出展(県内3回 県外1回) 森林業・木育推進業務企画・調整・実施員(1名) 森林業体験ツアー(3回) 森林業創出セミナー等開催(セミナー2回 視察1回) やんばる材見本セット製作 有用樹種、有用植物の調査、苗木等育成法調査・研究	森林セラピーガイドの養成:3人 木育サポーターの養成:3人 森林業創出セミナー参加者:20人 やんばる材見本セット:2種類 木育イベント参加者数:1,200人 森林業体験ツアー実施:3回 有用樹種、有用植物の苗木育成数:2種、500本	・セラピーガイドの認定を継続して行い受け入れ体制を充実する 認定目標数H29年度:20人(累計) ・木育サポーター養成を継続して行い活動基盤を充実する 目標サポーター数H29年度:20人(累計) ・森林業創出事業:3事業(累計) ・有用樹種苗木開発を継続する 目標本数H29年度:3,000本(累計)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	国頭村ブランド牛基盤づくり支援事業	H26 ～ H29	農家の経営安定化に向けて、国頭村ブランド牛基盤づくりの為、優良母牛の導入に対する支援を行う。	優良母牛導入支援	優良母牛導入頭数15頭	優良母牛導入による産地基盤整備を図る。(累計) H29:15頭(68頭)	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)	
5	国頭村減災地域社会形成事業	H24 ～ H28	国頭村を訪れる観光客等の安全を確保するとともに、村民の生命を守るため、災害対応マニュアル及び集落別の減災計画の策定や防災アンケートを実施する。	「津波避難計画」の作成 「庁内防災実施計画」の作成 防災アンケートの実施(2400世帯) 災害事前危険度評価の更新 集落別減災計画の作成(3集落)	「津波避難計画」の策定完了 「庁内防災実施計画」の策定完了 「防災アンケート」集計・まとめ完了 災害事前危険度評価の更新完了 「集落別減災計画」の作成完了(3集落)	各種災害対応マニュアルを整備し、また、全集落(20集落)の減災計画を作成する。 H28度:3集落 H29度以降:H28度までの成果を踏まえ残り11集落の計画を作成		
6	学習支援員配置事業	H25 ～ H29	児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行う。	学習支援員配置数 小学校4人 中学校1人	標準学力検査無答率を改善 小4:18.0%(前年21.6%) 小6:12.0%(前年15.1%) 中2:9.9%(前年11.5%)	平成29年度以後においても継続配置するとともに、同学年における前年標準学力検査平均点を維持する。		
6	中学校英語指導員配置事業	H25 ～ H29	中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、中学校に英語指導員を配置することで教育環境の充実を図り、生徒の国際理解やコミュニケーション能力の向上、基礎学力の向上に繋げる。	英語指導員配置数:中学校1人	英語検定5級取得者:15人(前年12人) 英語検定4級取得者:20人(前年17人) 英語検定3級取得者:15人(前年12人)	29年度以後においても継続配置するとともに、英語検定合格者を前年度と同人数を維持する。		
6	中学生海外短期留学派遣事業	H25 ～ H29	中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	派遣生徒数:2人 ホームステイ ・英会話学校通学 ・報告会実施	ホームステイ先での外国文化・習慣の体験による国際感覚の会得、英会話学校にての語学学習による語学力の向上、帰国後の報告会実施による本事業の周知を目標とする。	国際感覚豊かな人材育成を目指し、平成29年度以後においても2人を継続派遣する。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			デジタル教科書教材機器整備事業	H27 ~ H28	児童・生徒の学習に対する興味・関心を高めるため、デジタル教科書を小学校・中学校に、電子黒板を小学校に整備する。	デジタル教科書一式×7小学校 地図(4~6年) 算数(5~6年) 理科(5~6年) デジタル教科書一式×1中学校 国語(1~3年) 社会(1~3年) 公民(3年) 数学1~3年 理科(1~3年) 技術家庭(1~3年) デジタル黒板 小学校3台	標準学力検査平均正答率 小2:79.0点(前年77.5点) 小3:73.0点(前年71.3点) 小4:66.0点(前年64.6点) 小5:58.0点(前年56.2点) 小6:60.0点(前年58.5点) 中2:49.0点(前年47.8点)	教員のICT活用指導力の向上を図り、整備2年後より標準学力検査目標値を上回る。	
6			学習支援教室委託事業	H28 ~ H32	民間学習塾のない本村において、学校教育外での学習環境の整備を図るため、学習支援教室(村営塾)を設置し中学生の高等学校への進学を支援する。	対象:中学3年生 開室期間:9月~翌2月・週3回・1回2時間 科目:英語・国語・数学 業務形態:委託	中学3年生の内、高校進学を希望する生徒の高校合格率98%(平成26年度94.1%)	高校合格率100%を目指し、中学校と連携を図りながら、きめ細やかな指導を行う。	
6			小・中学校空調設備整備事業	H24 ~ H29	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続く地域である。小中学生の健康維持や学習意欲の向上を促す必要があるため、空調設備を整備する。	空調設備設置工事の実施 学校数:4小学校(10室)・1中学校(3室) 小学校 奥間小学校・辺土名小学校・奥小学校・安波小学校 中学校 国頭中学校	空調設備設置工事の完了 学校数:4小学校(10室)・1中学校(3室) 小学校 奥間小学校・辺土名小学校・奥小学校・安波小学校 中学校 国頭中学校	H28年度:整備後供用開始 H29年度:全小・中学校整備完了	12月変更(事業追加)
7			環境保全・美化推進事業	H27 ~ H31	地域住民及び観光客の安全確保や貴重な野生生物の保護のため、ハブ・野犬対策を行う。	賃金職員の配置(2人) 各対策捕獲器の設置 (ハブ:30基、犬:3基、猫:30基)	ハブ咬傷被害の未然防止 咬傷被害:平成28年度 0件 平成26年度 0件 平成27年度 0件 野生生物の保護 平成28年度 ネコ捕獲頭数80頭	捕獲器の効率的な運用を行い、咬傷被害等の未然防止と、野生生物の保護を継続する。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8			多自然川づくり事業	H24 ~ H31	本村の地域資源を有効に活かし、中心市街地の魅力あるまちづくりとリンクさせた地域の活性化を図るため、治水と自然の営みを共存させた自然再生型事業として、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を図る。	河川環境モニタリングの実施 現場技術管理業務の実施 河川工事の実施(L=188m) 用地購入の交渉(4件 106.74㎡) 物件補償の交渉(1件)	設計業務 82% 河川工事 31%(330m/全体延長L=1,200m) 用地取得 全体計画の100%の取得 (306.13㎡/全体面積306.13㎡) 物件補償 全体計画の100%の物件補償 (2件/全体2件)	H29年度:河川モニタリング・現場技術管理業務・橋梁詳細設計・河川工事 H30年以降:河川モニタリング・現場技術管理業務・河川工事 H32年度に全区間(1,200m)の提供多自然川づくりにより、河川が本来有している生物の生息環境や多様な河川風景が保全・再生され、治水安全度の向上や環境教育の場としての活用が図られる。	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
8			まちづくりサイン整備事業	H27 ~ H28	賑わいを創出させる持続可能なまちづくりを実現するため、本村の中心市街地である辺土名商店街や周辺地域の地域資源活用の一助となるようサイン等を設置する。	サインの実施設計 サインの設置工事	サイン実施設計完了 サイン設置工事完了	商店街周辺にサインを設置する事により商店街の魅力を高めるとともに各種イベント等を開催し、村外からの誘客の促進を図る。 集客目標:H26年 1,500人 H29年 4,500人	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
8			奥区地域づくり計画策定事業	H27 ~ H29	奥ならではの自然や文化を体験し、奥の食を味わうツアープログラムの社会実験を実施する。また、奥川に生息する河川生態系などの自然環境の保全対策として、外来種「コイ」の移植施設整備を行う。	・「地域づくりゆんたく会」の開催(3回) ・ツアープログラムの社会実験(1回) ・「コイ」の移植施設整備工事実施	社会実験の実施による報告書の作成 「コイ」の移植施設整備工事の完了	社会実験により、地域資源の活用方法を探り、その成果を村全体のエコツアー等、地域づくりへの施策展開へ繋げる。 ヤンバルの里H29年度:5,000人 鯉のぼりまつりH29年度:15,500人	8月変更 (事業追加)
9			幼保連携型総合施設整備事業	H26 ~ H29	子どもの成長支援・子育て支援の充実や環境整備を図るため、就学前の幼児教育・保育を一体的に行う機能を担う「幼保連携型総合施設」を整備する。	建築確認申請業務 土木工事(造成)実施	建築確認申請業務完了 土木工事(造成)の完了	H29:外構工事、建築工事(外部トイレ棟、施設本体)、建築施工管理業務 H30:供用開始 村内の0歳~5歳までの子どもを受入	7月変更 (事業追加) 2月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

大宜味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
バ	細				H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H28事業内容					
1			大宜味村観光情報発信整備事業	H24 ～ H30	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信するため、大宜味村産業まつり及びPRイベントを開催し、交流人口の増加を促進する。	・産業まつり誘客イベント開催支援 ・PRイベント開催支援	・産業まつり参加者数 5,000名 (参考 H23年度 2,500名) ・PRイベント来場者数 5,000名	・産業まつり参加者数(累計) H24～H30年度 21,000名 ・PRイベント来場者数(累計) H28～H29年度 10,000名		
1			大宜味村歴史と文化検証事業	H26 ～ H29	本村の地理的特性や歴史過程を経て醸成された固有の文化や沖縄戦などの歴史を再認識し、地域住民の共通理解と来訪者への情報発信を行うため、大宜味村史の検証と新たな分野(自然・沖縄戦・民俗・移民等)を編纂し活用しやすい村史づくりを行う。	・「移民・出稼ぎ」編印刷 300部	・「移民・出稼ぎ」に係る情報提供冊子の完成	村の歴史に関する様々な資料を収集し、村を訪れる人たちへの情報提供ツールとして活用していく。 H29年度 「民俗・ことば」編印刷		
1			大宜味村観光周遊ルート形成整備事業	H24 ～ H30	観光周遊ルートの一体的な形成を図るため、主要拠点である平南川の上流において、避難道の整備をはじめとした環境整備を行う。	・地形測量の実施 ・必要な整備の検討(基本設計)	・基本設計の完成	H29年度 実施設計 H30年度 工事		
1			環境保全・美化推進事業	H28 ～ H32	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物(ヤンバルクイナ等の天然記念物)の保護を図るため、野良犬、野良猫、ハブ対策として環境保全の作業員による捕獲器の設置・回収を行う。	・賃金作業職員の配置(2人) ・各対策捕獲器の設置 (ハブ:30台、犬:3台、猫:10台)	・ハブ咬症被害の未然防止	咬症被害等を未然に防止と野生生物の保護を継続する。		
1			ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ H31	大宜味村謝名城・喜如嘉地区の魅力あるまちづくりとリンクさせた地域の活性化を図るため、河川敷の空間の有効活用、治水安全度の向上や河川全体の自然環境再生を視野に、大川川とその周辺整備を実施する。	・用地測量業務の実施 ・護岸整備工事の実施 ・用地購入	・用地測量業務(全体)の完了 ・護岸整備工事の完了(1期/4期) ・用地購入の完了(1期/2期)	(今後の展開方針) H29:工事(2期/4期) 用地補償(2期/2期完了) H30:工事(3期/4期) H31:工事(4期/4期完了)・台帳整備	8月変更 (事業追加)	
2			学習支援員配置事業	H25 ～ H33	将来の大宜味村を担う大宜味村の児童生徒の基礎学力の定着を図る為、村内の小学校1校と中学校1校に学習支援員を配置する。	・小学校 3名(低・中・高学年 各1名) ・中学校 1名(各校1名)	・全国学力調査での全国平均との差 小学校 全教科 5ポイント H25年4月(配置直後)の差 6ポイント 全国平均 62点 本村 56点 中学校 全教科 5ポイント H25年4月(配置直後)の差 18ポイント 全国平均 62点 本村 44点	H27年度まで全国平均との差を3ポイント以内とし、今後も差が開かないように事業継続していく。		
2			地域支援員配置事業	H25 ～ H33	学校と地域の連携を充実させ、不登校やいじめ等に対して生徒を支援する地域支援員を配置する。	・地域支援員配置数 村内中学校1人	支援対象者に対してのアンケートを行う 「支援の効果は感じられたか」の設問に対して「効果があったと思う」の回答率 60%以上	不登校者出席率 目標 H30年度 35% 参考 H24年度 27%		
2			「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ H33	各社会教育団体の生涯学習活動及び青少年の学校外活動における学習機会の拡充を図り、その活動を通して本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、生涯学習活動事業を展開する。	・生涯学習講座 10回開催	・講座受講者数 H28年度 120名	講座受講者数(累計) H25～H33年度 900名		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

大宜味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ H33	大宜味村に在住する児童・生徒(小学生・中学生・高校生)に対し、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会に、予選及び審査等の結果、代表として参加する際の派遣費用を補助する。	・児童生徒への県外派遣支援	派遣対象生徒の大会派遣率 100%	村内各学校と派遣に関する情報共有に努め、H33年度まで支援を継続する。		
2		学校教育ICT環境整備事業	H25 ～ H30	大宜味村内の小学校・中学校において児童生徒が分かりやすい授業の実現や、情報活用能力の向上のため教育ICT環境の整備を行う。	・生徒用パソコン(19台) ・管理用サーバ(1台) ・学習用ソフト(一式) ・サーバソフト(一式) ・ネットワーク機器(L2、L3)(一式)	・小学校及び中学校のパソコン教室及び校内ネットワーク環境整備 ・学習ソフトによる学習に対する興味関心の向上 補習等の授業外でのパソコン教室の使用率(H26 43% 50%) ・インターネットの活用やパソコンを利用した意見表現の幅の拡大 ICT機器を用いたプレゼンテーションの機会の増(H26 4回 6回)	H28年度にてパソコン教室と校内ネットワークの整備を完了し、授業内での電子黒板やパソコン教室の活用状況の場を増やし、平成30年度を目途にタブレット等のICT機器の整備を行う。		
3		観光道路及び危険箇所減災対策事業	H27 ～ H30	安心安全な観光道路の確保と危険箇所の減少を図るため、村内の観光道路や危険箇所周辺の生い茂った雑木や高木の伐採を行う。	・伐採工事の実施(大宜味地区)	・伐採工事実施率 50%(2地区/4地区)	調査計画に基づき事業を行う。 実施率:100%(4地区) H28年度 伐採工事(大宜味地区) H29年度 伐採工事(塩屋地区) H30年度 伐採工事(津波地区)		
3		結の浜安心安全な環境づくり整備事業	H26 ～ H28	結の浜地区避難路からの、避難者の一次避難所として、近隣高台地へ芝生広場を整備する。また、災害時に結の浜付近国道を通行する車両の一次避難所として、芝生広場と連結する駐車場スペースの整備を行う。	・用地購入(13筆,1,142.34㎡) ・造成工事(駐車場・避難所) ・照明灯(3基)、防災サイン(2基)	・避難所の整備に向けた用地の確保完了 ・避難所整備率 100%(駐車場・避難所)	・結の浜地区を対象に、年1回の避難訓練を実施する。 ・小中学校を対象に、年2回の避難訓練を実施する。		
3		防災監視カメラ整備事業	H28 ～ H29	防災・減災への取り組みとして、有事の際の初期避難を迅速に行うため、村内河川の河口部や、内海・外海を監視するための防災監視カメラの整備を行い、村のwebにリンクさせることで、常に閲覧者がリアルタイムの情報を取得できるようにする。	・防災監視カメラ設置調査設計の実施 ・防災監視カメラ整備工事の実施	・防災監視カメラ設置箇所の決定 ・防災監視カメラ整備工事実施率 50%(3台/6台)	実施率:100%(カメラ6台) H28年度:設置箇所調査、設置工事(カメラ3台、レコーダ1台、モニター1台) H29年度:設置工事(カメラ3台)		
4		低炭素社会構築事業(省エネ設備導入促進事業)	H28 ～ H29	温室効果ガス(CO2)の排出を抑制するとともに安心安全な環境をつくるため、村内にある既存の防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等に切り替えまたは新設する。	・大宜味村LED防犯灯等新設・取替工事実施設計書の作成	・設置箇所及び設置個数の決定	・作成した実施設計書に沿って防犯灯等の設置工事を目指す。目標:大宜味村内における防犯灯(蛍光灯・ナトリウム灯)等をLED照明等への整備率:0%(H28)100%(H29)		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		カラキ活用推進プロジェクト	H28 ~ H31	カラキ（オキナワニッケイ）をシナモンとしての価値に着眼し村内の地域資源として活用し、苗木生産から一次加工、商品開発・ブランド構築までを一貫して行い、地域内連携を推進しながら農林業の振興、観光の振興、人材育成等の地域振興を図る。	・基本方針の策定（定植までの方向性、商品開発の方針、販売戦略） ・カラキ原木調査 ・成分分析 ・挿し木4,000本の実施	・全体計画の決定 ・優良遺伝資源及び原料としての利用可能量の把握 ・カラキの機能性の把握 ・挿し木の完了	H31年度（目標値） 苗木栽培技術者の養成 苗木の増殖	5月変更（事業追加） 12月変更（計画変更に伴う各目標変更）

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			東村観光産業人材育成事業	H26 ～ H30	<p>村内の観光関連事業所と連携のもと、観光入込客数の増加及び受入体制の強化を目指し、マリンインストラクターや沖縄本島で唯一のプロジェクトアドベンチャー(冒険教育)のインストラクターの技術向上・育成に取り組む。又、奄美・琉球世界自然遺産の登録に向けインタープリター(自然ガイド)の育成に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> マリンインストラクター育成 実務研修 12回 モニターツアー 2回 誘客活動研修 1回 インタープリター(自然ガイド)育成 実務研修 12回 PAインストラクター補助員育成 資格取得講習会 1回 実務研修 60日 	<ul style="list-style-type: none"> マリンインストラクター ブルーーツーリズム入込客数目標 H28年度:200人 インタープリター(自然ガイド) 東村認定ガイド 1人 PAインストラクター インストラクター補助員 4人 PA入込客数目標 H28年度:4,000人 	<p>安心・安全・快適な観光案内ができるよう専門的なインストラクター等の人材育成を実施し質の向上に務める。又、奄美・琉球世界自然遺産の登録に向けインタープリター(自然ガイド)の育成に努める。</p> <p>ブルーーツーリズム入込客数 目標 H30年度:2,000人 PA入込客数 目標 H30年度:4,500人</p>	
			東村の魅力PR事業	H26 ～ H30	<p>観光、特産品、移住等に関する東村の魅力を大々的にPR活動を行い、本村への誘客に繋げる活動を展開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 村外でのPRイベントの開催 1回(2日間開催予定) 村内でのPRイベントの開催 1回(1日開催予定) 東村PRグッズ製作(ガイドブック・ノベルティグッズ等) 	<ul style="list-style-type: none"> 村外でのPRイベント来場者数 4,000人 村内でのPRイベント来場者数 500人 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年度PRイベントの開催(開催場所等の検討) 28年度でPRグッズを製作し、次年度以降のイベント等で活用し認知度向上に努める。 	
			東村ダムツーリズム推進事業	H27 ～ H29	<p>沖縄県最大の福地ダムの湖面等を活用したプログラムをさらに推進するため、ダムツーリズムプログラムの基本計画の策定をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 法規制等諸条件の整理 観光スポットの選定 プログラムの内容計画 管理、運営方法(利用ルール)の作成 実施に向けて必要な施設等の選定 実施に向けての課題等の取りまとめ 	基本計画の策定完了	<ul style="list-style-type: none"> 事業スケジュール H29年度 基盤整備 H30年度 ダムツーリズム入込客数目標:15,000人 	
			東村花いっぱい運動推進事業	H26 ～ H28	<p>地域の景観や魅力向上のため、花いっぱいの村づくりを推進し、東村むらぐるみ花いっぱい運動への参加促進に向けた施策を展開する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 村内主要幹線道路沿いへのプランターの設置。(200個) 花いっぱい運動ボランティア作業(目標参加人数550名) 	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい運動ボランティア作業参加者目標(基準:H26年 418名 H28年目標 550名) 	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱい運動ボランティア作業参加者の促進を図る施策を展開する。 	
			沖縄やんばるアドベンチャーラリー推進事業	H26 ～ H28	<p>東村の豊かな自然をフィールドにトレイルランとシーカヤックを活用した「沖縄やんばるアドベンチャーラリー」を開催する。当該イベントを開催し観光誘客を図る。</p>	<p>沖縄やんばるアドベンチャーラリーの開催。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大会参加者目標435名 うち県外50名 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄やんばるアドベンチャーラリーを継続的に実施し、目標定員達成のための施策を展開する。 	
			東村つつじ祭り強化事業	H27 ～ H31	<p>東村つつじ祭りは、村民相互の連携と地域活性化を図ることを目的に開催され、沖縄花のカーニバルとして定着している。東村つつじ祭りを一層充実させる為に、つつじ園内夜間ライトアップ及び、ステージイベントの強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園内ライトアップ等の実施 ステージイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 来園者数 H28年40,000人(参考 H26年 38,000人) 	<ul style="list-style-type: none"> 来園者の増加に向け、まつりの開催時の内容を改善しながらH31年度まで継続する。 	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
パ	細				H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H28事業内容					
			東村観光振興計画策定事業	H28	東村の観光の現状等を踏まえた観光振興の課題を明らかにし、今後の方向性を示すとともに、具体的・実践的な施策、推進プログラム等を検討することにより、本村の観光資源や観光関連施設並びに地域の産業、人材及びそのネットワーク等を効果的に連動させ、本村の観光振興を推進していくための観光振興計画を策定する。	観光振興計画の策定(課題の整理、基本方針、基本施策の決定等)	・観光振興計画の策定完了 ・本村の現状、課題の把握 ・今後5年間の観光振興に向けた基本施策の決定	・策定された観光振興計画に沿って施策を実施し、本村のさらなる観光振興を目指す。 ・観光入り込み客数 参考 H26年度 285,837人/年		
2			デジタル教科書整備事業	H27 ~ H28	学習環境の向上を図り、児童・生徒の学習に対する興味・関心を高めるため、デジタル教科書を小中学校に整備する。	・村内3中学校にデジタル教科書を整備。 整備する教科書 国語、社会、数学、理科、英語 技術・家庭	学習に対する興味・関心が高まった生徒 30% (生徒へのアンケートにより把握)	小中学校に整備したデジタル教科書を日常的に活用させることに努める。 ・中学校での活用率25%。		
			特別支援教育支援員配置事業	H27 ~ H33	教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する小中学校において特別支援教育支援員を配置する。	小学校 4名 中学校 2名	・支援が必要な児童生徒の適切な学習環境の保持	・H27～H33年度までの特別支援教育支援員配置人数(累計)42名		
3			東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業	H27 ~ H31	東村村民の森基本計画を元に、つつじ園内各施設の機能強化を図り、当該施設の活性化につなげる。	東屋建築工事の実施 展望台・事務所実施設計	東屋工事の完了 展望台・事務所実施設計の完了	H28年度 東屋工事 展望台・事務所実施設計 H29年度 展望台工事 観覧施設実施設計 H30年度 事務所工事 H31年度 観覧施設工事 遊歩道整備		
4			東村観光誘客施設(仮称)整備事業	H25 ~ H28	観光振興を図るため、東村が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の紹介・展示等を行う観光拠点・情報発信施設を整備する。	・建築・設備・展示工事 ・備品購入の実施	・平成29年5月の供用開始に向けた工事の完了 ・備品購入の完了	・事業スケジュール H28年度 工事 H29年 5月供用開始予定 ・利用者数 目標 H30年度 23,590人/年	10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)	
5			観光施設駐車場整備事業	H28	本村最大のイベント「東村つつじ祭り」の会場である「東村村民の森つつじ園」と平成28年度整備予定の「東村観光誘客施設(仮称)」の隣接地に両施設で共同使用可能な駐車場を整備することで、観光誘客面での相乗効果と利用者の利便性向上を図る。	駐車場整備工事の実施	駐車場整備工事の完了	駐車場の整備により利用客の利便性が向上し、受入体制の強化が図られる。		
6			沖縄関係戸籍の電算化事業	H28	劣化が激しい紙ベースの沖縄関係戸籍(臨時戸籍、仮戸籍、福岡戸籍)のデータ化及び管理システムの構築。	沖縄関係戸籍の紙ベースから電算化	沖縄関係戸籍の電算化完了	電算化により、データ保護の向上、戸籍事務の効率化及びお客様へのサービス向上を図る。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			東村海外移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ H28	南米2カ国(ブラジル・アルゼンチン)の東村人会の子弟(2世・3世)が村民及び県民との交流を通じ、本村と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興発展に貢献しうる人材の育成、移住先国子弟とのネットワーク強化を図る。	・研修生受入 4人 ・染め物(紅型)や沖縄料理、方言(ウチナーグチ)等の沖縄文化を学ぶとともに村民及び県民との交流をを実施。	・研修生へのアンケート数値 : 80% ・アンケート内容 「今後も交流を続けたい」、「沖縄の歴史文化等に興味がでた」等	・受入事業を定期的に継続し、ネットワーク強化を図る。 ・相互交流も検討する。	
8			東村台風に強い農業施設整備事業	H24 ～ H28	本村の主要作物の一つであるマンゴーは、台風による被害を受けやすいことから、防風ネット等を整備し、被害の軽減を図る。	既存ハウス内への防風施設の設置。	防風施設の設置完了4箇所	被害の減少により出荷量等の増加につながる。	
9			地域活動拠点活性化事業	H27 ～ H29	地域活動・地域行事(芸能祭等)伝統文化、芸能の場、交流の場としての利活用が図れる施設を整備することにより、地域活性化また都市との交流が図れる体験・交流活動の場となる拠点施設を整備する。	地域活動拠点施設の基本設計・実施設計の実施	地域活動拠点施設の基本設計・実施設計の完了	H29年度:建設工事 H30年度:供用開始	5月変更(事業追加)
10			東村総合農産加工施設機能強化基本計画策定事業	H28	東村総合農産加工施設の現状等を踏まえた課題を明らかにし、その方向性を示すとともに、当該施設の活性化に向けての基本計画を策定する。	基本計画の策定(課題の調査・整理、基本方針の決定)	・基本計画の策定完了	策定された基本計画に沿って施策を実施し、当該施設のさらなる活性化を目指す。	10月変更(事業追加)
11			中学校空調設備設置事業	H28	亜熱帯気候である沖縄県は、年間を通じて高温多湿な環境が長期にわたり続くことから、生徒の学習環境を改善し授業により集中できる状況を作るため空調設備を整備する。次年度中学校統合を控える東中学校の普通教室4室(特別支援教室を含む4教室に各1基)に設置する。	東中学校の普通教室4室に空調を設置。	空調設備の設置完了	学習環境改善による学力の向上につながる。	10月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	今帰仁村健康長寿体験滞在型観光の促進事業	H24 ~ H28	今帰仁村の健康につながる様々な資源を取り込み、来訪者に多様な健康づくりと観光活動の機会を提供する。「ヘルスツーリズム」を推進し、民泊事業等による観光の振興を図る。 本事業では、住民からアンケート調査結果や会議を通し長寿の秘訣を探り、健康長寿基本システムを構築することで、体験滞在型観光を促進する。	・健康長寿作戦会議開催(3回) ・健康長寿作戦実施事業(3回) ・ヘルスツーリズムの充実及びモニターツアーの開催(2回)	・地域で共に支えあう健康づくりプログラムの立案と実施 ・モニターツアーの開催(山形県酒田市20名 他東北の1県より20名)	(今後の展開方針) ・H28年度においても、健康長寿作戦会議、健康長寿作戦及びプロジェクトチームの会議を継続し、報告書の作成を行う。		
2	今帰仁村子ども教育充実事業	H24 ~ H33						
2	人材育成事業	H24 ~ H33	小学生を対象に、山形県酒田市と将来の指導者育成の為、交流事業を行う。南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流を行うことにより、子供達の視野の広がり及び教養に対する意欲と、将来に向けての刺激を与える。	・派遣生徒数:36人	・酒田市浜中小学校との交流会の実施 ・酒田市内での民泊の実施 ・スキー体験の実施 ・報告会の実施(1回)	(今後の展開方針) 派遣生徒数(累計):36人 ・地域及び本村のジュニアリーダの団員として活動 ・北山ていーだの会団員として「現代版組踊北山の風」のメンバーとして活動		
2	東ティモールと本村児童の交流推進事業	H24 ~ H33	東ティモールの児童を招聘し、本村3小学校との交流で国際感覚を育成し、今後、人道的支援を目指し、異文化交流を通して本村児童の人間性の育成や国際貢献できる人材育成を図り、又、本村の小学校校歌の作詞関係者であるソプラノ歌手(講師)を村内の各学校に招聘し、コンサートと東ティモール支援に係る講演会を実施する事によって、本村児童と東ティモールの児童との交流が図られる。	・東ティモールからの受入児童数:4人、引率:2人 ・コンサートの開催(4回) ・講演会の開催(4回)	東ティモールと本村の児童との交流 ・コンサート参加者数750人(H27年度:700人) ・講演会参加者数750人(H27年度:700人)	(今後の展開方針) 研修生受入者数(累計):50人 ・本村の児童生徒を東ティモールの児童との交流を継続的に図り、広い視野と国際的な見地に立てるような優れた人材育成に努める		
2	教育環境充実事業	H25 ~ H33	児童生徒、個々に応じたきめ細かなサポートを行うため、各幼稚園、小中学校に支援員を配置する。また、幼稚園では預かり保育を実施する人員も確保し、保護者のニーズに対応する。	(支援員(預かり含む)の配置人数) 幼稚園(預)4人(特)3人 小学校(学)3人(特)8人 中学校(学)1人(特)1人	・児童生徒の学力や学習意欲の向上 ・児童生徒が困ることなく、学校生活を送れるようにサポートを行う。	(今後の展開方針) ・幼稚園では今まで午後の預かりを行っておらず、学童保育との二重保育となっていたが、3年後に幼保連携施設を整備するにあたり、幼稚園での預かり人員を3年間継続配置する。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	中高生海外語学留学支援事業	H25 ~ H33	英語を学ぶことへの関心・意欲を高めるとともに、「今帰仁村」の将来を担う、国際感覚豊かな人材育成のため、本村今帰仁中学校に在学する中学生2人(ハワイ2週間)及び北山高等学校に在学する本村出身高校生4人(ジョージア州2週間)を対象に、夏季休学中に姉妹校等においてホームステイをする機会を与え、世界に羽ばたく人材を育成する。	・留学生徒数 中学生:2人 高校生:4人	・中学校、高等学校において、帰国後の海外短期留学報告会を全生徒、保護者、地域の方等の参加のもと開催し、留学の成果を広げ発信する。	(今後の展開方針) ・留学生徒数の増加及び自己負担の軽減を図りながら、留学支援を継続する。 ・留学生徒数累計(中学生:19人 高校生:33人)		
2	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ~ H33	小・中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	・村内児童生徒等のスポーツ大会等への派遣費用を補助する。	派遣生徒数 ・県外少年団野球大会 20人 ・県外スポーツ大会 100人	(今後の展開方針) 派遣生徒数(累計):1,746人 県外派遣の参加費の負担軽減を行いながら、県外での経験を積むことにより今帰仁村の次代を担う児童生徒の育成に努める。		
3	今帰仁村観光客受入強化事業	H24 ~ H33						
3	環境保全美化推進事業	H24 ~ H33	本村の観光拠点となっている今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化を実施し、観光客受入体制を整える。 また、地域環境の保全、地域住民及び観光客の安全と誘客を図り景観を保全するため、不法投棄パトロール、投棄物処理、ハブ駆除対策、野犬捕獲等の対策を強化する。	・村内の観光地の美化作業の実施。 ・歴史・文化的な松並木の景観保全の実施。	・今帰仁城跡及び観光地の美化 ・観光ルートの美化(20路線) 累積整備率(121路線) 60% ・歴史的・文化的な松並木の景観保全 白アリの防除 60本 全体防除のうち 防除率33%行う 累積防除率(185本) 100% 樹木の強化 65本 全体強化のうち 強化率30%行う 累積強化率(220本) 100%	(今後の展開方針) ・全体整備計画 H24～H33の10年間で村内201路線(村道104路線 農道97路線)を整備する。 ・松並木の調査を進めながら、白アリの防除及び樹木の強化を図る。 ・防除全体計画 185本(県指定文化財 仲原馬場、農村公園等の松本数)(H28)完了 ・樹木の強化全体計画 220本(県指定文化財 仲原馬場、農村公園等の松本数)(H28)完了		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村							
事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	風景づくり推進事業	H24 ～ H28	各地域代表者で構成する意見交換会を開催し、景観整備に関する方針や景観形成に向けて重点的に取り組むべき区域等について検討する。また、景観づくりに関する支援要綱等を作成する。	・地域代表者意見交換会の開催(2回)	・景観むらづくり支援・助成等の要件や適用範囲などを定めた支援要綱を作成する。	(今後の展開方針) H29年度以降は、支援実施要綱等を基に予算に応じた支援や助成等を行っていく。	
3	観光力基盤強化事業	H24 ～ H33	今帰仁村の観光地としての認知度アップを図るため、「現代版組踊 北山の風」、総合まつり、ハーリー、さくら祭り、運天港いちやり場まつりなどのイベントを実施する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。	・現代版組踊「北山の風」開催(8月・10月・2月) ・古宇利ハーフマラソン開催(4月) ・今帰仁城跡ライトアップ及び桜まつり開催(1月) ・今帰仁総合まつり開催(10月) ・今帰仁ハーリー開催(8月) ・三村交流事業開催(11月)	・現代版組踊「北山の風」来場数:1,200人(H26実績:1,150人) ・古宇利ハーフマラソン参加者数:3,600人(H26実績:3,503人) ・今帰仁城跡ライトアップ及びさくら祭り来場者:48,000人(H26実績:47,927人) ・今帰仁総合まつり来場者:10,500人(H27実績:9,700人) ・今帰仁ハーリー大会出場者数:825人(H27実績:732人) ・三村交流事業来場者:1,000人(H27実績:900人)	(今後の展開方針) ・村の活性化を図るため、イベント等の支援を継続して行う。	
3	観光地安全強化事業	H24 ～ H33	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車輛の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	・交通整理員の配置:4人(12月～2月) ・今帰仁城跡来訪者安全対策の実施	・今帰仁城跡来訪者(約270,00名見込み)の安全の確保(12月～2月)	(今後の展開方針) ・イベント時の来訪者の安全対策を図るため、今帰仁城跡に交通整理員を継続して配置する。	
3	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ H33	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)の整備を図ることにより、河川敷きなどの空間の有効活用、治水の安全度を図るなど、河川全体の自然環境を最大に活かした河川再生は重要な施策である。今帰仁城跡を訪れる観光客又は海浜を訪れる観光客の安全・安心な河川を再生し観光基盤を強化する。	・今泊港川(延長560m)の下流左岸部分(70m)の工事	・全体計画における6.2%整備 累積整備率 27.3% ・今帰仁城跡付近を流れる今泊港川を整備することで、河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上が図られることはもとより、観光客の安全・安心な観光基盤を構築することができる。	(今後の展開方針) ・H28～33年度:河川の整備 ・H34年度:供用開始 ・全体整備計画 1120m(H33)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3		今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ H33	今帰仁村には世界遺産今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来城者に無料のガイドが行われている。学ぶ会の更なる充実強化を図ることで、ガイド個々の資質向上が図られ、今帰仁城跡の魅力を観光客にアピールすることが出来るためガイドの強化を行う。	・案内に資する知識を得るために講演会(1回)及び研修会(2回)を開催する。	・ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ・ガイドによる来訪者の案内 11,800名目標 (平成27年度、案内する来訪者数見込数 11,700名)	(今後の展開方針) ・来訪者に今帰仁城跡の歴史等について正しく理解してもらうために、ガイドの資質向上につながる講演会や研修会を継続して開催する。	
3		今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業	H24 ～ H29	「体験滞在観光を促進する」「着地型・周遊観光を実施する」を基本方針として、観光振興を強化する。観光客の受入れ体制を整えるため、村内の観光スポットの美化・整備を強化し、住民への景観形成への意識を高め、今帰仁村の観光地としての知名度を上げ、集客につなげる。既存の施設を活用し、スポーツによる交流など今帰仁村を目的地とするよう観光の通年化を図る。	・園内動線、外柵、遊具等測量設計委託 ・イベント広場建設工事	・園内動線、外柵、遊具等測量設計の完成 ・イベント広場建設工事の完了	(今後の展開方針) ・H29年度：園内動線、外柵、遊具等工事 ・全体整備計画 10,500㎡ ・年度毎に改修・整備した施設の利用を促進するために、ホームページ等を活用し広報活動を行う。 ・合宿数の基準値(H25 30団体)をH30年度には、40団体の合宿を誘致する。	
3		今帰仁村魅力発信事業	H28	今帰仁村の観光地としての知名度アップを図るため、今帰仁村の魅力を県内外に広くPRし、フェア開催後の今帰仁村への誘客を目的に那覇市のタイムスホールにおいてイベントを実施する。	・文化・芸能イベントの開催 ・特産品の展示販売の実施 ・観光案内、各種イベントの情報発信	・来場者数 7,000名 ・特産品販売額 9,000千円	(今後の展開方針) ・観光案内、各種イベント等の情報発信により、村内の各種イベントの来場者数の増へつなげていく。	
3		景観形成強化事業	H24 ～ H28	昔ながらの今帰仁村の景観が残る集落内の道路整備を行うことにより、観光客の集落内への受け入れ体制を強化する。 また、村が管理する道路の舗装、粉塵防止、雑草防止、防護柵等を整備し、車輛の安全及び歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することで、集落の深部への観光客受入れ体制を整える。	・観光客等が歩きやすい歩行空間の確保(道路の舗装、粉塵防止、雑草防止、防護柵設置等)	・快適な観光アクセスルートの整備(3.8km、全体計画の20%) 累積整備率(19.1km) 100%	(今後の展開方針) ・全体整備計画 H24～H28の5年間で観光アクセスルートを19.1kmを整備する。	5月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		村営闘牛場機能強化整備事業	H28 ～ H29	沖縄の伝統興行である「闘牛」を後世へ継承していくために、闘牛大会を定期開催し、地元の闘牛ファンのみならず県外観光客を呼び込む観光資源として有効活用し、伝統興行の活性化を図るため、村営闘牛場の機能強化を行う。	・村営闘牛場機能強化事業における、測量業務、調査設計委託業務の実施	・村営闘牛場機能強化における、測量業務、調査設計の完了	(今後の展開方針) ・H29年度:待機小屋・トイレ・闘牛場・舗装工事 施工監理 ・今後は、地元闘牛ファン及び県外観光客を呼び込む観光資源として有効利用を行い、伝統興行の活性化を図る。	10月変更 (事業追加)
4		今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ～ H33	安定した素牛生産地の確立のため今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛を導入する際に、導入牛の価格に対し支援を行う。	・繁殖牛を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う。	繁殖牛 21頭導入 ・全体計画のうち 導入率12%行う ・累積導入率(67頭) 39%	(今後の展開方針) ・今後の母牛の品質向上を図るため、導入した牛から産まれた雌子牛のうち、発育良好な雌牛を保留する。 ・導入全体計画 170頭(H33)	
5		幼保連携一体化施設整備事業	H27 ～ H30	就学前の子どもを持つ家庭の育児支援や連続性のある幼児教育、保育環境を創出し、保育サービスの拡充と地域の子育てニーズや新制度に対応したバランスのとれた総合的な子育て支援を行うため、就学前の幼児教育・保育を一体的に担う「幼保連携一体化施設」の整備を行う。	・実施設計・用地測量及び地質・磁気探査・造成設計の業務委託 ・用地購入	・幼保連携一体化施設の実施設計及び造成設計の完成 ・幼保連携一体化施設予定の用地測量及び地質・磁気探査の実施 ・幼保連携一体化施設予定地の用地購入及び登記の完了	(今後の展開) ・H28年度:実施設計、造成設計、用地測量、地質調査、磁気探査、用地購入 ・H29年度:造成工事、施工監理、排水工事、解体設計、解体工事 ・H30年度:建設工事、外構工事、施工監理、遊具設置 ・良好な子育て支援環境の充実や効果的な幼児教育、保育の確保に向けて施設整備を行う。	5月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
パ	細				H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1			本部町観光拠点形成事業							
1			花いっぱい運動の推進事業	H24 ~ H33	観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿い等に花の植え付けを行う。実施は、本部町観光協会へ委託する。植え付け作業は、町内の各種団体から成る「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。	プランター植付の実施 = 1221基	プランター植付の完了 = 1221基	(今後の展開方針) 町内プランターに花の植え付けを行い、地域ぐるみ花いっぱい運動を推進する。		
1			ハブ咬傷防止事業	H25 ~ H33	タイワンハブ捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	ハブ捕獲器を町内約200カ所に設置	ハブ捕獲数年間:200匹	(今後の展開方針) タイワンハブの分布状況の把握に努め、密集地帯の駆除を重点的にを行い、個体数及び生息域の抑制を図る。		
1			伝統興行観光化事業	H25 ~ H28	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。また、闘牛舎及び付帯設備を整備することで闘牛文化継承者の負担を軽減し、伝統興行の継承に寄与する。	・伝統興行の実施:3回 ・公衆トイレの整備	・伝統興行の実施による観客数:1,377人(過去2年間の実績の平均値) ・公衆トイレの整備完了:1棟	(今後の展開方針) 組合による伝統興行の継続的实施		
1			本部町2大まつり事業	H25 ~ H28	本部町の2大まつりである海洋まつりと桜まつりを充実させ、本部町の魅力を観光客に周知し観光産業の活性化を図る。	2大まつりの実施 ・海洋祭り 7月 ・桜祭り 1月	2大まつり来訪者数 ・海洋祭り 10,000人(2日間合計) ・桜まつり 10,000人(期間中1日平均) (参考)過去実績 ・海洋まつり H22年度6,441人、H23年度6,037人、H24年度8,629人、H25年度11,506人、H26年度3,043人、H27年度10,790人 ・桜まつり H22年度8,202人、H23年度9,425人、H24年度9,668人、H25年度10,809人、H26年度10,541人	(今後の展開方針) エージェント等との連携を図り、県外からも多くの方が訪れるようなイベントを目指す。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	本部町フクギ集落整備事業	H25 ~ H29	本部町の北部地域は、フクギ並木などで有名な観光名所である。今後の観光振興につなげるためにも、地域の集落景観の維持・保全等計画を推進するとともにフクギの剪定や案内板等を整備し、地域自然を有効活用した集落づくりに取り組む。	・フクギ集落の散策路・案内板等の工事実施 ・具志堅集落内フクギの剪定工事実施	・フクギ集落の散策路・案内板等の工事の完了 ・具志堅集落内フクギの剪定完了	(今後の展開方針) ・備瀬フクギ集落の排水・舗装等の整備完了 ・町や観光協会とフクギ集落地区のネットワーク強化 ・県内外旅行会社と連携したフクギ集落景観を活かした観光コースの検討		
1	八重岳観光拠点整備事業	H25 ~ H29	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。	排水護岸工事の実施 L= 430m 広場整備の実施 A=6,000m ² ・東屋1基	排水護岸工事の完了 L= 430m 広場整備の完了 A=6,000m ² ・東屋1基	(今後の展開方針) H26年度～H29年度:法面崩壊防止のための排水路整備及び新たな拠点(広場)づくり H28年度:八重岳入口河川の親水護岸及び新たな拠点(広場)づくり H29年度:親水性護岸整備及び東屋等設置		
1	観光漁業実証調査事業	H26 ~ H29	本町の有する水産資源の魅力に触れる体験型観光プログラムの構築を図るため、中層型浮漁礁等を活用した実証試験を行う。観光協会、漁業協同組合と連携し受入体制の強化を図り、「ここでしか味わえない」をキャッチフレーズに観光地としてのブランド力を向上させる。	観光プログラムの実証 ・体験型観光の実施及びデータ収集	町内水産資源を活かした体験型観光の実施を行い、観光プログラムの構築に向けデータ収集を行う。	(今後の展開方針) 観光協会及び漁業協同組合と連携し事業展開する。		
1	観光地安全対策事業	H27 ~ H28	本町には、県内最大の観光施設である沖縄美ら海水族館があり、県内外から年間430万人もの観光客が訪れており、安心安全な観光地づくりが課題となっている。そこで、本町の主要道路に防犯カメラを設置し、安心安全な観光地づくりを図る。	防犯カメラの設置工事:3台	防犯カメラ3台の設置完了	(今後の展開方針) 本部警察署等とも連携し、防犯カメラの利活用を図る。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			渡久地港駐車場整備事業	H28 ~ H30	本部町の水納島へ渡る航路が発着する渡久地港の旅客ターミナル及びその周辺には駐車スペースが少なく、水納島を訪れる観光客に不便を強いていることから、観光客等の利便性向上させるため駐車場を整備する。	駐車場の整備 383㎡	渡久地港周辺における駐車可能台数の増加 = 12台	(今後の展開方針) 渡久地港周辺の慢性的な駐車場不足を解消するため、引き続き駐車場の整備を実施していく。 H29: 用地取得(813㎡)、実施設計委託業務一式 H30: 駐車場整備(813㎡)	8月変更(事業追加)
1			観光案内情報板整備事業	H28 ~ H29	本部町では、地域の特色を生かした様々なイベントが開催されており、イベント等の周知は、ホームページ、広報誌、新聞折り込み等を活用しているが、観光客に十分周知できていない状況である。また、台風襲来時の注意喚起や交通機関の運行状況、イベント中止の情報なども伝達しなければならない。そこで、観光客にイベント等を周知するため観光案内情報板を整備する。	観光案内情報板の設置: 2台	観光案内情報板2台の設置完了	(今後の展開方針) 外国人の観光客にも理解できるよう観光情報について多言語で表記する。	8月変更(事業追加)
2			本部町亜熱帯農業生産体制強化事業						
2			園芸農業防災施設整備事業	H24 ~ H28	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。	ビニールハウスの整備件数: 5件	ビニールハウスの活用により生産性の向上の体制整備	(今後の展開方針) ・自然災害による農作物被害の低減 ・施設整備による産地形成	
2			もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ~ H29	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶ牛ブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入に対する補助を行う。	優良母牛導入の支援	優良母牛導入頭数: 45頭	(今後の展開方針) 平成26～29年度にかけて各年度目標導入頭数: 45頭	
2			メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ~ H33	特産品生産者及び事業者の経営の安定化と産業の発展を図るため、販売支援員の配置、物産展等への出展など、本部町の地域の特性を活かした特産品の販路拡大を支援する。	・賃金 1名 ・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (県内物産展への出展支援(5回))	新規取引契約数10件/年 物産展等での販売目標 1回50万円×5回	メイドインもとぶ産品を県内外の流通経路にのせ、1次・2次産業の底上げを図る。	5月変更(事業追加)

H28活動目標(指標): 平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標): 平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
3		モトブンチュ人材育成事業	H25 ~ H29	沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。	・伝統文化継承教室開催240回 (三線、琉舞、沖縄民謡読み聞かせ、昔遊び、空手、やちむん絵付け、物作り) ・町内イベントでの体験型プレイショッ プ開催3回	教室目標参加者数 2,600人 体験型プレイショッ プ目標参加者数 800人	(今後の展開方針) H25～H30延利用者数 15,000人		
4		本部町教育環境整備事業							
4		本部町学力向上学習支援事業	H26 ~ H33	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力向上を図るため、学習支援員の配置を行う。町内小・中学校に学習支援員を配置し、国語及び算数・数学、及び必要に応じその他の主要教科において「授業支援」を行う。また計画的な「放課後支援」を行い学習の遅れている児童生徒へ習熟学習の支援を行い学力向上を図る。	・町立小学校 5校へ配置 ・町立中学校 2校へ配置	・全国学力調査での全国平均との差 小学校 総合点 全国平均以上を維持 H27年の差 +3.2ポイント 全国平均 63.9ポイント 本町 67.1ポイント 中学校 総合点 前年比 2ポイント以上の向上 H27年の前年度との差 +2ポイント H26年 50.9ポイント H27年 52.9ポイント	(今後の展開方針) H33年度全国学力・学習状況調査 全国平均以上。		
4		本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ~ H33	夏休みを利用し、町内の中高生を英語圏へ短期間派遣し、ホームステイを実施する。生きた英語に触れることにより、今後の英語学習への意欲を高め、また異文化体験することにより、広い視野で物事を捉える人材育成を目指す。	町内の中高生を英語圏へ 短期間派遣(2週間)	事業実施後の英検合格率2.5%。	(今後の展開方針) 平成27年度から平成33年度まで 毎年中高生を英語圏へ短期間派遣		
4		学校ICT機器整備事業	H28 ~ H30	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力及び情報活用能力の向上を図るため、町内小中学校のICT環境整備(全教室の無線LAN整備、タブレットPC等の導入)及びICT活用支援員を配置し、ICT機器の活用によるICT教育の推進を通じ、児童生徒の学力及び情報活用能力の定着、向上を図る。	無線LANの環境整備 3校 タブレット等の購入設置 65台 大型モニタ等の購入設置 11台 ICT活用支援員 1名配置	本部町学力調査において対前年比で2ポイント向上。	H30年度までに、全小中学校にて無線LANの環境整備及びタブレット等の購入設置を行う。整備後においては本部町学力調査において対前年比で2ポイント向上を目標とする。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		特別支援教育環境充実事業	H28 ~ H33	教育の振興を図るため、特別な支援を要する幼児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、個々に応じた適切に必要な支援を行う。特別支援教育支援員、スクールソーシャルワーカー、担任教師・教諭との連携による特別支援教育環境の向上、充実を推進する。	特別支援教育支援員 20名配置 スクールソーシャルワーカー 1名配置	特別な支援を要する幼児児童生徒へ支援の充足率70%。	対前年比で充足率5%向上を目標とする。	
5		赤土流出防止検討調査事業	H24 ~ H30	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている海洋への土壌流出について、本町内での発生源調査や、その発生源に対する土壌面の被覆、ほ場等周辺へのグリーンベルトの植栽配置及び流出源となる河川堆積土砂の浚渫、フィルター材の設置など、流出面から河川へ至る線への対策を実施することで赤土の流出抑制を図る。	流出対策事業(工事)	管理用道路の整備完了:1箇所	(今後の展開方針) 調査検討業務の成果を活用し、順次町内で対策事業を実施する	
6		世界のムトウブンチュ大会実施事業	H28 ~ H33	本部町出身海外移住者とのネットワークの発展のため、世界ウチナーンチュ大会の実施と同時期に移住者やその子弟などと本部町民との親善交流会(世界のムトウブンチュ大会)を実施する。	世界のムトウブンチュ大会 10月28日実施 ・沖縄文化鑑賞出演者(文化協会 3部会、町内各種団体 3団体) ・海外町人会活動紹介 3団体	世界のムトウブンチュ海外大会参加者 100名	大会実施後にも各地の本部町人会との連携を密に取り、町人会をはじめとする町独自の国際ネットワークの構築と強化が見込まれる	5月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

恩納村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			恩納村旅の案内人配置事業	H27 ～ H33	観光案内所を運営する恩納村観光協会に対し、多言語の話せるスタッフを配置するための運営を支援する。	・案内スタッフ配置の支援	・観光情報案内人数:6,000人 (恩納村文化情報センター利用者目標人数: 60,000人/年の10%)	H33年度まで支援を継続し、恩納村の魅力丁寧に説明することにより国内外のリピーターの増加につなげる。 ・文化情報センター利用者数 目標:75,000人(H33年度)	
1			恩納村美ら海花火大会事業	H27 ～ H33	閑散期に恩納村を訪れている観光客等に対し、恩納村の観光資源である海浜等において大花火大会を実施し、恩納村の魅力を発信することにより観光振興を図る。	・美ら海花火大会の開催 ・シャトルバスの借用:10台 ・PRチラシの作成:20,000枚 ・警備員の配置	・美ら海花火大会来場者数:10,000人 (基準値:H27年度 8,000人)	効果を検証し、時期・内容等を検討していく。	12月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
1			観光地危険生物駆除事業 (ハブ駆除事業)	H24 ～ H33	外来種のタイワンハブやタイワンスジオが観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)の散策者への咬症事故が予測されるため、その周辺を重点区域とし積極的に駆除する。	・ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数: 400箇所	・ハブ捕獲数:150匹 (参考:H26年度捕獲数 178匹)	・ハブ生息地拡大を抑制するため、捕獲器設置エリアを拡大 ・捕獲器設置数の増加 ・拡散防止の強化	
1			「谷茶前の浜」整備事業	H27 ～ H28	恩納村を代表する沖縄民謡「谷茶前節」で知られる「谷茶前の浜」周辺を恩納村の文化の発信に寄与する観光地として整備する。	・駐車場及び石碑整備工事 691㎡	・駐車場及び石碑整備工事の完了	新たな観光スポットとして、おんなサンセット海道の活性化につなげる。	
1			前兼久区交流施設整備事業	H27 ～ H28	前兼久区において、ハーリー等の伝統行事を通じた観光客との交流・体験学習を実施し、伝統芸能継承、各種団体活動などの多様な活動を推進するため、交流施設を整備する。	交流施設整備工事の実施	・交流施設整備工事の完了 ・ハーリー開催時における施設利用人数:330人	H27年度～H28年度建築工事完了 H28年度:供用開始予定 観光メニューづくり等に取り組み、観光客の誘客を図る。 目標利用者数:年間約 2,700人	
1			恩納村観光振興計画策定事業	H28	本村のリーディング産業である観光産業の継続的な発展及び地域活性化を推進するため、村の観光振興の基本となる観光振興計画を策定する。	観光振興計画の策定	観光振興計画の策定完了	計画策定後、観光事業を推進していくために、行政の横断的体制の強化、村内外の関連団体、事業者等との連携を強化するための推進体制を構築する。	5月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

恩納村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	名嘉真区多目的施設整備事業	H28	地域と観光客との交流事業及び地域の伝統芸能、各種イベント、各団体活動、また災害時の避難所として多様な活動の拠点施設を整備し、地域の観光振興及び農村漁村の活性化を図る。	多目的施設整備工事の実施	多目的施設整備工事の完了	H29年4月：供用開始 ・本村へ訪れる観光客を受け入れ、交流事業を継続的に実施していく。 また地域の各種イベントの活動拠点として、伝統芸能の継承や農業振興等、地域活性化を図る。	5月変更 (事業追加)		
1	万座毛周辺活性化施設整備事業	H24～H30	多くの観光客が訪れる「万座毛」は、施設の整備が行き届いていないため、トイレ、売店、休憩所等の活性化施設及び周辺環境を整備する。	土質調査業務の実施	土質調査業務の完了	H31年度：供用開始 ・万座毛入域客数 目標 H35年度 107万人 参考 H23年度 86万人	8月変更 (事業追加)		
2	防災倉庫整備事業	H27～H28	地震や津波などの自然災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民・観光客等が避難する場所に防災資機材や備蓄食糧等の生活物資を保管する備蓄倉庫を整備し、防災活動基盤を整備する。	防災倉庫の整備 3箇所 防災用資機材の整備 3箇所 備蓄食糧等の整備 3箇所	防災倉庫の整備率 100% 防災用資機材の整備率 100% 備蓄食糧等の整備率 100%	避難訓練や炊き出し訓練等定期的な訓練を実施し、災害に強いむらづくりを推進する。			
2	避難標識等設置事業	H28	津波等各種災害に備え、住民や観光客の安全対策を講じるため、津波避難場所までの案内標識や避難所等を示す標識を設置する。	避難経路標識設置 災害時一時避難場所標識設置 災害時避難所標識設置	避難誘導体制の確立 ・避難経路標識設置：90箇所 ・災害時一時避難場所標識設置：40箇所 ・災害時避難所標識設置：25箇所	初めて訪れる観光客を含め、災害時に対応できる安心・安全な観光地としてのPRを図り、災害発生時の避難誘導体制を確立する。			

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

恩納村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	公営墓地整備事業	H28 ~ H31	沖縄独特の墓地散在化の抑制及び既存墓地の整理集約、住環境の改善を図るため、恩納村墓地公園(公営墓地、納骨堂、駐車場等)を整備する。	・恩納村墓地公園整備基本計画の策定	・恩納村墓地公園整備基本計画策定完了 ・公営墓地、納骨堂、駐車場整備基本方針決定	(今後の展開方針) ・平成28年度: 実施設計 ・平成29年度: 公営墓地造成工事 ・平成30年度: 納骨堂設計 ・平成31年度: 納骨堂建設工事			
5	恩納通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ~ H31	恩納通信所跡地において、跡地の活用促進を図るべく、同跡地周辺区域について、跡地利用計画の推進に向けて基盤整備を実施する。	・用地取得のための調査業務 ・住民説明会の開催(1回) ・実施設計の実施	・用地取得のための調査完了 ・住民説明会実施(1回) ・実施設計完成	(今後の展開方針) H29年度: 用地買収、基本計画策定 H30~31年度: 工事実施	10月変更(事業追加)		

H28活動目標(指標): 平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標): 平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光振興プロジェクト事業	H24 ～ H33					
1			阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ H33	阪神春季キャンプの受入態勢の強化を図り、キャンプ中はもちろん年間を通して誘客出来る観光資源として開拓していく。	阪神春季キャンプの受入体制の構築 ・野球場仮設ブルペン、防球ネット、エアアーチ、パワーテント等設置 ・野球場、総合グラウンド黒土搬入	阪神春季キャンプの受入体制を構築することにより、キャンプ誘客増加(5,000人)【平成27年度目標値65,000人 平成28年度目標値70,000人】	関係団体(観光推進協議会、商工会)と連携をして集客と滞在時間の延長を図る。 集客目標 H29:71,000人 H33:75,000人	
1			宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ H33	宜野座村文化センターがらまんホールを中心にグローバルな教育・観光振興、人材育成、宜野座村の魅力アピールし村全体の活性化を図る事業として「文化イベント事業」、「お出かけアウトリーチ事業」、「国際交流事業」を実施する。	・芸術文化・伝統芸能公演・講座の開催数(28回) ・お出かけ公演実施数(6公演) ・子ども育成事業数(2事業)	・芸術文化・伝統芸能公演・講座の集客数(2,300名) ・お出かけ公演実対象者数(4,500名) ・子ども育成事業人数(40名)	(今後の展開方針) H29～H33 ・芸術文化・伝統芸能公演・講座の開催20～30公演/年 ・お出かけ公演実施:5～10公演/年 ・子ども育成事業実施:1事業/年	
1			宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ H33	宜野座村の着地型観光を推進するため、本村の地域資源を活用した地域発信の観光事業を展開し、着地型観光商品の事業化に向けた取り組みを実施するとともに、地域企業等との連携を密にし、着地型観光受入の地域コーディネーターの強化、PR活動の必要な情報媒体の整備、イベント事業展開等の支援を行う。	観光誘客プロモーション活動(年間)イベントの開催(3回) 先進地視察研修(2回)	・宜野座村の観光入客数(平成27年度目標18万人 平成28年度目標20万人) ・イベント開催(3回) ・視察地で本村の観光PRが発信できる連携を構築する(年間)	(今後の展開方針) 地域ガイドの育成や先進地の取組みを吸収し、誘客プロモーションやイベントを開催して地域資源を活用した着地型観光を継続的に実施していく。 宜野座村観光入客目標 H29:21万人 H33:25万人	
1			宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ H33	秋の行楽シーズン、スポーツの盛んな季節において、宜野座村を訪れている観光客等に対し、宜野座村の観光資源である、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心とした場所において、大花火大会を開催し宜野座村の魅力発信することにより観光振興を図る。	花火の打上委託 1,000発 PRチラシの作成:35,000枚 警備員の配置:15名	村内入込客数の3%増 (平成27年度目標18万人 平成28年度目標20万人)	来場者数の状況や関係者の意見を聞きながら今後の開催の継続や時期、内容を検討していく。	
1			漢那ビーチ観光客受入体制整備事業	H28	宜野座村の観光拠点の一つである漢那ビーチが観光客にとって安心・安全かつ快適に利用できるよう必要不可欠なハブクラゲ防止ネットを購入し環境整備を行う。	ハブクラゲ進入防護ネットの整備	・ハブクラゲ進入防護ネットの整備完了	ビーチに訪れる観光客等が安全・安心に遊泳できるよう環境を整備する。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			リバーパーク整備事業(観光拠点施設整備)	H24 ~ H33	検討委員会にて計画実施にむけての細部を協議し、漢那福地川周辺の豊かな自然を活かした観光拠点整備を推進する。観光情報センターの建築及びその周辺の公園、駐車場、護岸等を整備する。	・リバーパーク整備等検討委員会の開催(具体的な実施整備について協議) ・観光拠点施設整備(観光センター)の建築工事 ・観光拠点施設整備(公園等)の土木工事	・ゲートゾーン(観光センター及び周辺公園整備など)の整備進捗率(84.8%)	(今後の展開方針) H29:リバーサイドゾーンの実施設計 H30:リバーサイドゾーンの工事 H31:フルーツ・フラワーガーデンゾーンの実施設計 H33:フルーツ・フラワーガーデンゾーンの工事	8月変更(事業追加)
1			宜野座村観光情報発信看板設置事業	H28	国道329号バイパスと高速道路インターとの交差点付近に観光情報発信看板を設置することで、宜野座村を訪れる不特定多数の人々(村民、県民、観光客など)に対し、本村の観光情報を発信し、村の魅力を広くアピールすることにより観光誘客の増加を図る。	情報発信看板の設置	情報発信看板の設置完了	宜野座村を訪れている観光客に対し、観光情報発信を行う。	8月変更(事業追加)
2			学力向上及び教育支援等事業	H24 ~ H33					
2			小学校学力向上対策事業	H24 ~ H33	児童一人一人が確かな学力と生きる力を身につけるとともに、チームティーチングによる指導で判断力、思考力、表現力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図っていくため、村内小学校に学習支援員を配置する。	支援員配置数:7人 支援児童数:478人	沖縄県学力学習調査正答率の県平均との差 小学校3年・5年 国語・算数:県平均以上 参考 H27年度 国語A 0.8% 算数A -5.5% 国語B -1.4% 算数B -2.1%	沖縄県学力学習調査小学校(国語・算数)において沖縄県平均正答率を上回る。	
2			中学校学力向上対策事業	H24 ~ H33	生徒一人一人が確かな学力と生きる力を身につけるとともに、チームティーチングによる指導で判断力、思考力、表現力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図っていくため、村内中学校に学習支援員(習熟度別対応支援員)を配置する。	支援員配置数:5人(英語・国語・数学・理科・社会) 支援生徒数:202人	沖縄県学力学習調査正答率の県平均との差 中学校 国語、数学:県平均以上 参考 H27年度 国語A -2.5% 数学A -2.7% 国語B -3.1% 数学B -4.7%	沖縄県学力学習調査(国語・数学)において沖縄県平均正答率を上回る。	
2			幼稚園預かり保育事業	H24 ~ H33	親子が健やかで安心して日常生活を送れるような支援を充実するため、幼稚園において預かり保育を実施する。	預かり保育員配置数:4人	預かり保育希望園児の受入率:100%	H24~H33 預かり保育受け入れ園児率 申し込み園児の100%	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
パ	細				H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H28事業内容					
2			宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28～H33	夏休みを利用し、村内の中・高校生6人を英語圏へ短期間派遣し、ホームステイを実施する。生きた英語に触れることにより、今後の英語学習への意欲を高め、また異文化体験することにより、広い視野で物事を捉える人材育成を目指す。	海外ホームステイへの派遣、 中・高校生6人	ホームステイを実施することにより、今後の英語学習への意欲を高め、異文化交流をすることにより、広い視野で物事を捉える人材育成を目指す。	村内の中・高校生を海外ホームステイへ派遣する。		
			農林水産活性化プロジェクト事業							
3			有機の里宜野座村確立事業	H24～H33	有機の里宜野座村を目指し、推進協議会、部会を開催する。専門技術員による栽培指導を実施し、安定した農産物の生産拡大を図り、エコ農産物の有利販売拡大を行う。	エコファーマーの認定に向けた栽培指導及び生産拡大	エコファーマーの認定数2名 エコ農産物販売目標120t(前年度比率109%)	エコファーマーの認定数 平成27年度、延べ28名 平成24年度～平成33年度までの目標認定者数延べ30名 エコ農産物販売目標：230t(平成33年度)		
3			農業用観光施設モデル整備事業	H28～H31	農業用観光施設(イチゴハウス)を整備することによりイチゴ栽培農家の増加を促し、イチゴ狩り観光型農業による県内外からの来客者の受け入れ増に繋げ新たな観光の創出を目指すと共に本村の新規作物であるイチゴ栽培の振興・県内唯一のイチゴ産地化を目指し村PRを図る。	ハウス整備 1,920㎡ 管理棟整備 50㎡	H28年度 イチゴ狩り来客者 3,000人(参考 H26年度 2,300人) イチゴ収穫時期が毎年12月中旬～5月上旬のため、H26年度実績を参考としている。	H31年度イチゴ狩り来客者9,000人(参考 H26年度 2,300人) H31年度イチゴ出荷量4,000kg(参考 H26年度 2,600kg)	5月変更(事業追加)	
3			さとうきび営農指導委託事業	H28～H32	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による管理作業の指導・担い手を確保し、さとうきび生産の活性化を図る。	適期管理作業の指導 新規栽培農家への直接指導	生産量5%以上増加	栽培農家戸数を増やし栽培面積拡大に繋げる。(平成27年度：197戸・134ha)	5月変更(事業追加)	
4			環境問題対策事業	H27～H31						

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		観光景観向上対策事業	H27 ～ H33	村指定の観光地周辺に不法投棄が多く、景観が損なわれているため、観光地ルートに専属の監視員を配置し、放置された不法投棄物の即時撤去を効率的に実施することで景観の向上を図る。	・不法投棄監視カメラ及び観光箇所を中心にパトロールの強化。 ・ユニック付き2車での不法投棄回収 ・フォーク付きコンボの粗大ゴミの解体作業 ・人件費(重)1名、(中)1名	・観光地ルートの景観向上(観光客等から宜野座村の自然環境や景観向上・美しさ等をアンケート調査し、事業成果を取りまとめる。) ・観光地における不法投棄の減少:10件/年	不法投棄を減少させ、景観を向上させることで、観光振興につなげていく。	
4		危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ H33	外来種の台湾ハブやタイワンスジオ、ハチ等が村内で頻繁に発見されていることから、観光客や修学旅行生の咬傷事故が予想されるため、積極的に捕獲・駆除を行うことで、観光地としての安心・安全を図る。	・観光各所のパトロール:12回/月 ・本村では発見されていない外来ハブの進入防御、ハブ捕獲器設置箇所:村境界付近50箇所 人件費(中)2名 ・ハチ等の捕獲・駆除体制の整備	・観光地における、ハブ、ハチ等への苦情件数:0回	・観光客が安心して観光できるよう安全を確保し、入客数が増加するよう努める。	
5		宜野座村人材育成・企業誘致等推進事業	H28 ～ H33	定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するため、企業の求める人材の育成、就労支援、広報普及活動、企業誘致活動等を行う。	・人材育成・広報イベントの実施 ・企業招聘セミナー・ツアーの実施	・人材育成・広報イベントの参加者数150名 ・企業招聘セミナー・ツアーの参加企業数20人/10社	・人材育成・広報イベントの実施 ・企業招聘セミナー・ツアーの実施	8月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
バ	細				H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
					H28事業内容					
1			金武地区公園整備事業	H28	金武地区公園においては6歳児から12歳児用の遊具のみが設置されており、遊具を利用する対象年齢に制限があることから、それを解消するために低年齢層を対象とした遊具を設置し、誘客を図り観光振興に寄与する。	1歳～3歳児用遊具 1式 3歳～6歳児用遊具 1式 ユニバーサルブランコ 1基	遊具設置の完了	平成28年度において工事を完了し、平成29年度より供用開始。		
1			パークゴルフ場整備事業	H28～H30	金武町にパークゴルフ場を整備し、誘客を図り観光振興に寄与する。	基本計画検討	基本計画策定完了	平成29年度 実施設計 平成30年度 工事	10月変更(事業追加)	
1			プロスポーツ受入事業	H28～H33	本町に整備された金武町ベースボールスタジアムや金武町フットボールセンター等を活用し、プロスポーツチームや社会人チームのキャンプ等の受入れを実施している。長期の受入れを目指すため、競技環境の整備や受入れ体制の強化を図る。	プロスポーツキャンプ受入体制構築 競技環境の整備 プロスポーツ受入の実施 見学者受入体制の整備 スポーツ教室の開催	プロスポーツの受入体制を構築することにより、プロチームの誘致を図る。 H28年度プロチーム誘致4チーム	継続してプロスポーツ受入を実施していく	10月変更(事業追加)	
1			ICT観光地域づくり事業	H28	当事業は本町の歴史、文化、自然を礎とした観光資源の拠点となっている地域へ公衆無線LAN(Wi-Fi)設備を整備し、平成27年度に整備した観光ポータルサイトと連携させることにより、町内店舗、名所、旧跡等への観光誘客と滞留を促進し、通過型から滞留型観光への波及効果による地域活性化を図る。	公衆無線LAN(Wi-Fi)設備の構築	町内公共施設に公衆無線(Wi-Fi)をアクセスポイントを8箇所設置する。	Wi-Fi設置したエリア、イベント、店舗への入域数の増を目指す。	10月変更(事業追加)	
1			温泉施設整備導入事業	H28	平成23年7月に返還されたギンバル訓練場跡地計画の1つとして、癒しの場となる温泉施設整備を推進し、地域住民や観光客の誘客を目指す。当該地域で平成26年度に温泉掘削事業を実施しており、その温泉資源を有効活用するため、民間活力の導入を推進していく。	公募資料作成支援 優先交渉権者選定支援	優先交渉権者及び次点交渉権者の決定	温泉施設の導入及び適正な運営の確認	10月変更(事業追加)	
2			金武町優良繁殖雌牛導入事業	H27～H31	安定した素牛生産地の確立のため、優良繁殖雌牛の導入を支援する。	優良繁殖雌牛の導入支援	優良繁殖雌牛導入頭数:12頭	H27～H31年度にかけて60頭の優良繁殖雌牛を導入予定 (今後期待される効果) 導入した優良牛から生まれた優良子牛を保留することにより、肉用牛飼養頭数の増頭及び優良遺伝子牛の生産拡大が図られる。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
				3					金武町就職活動支援補助事業
3		金武町雇用対策事業	H25 ~ H29	ギンバル訓練場跡地利用の進出企業への雇用を促進するため、進出企業が町民を雇用した場合の研修費等を支援する。	進出企業等が採用した研修者に対する研修費等の支援 研修者数:4人	平成28年度研修者定着率:100% (研修後の継続雇用)	金武町雇用対策事業 平成25~29年度:23人雇用	5月変更 (事業追加)	
4		教育の振興に資する事業	H24 ~ H33	/		/		/	
		小中学校学習等支援事業	H24 ~ H33	英語教育について、外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。	日本人英語指導員 小学校:2人 外国人英語指導助手 小学校:2人 中学校:1人 英語コーディネーター 教育委員会:1人	(小学校) 児童英検において、平均正答率が全国平均との差5%以内 グレード:ブロンズ (中学校) 英検3級について、校内受験者数に対し合格率20%。	学力向上を図るため、今後も継続して外国人英語指導助手等を配置する。 小学校 平成33年度までに、児童英検において、ブロンズ及びシルバーの平均正答率を全国平均に達することを目標とする。 平成33年度までに、中学校生徒の英語検定3級について、合格率25%を目標とする。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			幼稚園預かり保育事業	H24 ~ H33	子育て環境を改善するために、嘱託職員を配置し、預かり保育の充実を図る。	預かり実施幼稚園：1園 預かり保育支援員：3人	・目標：子育て環境における満足度90%	預かり保育に対するニーズをアンケートを通して把握し、内容の充実を図る。	
			特別支援教育支援事業	H24 ~ H33	発達障害等を持つ幼児・児童・生徒の教育については、ノーマライゼーションの理念に基づき、学習生活・学校生活等における困難を改善又は克服するために、適切な指導及び支援を行う。	特別支援教育支援員充足率100% 特別教育支援員配置数 幼稚園：5人 (金武幼4人、嘉芸幼：1人) 小学校：17人 (金武小12人・中川小2人・嘉芸小3人) 中学校：7人 (金武中7人)	・目標：学校評価における、特別支援教育に関する項目について、「支援を要する幼児児童生徒に対し、適切な支援が行われていると感じる」評価3以上(4段階評価)。	特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。	
			ICT教育備品整備事業	H25 ~ H28	児童・生徒への情報教育推進のためにIT教室へパソコンを導入し、各教室へ電子黒板等を整備することにより、情報教育による学力向上を推進する。	IT教室にパソコン36台及び教育用ソフトウェアを整備する。 小学校1校：36台 教室に電子黒板、電子黒板用パソコン及び書画カメラ各5台を整備する。 小学校2校：電子黒板4台、パソコン4台、書画カメラ4台 中学校1校：電子黒板1台、パソコン1台、書画カメラ1台	学校評価における児童生徒の評価で、授業の楽しさや分かりやすさについての評価項目で「評価3以上」(4段階評価)	ICTを活用したわかりやすい授業を展開し、情報教育の推進を図る。	
			デジタル教科書購入事業	H28 ~ H33	平成28年度の中学校教科書改訂に伴い、学習環境を整備する必要があることから、デジタル教科書を購入し生徒の学習意欲の向上を図る。	デジタル教科書整備 中学校：23本	学校評価における児童生徒の評価で、授業の楽しさや分かりやすさについての評価項目で「評価3以上」(4段階評価)	平成31年小学校に36本導入 平成33年中学校に32本導入	
5			国際交流事業	H24 ~ H33					

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

金武町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		金武町青年海外派遣事業	H24～H33	本町と海外移住国との友好親善関係及び人材育成の推進に資することを目的に、金武町の青年2人を南米等に派遣する。	派遣人数：2人 帰国後報告会：1回	研修後、派遣者に対してアンケートを実施 ・派遣後、移民史や移住国の沖縄人の生活に興味を持った：100% ・派遣後、自分のコミュニケーション能力が高まったと思う：70% ・報告会の参加者にアンケートを実施 ・移民史や移住国の沖縄人の生活に興味を持った：70% ・当該事業に参加したいと思う：70%	・H24～H33で20人派遣 ・派遣国から帰国後、報告会の実施、町内小・中学校で出前授業を実施し、町民、児童・生徒への国際理解教育につなげる。	
5		シマヌチュ国際交流関係事業	H28	本町と移住地とのネットワークを拡大発展させ、地域の伝統や琉球舞踊等の文化交流等、あらゆる分野で持続的な交流を促進し、人材育成及び相互の発展を目指す。	シマヌチュ交流会1回	シマヌチュ交流会実施後アンケート調査を実施。 ・移住地で活躍する金武町人との交流により金武町と各国町人会との絆を深めることができた。：80% ・シマヌチュが沖縄を思う気持ちを知ることができた。：70%	移民発祥の地として今後も移住地との交流を図っていく。	8月変更(事業追加)
6		沖縄特殊戸籍等電子化事業	H28	沖縄戦で多くの戸籍が焼失した。そのため政府が作成した特殊戸籍があるが、劣化が激しいため電子化する。	沖縄特殊戸籍等の電子データ化	沖縄特殊戸籍等の電子データ化完了	沖縄特殊戸籍等を電子データ化することにより、安定かつ継続して、また迅速に戸籍に係る住民サービスを提供する。	
7		スポーツ施設機能高度化事業	H27～H28	災害時避難所としての防災機能強化や各種競技大会、合宿等の受け入れ促進のためスポーツ施設の機能強化を図る。	屋根の防災機能強化および屋根の改修に伴う照度確保(LED)工事の実施	施設機能高度化工事 完了	H29年度以降供用開始	5月変更(事業追加)

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	伊江村ハブ対策事業	H27 ~ H32	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿の清掃を行いハブが住処を作りにくい環境を整備する。 また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ生息地の清掃を行う。 ・捕獲機を設置する。	ハブ咬傷による被害件数を0件とする。	危険生物であるハブを駆除する事により、地域住民及び観光客にとって脅威となるハブの健康被害を無くし、安全な生活環境の整備を行う。		
2	明るい村づくり事業	H27 ~ H29	集落内の防犯灯をCO2排出の少ないLED照明灯に取替え、更に新規設置し夜間における、安心・安全な地域の環境整備を推進することにより、村民及び観光客等の防犯抑止効果として更には地球温暖化対策にも寄与する。	既存街灯をLED照明灯に転換・新規設置を行う。照明灯設置前後の照度等の調査を行う。	村内の通学路、住宅密集地、見通しの悪い道路等の照度を高める。(3lx以上)	LED照明灯に転換・新規設置し既存街灯より照度を高めることにより、村民や観光客等の防犯対策と交通安全、地球温暖化対策等の一助として村民や観光客への安心・安全、明るい村づくりの整備を推進する。		
3	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ~ H33	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送コスト負担軽減の助成を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助	車両航送に対する補助台数 年間1.6万台	(今後の展開方針)車両航送に対する補助を行い、離島の地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進を図る。 (年間車両航送利用者数の維持)		
4	伊江村畜産振興事業	H26 ~ H28						
	優良繁殖雌牛導入事業	H26 ~ H28	子牛の生産性向上並びに畜産業の新規担い手や後継者育成のため、県内・外の家畜セリ市場において優良繁殖素牛(雌)を購入した伊江村和牛改良組合員に対して、補助金を交付し、経営の安定化及び優良遺伝繁殖雌牛の生産を図る。	・優良繁殖素牛(雌)の購買導入支援	・優良繁殖素牛(雌)導入 100頭の達成 ・H29年~H30年以降からの子牛生産頭数の増加	(今後の展開方針) H26~H28年度にかけて300頭(100頭×3年)の優良繁殖素牛(雌)を導入予定 (期待される事業効果) 肉用牛飼養頭数の拡大及び優良遺伝子牛の生産を図り、肉用牛子牛生産拠点産地として信頼性のある産地づくりを目指す。また、新規担い手や後継者不足問題の解消に繋がる。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		乳用牛繁殖雌牛更新事業	H26 ~ H28	伊江村酪農経営の安定化及び村畜産業における乳生産量の向上を図るため、2産(4歳)以上した母牛を淘汰し地域保留や県外から導入した優良繁殖雌牛(素牛)に対して、補助金を交付し、安定した生乳出荷を行う事で、信頼性のある産地づくりを図る。	・乳用繁殖母牛の更新に対する支援	・乳用繁殖母牛の更新 20頭 の達成 ・H29年～H30年以降からの量産に向けたの乳量生産体制と乳質の改善	(今後の展開方針) H26～H28年度にかけて60頭(20頭×3年)の乳用繁殖雌牛を更新予定 (期待される事業効果) 廃用牛の淘汰、優良若雌牛の導入により母牛の更新を図り、子牛繁殖生産率が向上し廃用牛と育成牛の回転率が上昇することで、泌乳量増加や乳質改善が見られ、安定した生乳の供給が見込まれる。	
5		伊江村観光振興事業	H24 ~ H32					
		村花・世界のゆり植栽推進業務	H24 ~ H32	村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	テッポウユリ球根 50,000球 世界のゆり球根 20,000球	第21回伊江島ゆり祭り来場者数 30,000人 (H27 31,000人) 開花状況を踏まえ、次回から開催期間1週間短縮する。	品質の良い球根確保とイベント企画による来場者の増 (H32目標 33,000人)	
		観光地クリーン事業	H27 ~ H32	観光地の環境美化及び保全をし、観光地の景観形成と観光客の受け入れ態勢を強化する。	観光地環境美化保全作業員14名	(仮)伊江村美ら島アンケートを実施し、景観形成と美ら島づくりをする。 H28美ら島満足度目標(70%)	観光地の継続的な環境美化及び保全に努め、観光客数の維持、増加につなげ観光振興に寄与する。 H29 140,000人	
		観光客誘客環境整備事業	H26 ~ H31	伊江港周辺や青少年旅行村、湧出展望休憩施設、乗馬体験交流施設、ミースイ公園などの観光施設の機能拡充を図るための施設整備を行い、観光客の受け入れ態勢を強化する。	・伊江港トイレ整備(実施設計・建築) ・青少年旅行村施設整備(テラス・更衣室) ・湧出展望休憩施設整備(建築) ・乗馬体験交流施設整備(実施設計) ・ミースイ公園遊具整備事業(実施設計) ・ミースイ公園整備工事(第1期工事)	・伊江港トイレ整備実施設計・建築完了 ・青少年旅行村施設整備完了 ・湧出展望休憩施設整備建築完了 ・乗馬体験交流施設整備実施設計完了 ・ミースイ公園遊具整備実施設計完了 ・ミースイ公園整備工事完了(第1期工事)	観光地の整備をすることにより、受け入れ態勢を整え、観光客数の維持、増加に努め、観光振興の向上を図る。 H29 140,000人	5月変更(計画変更に伴う事業内容変更、各目標変更) 10月変更(計画変更に伴う各目標変更)
6		伊江村人材育成事業	H25 ~ H33					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ~ H33	小、中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身につけさせるための学習支援員の配置、更には発達障がいなど様々な障がいがある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立し生きていくための土台づくりを行う。	・小学校2校 8名 ・中学校 4名	・県学力到達度調査において、正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校で各教科30%以下に減らし、村全体の学力向上を図る。	平成33年度まで事業を継続し、正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校においては各教科において30%以下に減らす。	
			各種大会派遣費助成事業	H25 ~ H33	本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について助成する。	各種大会派遣費の助成	各種大会派遣費の助成:1,000人	(今後の展開) 派遣人数(累計) H33年度:10,000人	
7			伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ~ H33	中学を卒業と同時に親元を離れ、島から旅立つ子ども達の為に早い段階からジョブシャドウイングや職業人講話卒業生トークライブをとおして将来の夢や目標、自立に向けた自己イメージの習得やキャリア教育と就業意識向上を図る。	企業訪問・体験開催 職業人講話開催 卒業生による進路講話開催	小学生・中学生170名を対象に 企業訪問実施(小学生) 職場体験実施(中2) 職業人講話実施(中1) 卒業生による進路講話実施(中3)	事業を継続し、意識向上へ向けてのアンケートを実施。実際の成果を確認する。 実施期間累計950人	
8			伊江村文化保存発信事業	H28	国の重要無形民俗文化財に指定されている「伊江島の村踊」をコミュニケーションツールとして村外公演を行い、地域内のみで行われている文化を情報発信・情報共有を図っていく。併せてこれまで保存継承してきた民俗芸能の歩みを発刊し後世へつなげ、鳥歌や島の伝統文化の基盤となっている島言葉(しまふとぅば)の保存継承を目的に方言ことわざ・慣用句集を発刊し、ふるさと教育や地域言語の関心につなげ地域の独特な文化を発信していく。物産フェアを開催し伊江島の魅力を発信する。	・沖縄タイムスホール 358席×昼・夜2回公演 ・伊江村民俗芸能の歩み作製 ・伊江島の方言ことわざ・慣用句集作製	沖縄タイムスホール358席(昼・夜2回公演)満席 伊江村民俗芸能の歩み発刊150部 伊江島の方言ことわざ・慣用句集発刊150部	「伊江島の村踊」をより多くの方に知っていただき、民俗芸能の保存・継承の取り組みをより高めていくことにつなげる。また、沖縄方言の保存継承を図ることで文化資源に対する理解を深め、村民及び児童生徒への波及を図る。併せて物産展を行い伊江島を発信して観光へもつなげていく。	
9			沖縄らしい風景づくり推進事業	H27 ~ H28	平成27年度において景観法に基づく景観計画の素案を策定しており、その計画を基に景観計画の原案及び条例を制定することで、伊江村らしい風景を保全・継承・創出するものとする。	景観計画(原案)の検討 景観条例の検討 景観計画策定協議会の実施等	景観計画(原案)の策定 景観概要版の策定 景観条例の制定 届け出等の基準選定	景観計画及び条例を制定し伊江村の風景を保全・継承等の体制強化を図り、定住環境の向上及び離島の魅力を生かした観光振興の相乗効果を図る。	
10			医療保健センター機能拡充事業	H27 ~ H28	医療保健センター内で運営する村立診療所と歯科医院は島内唯一の医療機関として村民の医療を担っている。1日当たりの平均外来患者数は診療所で104人、歯科医院が35人である。同施設では乳幼児の集団予防接種を年間90日実施し慢性的な駐車場不足が生じ、村民への医療提供に大きな支障をきたしている。駐車場を確保整備することにより安心・安全な医療保健サービスの提供を図る。	・駐車場舗装工事(1,111㎡)	医療保健センターの駐車場を整備することにより交通手段の不安を解消し利用者の利便性の拡充が図られる。	H27年度(駐車場用地取得) H28年度(駐車場整備) 既設駐車車数28台 増台40台	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11		世界のイージマンチュ交流招聘事業	H27 ~ H28	戦前戦後を通して南米をはじめ世界各国に移住したイージマンチュ(伊江島の人々)やその子弟とのネットワークを強固にするため、各国に居住する幅広いイージマンチュを伊江村に招聘し「世界のイージマンチュ交流会」を開催して友好親善を図る。	・交流招聘15人 ・村民参加型の交流会の開催 ・子どもたちを対象にした国際交流授業の開催	・各国で活躍するイージマンチュが数十年ぶりに古里へ帰郷し、村民と交流・親睦を深めることで絆をより強固にする。また報告書を作成し今後の交流の一助とする。	平成29年度は交流派遣事業を実施する予定で「世界のイージマンチュ交流会」に参加者した移住者に対し、受け入れ等を依頼し、継続して派遣、招聘事業を交互に展開する。	5月変更(事業追加)
12		伊江村アジア野菜導入事業	H27 ~ H28	平成27年度調査で栽培マニュアルを整理した品目を農家に普及する為には、肥培管理、施設管理、収穫及び出荷面積等の栽培指針の確立が必要となることから、気象条件に左右されない耐風強化ハウスでモデル栽培を行う。また、モデル栽培で生産したアジア野菜の一次加工、二次加工品のレシピ研究を兼ねた販売先との調査を継続し、事業化の連携体制を構築する。	新規農作物導入モデル展示圃の設置及びモデル栽培の実施 生産販売調査業務	モデル栽培野菜の栽培指針の確立。 新たな品目として3品目程度追加選定し、栽培マニュアルの更新。 モデル栽培で生産したアジア野菜の概要整理。	パパイア、カミメボウキ、ホーリーパジルの栽培指針が確立する平成29年度以降に農業生産法人や農家への普及を図っていく。併せてH28年度に取り組む3品目以外の品目も試験栽培し、最終的には10品目程度のアジア野菜の栽培指針の確立を目指したい。	5月変更(事業追加)
13		廃油倉庫整備事業	H28	伊江村漁業を取り巻く環境改善の為、現在、野外にあり沖縄特有の台風等の風雨に吹きさらし状態にある廃油タンクを収納する廃油倉庫を整備する。	漁船用廃油保管倉庫整備工事 一式	廃油タンク周辺の環境保全及び美化(整備工事完了)	漁港周辺の環境を美化する。	5月変更(事業追加)
13		漁船管理対策事業	H28	漁船の燃料費消費を抑え漁船の延命化を図り、台風時の避難対策の為、村内3カ所の漁港陸揚げ施設に漁船洗浄機をそれぞれ1基と大型の漁船陸揚台1基を購入する。	高圧洗浄機3機購入 陸揚用台車1基購入	高圧洗浄機3機購入完了 陸揚用台車1基購入完了	村内3カ所の漁港陸揚げ施設に漁船洗浄機を設置し、迅速な出漁の機会の増加とともに、漁船の延命化により、漁家の経営の安定を図る。	8月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
13		養殖場機能強化事業	H28	村内の水産物養殖業の振興の為、養殖場にヤイトハタ等の寄生虫予防や漁具洗浄の為に給水管整備を行う。	給水管理設工事の実施	給水管理設工事の完了	隣接する漁港からの真水の輸送等の改善と漁具洗浄などが養殖場にて行えることで、漁家の労力軽減を図り養殖業の活性化を図る。	8月変更(事業追加)
14		堆肥散布強化事業	H28	沖縄21世紀農林水産振興計画の戦略品目で、本村は7品目(大菊・小菊・モンスター・スプレー菊・トリガン・島ラッキョ・和牛)の拠点産地として認定を受けている。しかしその農作地のほとんどが、施設栽培や小規模耕作地であることから堆肥散布のほとんどが人力で行われており、そこで堆肥散布機を導入することにより作業軽減を行い、定時・定量・定品質の出荷を実現し市場競争力の強化を図り農家所得の向上、高品質生産の安定振興を確立し信頼されるブランド化を目指す。	・堆肥散布機購入(3台) ・運搬用トレーラー購入(3台)	・堆肥散布機購入完了(3台) ・運搬用トレーラー購入完了(3台)	散布目標面積:73haに対し散布作業を機械化することにより、作業軽減を行い、定時・定量・定品質の出荷を実現し市場競争力の強化を図り農家所得の向上、農作物の安定生産を図る。	8月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24 ～ H33	スポーツコンベンションの誘致と、それを起爆剤とした観光誘客のために、誘客PRイベント、集客イベントを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致PRイベントにてPR演舞(8回) ・集客イベントの開催(2日) ・観光PRチラシ作成3,000枚 ・よみたんブランドPRグッズ製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者(40,000人) ・集客イベントの来場者数(2,000人) ・観光PRチラシ配付3,000枚 ・よみたんブランドPRグッズ製作完了 	当事業は平成33年度まで予定しており、今後もスポーツキャンプ継続誘致のため下記のとおり事業を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能の披露 ・観光PR映像の上映 ・読谷村PRブースの設置 ・観光PRチラシ等の配布 ・各プロスポーツチーム等に対する誘致活動 ・読谷村観光大使の活用 ・キャンプ時における各種イベントの開催 	5月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1		危険生物駆除事業	H25 ～ H33	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や行楽客、そして村民をハブ咬症から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・村内に捕獲器を400器設置 ・定期巡回・管理の実施 ・注意喚起看板の設置100枚 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハブ類による咬傷被害数:0件 ・巡回・管理 ・看板設置完了(100枚) 	H33年度まで、設置・巡回・捕獲など事業を継続する。	
1		ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25 ～ H33	主にレンタカーを利用する観光客を、国道58号より西側の本村内に誘導することを目的に、観光情報番組を毎日午前中の移動想定時間帯に制作・放送する。また、レンタカー利用者に配布されるドライブMAPに番組の情報を掲載し、聴取機会の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティFM放送を活用した観光情報の提供 ・レンタカードライブMAPへの記事掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴者からのメール受信件数 650件/年 平成26年度受信件数×伸び率1.5 	H33年度までFM放送番組の制作・放送を継続する。	
1		景観形成事業	H24 ～ H28	本村の景観資源について認識し、景観法に基づく景観計画のもと、地域性にあった景観づくりの方針を明らかにし、良好な景観づくりを推進するため、景観形成重点地区について景観地区運用マニュアル作成、方策検討を行う。	(座喜味城跡周辺地区) 景観地区運用マニュアル概要版作成 (景観形成重点地区4エリア) 景観形成重点地区(座喜味城跡歴史・文化環境・景観保全を除く)における方策検討及びヒアリング	(座喜味城跡周辺地区) 景観地区運用マニュアル概要版の作成完了 (景観形成重点地区4エリア) 景観形成重点地区における景観保全手法の選定	ヤチムンの里地区・座喜味城跡周辺地区を景観地区に指定し、適正に運用できるように周知を行っている。 また、その他の景観形成重点地区についても、景観保全手法を選定し、良好な景観の形成を図る。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		残波岬いこいの広場機能強化事業	H24 ～ H28	施設利用者の増加を目的として、残波岬いこいの広場に設置されている東屋の機能強化(椅子・テーブルの設置、壁の増設)工事を実施する。	機能強化工事の実施 ・壁の増設 ・イス、テーブルの設置	機能強化工事の完了	施設利用者数 目標 H29年度:20,000人以上 (H25年度 利用者数:15,000人)	5月変更 (事業追加)
1		(仮称)読谷村パークゴルフ場整備事業	H28 ～ H29	駐留軍用地の跡地利用を推進するため、平成24年度に策定された第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用計画にて示された(仮称)読谷村パークゴルフ場を整備し、全国からパークゴルフ愛好者を誘客することにより、観光振興を図ると同時に、地域住民の体力増進、高齢者の生きがいの場づくり等に活用する。今年度は実施設計を行う。	(仮称)読谷村パークゴルフ場の実施設計の実施	(仮称)読谷村パークゴルフ場の整備に係る実施設計完了	H29:工事	5月変更 (事業追加)
1		スポーツコンベンション誘致促進事業(設備等強化事業)	H26 ～ H28	体育施設における利用者のニーズが高い設備等を設置し、利便性の向上を図るとともに、スポーツコンベンションの誘致促進に寄与する。	スポーツコンベンションに係る設備等発注	スポーツコンベンションに係る設備等設置完了	(設備等の活用方法) プロスポーツ等のキャンプやアマチュアからプロまでの大会開催等に活用する。大会実施により県内外へ読谷村のPRを見込む。	8月変更 (事業追加)
1		公衆無線LAN設置事業	H28 ～ H29	村内観光地周辺に無料公衆無線LAN環境を構築し、観光客が情報を受信および発信しやすい環境を整えることで、観光振興に寄与する。	無線LANアクセスポイントの設置委託(2箇所)	無線LANアクセスポイントの設置完了(2箇所)	村内観光地への無線LANアクセスポイント設置箇所を増やし、村内どの観光地を訪れても情報の発信や受信ができるよう整備する。	12月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		読谷村地域振興センター機能強化事業	H28 ~ H29	読谷村の観光振興を担う施設である、読谷村地域振興センターの機能を強化し、更なる観光振興を図る	・読谷村PRコンテンツ制作、上映機器・音響設備設置 ・隣接施設とのバリアー設置 ・チャレンジブース廊下空調設計委託	・読谷村PRコンテンツ制作、上映機器・音響設備設置完了 ・隣接施設とのバリアー設置完了 ・チャレンジブース廊下空調設計完了	読谷村地域振興センターを機能強化し、顧客満足度を向上し、更なる地域振興・観光振興に繋げ、年間利用者数168,000人を目指す。	12月変更(事業追加)
2		小中学校情報教育支援員配置事業	H24 ~ H33	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内の小中学校に情報教育支援員を配置する。 平成25年度で導入した電子黒板等ICT機器を活用しての授業を展開するために、教員・生徒への支援を行う。	情報教育支援員配置 小学校(5校): 2名 中学校(2校): 1名	・情報機器を活用する教員のサポート体制の強化構築	・情報教育支援員を配置することにより、ICT機器を活用した「分かりやすい授業」「参加する授業」を目指す。	
2		日本語教育支援員配置事業	H24 ~ H33	二重国籍や帰国児童等、日本語を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児童との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるように支援を行う。 また、児童の保護者に対しても学校との連絡調整の場(家庭訪問・三者面談・各通知の英訳)で支援を行う。	日本語教育支援員配置 小学校(5校): 3名	・要支援児童へ柔軟な支援体制の構築	・学校生活に順応できる日本語習得の向上を図る。	
2		小中学校学習支援員配置事業	H26 ~ H33	小中学校において学習に遅れが生じている児童・生徒を対象に、自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解し、確かな学力の定着を図るため、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置する。	学習支援員配置 小学校(5校): 5名 中学校(2校): 2名	沖縄県学力到達度調査正答率 小学校3年生 算数:89% (参考 H26年度 県平均:85.3 本村:88.3) 中学校1年生 数学:56% (参考 H26年度 県平均:56.1 本村:52.4)	・算数、数学の学力を全国平均に近づける。	
2		特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ H33	幼稚園・小中学校に在籍し、心身に障害を持つ幼児児童生徒に対し個々に応じた適切な支援を行うため、各校に特別支援教育支援員を配置し支援体制の拡充と質の向上を図る。	・特別支援教育支援員 幼稚園(5園): 5名 小学校(5校): 10名 中学校(2校): 4名 ・特別支援教育専門指導員: 2名	・要支援幼児・児童生徒への支援体制の構築	・困り感のある児童に対し、きめ細かい支援を行うことで自立と社会適応能力を高める。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			ICT機能強化事業	H27 ～ H33	生徒の学力向上を図るため、電子黒板・デジタル教科書・デジタル教材の充実を図り、ICT機器を活用した教育環境の整備を行う。	・電子黒板整備校数：2中学校 ・デジタル教科書整備校数：2中学校	・中学校67教室に電子黒板を整備 ・デジタル教科書(8教科)の整備完了	・児童・生徒の興味・関心を高め、学習意欲の向上を図る。	
3			バス停上屋整備事業	H27 ～ H28	今業務における対象区域は、嘉手納弾薬庫一部返還跡地沿いであり、今後は大湾東土地区画整理事業が進むことで、当該地区周辺の人口が増加し公共交通機関の利用者も併せて増加すると見込まれることから、強烈な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえるよう、バス停上屋を整備する。	バス停上屋整備工事(4箇所)	・バス停上屋整備工事了(4箇所)	隣接する読谷村大湾東地区土地区画整理事業の進捗に伴い、増加する利用者への対応に向け、利便性等の向上を図る。	
3			読谷補助飛行場跡地第2工区事業支援可能性調査事業	H28	読谷補助飛行場の跡地利用を促進するため、読谷補助飛行場跡地第2工区における、農業的跡地利用の事業可能性調査を実施する。	事業可能性調査(動向調査、事例調査等)を実施	・農業的跡地利用の事業可能性調査の完了	調査結果を踏まえ計画を策定する。	
3			楚辺通信所跡地課題地区跡地利用基本調査事業	H28	平成24年度作成の楚辺通信所跡地地区計画策定調査業務報告書にて示された課題地区の跡地利用促進を図るため、基本調査を実施する。	楚辺通信所跡地課題地区跡地利用基本調査の実施(需要動向調査、土地利用意向調査、基本構想)	・基本調査の完了	調査結果に基づき方針を決める。	
3			トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」跡地利用基本調査事業	H28	トリイ通信施設跡地の跡地利用を図るため、トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」の跡地利用手法を検討するための基本調査(現地踏査、基本構想、合意形成活動)を実施する。	トリイ通信施設跡地「大木・大湾地区」の跡地利用手法を検討するための基本調査を実施	・基本調査の完了	H29:基本計画	
3			読谷補助飛行場跡地村民センター地区植栽・緑化プログラム策定事業	H28	駐留軍用地である村民センター地区周辺の利用を推進するため、植栽・緑化プログラムを策定する。	・植栽・緑化プログラムの策定(現地調査・土壌調査・供給調査・緑化実施計画の作成)実施	・植栽・緑化プログラムの策定完了	地区内の設計及び工事を行う際に、植栽・緑化プログラムに基づく樹種の選定、土壌改良、施工方法の検討を行う。	
3			読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」産業廃棄物処理事業	H28	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」は、平成23年度に行った不発弾探査により、土中から廃棄物が出土した。これにより、読谷補助飛行場の跡地利用が阻害されており、北地区の地区計画による跡地利用を促進するため、廃棄物処理を行う。	産業廃棄物処理(がれき類、ゴム類、金属類等)	・産業廃棄物処理:7,236m ³	地区計画による宅地的跡地利用	5月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			米軍施設返還に伴う雨水排水増加の既設水路現況調査及び排水計画策定事業	H28～H29	返還軍用地の跡地利用に伴い発生している道路冠水や床上・床下浸水を解消するため、排水計画策定に向けての調査を実施する。	・現地調査(既存の断面・排水勾配の調査)の実施 ・基礎資料の作成	以下の基礎資料作成を完了 ・水準点測量 ・現地踏査 ・縦断測量 ・横断測量 ・調査図面の作成	排水計画策定にあたり、基礎資料から、排水断面の流下能力計算を実施する。既存の排水断面で流下能力不足となる箇所を断面改修や調整池、既存の水路を活かした水路バイパス案などの対策を検討する。水害を減少させ良好な生活環境確保を目標とする。	8月変更(事業追加)
4			ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24～H30	村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てるため、読谷村の自然・歴史・文化資源等を調査・整理し、さらに集めた情報を共有・発信・活用できるように再整理する。	自然・歴史・文化資源等の調査 ：4地区 文化財ガイドマップ板設置 ：4箇所 文化財ガイドマップタブロイド版作成 ：4,000部	・自然・歴史・文化資源等の調査完了(4地区) ・文化財ガイドマップ板設置(4箇所) ・文化財ガイドマップタブロイド版配付・設置	各字文化財ガイドマップ設置数 H24:3箇所 H25:3箇所 H26:3箇所 H27:4箇所 H28:4箇所 H29:4箇所 H30:4箇所(合計25箇所)	
4			読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業	H24～H29	国内外へ読谷村をアピールし、県外・海外からの観光客の誘客や交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理する。	・平成27年度調査報告書作成 ・被調査者の調査 ・南米(アルゼンチン国)、米国(ハワイ州)現地調査。関西調査。 ・記録テープ反訳等の整理	・平成27年度調査報告書の完成 ・南米、米国における移民者の歩みの把握 ・記録テープ反訳等の整理完了(50本)	H29:小冊子の作成 HPによる情報発信	
4			沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25～H29	沖縄独特の口承文化や歌詞を支えてきた沖縄語の保存継承に寄与するため、生まれ育った地域の沖縄語で伝承されてきた民話や琉歌を調査、整理し、沖縄語に親しめる媒体(絵本やDVD等)を製作し、沖縄語になじみの薄い幼児や児童生徒らに沖縄語の教材を提供する。	・民話調査・整理 ・民話絵本「読谷山物語(5話)」の発行 ・民話紙芝居DVD「読谷山物語(5話)」の発行	村内小中学校等へ配布・活用及びHPで公開	平成29年度まで毎年、民話絵本5話、民話紙芝居DVD5話の製作	
4			ユンタンザミュージアム建設事業	H26～H29	世界遺産座喜味城跡公園内に新読谷村立歴史民俗資料館(仮称ユンタンザミュージアム)を建設(本館改築と別館機能強化)し、世界遺産ビジターセンターとして機能拡充と強化を図るもので、世界遺産と連携した魅力ある施設を建設し、観光振興・地域振興、文化振興につながる整備を行う。	建築工事の実施(延べ床面積:1842.5㎡) 別館機能強化整備の実施(2階600㎡、3階部分600㎡) アプローチ広場の実施設計	建築物(仮称ユンタンザミュージアム)の一部完成(進捗率31%) アプローチ広場実施設計書の完成	(今後の展開方針等) H29:工事(残り部分) H30:完成 年間利用者50,000人を目指す	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	喜名古窯跡整備事業	H28～H32	読谷村は沖縄を代表する古陶器喜名焼の製作地で、この歴史環境を背景にヤチムンのむら振興を展開している。この歴史背景の中心となる喜名焼製作地の喜名古窯跡を復元整備し、ヤチムンのむら振興の基軸シンボルの具現化につなげ、沖縄の焼物文化の保存と活用に資する。	喜名古窯跡整備基本計画を検討	喜名古窯跡整備基本計画書の完成	策定した基本計画を基に基本設計を実施する。	10月変更(事業追加)	
5	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25～H33	本村の教育目標である「創造性・国際性に富み社会に貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」の実現の為、村内の中学生12人を夏休みの1ヶ月間を利用し、英語圏に短期間派遣し、ホームステイを実施することにより、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際性豊かな人材育成を目指す。	短期留学費の支援：12人	・行った結果、生徒が英語を学ぶことに対し関心・意欲の向上があったと答えた保護者：12人	・国際性豊かな人材育成と、英語への興味関心意欲の向上を図るとともに、ホームステイ成果を他の生徒と共有する。		
6	地産地消推進を図る生産施設設置事業	H25～H29	年間を通した多様な野菜を安定的に生産できる環境の構築により、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や、「食と農」を通した地域観光のイメージアップや農業振興を図ることを目的として、JA等が設置する栽培施設の設置費の一部を支援する。	栽培施設設置支援	・栽培施設の設置：面積864㎡ ・導入農家：2農家	葉茎菜類等の増産を目指している。	2月変更(計画変更に伴う成果目標変更)	
6	優良母牛導入事業	H27～H29	経営安定化・質の高い肉用牛の改良を進めるため、県内外のセリ市場から黒毛和種優良繁殖雌牛を導入し、肉用牛生産農家へ優良種を普及させ、優良子牛の生産を図る。	・優良母牛の導入支援	・今年度導入率33%(全導入目標頭数99頭)	・平成27年度～平成29年度にかけて各年度目標導入頭数33頭、合計99頭の優良母牛を導入予定		
6	読谷村農業関係施設機能強化促進事業	H28～H31	村内の農業関係施設(読谷村農村女性の家)の機能強化を図ることで地域内農林水産物の利用促進と新たな雇用の創設を図るために、読谷村農業関係施設機能強化促進実施計画を行う。	・読谷村農業関係施設機能強化促進実施計画の実施	・読谷村農業関係施設機能強化促進実施計画の策定完了	・以下今後検討する H29年度 実施設計 H30年度 工事・備品整備 H31年度 利用開始予定	5月変更(事業追加)	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		地域にあったものづくり支援事業	H26 ~ H28	読谷村の特産品や商品を県内外へPRするために物産展等へ出展し販路拡大を図るとともに、本村地域資源を活用した新たな特産品づくりを調査するため、読谷村商工会へ補助を行う。	県内外物産展への出店支援 新商品の開発調査支援	出店数:5件 開発支援6件	・村産品の販路拡大と新たな特産品づくりを目指し、県内外物産展への出展及び調査補助を引き続き行う。 ・過年度において開発(調査含む)を行った試作品の商品化を目指し、フォローアップを行う。	
8		読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ~ H33	読谷村では、1978年に策定した「ヤチムンの里」基本構想により、村づくりの中でヤチムン(琉球陶器)の振興を推進してきた。今後のヤチムンの持続的発展をめざし、県外マーケットにおいてマーケティングを行うとともに、若手作家の作品を中心にプロモーションを行い、販路拡大や人材育成する。また、併せて村内工芸品である花織・琉球ガラスの販路拡大を図る。	テストマーケティングの実施 物産展への出展 (周知を目的とした)展示会の出店支援等	・翌年度以降のプロモーション戦略等検討への反映 ・販路把握、顧客の獲得 ・ブース来場者(2,000人)	村内工芸品の販路拡大、人材育成を目指し、展示会への出展支援を継続する。	
9		読谷村防災情報システム整備事業	H28 ~ H29	自然災害時における情報伝達手段である防災行政無線のあり方を整理分析し、難聴地区への整備改善を図るため、読谷村防災情報システム基本計画に基づき、防災情報システムの実施設計を行う。	実施設計の実施	実施設計の完了 (防災無線更新図の作成、システム系統図の作成、役場庁舎配線図の作成)	H29年度 設置工事予定 H30年度 運用開始予定	5月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			うたの日コンサート事業	H25 ～ H28	多くの観光客を誘客し、町の活性化を図るため、沖縄出身のトップアーティスト「BEGIN」が主体となって開催している「うたの日コンサート」における会場設営に係る経費の一部を支援する。	うたの日実行委員会への補助	平成27年度(基準値) 平成28年度 (来場者数:5,000人) 5,000人 (町特産品のPR:3品) 5作品以上 (町商工業者の出店:4店舗) 5店舗以上	うたの日コンサートで町の特産品をPRできるようブースの拡大を図る。また、町商工業者の出店数を増加させ、PRしていく。	
1			嘉手納町観光客受入体制整備事業	H26 ～ H28	嘉手納町観光振興基本計画に基づき、観光振興の基盤となる更なる人材の確保・育成を図るため、嘉手納町観光ガイド育成講座を実施する。	・研修講座(10回) ・実施研修の実施(5回) ・先行事例視察(2回)	・観光ガイドの育成人数10名	育成したガイドによる町内まち歩き観光ガイド事業を実施し、本町への観光客の誘客促進を図る。	
1			屋良城跡公園総合再整備事業	H25 ～ H28	観光資源に乏しい本町において、屋良城跡公園は比謝川を生かしたエコツアーや川祭りの会場として大きな可能性を持っており、観光入域客数の増加や地域活性化を図るため、屋良城跡公園の総合再整備を行う。	屋良城跡公園総合再整備墳墓調査の実施	平成29年度墳墓補償に向けた業務の着実な実施(移転補償費等の算定の完了)	平成29年度:墳墓補償の実施。	
1			兼久海浜公園リニューアル事業	H26 ～ H28	新たにスポーツ等の観戦客や公園を利用する町外からの入域数の増加を図るため、これまでの施設利用方法、利用者層及び公園ニーズについて再検証し公園施設の再検討を行うとともに、公園のリニューアル整備を行う。	兼久海浜公園リニューアル基本設計検討(現地調査・与条件のサブ検討・諸施設の検討及び設計・基本設計図の作成・鳥瞰図及び透視図の作成)	平成29年度実施設計に向けた事業の着実な実施(基本設計の完了)	平成28年度業務(基本設計)に基づいた実施設計業務の実施。	
1			屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25 ～ H30	平成26年度に策定した道の駅かでな機能拡充基本計画に基づき、屋良東部地区地域振興施設駐車場の実施設計を行う。	屋良東部地区地域振興施設の駐車場実施設計を行う。 ・測量業務 ・駐車場設計	平成29年度 屋良東部地区地域振興施設の駐車場工事着工に向けた事業の着実な実施(駐車場整備実施設計の完了)	< H29年度 > ・駐車場整備工事着手 ・屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業実施設計(施設) < H30年度 > ・屋良東部地区地域振興施設機能拡充建設工事実施 < H31年度 > ・供用開始	10月変更(事業追加)
1			嘉手納町観光情報発信事業	H28	本町には魅力ある観光資源があるが、情報発信に課題があり、国内外の観光客へ有益な情報を伝えられていない現状がある。そこで、観光情報に特化した情報コンテンツの作成と放映するための大型ビジョンを整備する事で多言語にも対応した情報発信の強化を図り、さらなる観光客の誘客動線の確立を図る。	・観光情報コンテンツ作成 ・大型ビジョンの設置	・観光情報コンテンツ作成と大型ビジョンの設置の着実な実施	・観光情報に特化した情報を発信する事により観光客の誘客を促進し、町内への動線の確立を図る。	10月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		学習支援員配置事業	H24 ～ H33	算数、数学、国語の基礎学力定着のため、教師と連携を図りながらチームティーチング、習熟度別授業を行うとともに、長期休業中に個別指導及び放課後の補習授業を行う学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 小学校:4人、中学校:1人	県到達度調査正答率において、 (小学校5年生)県平均以上に 平成26年度 国語 県平均58.3% 嘉手納町58.3% 算数 県平均58.9% 嘉手納町61.7% (中学校2年生)国語県平均以上 数学-3%以内 平成26年度 国語 県平均55.7% 嘉手納町57.4% 算数 県平均43% 嘉手納町37.2%	県到達度調査における国語算数正答率を各学年とも県平均以上とする	
2		英語力強化事業	H24 ～ H33	教育課程特例校としての特典を生かし、小学校では英語に親しむ環境をつくり、中学校は実用的な英語を学ぶため、ネイティブスピーカーの講師を配置する。同時に、中学校は個別の学習支援、英語検定取得のための英語指導員を配置する。	英会話指導員配置数 小学校:3人、中学校:2人 英語指導員配置数 中学校:1人	(小学校) アンケートで「英会話が楽しい」と答えた児童の割合80% (中学校) 英語検定3級以上の合格者50名(平成26年度実績53名)	(小学校) ターゲットフレーズをより実用的で学年に合ったものに見直す。 (中学校) 英検受験への挑戦を促し、英検対策指導を実施する。	
2		ICT活用事業	H24 ～ H33	情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため、パソコン、フラッシュ教材、電子黒板を活用した授業支援を行うパソコン指導員を配置する。	パソコン指導員配置数 小学校:2人、中学校:1人	(小学校) キーボード検定サイトにおける学年目標級の達成率 達成率 低学年30%、中学年50%、高学年65% (中学校) パソコン検定の合格率 1・2年:5～4級 70% 3年:3級 80%	(小学校) 学習の成果物として、作文、プレゼン等を作成する。 (中学校)パソコン検定目標級の達成 1・2年 5～4級、 3年 3級	
2		不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ～ H33	不登校の生徒に対し、登校支援を継続的に行うため、中学校へ生徒指導支援員を配置する。	生徒指導支援員配置数 中学校:2人	不登校生徒の出現率3.2%以下 (平成26年度:出現率3.2%)	担任と連携を取り、不登校の生徒に対し、個に応じた登校支援や学習支援を行う。	
2		スクールカウンセラー活用事業	H25 ～ H33	学校生活や学級集団への不適応や対人関係での問題が生じている児童生徒に対して、教育相談支援を行うため、青少年センターへスクールカウンセラー(臨床心理士)を配置する。	スクールカウンセラー配置数:1人	児童生徒の総欠席日数の減 平成26年度 平成28年度 屋良小学校1,998日 1,800日 嘉手納小学校3,514日 3,400日 嘉手納中学校3,691日 3,500日	サポートを必要とする児童生徒が1日でも多く登校できるよう、相談体制を充実させる。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	秋田交流学習体験事業	H26 ～ H30	児童生徒が教育先進地である秋田県大館市の学習規律を学び、教師は指導法や授業作りについて学ぶため、交流学習体験を行う。 また、秋田県の授業の実践や授業改善等の研修を行うため、大館市の教師を招聘する。	秋田県への派遣 ・児童生徒 20名 ・教師 10名 秋田県からの招聘 ・教師 3名	・授業改善・指導法の工夫を図っている教師の割合60%以上(交流後の報告会、公開授業後に意識調査を実施) ・思考・判断・表現を育む言語活動の充実に努めている教師の割合90%以上(教職員へのアンケートを実施)	・授業規律の徹底、分かる授業・参加する授業を構築する。1時間完結型の授業を推進し、児童生徒の学力の向上に資する。	2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)	
2	学校ICT機器整備事業	H26 ～ H28	ICT機器の活用を図り、魅力的でわかりやすい授業展開・効率的な知識の習得に繋げるため、デジタル教科書を整備する。	デジタル教科書整備の実施 ・整備学年:中学校1～3年 ・教科:国語(書写含む)、数学、理科、社会(地図含む)、音楽、技術家庭、美術 ・学校数:1校	アンケートで「授業がわかりやすくなった」と答えた生徒の割合65%	デジタル教科書整備(H28年度:中学校)日常的にICT機器を活用する授業展開の実現を目指す。平成28年度3月にアンケート実施予定。		
2	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ H33	障害を持った子や発達に気になる子などの特別な支援を要する児童生徒に対し、身辺自立の介助や対人関係の手助け等の個に応じたきめ細やかな支援を行うため町内小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置する。	特別支援教育支援員配置数 小学校16人、中学校7人	支援児童生徒数:25人	対象となる児童生徒の困り感を軽減できるよう支援体制を充実させ、質を向上させる。	2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)	
3	雇用促進事業	H25 ～ H29	雇用情勢の改善に向け、就職相談窓口を開設し、求人・求職者を結び就労支援を行い、求職者へ就職意識の高揚と事業者の雇用拡大に繋げる。	相談窓口開設(毎週火・金曜日):100回 セミナーの開催(毎週金曜日):50回	就職人数:2人 相談人数:100人	就職相談窓口の相談件数及び就職人数において、年度毎の数値の増を図る。		
4	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ H33	本町が策定する一般廃棄物処理基本計画の推進を図り、リサイクルを促進しながら町全体の美化を図るため、本町で排出されている草木を回収、チップ化し再資源化する。	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施	・平成28年度 草木の再資源化(チップ化)量:約600t (平成27年度:556t)	草木のチップの堆肥化による農業の振興が可能か検討していく。		
5	嘉手納町防犯灯・街路灯LED化事業	H26 ～ H29	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した町づくりの推進を図るため、町内に設置されている防犯灯・街路灯のLED化を実施する。	・防犯灯・街路灯375基のLED化の実施 ・デザイン街路灯のLED化に向けた実施設計の実施	平成26年度比CO2排出量削減率 防犯灯(79%) H26年度CO2排出量:約350t/年(概算値) H28年度CO2排出量:約72t/年(概算値)79%減 街路灯(65%) H26年度CO2排出量:約438t/年(概算値) H28年度CO2排出量:約155t/年(概算値)65%減	平成29年度においてはデザイン街路灯の設置を行う。	2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			ロータリープラザ省エネ化推進事業	H28	低炭素島しょ社会の実現に向けた取り組みを推進するため、町内の公共施設へ太陽光発電システムを設置することにより、省エネルギー化及びCO2排出低減を図る。	・ロータリープラザ太陽光発電システム設置実施設計の実施 ・ロータリープラザ太陽光発電システム設置工事の実施	CO2削減量において、対前年度同月比CO2削減量：約4.8%（概算値）削減	嘉手納町地球温暖化防止計画の削減目標（5%）のうち、約1%の削減。 22%（全体割合）×4.8%（削減値） = 1.056%	5月変更（事業追加） 12月変更（計画変更に伴う成果目標変更）
5			低炭素社会化事業（省エネ設備導入事業）	H28	省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の実現を図るため、照明設備等をLED照明に切り替え、温室効果ガス（CO2）の排出を抑制する。	・照明設備約460灯のLED化実施	CO2削減量において、対前年度同月比のCO2削減量 5%以上削減	嘉手納町地球温暖化防止計画の削減目標（5%）のうち、約0.65%の削減。 13%（全体割合）×5%（削減値） = 0.65%	12月変更（事業追加）
6			食育まんが啓発推進事業	H26 ～ H28	長寿の知恵を次世代へ継承するため、地域の高齢者から長寿と言われる戦前の食生活を聞き取りまんがを制作するとともに、保育所（保護者）から中学生を対象に配布する。	・まんがの制作（2本） ・対象者への配布率（100%）	保育所保護者の「食育の日」周知度 7.7% 15.4% 40%（目標） （H25年度実績）（H26年度実績） （H28年度）	作成したまんがを媒体に町内での食育講座や調理実習を実施し食育の推進を図る。	
7			嘉手納町密集市街地地区改善事業	H27 ～ H29	本町における密集市街地問題を改善するため、土地所有者・家屋所有者・居住者と協働し、密集市街地地区整備の方向性を定め、問題改善に向けて整備する。	・住民協議会の設立へ向けた取組 ・計画推進のための課題整理と個別ヒアリング（1回） ・オープンハウス（3回） ・権利者説明会（3回） ・まちづくりニュースによる情報発信（3回）	・権利者（居住者・地権者）個別カルテの作成（50%）（37世帯/75世帯）	H29：まちづくり計画確定・活動支援 H30：整備等着手へ向けた取組	
8			嘉手納町住環境整備事業	H27 ～ H28	本町における住環境の問題の改善に向けた住宅政策の確立及び推進を図るため、住環境整備計画を策定する。	・転入促進、転出抑制に向けた具体的施策の検討・抽出の実施 ・既存施策及び事業との整合を図るためヒアリングを実施（5件）	平成29年度住環境施策の推進に向けた業務の着実な実施。（住環境整備計画策定の完了）	・H29：平成28年度の成果を踏まえた住環境施策の推進	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	未買収道路現況調査事業	H28	未買収道路(潰地)の発生原因は、戦中戦後に旧日本軍や米軍によって強制的に道路建設がなされたことも一因としてあり、沖縄特有の問題でもある。そのような問題の解決に向けて、本町においては、調査が未実施となっている町道全域の約3分の2において未買収道路現況調査を実施する。	・現況調査の実施 (資料収集(公図、航空写真、地籍図、登記簿謄本等) 地籍併合図による潰地抽出 潰地面積算出 潰地所有者リスト作成)	・未買収道路現況調査の完了(100%) ・管理台帳の作成完了	未買収道路用地取得事業の推進のための資料としての活用が見込まれる。	5月変更(事業追加)	
10	沖縄フェスティバルinハワイ派遣事業	H28	本町の文化活動の活性化を目指し、伝統芸能の振興を図るため、沖縄の伝統文化を継承を目的とし、ハワイで開催される「沖縄フェスティバル」へ町内の指定無形文化財保存団体等を派遣し、ハワイ在住の県人会、町人会との伝統芸能を通しての交流を図るとともに、町内の指定無形文化財保存団体等の育成を図る。	・フェスティバル参加(演舞2回) ・県人会、町人会との交流	・派遣報告書作成 ・報告会の開催 ・フェスティバルへの派遣人数:45名	・町内・外の文化芸能に関する活動の強化 ・町内の指定無形文化財保存団体等同士の情報の共有化を図る	8月変更(事業追加)	
11	ハーリー船造船事業	H28	文化観光資源のひとつとして盛り上がりを見せるハーリー行事を継続することにより沖縄独特の文化を守り、又伝統行事として継承するため、ハーリー船を購入する。	ハーリー船の建造(3隻)	ハーリー船の建造完了(3隻)	建造したハーリー船を活用した伝統行事、嘉手納町ハーリー大会の継続的な実施	10月変更(事業追加)	
12	避難施設防災機能強化整備事業	H25 ~ H28	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、避難所における防災機能強化として、非常食料の備蓄、生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の確保を図り、避難所の防災機能を強化する。合わせて、保管用の備蓄倉庫を設置する。	町内の避難所へ備蓄品等の配置及び保管用備蓄倉庫の設置(2か所)	町内の避難所へ備蓄品等の配置(H28年度で町内全避難所の65%配置完了)	今後、避難所への備蓄倉庫の設置をしていく。	10月変更(事業追加)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	北谷町観光物産プロモーション事業	H24～H33	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源である地域特産品の効果的なピーアール及び販路拡大支援を図るため、県内外、海外における、観光誘致対策事業、誘客プロモーション事業を展開する。	(1)国内プロモーション 2箇所実施 観光啓発配布 3000個 (2)海外プロモーション 1箇所実施 観光啓発配布 2000個 (3)県内プロモーション 2箇所実施 観光啓発配布 5000個 (4)観光コンテンツの制作 ポスター	(1)北谷町のプロモーション ピーアール露出の増加 国内2拠点、海外1拠点、県内2拠点 (2)北谷町への訪問人口の増加 観光情報センター年間利用者数28,000名(H26実績:24,667名) 観光情報センター年間外国人利用者数16,000名(H26実績:13,790)	沖縄観光の入客数及び経済的効果の底上げを図るべく、継続的に本町の魅力の発信を展開していく。		
1	北谷町文化発信拠点整備事業	H24～H30	米軍基地の返還に伴い発見された国指定史跡である「伊礼原遺跡」を観光資源として公園整備を行う。また、隣接地に伊礼原遺跡の出土品等を含む町内に点在する文化財の公開活用を行うため、町立博物館を建設し、利用者の増加を図る。	伊礼原遺跡公園内に設置する復元住居の基本設計(その2)を策定する。 町立博物館建築に伴う実施設計を策定する。(施設規模約2,500㎡) 町立博物館の展示に伴う実施設計を策定する。(町立博物館展示室)	伊礼原遺跡復元住居基本設計(その2)の完了 町立博物館建築・展示実施設計の完了	(今後の展開方針) ○博物館整備事業 H28年度:実施設計(特別枠) H29～30年度:施設建設、公開準備 H31年度:供用開始(年間来館見込15,000人) ○伊礼原遺跡保存整備事業 H28年度:実施設計(文化庁補助) H29～30年度:建設工事、公開準備(年間来園見込50,000人)	5月変更(計画変更に伴う事業内容変更、各目標変更)	
1	海業振興事業	H25～H29	観光客誘客を図る施設整備の一環として景観性向上を図るため中央広場整備を引き続き実施する。さらに、海業振興センターのイベントを行うことにより、利用者の増加を図る。	フィッシャリーナ地区内中央広場整備 フィッシャリーナ地区内海業振興センターPRイベント委託	・地区内観光客数(目標値) 20万人(現状:約15万人) ・地区内進出企業(目標値) 10社(現状:6社)	(今後の展開方針) 今回実施する景観整備や中核ホテルの開業と合わせ、観光客及び当該地域への進出企業の誘致を図る。		
1	北谷公園(ビーチ等)活性化事業	H25～H28	観光資源であるビーチへの歩行動線やビーチ施設、北谷公園施設を観光客に利用しやすい施設へと機能強化することで質の高い北谷観光を実現する事を目的とする。また、観光客の多様なニーズに対応できる施設整備を行うことで観光客の増加を目指す。	機能強化工事の実施 (・管理棟改修) (・子供用プールの改修) (・プールサイドの改修)	機能強化工事の完了 (・管理棟改修) (・子供用プールの改修) (・プールサイドの改修)	平成26年度利用者数 ○7,799人(機能強化前実績値) 平成32年度利用者数 ○20,000人(機能強化後目標値)		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。
H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		コミュニティバス導入調査検討事業	H26 ~ H30	町内の観光スポットをコミュニティバスの運行で結ぶことにより、観光客の移動の利便性・回遊性向上、公共交通空白地域の改善・解消を図り、町全体の活性化につなげるため平成27年度に策定した運行計画を基にコミュニティバスの実証運行開始(平成29年度)に向けた準備を行う。	コミュニティバスの実証運行開始(平成29年度)に向けた準備を行う。	・実証運行に係る許可申請の実施 ・車両確保 ・実証運行開始に向けた各種広報の実施	広報、周知活動、利用促進活動及び利用サービス向上活動を行い、乗車率等の向上に努める。	8月変更(事業追加) 2月変更(計画変更に伴う事業内容変更、各目標変更)
2		英語指導助手派遣事業	H24 ~ H33	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各小中学校に1人の英語指導助手を派遣する。	・小学校4名(各校1名) ・中学校2名(各校1名)	小学校:日本英語検定協会主催シルバー児童英検(12月実施)の正答率が前年度と比較し1%向上(H26年度の正答率82.6%)。 中学校:沖縄県到達度調査(英語、2月実施)の正答率が県平均に達する(H26年度県平均48.7%、町平均47.5%)。	(今後の展開方針) H33年度 小学校:日本英語検定協会主催シルバー児童英検の正答率の教育課程特区平均レベル達成。 中学校:沖縄県到達度調査(英語)の正答率の県平均レベルを上回る。	
2		日本語指導学習支援員派遣事業	H25 ~ H33	日本語指導学習支援員を北玉小・北谷第二小学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童生徒や帰国児童生徒等への学習支援を行う。	日本語指導学習支援員を1人配置する。	・日常生活に支障が生じない程度まで克服、改善させる。 H28年度:支援終了目標数 各校1人以上(計2名) H27年度:支援終了見込児童 6人 H26年度:支援終了児童 1人	(今後の展開方針) 日本語指導が必要な児童生徒が今後増加した場合、日本語指導学習支援員配置人数を2人へ増員。	
2		学力向上学習支援員派遣事業	H26 ~ H33	学習に遅れをとっている児童生徒に対して、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、自ら学ぶ意欲を高め、基礎的、基本的な学習内容を理解させることで、学習環境の充実・強化を図る。	・小学校4名(各校1名) ・中学校2名(各校1名)	・沖縄県到達度調査(2月実施)における正答率30%未満の児童生徒 小学校:国語 7%以下(H26年度7.84%) 算数 3%以下(H26年度3.40%) 中学校:国語 9%以下(H26年度10.14%) 数学 9%以下(H26年度10.14%)	(今後の展開方針) H33年度 ・沖縄県達成度調査の県平均レベルを上回ること、無答率の半減。	
2		スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26 ~ H33	スクールソーシャルワーカーを配置し、小中学校を巡回し、児童生徒のおかれた様々な環境の問題(家庭、友人環境等)に働きかけ、問題を抱える児童に対して問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努める。	スクールソーシャルワーカー配置:1人	・町内小中学校の不登校率を全国の不登校率まで引き下げる。 小学校:町0.39%以下(国:H26年度 0.39%) 中学校:町2.76%以下(国:H26年度 2.76%)	(今後の展開方針) ・各中学校区に1人づつと、青少年センターに1人を配置を目指す。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25～H29	ハワイでの語学学習やホームステイを通して英語力の向上を図りながら、ハワイの町人会との交流会を実施し、海外で活躍しているウチナーンチュとの親睦を図り、世界的な視野を持った人材を育てる。また、ハワイの文化・歴史関連施設等を視察学習することにより、異文化の国際理解や郷土文化の良さを再認識して相互理解を図る。	・中・高校生ハワイ短期留学派遣：15人（派遣者の選定に係る試験を中・高校生合同で実施する。） ・派遣生の事前研修 ・派遣後の事後報告会及び報告書の作成	派遣後の英検合格率目標値30%以上	(今後の展開方針) ハワイ短期派遣生徒数 H28年度：15人 H29年度：15人 H30年度：15人		
3	跡地利用推進事業	H24～H33	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等を実施する。	・キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)における跡地開発手法の検討 ・地権者説明会の実施：2回 ・桑江タンクファームにおける権利調査	・跡地利用計画(案)の検討及び策定に向けた詳細な分析データの収集 ・跡地利用に対する地権者の理解促進及び意向把握 ・対象区域及び地権者の把握	・跡地利用に対する地権者等の意向醸成促進及び意見聴取 ・地権者の合意を前提とした跡地利用計画の策定		
4	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25～H33	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な跡地利用を推進するため、沖縄振興特別推進市町村交付金を財源とした基金を活用して特定駐留軍用地内の土地の先行取得を実施する。	・公共用地13,351㎡の取得	公共用地13,351㎡の取得完了 総取得予定面積：70,000㎡(うち学校用地：45,000㎡、緑地・公園：25,000㎡) H26取得面積：13,104㎡ H27取得面積：9,600㎡	・地権者からの買取申出に弾力的に対応するため、基金を最大限に活用し今後も安定的かつ確実な土地の取得を行う。	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの、
H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			ツーリズム「北中城」促進事業	H24 ～ H33					
1			あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ～ H28	長期滞在型のある宿泊施設、キャンプ場等がある「あやかりの杜」を活用した、野外活動や沖縄の自然や伝統文化の学習等を実施し施設をアピールすることで、地域振興及び観光振興に繋げる。	・体験交流事業として地域、施設の特色を活かし16事業を開催する。	・体験交流人数:520人(H26年度実績512人)	(今後の展開方針) 平成29年度以降も魅力のある事業を企画し来場者及び交流体験参加者の確保に努める。	
1			歴史文化散策路ネットワーク整備事業	H24 ～ H29	誘客を図るため、世界遺産「中城城跡」を核として、村内にある歴史文化遺産の活用と、村の魅力を発信するとともに、徒歩で周遊できる散策路整備を実施する。実施箇所は、喜舎場・仲順地区とする。	・散策路整備 1路線 幅1.5m、延長75m 112㎡	・「喜舎場・仲順」地区のうち、仲順地区の2か所中1箇所の工事を完了させる。全工事の3/4の工事を完了させる。	(今後の展開方針) ・H29年度:第4期工事(仲順地区)・AR検討・導入 ・AR導入による観光客への情報提供を行い、誘致に努める。	12月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
1			北中城まつり活性化事業	H24 ～ H33	村内団体などで構成される北中城村まつり活性化委員会へ補助金を交付し、夏場の「青年エイサー」、秋場の「北中城まつり」、冬場の「ひまわりまつりin北中城」開催の支援を行う。	・まつりの実施:3回 ・まつり開催日数:19日	・三大まつりにおける来場者数:7.5万人(H27年度実績数:2.5万人) ・村内団体等まつり参画数:50団体(H27年度実績数:32団体) ・県外ツアー受け入れ:1社以上	(今後の展開方針) H33年度 ・三大まつりにおける来場者数:15万人 ・村内団体等まつり参画数:80団体 ・県外ツアー受け入れ:10社以上	
1			地域活性化観光PR事業	H25 ～ H33	県内外において観光PR活動・特産品販促等積極的に行い、本村の認知度向上並びに村内への観光誘客を図る。 また、PR活動時には当事業で作成したパンフレット等の観光ツールを活用すると共に、村内各種団体、商工業者との連携を図り、より効果のある観光誘客を行うものとする。	・県内PR活動回数:65回 ・県外PR活動回数:1回	・PR活動による村内観光施設・飲食店等でのクーポン券利用者数:100人	積極的に県内外イベントへ参加し、北中城村をPRしていくと共に、村内商工業者と連携した認知度向上や観光客誘客を図っていく。事業内容を適時改善しながらH33年度まで事業を継続する。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光情報発信拠点推進事業	H26 ~ H28	北中城村の観光情報発信を推進することで観光客のおもてなしを充実させ村内飲食店や観光施設等へ誘客し村観光事業の活性化を担う。	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の実施(6回) ・観光案内業務の実施(3名) ・観光ポータルサイトの製作・運用開始 ・観光案内冊子等製作配布(30,000部) ・観光ツアー造成(2件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間案内所利用者数:20,000人 ・村内各所への誘客:案内所利用者の5割 ・観光ポータルサイト及び観光案内冊子等の製作による紹介施設数:30施設 ・ツアー造成による誘客:90名 	<p>平成29年設立予定の観光協会が円滑に観光推進業務を開始できるよう村観光推進の3本柱の基盤を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内業務 ・観光商品開発業務 ・観光プロモーション業務 	<p>8月変更(計画変更に伴う各目標変更)</p> <p>12月変更(計画変更に伴う各目標変更)</p> <p>2月変更(計画変更に伴う活動目標変更)</p>	
1	アワセゴルフ場周辺まちづくり整備事業	H27 ~ H29	アワセゴルフ場跡地は整備が進められており、隣接するライカム・ロウワー地区も返還が予定され、この周辺一帯は新しい市街地を形成することになる。しかし、この両跡地に近い土地(プラザハウス周辺)は米軍基地に接していたため整備ができず老朽化した住宅が細街路で連接された状況となっていることから、本地区の再開発を目的に、一体性を連ねる観光交流拠点として活用するための調査・検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・現況・周辺影響調査の実施(アワセ地区まちびらき1年後) ・アワセゴルフ場周辺まちづくり勉強会(関係機関)の実施(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現況調査、周辺影響調査等を行い、目指すまちづくり案を作成する。 	<p>(今後の展開方針)</p> <p>H29 基本計画策定</p> <p>H30 再開発の導入に向けて実施段階へ移行する。</p>		
1	公営墓地整備事業	H24 ~ H30	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地用地の取得を行う。	公営墓地用地の取得(1,972㎡)	公営墓地用地の取得率(100%目標) 全体:14,338.11㎡ H28:1,972㎡	平成29年度公営墓地整備・取付道路整備 平成30年度納骨堂建築工事		
1	リュウキュウマツ保全事業	H28 ~ H29	魅力的な観光資源の一つである本村の自然を保全し景観・美観の創出、継承のため沖縄県木であるリュウキュウマツの分布を把握し、害虫駆除を行なう	<ul style="list-style-type: none"> ・リュウキュウマツ分布調査及び分布MAP作成 ・樹幹注入(400本) ・伐倒作業(50本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分布MAP作成 ・薬剤の樹幹注入:400本完了 ・伐倒完了本数:50本 	H29:H28にできなかった対象木の樹幹注入及び伐倒作業		
1	観光資源創出事業	H28 ~ H32	多様化する観光客の観光ニーズに対応するため、新たな観光資源の創出や既存観光資源の事業を継続・発展を可能とする観光資源創出実施計画策定に向けた基礎調査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎調査の実施(3施設) ・報告書作成 	観光資源の創出・発展を目的とした観光資源創出実施計画策定に向けた基礎調査の完了	H29:観光資源創出実施計画作成 H30~32:観光資源創出事業の実施		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	H24～H29	「平成の名水百選」に選ばれた荻道・大城湧水群が、多くの歴史文化遺産周辺に点在するという環境を活かしながら、新たな観光資源としての活用を図るため、保全調査などの湧水群周辺整備を実施する。	・大城イリヌカー改修実施設計の策定 ・雨水浸透施設整備・検証:1件(公共) ・モデル住宅モニタリング継続 ・観光活用に向けた湧水群広場の再整備の検討 ・湧水群拠点地区及び散策ネットワーク基本計画見直しの検討	・H29年度の改修工事に向け、改修実施設計の策定(大城イリヌカー改修実施設計) ・各湧水群の湧水量確保に向けた雨水浸透施設整備・検証(公共施設内1件) ・試験施工後の雨水浸透能の調査・解析を実施 ・観光活用に向けた湧水群広場の再整備計画の策定 ・湧水群拠点地区及び散策ネットワーク基本計画の見直しの完了	(今後の展開方針) H29年度 ・イリヌカー改修工事の実施 ・誘客を見込んだ拠点施設の実施設計策定 ・散策ネットワークの実施設計	5月変更(事業追加) 8月変更(計画変更に伴う各目標変更)
			観光情報インフラ整備推進事業	H28～H33	村観光基盤の強化に向け、村内主要観光スポットや飲食店等を訪れるインバウンドを含めた観光客の情報収集の利便性向上に向け、公衆無線LANサービスを提供する。また、サービス利用データを収集・分析する事により、村内の観光動向指数を調査・分析できる基盤を整える。	・ビッグデータ分析(村内分析・比較) ・WifiAP設置による実証実験(20AP) ・インフラ整備推進委員会運営(4回) ・観光客へのアンケート調査(500件) ・観光事業者へのヒアリング調査(5件)	・ビッグデータ分析の完了 ・WifiAP設置による実証実験の完了 ・観光情報インフラ整備推進計画の策定完了	(今後の展開方針) H29～H33 ・計画に基づくインフラ整備推進	10月変更(事業追加)
			北中城村ライカム交差点交流オアシス整備事業	H28～H30	観光客と村民との交流・憩いの場創出として、ライカム交差点の道路残地を活用した交流スペースの整備を行う。	・整備基本計画の検討	・整備基本計画の策定完了	(今後の展開方針) H29年度 ・基本計画に基づく設計 H30年度 ・整備	10月変更(事業追加)
2			駐留軍用地等利活用活用事業	H24～H30					
2			アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24～H30	アワセゴルフ場地区は、戦後、強制的に土地が収用され米軍娯楽施設のゴルフ場として使用され、平成22年7月に返還された。そのような戦前の営みからゴルフ場利用、返還合意から土地利用までの歴史文化の継承を図るため、映像記録、編集を実施する。	・住宅地造成や医療施設の建設等記録映像の撮影時間:3時間 ・地区上空からの映像撮影:15分	・全体の記録映像の作成進捗率 70%	(今後の展開方針) H28年度～H30年度 引き続き、記録映像の作成・保存(3時間×5年)を行いH30年度に取りまとめを行う。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	H25 ～ H29	駐留軍用地キャンプ瑞慶覧「喜舎場ハウジング地区」内における跡地利用を推進するため、現在一方向入口しかない喜舎場スマートICをフルインター化に向け、インターチェンジのレイアウト(案)の絞り込み・周辺交通への影響及び整備効果の分析を行う。	・喜舎場スマートインターレイアウト案の検討	・喜舎場スマートインターレイアウト案の選定完了	(今後の展開方針) ・早期返還に向けた取り組みを行なうとともに返還が示された場合の申請準備を行なう	
2			キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ H29	キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ住宅地区の跡地利用を促進するためのこれまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	・ロウワープラザ地区2,894㎡買取実施	・用地取得率100%(2,894㎡) (全体)9,500㎡ (H27)6,606㎡取得済	H29年度 公有地取得拡大に向け検討	
2			アワセゴルフ場地区観光拠点づくり事業	H24 ～ H28	観光客誘客が期待される駐留軍用地跡地である「アワセゴルフ場地区」の観光・防災拠点まちづくりを推進するため、災害時の一時避難所(多目的アリーナ)、商業施設、医療施設の3施設を結ぶ横断歩道橋について基本設計を行う。	・横断歩道橋 2か所の基本設計の検討 (幅員・縦断勾配、橋梁形式、景観設計)	・商業施設と防災拠点施設をつなぐ横断歩道橋の基本設計を完了	(今後の展開方針) ・H29年度 実施設計 ・H30年度 下部工工事 ・H31年度 上部工工事 を検討	5月変更 (事業追加)
3			雇用対策事業	H24 ～ H33					
3			雇用サポートセンター事業	H24 ～ H33	高い水準で推移している失業率の改善を図るため、若者や退職期を迎えた団塊の世代の再就職希望対応等、雇用サポートセンターでの継続した雇用支援を実施する。就業者不足が問題となっている村内大型店舗等への求職者の斡旋を推進し、村内失業率改善に努める。また、今年度は北中城中学校を卒業する進路未決定者に対し、北中城村グッジョブ地域連携協議会と協調し、就業等の支援を実施する。	・登録企業の開拓 ・求職者のマナー等指導(25件) ・事業活動の周知拡大(4媒体) ・北中城中学校進路未決定者への支援(実施)	・新規登録企業数:70社 ・失業者のマッチング:30人(H26:24人) ・新規求人数:180件(H26:150件)	新規求人数を増やし、村内求職者と求人者のマッチングを行いながら、失業率改善を図る。なお今年度より、村グッジョブ連携推進協議会と連携し、北中城中学校の進路未決定者(主に就職希望者)への支援を実施する。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	グジョブ連携推進事業	H27 ～ H33	将来のまちづくりの担い手となる児童生徒の勤労観・職業観と学校をはじめ地域全体の連携による雇用問題の解決や就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングをはじめとするキャリア教育を実施する。また、今年度は北中城中学校を卒業する進路未決定者に対し、村雇用サポートセンターと協調し、就業等の支援を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 北中城村グジョブ地域連携協議会の運営(3回) ジョブシャドウイング(企業開拓数100社以上) 職場体験(中学校1校:実施)(企業開拓数100社以上) きたなかキッズJOBクラブ(実施)(入会者数:15名以上) 校内ハローワーク(2回) 高校生版テクニカルビジット(1回) 出前フォーラム(高等学校:1校) 	<ul style="list-style-type: none"> 就業に対するイメージの変容(アンケート調査)【良い方向に変わった】と回答した者の比率 ジョブシャドウイング:70%以上 職場体験:70%以上 きたなかキッズJOBクラブ:60%以上 校内ハローワーク:60%以上 出前フォーラム:60%以上 今後の進路決定への影響(アンケート調査)【参考になった】と回答した者の比率 高校生版テクニカルビジット:80%以上 	ジョブシャドウイングをはじめとするキャリア教育の実施を継続するとともに、村雇用サポートセンターと連携した北中城中学校の進路未決定者(主に就職希望者)への支援を実施する。		
4	農水産アクティビティ事業	H24 ～ H33						
4	農業経営改善支援事業	H24 ～ H33	生産性の向上と後継者不足及び耕作放棄地の解消を目指し、農業者の技術支援及び助言と、就農を希望する若者の人材育成のため、農業経営改善支援員を派遣する。	<ul style="list-style-type: none"> 農家への経営指導及び技術支援の実施(40件) しおさい市場への集荷量(月平均500kg) 	<ul style="list-style-type: none"> 技術支援及び、新規就農者への支援(40件) 地産地消出品者協議会と連携し、しおさい市場への出荷量(月平均500kg) 	農業経営の安定及び関係機関との連携を構築する。		
4	地域ブランド構築事業	H24 ～ H33	平成27年度に開発したアーサめん類のブラッシュアップや販路確保を行う。また、過年度(平成24～26年度)で開発した製品の販路開拓を目指しマーケティング及び売れる商品づくりのセミナーを開催する。これら商品の紹介や販売を県内外の物産展を中心に開催する。これら商品の紹介や販売を県内外の物産展を中心に開催する。これら商品の紹介や販売を県内外の物産展を中心に開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 開発した特産品取扱店の開拓 セミナー開催(2回) 県内外での物産展実施(2回) 食材のブランド化を目的とした村産品食材の調査及び戦略策定 	<ul style="list-style-type: none"> テストマーケティング参加店舗 3店舗 販売店舗数 3店舗 セミナー参加事業者数 20事業者 物産展での参加事業者数 5事業者 食材のブランド化を目的とした村産品食材の調査及び戦略策定の完了 	商品のブラッシュアップ・販路確保セミナー開催に伴う地域ブランド発信事業者数の増加 今年度においてメニュー化・一般向け販売が行えなかった場合は、規模縮小し、商品改善・販路開拓のみ実施とする。	10月変更(計画変更に伴う各目標変更)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		農を活かした北中城活性化事業	H28 ~ H30	都市部と農村部が共存する北中城村にとって、農業振興は村の魅力発信するうえで重要な要素である。農産物の生産性向上や農観連携による6次産業化、農業従事者不足の解消に向けた定住促進など、総合的な振興を図るため、基本計画及び6次産業化アクションプログラムの策定、水耕栽培の実証実験に向けた調査・検討を行う。	基本計画の策定に向けた調査の検討 ・基礎調査 ・地域農業のニーズ把握 ・モデル地区ケーススタディ ・農観連携による観光協会の在り方についての検討 6次産業化アクションプログラムの策定に向けた調査・検討 ・6次産業化の展開及び商品化・流通に関する調査・検討 水耕栽培の実証実験に向けた検討(予備試験含む) 実証実験設備の設置	・基本計画及び6次産業化アクションプログラムの策定完了 ・水耕栽培の実証実験に向けた課題・修正対策に関する報告書の策定完了 ・実証実験設備の設置完了	・基本計画を踏まえた事業計画の策定 ・事業展開の方策等を示した実践(整備)計画の策定	5月変更(事業追加) 10月変更(計画変更に伴う事業内容及び各目標変更) 12月変更(計画変更に伴う事業内容変更及び各目標変更)
5		災害対策強化事業	H24 ~ H30					
5		災害時要援護者避難支援事業	H24 ~ H30	観光客を含む災害時要援護者の円滑な避難を図るため、避難支援事業及び自主防災組織等への災害時の要援護者支援に活用する防災資機材を整備し、支援体制の整備・強化を行う。	・要援護者個別支援計画の新規策定(20件) ・自主防災組織設立(1団体) ・防災資機材整備(1団体)	・要援護者が参加した地区避難訓練・防災訓練の実施(4回) ・地区の避難訓練・防災訓練に参加した要援護者数(延べ20名)	(今後の展開方針) H27年度までに立ち上げた自主防災組織の活動支援と、引き続き個別支援計画の策定及び見直しを継続していく。また、防災資機材の整備を拡大していく。	
5		防災対策基盤強化事業	H28	世界遺産中城城跡及びイオンライカム、大型クルーズ船の入港、MICE建設等、観光産業の急激な変化に対応するため、観光客の安心安全確保に向けた観光災害救助マニュアルを策定し、防災対策事業として多目的ポンプ自動車等を購入し基盤強化を図る。	観光災害救助マニュアルの策定に向けた検討 多目的ポンプ自動車(1台)及びコンテナ車(2台)の配備	観光災害救助マニュアルの策定 多目的ポンプ自動車(1台)及びコンテナ車の配備	(今後の展開) 観光防災計画に基づき、防災訓練等を実施し、観光施設等における防災体制を強化する。	8月変更(事業追加)
6		エコアクション推進事業	H24 ~ H29					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			公共施設等エコアクション推進事業	H24 ~ H29	北中城村全体でCO2削減に向けたエコアクションの先駆けとして、公共施設においてクリーンエネルギー(太陽光)の先行導入と照明機器等の省エネルギー化のためのLEDへの切り替えを行う。	・LED街灯設置 4箇所 ・既存の蛍光灯街灯をLEDに切り替え328箇所	・村道へのLED街灯(4箇所)を設置し、約2.4tのCO2を削減する。 ・事業箇所の自治会(自治会長)へのアンケートを実施し、LED化への取組の評価(賛同100%以上)	(今後の展開) 平成29年度 道路照明灯のLED化	12月変更(計画変更に伴う活動目標変更)
7			国際化・ICT人材教育推進事業	H24 ~ H33					
7			総合英会話指導支援事業	H24 ~ H33	英語を母国語とする外国人や英会話能力の優れた講師による英会話指導を実施し、生きた英語に触れることで、外国語教育の充実と国際性豊かな人材育成を図る。	英会話指導員配置数 小学校:1人 中学校:1人 幼小兼務:1人	・英語検定の受検促進 (H27年度:401人(実績) H28年度:450人) ・英語検定合格率の向上 (H27年度:51%(実績) H28:56%)	H33まで事業を継続することで、国際性豊かな人材の育成とスキルアップを目指す。	
7			アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ~ H33	WEBシステムによるライブ授業を開講し、小学生の高学年から中学生を中心に米国のワシントン州立大学教員による集中講座を行い、英会話力・英作文力・英文読解力を習得させ、国際化社会に対応できるような人材を育成する。	・中学生クラス:64回(前期32回・後期32回) ・小学生クラス:64回(前期32回・後期32回)	達成度を確認する為のテスト、講座を踏まえた課題の提出、まだ講座中における生徒1人ひとりの英語での問答を確認することで英語力の向上に努める。	(今後の展開方針) H33年度まで 受講生人数(累計):268人 人材育成のためH33以降事業継続予定	
7			海外子弟青年交流事業	H24 ~ H33	友好親善と国際交流の推進を図るため、本村出身者が多く経済発展を遂げている南米3カ国(ペルー、アルゼンチン・ブラジル)及び交流可能な海外村人会に研修生を派遣する。また、世代交代が進行する海外子弟の青年に、沖縄の文化・伝統芸能の習得によるウチナーンチュとしてのルーツを再確認してもらうとともに、本村及び派遣生OBを交えて海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図る。	・北中城村青年派遣生人数:2人 ・海外移住者子弟受入生人数:3人 ・研修報告会の開催(各研修1回)	研修報告会を開催し、国際相互理解に対する意識向上を図るため、本事業に賛同する住民を集結した組織(結の会)の会員数:60名	(今後の展開方針) H28~H33年度 受入人数:18人 派遣人数:12人 派遣・受け入れを継続し、研修生を中心に各国村人会との活動を活性化させ、絆の形成を図る。	
8			歴史文化継承基盤整備事業	H24 ~ H29					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
8		琉球歴史風致資産調査事業	H24 ～ H29	歴史まちづくり計画(歴史的風致維持向上計画)策定作業における審議・検討資料の作成を目的に、過年度調査分の歴史風致資産については、文献資料による補足調査でより詳細な情報の収集・記述を進め、村内の伝統的な民俗祭祀行事については、専門的見地から内容を記録・解説するため、現地調査、映像記録の作成・編集、聞き取り調査及び関連史料の収集・内容分析を実施する。	・過年度分補足調査 200箇所 ・民俗祭祀行事調査 8件 ・調査記録動画コンテンツ化 10件	・歴史風致資産の情報発信及び歴史まちづくり計画策定作業への活用に向けた詳細資料の完成(200箇所分、進捗率65%) ・民俗祭祀行事の現地調査の完了(調査所見レポート8件、進捗率100%) ・民俗祭祀行事の調査記録動画の公開用資料化(10件、進捗率30%)	(今後の展開方針) すべての祭祀調査(現地調査)の成果のとりまとめと、過年度調査分の補足作業を進める。 また、文化財情報ポータルサイト(仮)については、H27時点で掲載するコンテンツ内容が不十分であることから、公開・供用開始をH29へ延期し、その間コンテンツの作成・充実とデータベースへの組み込み作業を優先的に進める。 将来的には、これらの調査成果をもとに歴史的風致を踏まえたまちづくり計画を策定する。		
8		中城間切ノ口関係資料集作成事業	H25 ～ H29	これまでに収集した資料及び調査成果をもとに「中城間切ノ口関係資料集(仮)」に収録する原稿の執筆・監修・校正・編集を実施し、論述を主体とした本巻として発刊する。	・本巻原稿執筆 ・調査執筆員による原稿の検討(監修委員会の開催) 3回 ・監修を終った原稿の校正・編集 全200ページ(想定されるページ数)	・「中城間切ノ口資料集(仮)」本巻の発刊。	(今後の展開方針) H29年度:写真・挿図等のビジュアルを主体に編集した「中城間切ノ口関係資料集(仮)」普及版の発刊。 ・当該資料集は、村内の学校や県内の市町村教育委員会・公立図書館・大学等へ配布し、郷土学習資料として役立ててもらうことで本村独自の歴史を広く発信する。		
9		教育環境充実サポート事業	H25 ～ H33						
9		特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ H33	村立幼稚園、小学校、中学校に在籍し、障害を持った子や発達が気になる子に対し、身辺自立の介助や対人関係の手助け、学習補助などの支援を行うことで、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みづくりを図る。	特別支援教育支援員配置数 小学校:16人 中学校:7人 幼稚園:5人	・特別な支援を必要とする幼児児童生徒へのきめ細かな支援体制の構築 支援員配置割合 1:2(児童生徒:支援員) 【参考】H27(1:3)	早期から一貫した支援体制の整備を行うことで、支援を必要とする幼児児童生徒へのきめ細かなサポートを図る。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9		学習支援員配置事業	H27 ～ H33	学習の遅れがちな児童生徒に対し、基礎的・基本的知識や技能の習得に向けた支援を实践することで、幅広く活躍できる人材育成の土台作りを図る。	学習支援員配置数 小学校:2人 中学校:1人	・全国学力・学習状況調査における全国もしくは県平均との差の縮小 小学校:無答率における全国との差の縮小 H27【国語:全国(4.9) 村(5.7) 0.8P以内】 【算数:全国(5.5) 村(7.5) 2.0P以内】 中学校:正答率における県平均との差の縮小 H27【国語:県(65.7) 村(64.2) 1.5P以内】 【数学:県(44.9) 村(42.1) 2.8P以内】	全国平均正答率(全国学力・学習状況調査)の達成及び更なる向上を目指し、継続した学習支援員の配置による基礎的知識の習得を図る。	
10		健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ～ H30					
10		健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ～ H30	平成26年3月策定の「北中城村健康長寿のまちづくり計画」に基づき、今年度は浮き彫りとなった本村の健康課題にアプローチする定例健康イベント(朝ヨガ・ルディックウォーキング等)を実施し、村民の運動習慣の啓発に繋げ、健康長寿のまちづくりを展開する。	・村民会議等(2回/年)を開催し、村内各種団体と連携した健康づくりを実施する。 ・定例健康イベント(10回/年)を開催。村民の運動習慣の啓発に繋げる。	・村内各種団体と連携した健康づくりイベント参加者数:300人以上 ・定例健康イベントへの参加者数:1,000人以上	健康長寿村北中城村のヘルスツーリズムを展開し、自主化に繋げる。	2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			護佐丸が村を守るグスク整備事業	H26 ~ H30					
1			防災行政無線機能強化事業	H27 ~ H29	地震・津波等の大規模災害時や、台風・大雨などの災害時等に、地域住民等に各種防災情報を迅速かつ確実に伝達するため、アナログ子局のデジタル子局化の整備を行い、防災行政無線の機能強化を図る。	防災行政無線の実施設計の実施 (アナログ子局のデジタル子局化)	防災行政無線の実施設計の完了 (アナログ子局のデジタル子局化)	(今後の展開方針) 事業スケジュール H28年度 実施設計 H29年度 工事 導通訓練 2回/1年	
1			防災体制整備事業	H26 ~ H30	災害時等に物資の搬送が再開されるまでの間、地域住民や観光客等の避難生活を支えるため必要な食糧や生活物資等の備蓄を行う。また、災害時の効率的・実働的な対応ができるよう災害対策本部の備品等の拡充や災害関係の表示板・避難場所標識、避難場所までの誘導表示板等を設置する。	備蓄食料の購入 災害時用生活用品の拡充 災害対策本部備品の拡充 避難誘導版の設置	非常食 整備率70%(全体計画 8,550食、H28年度未整備 6,000食) 生活物資 整備率60% 災害対策本部備品 整備率60% 避難誘導板 整備率100%(全体計画200箇所、H28整備200箇所)	(今後の展開方針) 非常食:H29~H30で各年約1,500食ずつ整備し、目標値の8,550食の確保 生活物資:簡易トイレ等災害時用生活用品、災害対策本部備品の整備拡充を図る。	
1			防災拠点及び地域交流施設整備事業	H28 ~ H30	災害時等における迅速な対応を行えるよう、防災訓練を行うとともに、地域交流を促進しながら地域一体となった防災への意識を高めるため、防災拠点施設整備を行う。	防災拠点施設の基本設計の実施	防災拠点施設の基本設計の完了	(今後の展開方針) 自主防災組織の設立 H28:基本・実施設計 H29:建設工事	
1			災害要援護者支援システム機能強化事業	H28	要援護者や避難行動要支援者の状況等を村が把握し、災害時発生時における対応や防災体制の整備を図ることを目的として、要援護者の調査の実施や状況登録を行うために、災害要援護者支援システム機能強化を行う。	要援護者や避難行動要支援者の把握	情報提供同意者:450人	(今後の展開方針) 要支援者を把握し、随時登録していくことで防災体制の強化を図る。	5月変更 (事業追加)
1			防災対策基盤強化事業	H28	世界遺産中城城跡及びイオンライカム、大型クルーズ船の入港、MICE建設等、観光産業の急激な変化に対応するため、観光客の安心安全確保に向けた観光災害救助マニュアルを策定し、防災対策事業として多目的ポンプ自動車等を購入し基盤強化を図る。	観光災害救助マニュアルの策定に向けた検討 多目的ポンプ自動車(1台)及びコンテナ車(2台)の配備	観光災害救助マニュアルの策定 多目的ポンプ自動車(1台)及びコンテナ車(2台)の配備	(今後の展開) 観光防災計画に基づき防災訓練等を実施し、観光施設等における防災体制を強化する。	8月変更 (事業追加)
2			観光客誘客促進・受入基盤強化整備事業	H25 ~ H33					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			吉の浦公園施設機能強化整備事業	H25 ~ H33	地域活性に向けたプロサッカーチームの一時キャンプの誘致や各種スポーツの練習・交流・大会等によるスポーツコンベンションを促進するため、拠点となる吉の浦公園サッカー場のサッカー専用芝生の適正管理や、機能強化整備を行う。	・ごさまる陸上競技場内芝生適正管理業務の実施 ・サッカー場のベンチの整備	・プロサッカーチームのキャンプ受入に適した芝の整備 ・サッカー場のベンチの整備完了 ・キャンプ受入数:2チーム	(今後の展開方針) スポーツキャンプ継続誘致に向けた受入体制の強化	10月変更 (計画変更に伴う事業内容及び各目標変更)
2			観光誘客促進事業	H25 ~ H33	世界遺産「中城城跡」の認知度向上や伝統芸能の発展に寄与させるため、世界遺産を活かした各種観光イベントを実施し、中城村の観光誘客を促進させることで、地域活性化及び商工・観光振興を図る。	観光振興イベントの開催/3回	・プロジェクションマッピングイベント来場者 12,000人(2日間)(H27年度実績:11,604人) ・中城護佐丸まつり来場者数 11,000人(2日間)(H25年度実績:10,352人) ・中城村グスクの響き事業:9,000人(H27年度実績6,108人)	(今後の展開方針) イベント内容を強化し、日没後の観光メニューの構築を図る。 (参考目標) 城跡入場者数 H28年度:15万人	8月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
2			プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ~ H33	スポーツコンベンションの推進による地域活性化や観光地の魅力発信を図るため、プロサッカーチームのキャンプ誘致活動を行うとともに、受入キャンプの支援を行う。	・プロサッカーチームの誘致活動の実施 ・キャンプの支援事業実施	・プロサッカーチームの誘致活動の実施:2チーム ・キャンプ見学者数:8,000人	(今後の展開方針) プロサッカーチームのキャンプ受入体制を強化し、継続的なキャンプ誘致を図る。	
2			護佐丸観光資源制作事業	H27 ~ H30	世界遺産「中城城跡」の観光振興を促進するため、中城城跡と城主「護佐丸」の生涯や中城城跡の歴史について情報発信を行うとともに、観光誘客イベント等における観光振興促進活動を行う。	護佐丸観光資源の制作 観光PRツール整備	ホームページアクセス数 5,000件/年 観光促進活動の実施 40回/年	(今後の展開方針) ・アーカイブした映像の閲覧回数の増加 ・城跡入場者数 H28年度:15万人	2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
2			中城城跡観光客受入基盤体制強化事業	H28	世界遺産中城城跡への観光客誘客促進を図るため、中城城跡内を観光客が気軽に移動できるよう支援し、受入体制の基盤強化を図る。	電動カートの購入 2台	電動カートによる中城城跡内移動の支援実施	整備した電動カートを活用し、年配の方や足の不自由な方にも配慮した魅力のある観光地づくりを目指す。	
2			観光振興地盤強化整備事業	H28 ~ H29	世界遺産「中城城跡」を活用した観光イベントやプロスポーツキャンプ等、村内の観光振興の受入基盤を強化するため、誘客施設である吉の浦公園付近に公共駐車場を整備し、観光振興の促進を図る。	基本計画の策定 実施設計の実施 建設地購入の実施	基本計画の完成 実施設計の完成 建設地購入の完了	(今後の展開方針) 公共駐車場の利用者数予想 H30以降:3万人/年	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			歴史の道整備事業	H27 ~ H28	本村を通る旧ハタ道を整備した『歴史の道』の一部が崩落の危険性がある。歴史的観点や観光資源としても活用されている歴史の道を安全・安心に歩行できるよう整備・機能強化を図る。	歴史の道整備工事の実施	歴史の道の整備の完了 ウォーキングイベント 1回	イベント等の実施において、周知を図り観光客及び住民の利活用を図る	5月変更 (事業追加)
3			中城村海外移住の歴史交流事業	H25 ~ H33					
3			海外移住者青年交流事業	H25 ~ H33	海外に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、沖縄の歴史や三線、琉球舞踊、エイサーなどの伝統文化を取得し、村民との交流を通して、社会の発展に寄与する人材を育成するとともに、移住国との友好親善に資することを目的として実施する。	海外移住者子弟研修生の受入実施	受入研修生数:年間4名 海外村人会との交流ネットワークの構築	(今後の展開方針) ・各国日系社会のコミュニティーの強化と沖縄と各国の相互交流につなげる。 ・受入研修生数(H33累計):33人	
3			世界のナカグスクンチュ交流事業	H28 ~ H33	海外に移住した中城村出身者を招聘し、村民との国際親善交流に向け、世界のウチナーンチュ大会・中城人交流会実行委員会が開催する中城村をPRするための村内視察や交流会等の開催を支援する。	・世界のウチナーンチュ大会・中城人交流会実行委員会への支援	・中城村PR視察の実施 ・中城人交流会の開催 ・交流会への参加者数:270人	(今後の展開方針) ・海外の中城村出身者との交流を継続	5月変更 (事業追加)
4			教育及び子育て支援環境づくり整備事業	H24 ~ H33					
4			中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト	H24 ~ H33	『郷土の歴史・文化についての学習』の充実を図るため、小学校において中城ごさまる科のカリキュラムの見直しを行う。また、よりよい授業の在り方等について小中学校において教材研究会を実施する。	・小学校「中城ごさまる科」カリキュラムの検討 ・小中学校で教材研究会を実施する。(小学校3回、中学校2回)	・小学校「中城ごさまる科」指導書の出版。 ・児童アンケートにおいて、中城ごさまる科への興味関心度70%以上	(今後の展開方針) ・H29年度:小学校副読本改訂版の編集、出版。教材研究会の実施。 ・H30年度:デジタル副読本の改訂、教材研究会の実施。	
4			学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ~ H33	児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークに慣れ親しみ適切に活用できるよう、情報教育補助員を配置し、授業支援や環境整備を行う。	・情報教育補助員 1人配置 ・年200時間の授業支援 ・書画カメラ40台の整備	・授業におけるICT機器の活用の実施	(今後の展開方針) 学校において情報機器を整備し、情報機器ネットワークに慣れ親しみ、ITスキルの向上を図る。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ H33	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。 また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	特別支援員配置 16人 小学校 9人 中学校 3人 幼稚園 4人 相談員の配置 教育相談員 3人 心理相談員 1人	特別支援員 ・保護者アンケート(満足度70%) 教育相談員・心理相談員 来室相談 約300件 電話相談 約110件	(今後の展開方針) 特別支援員の資質向上のため研修会等を行うとともに、日常的な教育相談活動を通して不登校児童等の減少へと繋げ安全な教育環境の提供を図る。	
4			国際理解人材育成事業	H24 ～ H33	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成のため、英語指導の補助員を配置し、学校の外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	・英語指導員配置 中学校 1人 ・授業支援 中学校 490時間	生徒アンケートにおいて英語への興味関心が高まった生徒70%	(今後の展開方針) 国際社会に対応する能力を身に付ける人材育成を推進する。	
4			ごさまる学力パワーアップ事業	H25 ～ H28	生徒の学習意欲を引き出し、確かな学力を身につけるため、学習定着のための機会提供の場として、放課後学習教室「ごさまる教室」を設置し、補習を中心に学習支援を行う。	・平日講座の実施 (月20日) ・長期休業中補習講座 (10日)	・受講人数 平日講座:1日平均30人 長期休業中補習講座:60人	(今後の展開方針) 講座を生徒の実態に合った内容に改善し、より充実した学習の場を提供することにより、学習意欲を引き出し、学力の向上につなげる。	
4			ハブ対策防除整備事業	H27 ～ H28	児童の安心安全な学習環境を確保するため、学校施設にハブの侵入を防止する防除壁及びフェンスを設置する。	ハブ防除壁及びフェンス設置工事	ハブの侵入防止対策の完了	(今後の展開方針) H29年度以降:学校におけるハブの口傷被害:0件	
4			子育て支援情報発信構築事業	H28	子育て環境の充実に向け、子育て支援に関する認可保育施設の活用情報やひとり親家庭等支援施策といった子育て支援の情報発信サイトを構築する。	子育て支援情報発信サイトの構築	子育て支援情報の発信 子育て支援サイト閲覧者数2,000人	(今後の展開方針) 子育て支援の情報を集約し、子育て世代が個々に応じた支援内容の選択 子育てのしやすい村づくりの推進	
5			島ニンジン栽培研究事業	H27 ～ H31	中城村の農業の発展に向け、特産品である島ニンジンの品質向上及び栽培方法の統一化を図り、伝統野菜である島ニンジンの品質及び生産量の向上を図る。	・既存の島ニンジンの特性調査の実施 ・選抜した島ニンジンの実証	・根長 平均35cm ・根重 平均120g ・黄色個体比率 5% ・早期抽苔個体 5% ・不良種子率 20%	(今後の研究内容) H29年度 ・前年度の調査研究の継続 ・改良集団の小規模での試作 H30年度 ・前年度の調査研究の継続 ・改良集団の実用的規模での試作 H31年度 ・前年度の調査研究の継続 ・作付け体系・栽培方法の検討	
6			歴史文化継承促進事業						

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			文化財悉皆及び中城村沖縄戦調査事業	H25 ～ H33	村民の文化財保護意識高揚と活用を図るため、村内文化財の悉皆調査を行い文化財の位置及び現況を把握することや、村内の沖縄戦に関する遺跡の所在・体験談を記録に残し、次世代に継承するため調査事業を行う。	各集落での聞き取り調査の実施 調査概報(各字パンフレット)の作成:3字 ・沖縄戦調査の実施	・悉皆調査率 56% (H28年度調査済 10字 / 全体計画 18字) ・沖縄戦の調査における記録 50件	(今後の展開方針) H29年度:中城村民俗誌の発刊(一般普及用) ・調査成果を基に講座やイベントを開催し、村民の文化財保護意識高揚を図る。	
6			護佐丸歴史資料図書館ソフト整備事業	H27 ～ H33	沖縄の歴史を把握し、次世代へ継承していくために護佐丸歴史資料図書館に、郷土歴史資料の整備を行う。	郷土資料の購入	歴史資料図書整備 1,000冊 AV資料の整備	(今後の展開方針) H29年度 郷土資料(図書・DVD・CD)の購入 資料図書館の来館者数3,000人/年	
6			村内文化財整備事業	H28 ～ H29	中城村に存在する沖縄戦に関する遺跡「161.8高地陣地」の環境整備を図り、人々に周知及び視察してもらうことで、沖縄戦の歴史を視覚にて感じてもらい、歴史の認識を図る。	環境整備工事の実施設計の実施	環境整備工事の実施設計の完了	(今後の展開方針) H29年度:環境整備工事の実施	
7			世代間交流・人材育成・防災避難拠点施設整備事業	H26 ～ H28	有形・無形の文化遺産を次世代へ継承していきながら、「地域の子は地域で育てる」という意識を養い、各世代の特性を生かした子育て支援を行える環境を整備し、地域防災や避難等の意識向上を図るため、世代間交流・人材育成・防災避難拠点施設の整備を実施する。	世代間交流・人材育成・防災避難拠点施設の建築工事の実施	世代間交流・人材育成・防災避難拠点施設の建築工事の完了	(今後の展開方針) 防災訓練、世代間交流の実施 世代間交流、人材育成の開催 自主防災組織の設置	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			西原町観光客受入基盤強化事業	H24 ~ H33					
1			観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ~ H28	観光振興の観点から、沖縄らしい風景・景観等を保全するため、観光地形成促進地域内の公園樹木の環境整備を行う。	町内公園の美化・緑化実施:3箇所(発注) 西原運動公園 東崎公園 東崎都市緑地	【施設利用者数】 西原運動公園・・・サッカーキャンプ誘致 H26実績 155,000人 H28 160,000人(目標) 東崎公園 東崎都市緑地>マリノパーク周辺整備 H26実績 830,000人 H28 835,000人(目標)	(今後の展開方針) 町内主要観光施設利用者数(西原マリノパーク)700,000人(H26) 710,000人(H28)	
1			文化財環境整備活用事業	H25 ~ H33	観光振興及び文化財保護の観点から、町内に散在する文化財及び文化財周辺域の環境美化・整備を実施する。 また、今後これら文化財の活用を図るため、文化財ガイドの育成を図る。	・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備の実施:24箇所 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診察 ・文化財ガイドの育成 勉強会:12回(月1回) イベント:「歴史の道を歩く」1回、地域散策町内邑廻い」1回	・イベント 「歴史の道を歩く」:参加者数計40名目標 「地域散策町内邑廻い」:参加者数計30名目標	文化財の基礎的環境整備、ガイド団体等の人材育成を継続しつつ、文化財の案内ルートボタンを増やし、活用及び周知を行う。	
1			文化財保存活用事業	H26 ~ H33	文化財は各地域において長い歴史を経て育まれてきたものである。沖縄県ひいては町固有の文化財を継承していくためには、その価値を把握し、指定等により保護していくことが必要とされている。 文化財の記録保存と保存活用のための方針として、基本構想や保存管理計画書を策定し、整備を図る。	・歴史文化基本構想素案(後編)3/8項目、保存活用計画(5カ所)を策定する。 ・主要文化財3カ所と有形文化財2つの現状を記録する。 ・有形文化財である土帝君のレプリカを作成する。 ・測量調査後、町指定文化財となった旧西原村役場壕跡の保存活用に向けて施設の修繕をする。	・歴史文化基本構想素案(後編)と保存活用計画(5カ所)の作成の着実な実施 ・主要文化財(3/11カ所)と有形文化財2つの測量記録による保存整備資料の完了 ・旧西原村役場壕跡の施設の修繕の完了 ・棚原石置道を町文化財に指定する	・主要文化財6/11カ所の記録保存を行う(H28~H29年度) ・記録保存された主要文化財の保存活用のための整備を行う(H29~H33年度)	
1			西原町産業まつり運営事業	H28	本町で生産される農作物、花卉、果樹、農産加工品、水産物、商工業製品及び手工芸品を一堂に展示して、農家及び事業所の生産意欲の高揚を図り、町内の農産物や商工業製品を、広く町内外に紹介するとともに、地域産業振興の発展に寄与することを目的とする。	「第8回西原町の産業まつり」の開催支援	まつり来場者数 2日間でのべ7,500人(前回H26度 7,000人)	本町の農水産業、商業を一堂に紹介し、地元企業の活性化を図るとともに、観光資源の乏しい本町において、シージョースープ(黒糖づくり勝負)や各種団体による特産品の販売などを目玉としたイベントで観光客の誘客をつなげて町内外からの来場者の増大を目指す。	5月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			次代を担う人材育成事業	H24 ~ H33					
2			小学校英語活動指導員派遣事業	H24 ~ H33	幼い頃から英語に触れ、学ぶことは、将来国際性を身につける上でも大変貴重な体験となり、英語を学ぶことにより、国際的視点、感覚への足掛かりとなる。 児童の国際感覚を育むため、町立小学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。	英語指導員2名配置	・町内小学校英語派遣指導員派遣率 100% ・英語の授業が「好き」と答えた児童が80%以上	・英語の授業が「好き」な児童の増加 H27:75% H28:80% H29:80%	
2			中学校英語活動指導員派遣事業	H26 ~ H33	生徒の英語発音やコミュニケーション能力並びに国際理解教育の向上を目的に、英語活動支援員を配置し、英語教育の充実を図る。	英語指導員2名配置 資質向上のために、町内研修を実施(2回)	中学校3年の卒業の段階で、英検3級の実力を有する生徒が13%	町内中学校における沖縄県学力到達度調査の平均正答率向上 ・英検取得率の向上 H27:10% H28:13% H29:16%	
2			教育相談員配置事業	H24 ~ H33	学校教育に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対する相談窓口として、また、学校及び教育委員会等のパイプ役として、町教育委員会教育相談室に教育相談員を配置する。	教育相談員配置数:4人 学校訪問を継続し、活動の確認や情報共有の場として、定期的に教育委員会と調整会議を持つ(4回)	・学校教育に関する個々の課題について、教育相談をした児童生徒・保護者等の35%の課題が改善されたと思う	(今後の展開方針) ・学校教育に関する個々の課題について改善されたと思う人の増加 ・前年比 5%増	
2			学習支援員配置事業	H25 ~ H33	全国学習状況調査で、全国最下位という結果が続く本県において、児童生徒の学力向上及び人材育成を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置数(全小中学校配置) 小学校:12人 中学校:6人	・全国学習状況調査で 小学校:町平均正答率が全国平均 中学校:町平均正答率が全国平均の5%以内	(今後の展開方針) 学力状況調査等で、学力向上に努める。	
2			特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ H33	教育振興の観点から、特別な支援を要する児童生徒に対し、個に応じたきめ細やかな支援を行うため町内小中学校に特別支援教育支援員を配置し、支援体制の拡充と質の向上を図る。	・特別支援教育支援員配置数 小中学校:13人 状況に合わせて各学校へ配置 ・支援員の資質向上のために、町内研修を実施(2回)	・個に応じたきめ細やかな支援 ・支援員の資質の向上。	(今後の展開方針) 個に応じた支援を行い、支援体制の拡充と質の向上を図る。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ H33	心身の発達に支援を必要とする幼児を幼稚園に受け入れ、集団保育の中で支援児に対する適切な指導を実施するために必要な幼稚園特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保 ・支援員を対象とした研修会を実施	・人数に応じた支援員の確保 ・個に応じた支援対応の充実(当初目標に年度未達成したかの調査) ・保護者と教師間の、情報共有の起点(年度末に保護者から支援員及び園に対しての評価)	特別な支援を必要とする幼児は年々増加傾向にあるが、幼児が充実した園生活を送れるように一人ひとりの幼児に応じたきめ細やかな支援を行い、教諭の資質向上を図りながら教育体制の充実を図る。	
2			児童生徒県外派遣支援事業	H26 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、沖縄県を代表して派遣される児童生徒の運動競技や文化活動の大会等に対し、県外大会派遣費用の支援を行う。	大会等派遣児童生徒数:200人	大会等派遣児童生徒数の70%以上	(今後の展開方針) 大会等派遣生徒数(累計) H33年度(1,200人)	
2			西原町中学生海外短期留学派遣事業	H26 ~ H33	西原町の中学生を海外に派遣し、教育・文化・歴史・産業等の視察学習及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広めるとともに、海外青少年との友情を深め、国際性を身につけ、21世紀の国際社会に対応できる青少年の育成を図る。	・海外短期留学派遣生徒数 ・留学後に留学達成度調査 ・町英語フェスティバルで国際社会の意識向上した生徒率	・海外短期留学派遣生徒数:8人 ・留学後に留学達成度調査:80%以上 ・町英語フェスティバルで国際社会の意識の向上した生徒率 80%以上	海外短期留学派遣生徒数(累計) H33年度:64人 事業内容と帰国報告会の内容の充実高校及び大学の追跡調査実施	
2			教育情報化支援事業	H25 ~ H30	ICT機器を活用した「わかる授業」を円滑に行うことができるよう、各小中学校にICT支援員を派遣する。また、平成28年度版中学校教科書に合わせたデジタル教科書を購入する。積極的にICTを活用した授業を重ねることにより、普段の授業の理解度を高め、将来の沖縄振興に資する人材育成及び児童生徒の学力・情報活用能力等の向上につなげる。	・ICT活用支援の実施 ・中学校デジタル教科書の導入	・授業の分かりやすさの向上 (アンケート50%以上)	(今後の展開方針) ・活動報告やアンケート等の結果を踏まえて、各小中学校の状況に合わせた支援を行う。	
2			しまくとぅば継承・推進事業	H26 ~ H28	大人から幼児までしまくとぅばを話せるようにするために、町内の幼稚園・小学生・中学生・高校生(学生と教師)・自治会・老人会を募り、うちなー芝居へ出演する。これにより、うちなー芝居を見に来た人に興味や良さを認識してもらい、自らしまくとぅばを話したい、学びたいという意識高揚も図り、沖縄のこゝろ文化を大切に継承していくことを目指す。	・うちなー芝居上演 1回 ・子どもしまくとぅば講座 開催 各児童館や小学校の場所をかりて4箇所各、34回開催する。 ・子どもしまくとぅば講座成果発表会の開催1回	・しまくとぅば講座受講生 50人 ・成果発表会来場者数 500人 ・しまくとぅばを日常会話で話す割合が17%を目指す。(アンケート調査による)	・各地域や小学校が自主的にしまくとぅばをとりいれた、クラブ活動、講座やイベントの開催ができるように町がサポートしていく。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	登校支援員配置事業	H27 ~ H33	毎年度文部科学省が実施する問題行動調査において、沖縄県の不登校児童生徒の数は全国と比較して多い状況がある。本町においても、不登校児童生徒及び10日から29日の欠席児童生徒の数が多いため、登校支援員を配置し、不登校の児童生徒の学校復帰を支援していく。	登校支援員6名配置 小学校(4校)に各1名 中学校(2校)に各1名	不登校児童生徒の増加を前年度より10%以内に押さえる。	全国的に増加傾向の不登校児童生徒数を増やさない。		
3	西原町平和推進プロジェクト事業	H25 ~ H29	第二次世界大戦で唯一地上戦となった沖縄戦の実情を風化させることなく後世へ継承し、平和思想を世界に発信するため、西原町平和音楽祭を開催する。	西原町平和音楽祭の開催	西原町平和音楽祭観客動員数1,800人	西原町平和音楽祭観客動員数: H29年度:1,800人		
4	子育て世代ゆいまーる支援事業	H25 ~ H28						
4	認可外保育施設支援事業	H25 ~ H28	認可外保育施設において安心して子どもを預けられるようにするため、支援員を派遣し、保育士の事務負担を軽減し、もって保育業務に専念できる環境を整備するとともに、認可外保育施設の各クラスの定員空き状況の集約や施設相互の情報交換等の連携補助を支援員が行うことにより、町民への迅速な情報提供体制の構築及び施設の質の向上を図る。	・支援員配置数:1人 ・町内認可外保育施設(10箇所)に対し、支援員の巡回の実施	・役場窓口にて認可外保育施設の空き状況、リスト、保育料、保育方針等の情報の提供の実施。 ・定員空き状況の集約(月1回)	(今後の展開方針) ・窓口にての認可外保育施設の情報提供の定期報告。		
4	西原町放課後児童クラブ障がい児保育支援事業	H26 ~ H33	西原町内にある学童クラブに対し、潜在的な障がい児童を把握しその児童に携わる支援員を配置することで、障がい児童の学童保育ニーズにこたえることができる放課後児童クラブの実現を目指す。	・支援員配置数:9人 ・町内学童(9箇所)に支援員を派遣	・支援員を配置し、サポートプラン(個別指導計画)等を活用しながら発達障がいがある子どもの学童受入れ体制を整備する。 満足度調査 50%以上	・対象児童の見守りのため、学童や学校、地域間の支援の輪の充実のため支援員が協力できることを検討。 ・特に配慮が必要な障がいをもつ児童に対しては入所基準づくりを検討し、支援につなげる。 ・本事業実施により見えてきた各学童の支援員の配置等を含めた「運営、会計」等の環境整備へのフィードバックを検討する。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			放課後児童クラブ巡回指導事業	H27 ~ H29	安心して子どもを預けられる学童を整備するため、支援員を派遣し、学童の会計・事務管理の支援を図る。これにより学童の指導員の事務的・精神的負担を大幅に軽減し、もって指導員が保育業務に専念できる環境を提供することで、児童の健全育成を図る。また、各学童クラブの定員空き状況の集約や施設相互の情報交換等の連携補助を支援員が行うことにより、町民への迅速な情報提供体制の構築及び施設の質の向上を図る。	・支援員配置数:1人 ・町内学童(10箇所)に対し、支援員の巡回の実施	・指導員の保育業務向上を図れる環境整備 ・定期的に会計書類を検査、指導 ・事務書類等管理の指導 ・各学童の施設情報・空き状況の情報管理及び窓口での情報提供	・保育業務に専念できる支援を検討する。 ・役場窓口にて各学童クラブの情報提供	
4			親子通園事業	H28 ~ H32	将来の沖縄振興に資する人材育成の為、又、発達の気になる児の早期発見、発達支援は重要な課題である。乳幼児健診で発見し、親子教室や発達相談を通して発達の凹凸がある児の育ちを支援するには、母子共に学びや、支援を受け、次なる集団に繋がる為に親子通園事業の役割は大きい。その後の療育や保育、幼稚園等に移行支援を行い切れ目無く丁寧に係る事で子育て支援対策に繋げる。	通園事業対象者:10組の親子	保護者の育児不安の軽減状況を通所開始時、終了時アンケートで評価する。成果の評価値として子育てについて満足度や西原町が子育てしやすいと感じる方が50%以上を目標とする。	今後、定員の増も考えられるので、場所やグループ数等を検討要する。	
5			地域健康づくりモデル事業	H26 ~ H28	沖縄の健康課題である肥満を解決するために、フードモデルを活用した体験型栄養教育を行い、住民が自らの力で肥満を予防するための食を選択できるスキルの習得を目指す。	・管理栄養士の配置:1名 ・健康教育の実施:7回	事業の前後にアンケートを実施し評価 ・事業後に自分の適正体重を維持する事が出来る食事量がわからない人の減少 (現状:5% 目標値:3%未満) ・自分の食事に対して改善意欲がある人の増加。 (現状:60% 目標値:80%)	管理栄養士嘱託員の配置、食育SATシステムを用い、幅広い年代(学童期~高齢期)への事業の実施。また、モデル地域を選定し介入を行う。	
6			農家経営安定支援事業	H26 ~ H31	栽培技術指導・農業経営相談のための営農指導員を配置することにより、既存農家の栽培技術向上による高品質農産物の安定生産と農業経営の改善による農家経営の安定を図るとともに農業後継者の育成を図る。	指導員の配置2名 栽培講習会の実施(年6回程度) 実証圃の拡充	農産物実証圃の拡充 農産物実証から普及	(今後の展開方針) 地域農業者の栽培技術向上の支援を行う	
7			災害に強いまちづくり事業	H27 ~ H29					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	災害時等避難情報提供掲示板設置事業	H27～H28	ハザードマップの周知、および津波・地震などの災害時に住民や町への来訪者等が速やかに安全な場所に避難できるようにするために住民等が集まりやすい(気づきやすい)場所に、避難所・経路、行政情報等を記載・掲示する防災掲示板を設置し、防災情報の提供と周知を図る。これにより防災体制の強化を図る。	掲示板の設置工事の実施	掲示板の設置工事の完了	H29 自主防災組織等による掲示板の活用、維持管理		
7	災害時避難所施設整備事業	H27～H29	東日本大震災の津波被害により防災意識の高揚が叫ばれる中、本町では自主防災組織結成等「自助」を強化する必要性が急務である。そのため地域住民の自主防災力(自助)を強化するため、自主防災組織の組織力向上や啓発活動を行う場として施設整備し、地域の防災力向上を図る。(災害資料館や防災講演会を行う場の建設)	実施設計策定 物件調査 事業認定 用地補償、取得	設計完了 事業認定の取得 用地補償、取得の完了	H29建設工事を行い、自主防災組織の組織力向上や啓発活動を行う場として活用する。また、地域の災害時避難施設として防災訓練の実施を行う	5月変更(計画変更に伴う各目標変更)	
8	里道及び水路の境界確定復元事業	H27～H33	戦後、地積が確定されないままに家屋等が建築された箇所が多々あり、境界確定復元の基準点測量を実施し、現況と公図が合致して居ない箇所を把握することで公共用地の適正な管理を図る。	調査測量 4級基準点、地積測量、登記申請	避難経路整備計画図や保安全管理図面の整備が一部完了する。	平成29年度 4級基準点及び里道及び水路の地積測量図作成 平成30年度 測量図を基に整備計画図の作成 平成31年度 整備計画図を基に施工する。		
9	町民交流センター施設活性化事業	H27～H29	町民の文化・芸術活動の創造、発表、鑑賞の場の交流拠点として整備された、西原町町民交流センターにおいて、各種イベントを計画及び実施し、施設の活性化を図る。また、様々なイベントの演出等に対応できるよう、町民交流センター施設の備品整備を行い、音響や照明等の機能強化を実施する。	・イベント計画・実施(年3回) ・音響や照明設備の整備による機能強化の実施	・イベント実施による集客数 1,500人	計画した自主事業イベントを実施する。		
10	西原町雇用促進プロジェクト事業	H27～H31						

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

西原町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10		地域型就業意識向上支援事業	H27 ~ H31	本町に在住する高校生及び大学生が共に連携協力し、産(西原町商工会)官(西原町役場産業課)学(琉球大学農学部)の包括連携協定を活用して就業意識を向上するための商品販売活動や県外での視察研修や学生との交流などを実施する。この活動を通し、高校生・大学生には企画力、問題解決能力などの自己研鑽能力の向上はもとより、「西原町」を深く理解し愛着を持つ郷土愛の醸成を育んでいく。 また、小中学生の就業意識向上を図るために地域の企業が講師となるお仕事体験イベント「グッジョブにしはら わくわくワーク」を開催する。	協力企業数 6社 県外実習研修 グッジョブにしはら わくわくワークの開催	就業意識調査を行い8割の学生に就業意識の向上が見られる。 県外研修会報告会 グッジョブにしはら わくわくワークの来場者 1,000名	・西原町物産詰め合わせ「Sギフト」の販売個数H31年度400個増加 ・就業意識向上の調査	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			与那原町観光振興事業	H24 ～ H33					
			地域活性化イベント支援事業	H24 ～ H33	商店街活性化のため、通りにおいてイベントを実施して誘客することにより、商業・観光活性化につなげていく。またイベント実施後は講師等を招聘し事業検証を行う。	・ちゃんぶる～市・軽便市を各3回開催	・集客数2,500人 (基準年度:H26 1,900人)	・平成33年度までに38,000人集客	
			商工会青年部南北交流支援事業	H24 ～ H33	若年者交流を通して、沖縄のPRを図るとともに、将来のリピーターを生み出すことで、誘客と観光振興につなげることを目的として、本町商工会青年部と北海道浜中町商工会青年部が共同して行う「南北青少年体験交流」へ支援を実施する。	・交流派遣者数24人 ・浜中町交流団25人受入	・交流事業以外で、浜中町からの観光来町者数30人以上 (基準年度:H26 26人)	・平成33年度までに240人派遣 ・平成33年度までに250人受入	
			地域特産品開発・販路開拓支援事業	H26 ～ H28	本町の周遊・滞在型観光を促進するため、地域資源を活用した特産品の開発と販売促進、販路開拓を図る活動支援を行う。	・特産品の販路開拓	・町内10店舗で特産品の販売	・商工会会員店舗以外での取り扱いを目指す。	
			観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ H29	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ち良く町内を回遊できるように環境美化・整備を行い観光振興を図る。	・散策コース(10km)環境美化作業員配置 5名 ・上の森公園への花木の植栽工事の実施 1箇所	・観光客が安心安全に、沖縄らしい風景を楽しみながら回遊できる環境の整備 ・植栽工事進捗率 88% (全体計画 8箇所、うち完了7箇所)	・平成29年度:美化清掃にて回遊箇所の緑化及び植栽工事を実施	
			与那原町魅力発信事業	H26 ～ H33	与那原町の魅力を県内外に発信するため、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・与那原大綱曳PR事業実施 3回 ・その他与那原町PR事業実施 4回(夜のバスツアー、軽便ミニコンサート、与那原町PR事業、与那原まちなきバスツアー)	・与那原大綱曳へ200人誘客 (基準年度:H26 15,000人) ・その他の事業で400人誘客 (基準年度:H27 60人)	・継続して魅力を発信する事業を実施し、与那原町の魅力を県内外に発信し続けることで、与那原町に訪れる観光客を増やす。	
			大綱曳倉庫・作業場整備事業	H25 ～ H28	仮設倉庫に一時保管している与那原大綱曳関連備品等の適切な保管、大綱の資材となる藁の保管及び綱作り作業場となる倉庫を建設する。	大綱曳倉庫・作業場の建設工事の実施	大綱曳倉庫・作業場の建設工事の完了	・大綱曳倉庫・作業場を活用し、与那原大綱曳の安定的な実施につなげる。	
2			次代を担う人材育成事業						

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ H33	児童生徒の学力向上及び人材育成の為、電子黒板等を整備し、情報教育支援員を各小学校へ配置する。	・電子黒板一式（2小学校） ・情報支援員 2人 ・個に応じた情報教育の充実（長期休業中の情報教育講座の実施全10講座 受講生80名）	・全国学力調査平均正答率の全国との差、小学校(6年生) - 1ポイント以上。 中学校(3年生) - 3ポイント以上。 ・児童生徒の発達段階に応じた、パソコンの基本操作習得の到達率70%以上。	・H30までにパソコンの基本操作目標の到達率を90%以上に高める。	
			きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ H33	特別な支援を要する児童生徒に対し、適切な支援を行う為の特別支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーを配置する。 学習の遅れ気味な児童生徒に対し、個に応じたきめ細かな支援を行う為の学習支援員・特別支援教育支援員を配置する。 放課後の児童の学びをサポートする為、放課後学習支援員を配置する。	・特別支援教育コーディネーター1人配置（対応回数 30回） ・スクールカウンセラー1人配置（対応回数175回） ・学習支援員20人配置（支援日数週5日） ・特別支援教育支援員26人配置（支援日数週5日） ・放課後学習支援員5人配置（対応児童数1,000名）	・全国学力調査平均正答率の全国との差を、小学校(6年生) - 1ポイント以上。 中学校(3年生) - 3ポイント以上。 ・基礎学力の定着を図り、学習に対する自己肯定感を高め、不登校児童生徒を1割削減。	・学習支援員、特別支援教育支援員、スクールカウンセラー等の人員確保 不登校者数の人数減	
			国際理解人材育成事業	H24 ～ H33	国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導の補助員を配置する。 また、スポーツ等を通して、生きた英会話や国際感覚を身につける為に、スポーツイングリッシュスクールを行う。	・英語指導助手の配置 2人 ・スポーツイングリッシュスクールの実施	・英語検定取得(1～4級)155人 (基準年度:H24 116人)	・英検前年度取得者数年間10人増 ・英語指導助手の人員確保	
3			ほっとハート子育て応援事業	H24 ～ H33	0歳児童の待機児童対策を目的に、9人を超えて0歳児童保育を実施するために看護師配置を行う認可保育園へ経費の一部を支援する。	認可保育園への看護師配置 4施設(各1名配置)	・0歳児童待機児童数27名(10月) (基準年度:H27(10月) 36名)	・看護師配置施設の増 H27(3保育所) H28(4保育所)	
4			地球温暖化を防止するための循環型社会形成事業	H26 ～ H29	異常気象の要因や、生態系への影響が懸念される地球温暖化への対策として策定された「与那原町地球温暖化防止実行計画」を達成する取組みの一つとして、町内全域の防犯灯、街路灯をLED化し、温室効果ガスである二酸化炭素の排出を抑制する。	・街路灯LED化 163基	・街路灯のLED化による二酸化炭素排出量抑制 54,699kg	「与那原町地球温暖化防止実行計画」をさらに推進し、目標値である平成19年度の基準値952,424kgの排出値達成を目指す	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	避難誘導情報サイン整備事業	H27 ~ H28	来訪者や町民への適正な避難誘導を促し、ひいては「歩いて楽しむ観光」を推進するため、避難誘導情報サインを整備する。	・避難誘導情報サイン整備・施工	・適正な避難誘導を促す設備整備の達成	・大型MICE施設供用開始に向け、新たな交通体系整備等に伴い、避難誘導経路等に変更が発生した場合は、その都度対応する。		
6	与那原町「記憶資源」保存活用事業	H27 ~ H28	綱曳資料館において、与那原大綱曳の魅力、与那原町の情報を町内外へ発信するため、展示場の改善、来客数増加計画策定及び活動のため必要な資料・情報の収集並びに調査研究活動を実施する。	・展示刷新 ・体験講座等の開催 ・ホームページでのサービス提供 ・聞き取り追加調査30件	・大綱曳まつりに合わせて資料館のリニューアルオープン ・年間来館者目標 10,000人 (基準年度:H26, 2,000人) ・ホームページアクセス数 年間1,200件 (新規開設のため基準数値なし)	・2年間の事業における成果を分析し、本事業終了後においてもよりよい運営を行えるよう検討を行う。		
7	与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ~ H33	文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	・海外移住者子弟研修生受入:2人 ・児童生徒・町民との交流会:2回 ・帰国後の研修報告会:1回 ・与那原町における交流会でのアンケート実施 ・帰国後の研修報告会でのアンケート実施	・与那原町での交流会でのアンケート 国際交流に関心がある人の割合:70% ・帰国後の研修報告会でのアンケート 沖縄・与那原に関心がある人の割合:70% ・PR大使としての活動の実施	・今後は研修生の派遣を行い、各国町人会及び県人会との連携を強化を図る。過去の研修生においては、その役割を認識させるためフォローアップ研修を定期的実施。 ・派遣、受入研修生は合わせて町及び県移住先国との友好親善に寄与する。		
8	与那原町ウォーターフロント整備事業	H25 ~ H28	中城湾港マリンタウンプロジェクトにより造成された東浜地区と既成市街地との間の東浜水路を新たな観光資源として活用するため、東浜水路沿いに修景施設等及び憩いの広場を整備する。	(東浜水路憩い広場整備事業) ・カヌー倉庫建築工事 ・技術支援業務(カヌー倉庫建築)	・東浜水路の観光活用に向けた基盤整備率100%	・H28年度に一部供用開始し、水路を活かしたカヌー等のウォーターレジャーを行う。		
9	公立幼稚園・保育所等保育環境整備事業	H27 ~ H33	公立幼稚園保育時間の延長による給食の提供に当たり安心安全に給食時間を過せるよう、配膳支援員を配置する。 また、日照時間の長い沖縄での保育においては、「紫外線対策」は重要なことから、町立幼稚園等の園庭へ紫外線対策の「サンシェード」を設置する。	・給食配膳支援員配置 4人 ・幼稚園、園庭へのサンシェード設置 2か所	・給食開始に伴う支援員による給食時の安心安全の確保 ・サンシェード整備完了 2箇所	・給食開始に当たっては安全に提供できるよう配膳支援員を継続配置することで、保護者が安心して預けられる環境を整える。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
10	災害対策備蓄整備事業	H28 ~ H32	沖縄県は他県から海を隔てた遠隔の地に位置し、他県からの本格的な応援等の到着に時間を要すことから、避難施設における長期間の生活を余儀なくされる可能性が高い。被災者の長期避難生活を想定した非常用食料品等の整備を計画的に実施し、災害に強いまちづくりの実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用食料 1,680食 ・粉ミルク 20缶 ・保存水 1,032本 ・圧縮フリース毛布等 320組 ・防災レディースセット 680セット 	<ul style="list-style-type: none"> ・H32年度目標量(8,400食)の1/5が達成される。 ・帰宅困難者(320人)の簡易寝具が整備される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成32年度を達成年度と設定し、平成29年度以降も継続的に非常用食糧等を備蓄していく。 	12月変更(事業追加)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			南風原町人材育成事業	H24 ～ H33					
1			青少年国際交流事業	H24 ～ H33	国際化時代に対応する青少年の育成を目的に青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史産業などの視察学習、ホームステイ、現地の学校への体験入学を実施する。	・交流事業派遣生徒数:10名 ・研修後報告会の開催	・報告会の実施などを通じた参加者の意識向上(内容)アンケート実施、外国語や海外文化、移民への興味を持った生徒の割合 70%を目指す。	(今後の展開方針) 本研修および事後研修の充実 OB会による定期的な国際交流事業の啓発活動や、地域でのイベント企画	
1			小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ H33	小学生のうちから英会話に触れさせ、外国の言語や文化について興味を持たせ英語力を向上させる為に、外国語に精通した日本人を各小学校に配置する。	・小学校英語指導助手配置数:4人	英語に興味を持った・好きになった児童の割合60%以上(アンケート)	(今後の展開方針) 今後も引き続き小学校4校に英語指導助手を配置する。進んで英語が話することができるよう、授業内容を改善していく。	
1			学力調査等事業	H24 ～ H33	学力が低い沖縄県において、本町を担う児童生徒の学力向上に向け、個々の児童生徒の学力、課題を把握するため学力調査等を行う。	標準学力調査の実施 小学校4校中4校 (国語・算数・5年生理科) 中学校2校中2校 (国語・数学・理科・社会・英語)	調査結果を基に実態把握し指導 調査結果を基にきめ細やかな指導に向けた個々の児童生徒の学力実態の把握	(今後の展開方針) 引き続き学力調査を実施し、調査結果を基に個々の課題克服のために活用していく。	
1			学習支援員配置事業	H24 ～ H33	通常の授業ではついていけない児童生徒の授業の理解を深め、学力を向上させるために、学習支援員を配置する。	・学習支援員配置数 小学校:8人、中学校:6人	小学校および中学校平均値が標準学力調査全国平均値以上	(今後の展開方針) 引き続き全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。	
1			特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ H33	児童生徒の総合的な学力向上を目的として、教室内で授業中に全体の指導についていけない子どもに対し特別支援教育支援員を配置し、介助や安全確保をおこなう。	・特別支援教育支援員配置数 幼稚園:10人、小学校:35人 中学校:6人	小学校および中学校平均値が標準学力調査全国平均値以上	(今後の展開方針) 引き続き全小中学校に特別支援教育補助員を配置し、基礎学力向上に努める。	12月変更 (計画変更に伴う活動目標変更) 2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	学校ICT推進事業	H24 ～ H33	学校においてICT機器を充実させ、わかりやすい授業を行うことで、教育の質の向上を図り、学力向上やより良い人材の育成を行うための環境を整備する。また、ICT機器を活用した魅力ある授業を支援するため、ICT支援員を配置する。	・書画カメラ 小学校:24台(6学年×4校) 中学校:12台(3学年×2校×2校) ・ICT支援員 3名	小学校および中学校平均値が標準学力調査全国平均値以上	【書画カメラ】 全普通教室への整備を目標に、経年的に整備を行う。 【児童・生徒用タブレットPC】 各学年1セットの整備を目標に、経年的に整備を行う。 【デジタル教科書】 小中学校の教科書改訂年度に合わせて整備を行う。 【ICT支援員】 次年度以降も配置する。 【その他】 ICT機器や取組について他市町村の良い例を参考に検討を行っている。		
1	児童生徒健全育成事業	H24 ～ H33	怠学や問題行動・暴力行為等の不登校生徒の居場所として自立支援教室を設置、専任の指導員を配置し、よりきめ細やかな対応、均等な学習指導を行う。また、怠学等の児童生徒の校外指導を行うため校外指導員を配置する。	・自立支援教室指導員(中学校):3人 ・生徒校外指導員(中学校):6人	中学校平均値が標準学力調査全国平均値以上	(今後の展開方針) 引き続き全小中学校に自立支援教室指導員・生徒校外指導員を配置し、基礎学力向上に努める。	2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)	
1	教育相談支援事業	H24 ～ H33	不登校または不登校傾向にある児童生徒や、子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対する支援を充実させるため、教育相談支援員などを小中学校に配置する。	・町教育相談員配置数:1人 ・心の教室相談員配置数:4人 ・発達支援心理士配置数:1人	小学校及び中学校平均値が標準学力調査全国平均値以上	(今後の展開方針) 今後も生徒校外指導員、自立支援教室指導員と連携を密にし支援体制を強化していく。		
1	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ～ H33	中学校英語教育の充実と国際理解教育推進に資するため、外国人英語指導員を中学校へ派遣する。	・外国人英語指導助手配置数:1人	中学校平均値が標準学力調査全国平均値以上	(今後の展開方針) 今後も引き続き、外国人英語指導助手を配置し、小学校英語指導助手との連携を密にし、小学校英語から中学校英語へ、抵抗なく移行するようにし、生徒が英会話に対し苦手意識を持たせないようにする。		
1	南風原町青年海外派遣事業	H25～ H33	言語、文化理解をはじめ、移民の歴史や現在の状況、世界のあらゆる動きの中で同じ町の人として励まし合い、助け合う繋がりを構築できる人材を育成するため、本町の青年2人を、移民先のハワイへ派遣し、町人会や、移民の次世代の青年たちとの交流を深める。	・南風原町人会、海外移住者子弟研修生OBとの交流 ・帰国後の報告会の開催	研修後、派遣者に対してアンケートを実施 ・派遣後、移民史や海外の沖縄人の生活に興味を持った:100% ・派遣後、自分のコミュニケーション能力が高まったと思う:70%	平成25年度～33年度:各年度2人 累計18人		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		南風原町各種大会派遣支援事業	H25～H33	小・中学校の児童生徒が、県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の派遣費の支援をする。	児童生徒大会派遣の支援	大会派遣児童・生徒数:31人	(今後の展開方針) 今後も児童生徒人材育成のため県大会派遣を継続する。	
1		南風原町県外等派遣支援事業	H25～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外等へ派遣される場合に対して必要な派遣費用の支援を行う。	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援	派遣児童・生徒数及び派遣青年会数(累計):140人	(今後の展開方針) 最終年度(派遣児童・生徒数及び派遣青年会数累計):1,260人	
1		魅力的な体験学習事業	H25～H33	サイエンスショーを開催し、机上の学習だけではなく体験学習を取り入れた授業を行うことで、児童の探究心や想像力を育て、学ぶことに対する「興味」「楽しさ」を実感してもらい、沖縄振興に資する人材育成を図る。	サイエンスショーの開催:2回公演 対象 小学5・6年生	・理科への関心度:95%以上 (評価方法) サイエンスショー鑑賞前と鑑賞後に理科への興味・関心度に関するアンケートを実施し、理科への関心度を調査する。	(今後の展開方針) H29年度～H33年度 ・サイエンスショーの開催 ・来場者数 各年度850人	
1		南風原町児童生徒県外交流事業	H25～H33	幅広い視野を持った人材を育成する為、県外の山間地域に児童生徒を派遣する。具体的には徳島県つるぎ町に南風原町の小学校高学年及び中学生を派遣し、徳島県つるぎ町の半田中学校での交流・民泊交流、登山等を体験する。	徳島県つるぎ町立半田中学校へ中学生12名、小学生8名を派遣	・派遣者にアンケートや報告書(感想文)を実施し集計結果や分析を報告。 「楽しかったこと・びっくりしたこと」の質問に「民泊交流・中学校交流」の回答50%以上 「次回も継続して欲しいこと」の質問に「民泊交流・中学校交流」の回答50%以上	徳島県との交流を継続し、平和教育や、観光振興などの担い手となる人材を育成する。	
1		南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28～H33	南風原町内の幼稚園児を対象とし、運動能力を向上させるため、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施	・逆上りの習得:90% ・跳び箱3段の習得:90%	(今後の展開方針) ・幼稚園児の体育指導を継続的に実施し、町内の子どもたちの健康の保持増進を図る。	
2		観光・産業振興事業	H24～H33					
2		南風原町観光景観美化整備事業	H24～H33	本県は亜熱帯性の固有な自然環境であり、年間を通して植物の繁茂がある。観光ルート(町内道路、水路等)の清掃、維持管理により、町全体のイメージアップを図る。	・観光ルート延長L=12,600mの町道メンテナンス(草木の伐採等による景観美化の管理)を実施	観光ルートの町道を草木の伐採等により景観美化を、前年度同様に実施する。	景観美化作業員4人(毎年)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			かすりの道活性化プロジェクト	H24 ～ H33	「かすりの道」を活用した魅力的な観光地づくり、まちづくりを促進し、認知度を高めるため、地域住民参加による緑化活動、道並などの美化を行い、イベントを開催する。	・イベント開催:4回 ・かすりの道緑化活動:10回	・イベント参加者:360人 ・かすりの道散策ツアー参加者360人	(今後の展開方針) 【イベント参加者】H29年:360人 【緑化活動】H28年:10回	
2			無料職業紹介所整備事業	H27 ～ H33	沖縄県は完全失業率が全国最下位であり、本町においても失業率は8.9%(H22国勢調査)と高い失業率となっていることから、求職者や企業に対して、より充実した雇用支援が必要である。そのため、町内の求職者に対して、就職だけでなく福祉や税等の面からも、身近な場所でより必要な支援が提供でき、スピーディーに企業に求職者を斡旋できるマッチングシステムを整備する。	・職業紹介所の広報 ・求職者情報の収集と求人情報の収集	・雇用マッチング 7件	(今後の展開方針) ・職業紹介所の周知・広報を図り、本町の求職者・求人企業のマッチング体制を確立する。	
2			デザイン・くくり担い手育成事業	H24 ～ H33	本町の琉球絨は伝統工芸品として有名であり、その生産体制は分業体制で行われている。生産工程の一つである「デザイン・くくり」の技術者が現在少ない状況にあり、このままでは技術が失われる可能性があるため、「デザイン・くくり」の技術者を育成する。	・工房の即戦力となるデザインくくりの技術者を育成する。 デザイン製作 デザインくくり技術の実践 絨の振袖の学習 藍染めの学習 クジリゴージ、ナナカシの学習	・デザインくくり技術者4名育成	(今後の展開方針) 平成26年度～平成28年度 ・デザインくくり技術者 4名育成 ・デザインくくりの技術者を育成して、後継者育成を図り、琉球絨の継承に寄与する。	
2			危険生物駆除事業	H27 ～ H33	観光客等をハブ咬傷から守るため、ハブトラップを設置するとともに、その周辺を重点地域として巡回する危険生物駆除員を配置し、安全な観光地を目指す。	・捕獲器を町内に40器設置 ・巡回を実施	観光地内におけるハブ咬傷件数 0件	(今後の展開方針) ハブ出没地点の捕獲状況を分析してより効率的にハブを駆除できるよう努める。また町民や観光客等に注意喚起を行い、ハブ咬傷被害のない安全な観光地作りを目指す。	
2			民泊啓発推進事業	H25 ～ H33	南風原町には宿泊施設がないため、滞在型観光の振興の妨げとなっている。宿泊体験の推進を図り、滞在型観光を促進するため、企画・運営職員を配置し、宿泊体験家庭の開拓やシステムの構築などを行う。	・宿泊体験登録家庭数:26家庭 ・修学旅行誘致営業:1回	・宿泊体験受入数:200名 H27受入人数:175人 ・新規受入学校:3校	(今後の展開方針) 【修学旅行受入】H33年:一家庭2回以上(年間受入目標:100人) 【民泊家庭登録者数】H28年:21件	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2		南風原地域発信力強化事業	H24 ～ H33	へちま生産日本一を誇る南風原町。本町では南風原産へちまの愛称を「南風原美瓜(びゅうりー)」と名付け、ブランド化を図っている。そのへちまを観光物産として元気、若いという良いイメージを付けて魅力を町内外に発信するため、ビュウリーズというダンスユニットを結成し、活動する。	・町PR活動イベント出演:20回 ・新聞等へ活動掲載:3回 ・ラジオへの出演:2回 ・認知度調査	・町内外イベントにおいてアンケート調査 町内認知度:70% 町外認知度:40%	(今後の展開方針) ・ダンススクール受講者(累計) H33年度:200名 ・イベント等で、南風原ブースでの販売促進と南風原の観光コンテンツPRを行う。	
2		ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ H33	本町の観光振興、地域活性化のため、全国的ヒーローや、南風原町が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の観光情報発信を行うためイベントなどを定期的に行い、観光客を本町へ誘導する。	・イベント・フォーラム開催:1回 ・脚本賞実施:1回	・イベント・フォーラム来客者数:1,000人 ・脚本賞応募20件	(今後の展開方針) 継続して脚本賞開催 町民による実写化(舞台や映画)	
2		シマじまガイド事業	H24 ～ H33	訪問客に地元の魅力をあますところなく伝え、南風原町の魅力を知っていただくため、着地型観光メニューとして「シマじまガイド」(名所案内巡り)を実施し、町内外からの観光客等を受け入れるシステムを構築し、観光振興を図る。	・ガイド養成新規:2名 ・シマじまガイド開催:12回	・ガイド回数:1回/人 ・シマじまガイド事業 年間利用者数:1,460人	(今後の展開方針) 事業利用者数:H30年:1,550人	
2		黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ H33	良好なスポ・ツ・トレ・ニング環境の提供により観光と結びつけたスポ・ツコンベンションの誘致、開催を図るため、黄金森公園スポ・ツ施設の機能強化と受入体制等の整備を行う。	・芝生作業嘱託員:1名 ・Jリーグキャンプ等支援委託(町イメージ動画作成、町内青年会エィサー派遣、町PRパンフレット及びグッズ作成、名古屋グランパス春季キャンプ受入に係る警備・テント設営・観客送迎バス運行等一式) ・陸上競技場及び野球場芝生の管理委託 ・トレーニング機器メンテナンス ・トレーニング室への空調設備設置工事 ・トレーニング室利用者への専門的なサポートの実施	・陸上、サッカー等合宿利用者数:700人 【H26年度実績:約678人】 ・Jリーグキャンプ見学者数:10,000人 【H26年度実績:約10,000人】	(今後の展開方針) ・スポーツコンベンション誘致活動を継続的に行い、Jリーグキャンプ及び合宿等の定着を図る。 【H31年度合宿等利用者数:750人】	8月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト	H24 ～ H29	南風原町の特産品を通じた地域振興を図るため、町特産の農産品や琉球絨等を活用し、異業種間の連携を促進しつつ、本町特産品の良さを引き出すための調査・研究及び、本町特産品のブランド化を図るための組織づくりを行い、ブランド認証スキームを確立するとともに、南風原ブランドの新商品の開発、販路開拓を行う。	調査研究の実施 地域ブランド認証審査会開催：2回 認証商品の効果測定 既存商品のブラッシュアップ 販路開拓、拡大、テスト販売：3回 非食品分野の試作品製作	南風原町ブランド認証：2件 非食品分野の試作品：1品 既存商品のブラッシュアップ：2品 H26年度までに開発した商品の販売目標 マドレーヌ：180個×10ヶ月（4月～1月）=1,800個 （H26実績：1,641個） 美瓜カレー：40食×5ヶ月（8月～12月）=200食 （H26実績：180食）	(今後の展開方針) 地域における商品開発・販路開拓は、これまでの活動における課題解消や商品の改良・改善を含めて販路拡大やテスト販売を試みる。また、平成28年度からは地域ブランド推進事業(知的財産保護、活用等)を立上げ、更なる地域振興と地域経済への波及を画策する。 平成29年度：取扱店舗の開拓2件、ブランド認証2件 マドレーヌ：2,000個 美瓜カレー：250食	
2		南風原町観光PR促進事業	H25 ～ H33	本町の観光、文化、特産品を紹介する観光物産展を開催する。特産品の販売等を行い、特産品の販路拡大、観光PRを実施する。 さらに、本町の認知度向上と地域資源の情報発信・観光客誘客強化を図るため、イメージキャラクターを本町のPRツールとして活用する。	・イメージキャラクターによる観光PR活動（1年で100回） ・物産展の開催	・はえるん等利用申請数：70件 ・はえるんファンクラブ加入：1,100人 ・物産展来場者：13,000人 ・南風原町観光案内所の利用者数10,000人（4月～3月の12ヶ月間）	(今後の展開方針) 物産展の定期的な開催 観光案内所整備後は、ホームページや各種イベント等で周知を行い、観光スポットへの案内や休憩所・物産販売所として運営していく。	
2		南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ H33	農家の経営安定化に向け、仔牛の品質の向上により高値での出荷が行えるよう、系統の良い優良母牛導入経費への一部を支援する。	・優良母牛の導入支援	・今年度導入率：14.2% (H28年度：6頭導入予定)	(今後の展開方針) H27～H33累計42頭導入	
2		南風原町農産物販売促進事業	H27 ～ H29	生産量県内一位を誇る南風原産ヘチマと拠点産地認定を受けたスターフルーツを南風原町の特産品と位置づけ、広く県内外へPRを図り消費拡大を推進するため販売促進を行う。	・ヘチマ販促(県外2回・県内4回) ・スターフルーツ販促(県外1回・県内3回) ・県外物産イベント・県外量販店にて、ヘチマ料理講習会 ・ヘチマレシビコンテスト開催	・ヘチマ販促イベント販売(累計500kg) ・スターフルーツ販促イベント販売(累計300kg) ・県外イベント講習会開催によるヘチマ販売(30kg) ・ヘチマレシビコンテスト応募総数100件	(今後の展開方針) ・取扱店商談成立目標(平成29年度) ヘチマ 県外取扱店舗3～5社 スターフルーツ 県外取扱店舗3～5社	
2		南風原町乳用牛改良支援事業	H28 ～ H32	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良乳用牛の貸付頭数10頭/年	・今年度導入率：20% (H28年度：10頭導入予定)	(今後の展開方針) H28～H32累計50頭導入	8月変更(事業追加)

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			動く広告塔事業	H24 ～ H28	原動機付自転車標識に南風原町オリジナルナンバープレートを使用し、本町のPR及び交通安全の推進を図る。	・オリジナルナンバープレート製作枚数 3,000枚	・南風原町オリジナルナンバープレートの交付割合8割以上	新規標識交付及び番号変更等の申請をした者に交付していく。	10月変更(事業追加)
3			環境にやさしいまちづくり事業	H24 ～ H33					
3			はえばりサイクルループ事業	H24 ～ H33	町内で発生する食品廃棄物(生ごみ、廃食用油含む)を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥、バイオディーゼル燃料を生産する。そこで生産された飼料で養豚を育て、生産したディーゼル燃料を車等に利用することで、食品廃棄物の有効活用を推進した食品廃棄物の循環を構築する。	町内で排出される食品廃棄物を回収、分別し、飼料や肥料を生産することで、循環構築をはかり、生ごみ(家庭系)の年間資源化の増を目指す。	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:80トン	(今後の展開方針) 生ごみ(家庭系)の年間資源化量 H29年度:90トン	
3			環境学習支援事業	H24 ～ H33	ごみ減量やリサイクルの重要性の意識の向上と、時代を担うこどもたちの環境倫理の醸成のため、専門家による「体験型」の環境教育・環境学習を実施する。	・町内4小学校の4年生を対象に環境学習「買い物ゲーム」の実施。 ・実施回数:16回	・環境学習「買い物ゲーム」体験者数:508人 ・環境保全(ごみ減量やリサイクルの重要性等)に対する理解度:アンケートを実施し、学習体験者数の90%以上	(今後の展開方針) 環境学習「買い物ゲーム」体験者数(累計)H29年度:2,674人	
3			草木リサイクル事業	H24 ～ H33	草木廃棄物を循環利用した「循環のシステム」を構築するため、町内から出る草木を堆肥化し、活用する。	町内から排出される草木を堆肥化することで、リサイクル量の増をはかる。	草木のリサイクル量(堆肥化):421トン	(今後の展開方針) 今後も町内から発生する草木をすべて資源化していけるよう効率的に事業をすすめていく	
3			低炭素社会化事業(省エネ設備導入事業)	H27～ H29	省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の実現を図るため、防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO ₂)の排出を抑制する。	750灯の防犯灯の設置	平成28年度の削減量:35.86t-CO ₂ /年	既設防犯灯の水銀灯や蛍光灯をLED灯への切り替えを行う。 平成29年度で残りの900灯の工事を行います。	5月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			南風原町景観計画策定事業	H28 ～ H30	南風原町の豊かな自然及び地域独自の風土を感じさせる風景を活用した景観像を明確にし、良好な景観形成を実現するため景観計画を策定する。	・町内全域における現況調査の実施 ・景観づくりに関するアンケート調査・分析	・基礎調査の完了	(今後の展開方針) 基礎調査に基づき次年度、住民ワークショップ等を開催し景観計画の作成。 魅力あるまちづくりへ展開する。最終年次には条例の制定を行います。	8月変更 (事業追加)
4			災害に強いまちづくり事業	H24 ～ H33					
4			防災体制強化事業	H24 ～ H33	亜熱帯気候である沖縄県では毎年多くの台風が接近・襲来している。そのため、島しょ県である沖縄は、大規模災害時には物資の補給が困難となり、孤立してしまう恐れがある。そのことから、町独自で長期保存ができる食糧等の備蓄を行い、防災体制の強化を図る。	・備蓄品の購入 (米、水、トイレ袋等)	・南風原町地域防災計画の「食料等備蓄計画」の目標備蓄数16,200食(36,000人×1/20×3日分×3食)に対する充足率:100%	食料等備蓄品充足率 H28年度:食料品充足率100% H29年度以降:生活必需物資不足分の購入	
4			災害時等避難施設機能強化事業	H24 ～ H29	台風等の自然災害による被害が多発しているため、災害や不発弾処理等非常時の避難施設である地域公民館や集会施設の整備を行う。	避難所(公民館等)の機能強化工事(施設整備) 支策:2箇所	・避難所(区、自治会)の整備:78% (全避難所19ヶ所中15ヶ所整備完了)	(今後の展開方針) H29年度までに全19自治会を整備	
4			津嘉山小学校南側避難通路整備事業	H26 ～ H29	津嘉山小学校は災害時に避難所として指定されており、小学校の南側集落からの避難通路としては未整備となっているため、災害時にも安全に活用できるよう整備を行う。	津嘉山小学校南側避難通路整備の用地買収(371.5㎡)(工事場所:津嘉山小学校南側通路 整備:149.1m)	・鑑定評価3個所の完了 ・補償調査3個所の完了 ・用地購入3個所の完了	(今後の展開方針) H28年度:用地購入 H29年度:管理委託・工事	8月変更 (事業追加) 10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
5			子育て世代支援事業	H24 ～ H33					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ H33	本町の補助対象学童クラブのうち、民間の賃貸住宅を利用している学童クラブに対して家賃支援を実施する。また、学童クラブがひとり親家庭等の学童利用者に対し学童保育料を減免した場合の支援を実施する。本事業により、子育て環境の整備、学童クラブ運営の安定化を図り、保育の質を高め、子ども達の安心・安全な放課後の居場所を作り、充実させることを目的とする。	(1)家賃補助 基準値(H28):7ヶ所 (2)ひとり親家庭等学童クラブ利用支援補助 基準値(H28):66人分	保育の質を高め、安心・安全放課後の居場所を確保することにより、児童の健全育成を図る。 平成23年度(補助前)を基準として事業(行事)の増加数 平成28年度(目標)3件×10ヶ所=30件 (平成23年度(基準)18件(4ヶ所))	(今後の展開方針) 今後も引き続き町内の補助金対象の学童クラブに対し家賃補助を行うのと、ひとり親家庭等学童クラブ利用支援補助を行い、保育の質を高め、子ども達の安心・安全な放課後の居場所作りを行う。	2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
5			幼稚園保育充実事業	H25 ～ H33	町立幼稚園の保育時間の延長に伴い開始される給食を、園児に安心・安全に提供できる体制を整えるため支援員を配置する。また、平成29年4月より幼稚園での4歳児クラスが3クラス、5歳児クラスを2クラス増やすため安全な給食提供に必要な共同調理場、幼稚園の備品(食缶)等給食提供に係る設備を整備する。	・給食支援員 4園:4名 ・給食関係消耗品、備品整備	配膳時の事故件数 0件 ・幼稚園4歳児・5歳児への給食提供環境整備完了	安心・安全な給食時間を提供するため、給食支援員の配置を行う。また、平成29年度より幼稚園4歳児・5歳児クラス増分の給食提供を行う。	12月変更 (計画変更に伴う事業内容変更及び各目標変更)
6			南風原文化・歴史・伝統継承事業	H24 ～ H33					
6			陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ H33	平和学習の拠点である沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を推進するとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外からの見学者をガイドが案内し、沖縄戦の追体験とおして平和と命の尊さを伝える。	開壕日数:308日	見学者数10,000人 (H27年度見込み10,000人) (H26年度実績 9,950人) (H25年度実績 9,498人) (H24年度実績10,000人) (H23年度実績 9,804人)	(今後の展開方針) H26年度に再現した戦中における壕内の臭気を用いて、視覚・聴覚・嗅覚を使った追体験で、より具体的に沖縄戦を学ぶ場として活用していく。	
6			資料の公開活用事業	H24 ～ H29	南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料をデータベース化して整理し、公開活用の幅を広げつつ後世へ継承していく。	データベース化済資料数:5,000点	【目標指標】データベース化済み割合:91% (総点数125,000点中、データベース化済点数113,000点)	収蔵資料総点数125,000点を分類ごとにデータベース化して利活用を推進する。	
6			子ども平和学習交流事業	H24 ～ H33	子どもたちが仲間づくりに努め、戦争や平和、差別や人権などについて交流や研修を通して平和について広く学習を深めることを目的に、子ども平和学習交流事業を行う。	・子ども平和学習交流事業参加者数(12人) ・事前学習、本研修の後その報告会を開催	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた:95% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味がわいた児童:95%	・OB会との連携、事後学習の充実 ・ネットワークづくりや課題を設定したイベントの開催など 平成24年度～平成33年度 各年度12人 累計132人(H27は24人)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			伝統芸能保存育成事業	H24 ～ H33	町内には数多くの伝統芸能があり、各字・自治会の伝統芸能の保存や継承への取組に対し支援を行うことで伝統芸能継承を推進する。	伝統芸能保存育成補助件数:3件	年中行事等での伝統芸能上演等回数 H28年度:34回(H26実績:68回)	伝統芸能を後生に継承するために保存会、自治会と連携し保存、育成継承・記録していく。	12月変更 (計画変更に伴う成果目標変更) 2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
6			南風原町海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ～ H33	南風原町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の文化と歴史を学習させる。帰国後は自国の研修生仲間たちと連携し、移民の文化・歴史交流を推進するため南風原町とのパイプ役として活動する。	・受け入れ国の数2カ国(南米3カ国ペルー、ブラジル、アルゼンチンのうち2カ国) ・受け入れ研修生の数(2人) ・研修成果の報告会を開催	研修後、研修生・ホームステイ先・研修関係者に対してアンケートを実施 ・研修終了後、移民史に興味があった:80% ・日本語をさらに習得したい:80% ・日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:80% ・海外の子弟と交流ができてとても良かった:80% ・ホストファミリーとしてまた研修生を受け入れたい:70%	・各国の研修生が研修後もネットワークを作り、南風原町の若者たちと交流を深める。	
6			南風原町民俗芸能交流会開催事業	H26 ～ H33	町内各地にある伝統芸能を披露する場、他地域と交流する場を設け、新たな世代へ地域の伝統芸能を継承し、地域活性化を図るため南風原町民俗芸能交流会を行う。	・第28回民俗芸能交流会の開催 ・伝統芸能の発掘と復活	・来場者数 450人以上	各字の伝統芸能の情報収集、記録保存に力を入れ、各地との交流の中で後継者の育成に力を入れる。	
6			プロジェクトヒュート支援事業	H26 ～ H33	新たな地域活性化、人と人との交流を生み出すために南風原町の伝説、課題や話題などをモチーフにしたショーを通して、多くの人々に町の伝承文化や行事などの普及に努めている「チームTHE飛勇人(ヒュート)」の活動に対して支援を行う。	・各イベントへの参加回数:7回 ・他のエンターテイメントとのコラボ	・町内各字の伝承文化の啓発を図る。 ・イベントやショー後にアンケートを実施 ・地域の伝説や民話の理解を深めた:60% ・新しいキャラクターに楽しさや親しみを覚えた:60%	プロジェクトヒュートとしての仲間づくりを基本とし、地域の課題や伝説、話題を取り上げたショーを展開し、親しみやすいローカルヒーローとして南風原町をアピールする。	
6			南風原町クサティ森等保全事業	H25 ～ H30	文化財の保全継承及び文化資源を活用した観光振興を図るため、南風原町の集落及び集落のクサティ森等に存する史跡等の修復、説明施設等の整備を行う。さらに、活用を促進するため用地を取得し、散策道、休養施設等の整備を行う。	・平成28年度工事用の資材単価調査業務 ・散策道(約160m)、散策道照明(防犯)、共同井戸修景、植栽等工事の実施	・平成29年度一部共用に向けた事業の着実な実施(散策道約160m、散策道照明、共同井戸修景及び植栽等の工事完了。)	(今後の展開方針) H29:津嘉山の殿(ツク)周辺の整備を完了し、歴史学習及び観光施設として共用する。 H32:クサティ森等実施設計及び工事 H33クサティ森等工事及び供用開始	12月変更 (計画変更に伴う事業内容変更及び活動目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			地域振興資料館整備事業	H27 ～ H29	地域の文化・芸能を展示、活用するための資料館を整備し、文化・歴史・伝統芸能の保全継承並びに文化資源を活用した地域振興を図る。	・津嘉山資料館建設(基本設計・実施設計)費の支援 ・宮平資料館建設費の支援	・H28年は、H29年の津嘉山資料館建築に向けた事業の着実な実施、基本設計書及び実施設計書の完成。 ・宮平資料館建築完了。	(今後の展開方針) 資料館整備後は、郷土文化や歴史学習の場としての活用。また、避難施設としても防災活動と地域のコミュニティの活動を組み合わせ、地域の文化振興と防災力強化を図る。	5月変更 (計画変更に伴う各目標変更) 10月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
6			平和の日推進事業	H27 ～ H33	10月12日の「町民平和の日」にあわせ平和を祈念し音楽コンサートを開催することにより、平和意識の高揚に努めるとともに平和の尊さを再認識する。	・平和コンサートの開催	・平和コンサート開催 観客動員数350人	(今後の展開方針) ・平和コンサート開催観客動員数 H28 350人 H29 380人 H30 410人	
6			南風原文化センター活用推進事業	H28	南風原町民はもとより県内外及び国外へ向けて南風原町の歴史・文化を含め、町の魅力を広く発信する広報ツールとして活用することを目的に南風原町の文化的プロモーションDVD映像を製作する。	DVD製作(4カ国語)	・世界のうちなーんちゅ大会配布数500 ・県外海外南風原出身者配布数500	・本町のさらなる文化、歴史、伝統継承の振興を目指す。	5月変更 (事業追加)
7			健康長寿復活事業	H25 ～ H29					
7			長寿県復活の応援事業	H25 ～ H29	「健康長寿おきなわ」の復活に向けて、生活習慣病の発症予防及び重症化予防のため健康カレンダー付きレシピの作成・配布 学童期の生活習慣病予防健診を通じて個人の状態に応じた保健指導をモデル事業として実施する。	1.健康カレンダー付きレシピの作成、配布 2.学童期における生活習慣病予防健診保健指導の実施 町内の小5、中2に対して健診データに基づき個人の状態に応じた保健指導を実施。	1.野菜の基準量、摂取を増やす工夫の認知度を保健事業利用者の30%にする。 2.学童健診後の保健指導実施者のうち生活習慣病予防に向けた生活習慣を理解できた割合を50%にする。	健康カレンダー付きレシピ等を用いて、各種保健事業時の保健指導、栄養指導に活用していく。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業	H24 ～ H33	継続的な観光振興を推進するため、県外からの修学旅行受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等でのPR活動、広告媒体を活用した観光情報の発信及び外国人観光客に対するため、多言語観光パンフレットを印刷配布する。	・商工会への補助(修学旅行受け入れ促進等)1件 ・臨時職員 1名 ・PR活動 県外7回 県内3回 ・広告 新聞2紙2回 ・誘客ツール作成委託	・県外修学旅行受入数15校(基準年度H24:15校) ・各種イベント(県内外)ブース来場者16,000人 ・観光MAP 110,000部 ・とかしきマラソン参加者数 800人	・修学旅行誘致活動は、これまでの来島校の継続と、特に関西地区の新規開拓に向け取り組みを強化する。 ・イベントにおいては体験メニューを取り入れたブース運営で、島の魅力を発信する。 ・MAPは、常に最新の情報を取り入れ増刷する。 ・とかしきマラソン参加者の安定確保	8月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1		渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ H33	観光地としてのイメージアップを図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施し、景観浄化に努める。	花木植栽8箇所実施 美化清掃8箇所実施	花木植栽8箇所の完了 美化清掃8箇所の完了	H33年まで継続実施し、本村のイメージアップに努める。	
1		渡嘉敷村観光受入体制整備事業	H26 ～ H33	観光客受入体制の整備に向け、外国人観光客対応として、外国語対応のための人材を確保するとともに、島内民宿等の情報を多言語で案内できるガイドブックを作成する。	外国語案内スタッフ(中国語2名)の配置 多言語民宿等情報誌の制作1万部	外国人等への観光情報案内及びPR活動の実施 渡嘉敷島ガイドブック(日本語、英語、中国語、韓国語)の制作	・人材確保し外国人受け入れ対応を継続する。	8月変更(計画変更に伴う事業内容、成果目標変更)
1		渡嘉敷村観光施設整備事業	H26 ～ H33	観光客等利用者の利便性の向上を図るため、渡嘉敷村青少年旅行村管理棟及び多目的広場の機能強化を行う。	渡嘉敷村青少年旅行村及び多目的広場実施設計の実施	渡嘉敷村青少年旅行村及び多目的広場実施設計の完了	H29渡嘉敷村青少年旅行村及び多目的広場の改修工事と渡嘉志久トイレシャワー施設の機能強化を行う。	8月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更) 2月変更(計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1		渡嘉敷村観光振興実施計画策定事業	H28 ～ H33	国立公園指定などの村の観光資源を活かした観光分野のアクションプラン等を検討し、観光振興実施計画等策定に向けた基礎調査を実施する。	渡嘉敷村観光振興実施計画策定に向けた基礎調査(農業・漁業・製造業・サービス業等)の実施	渡嘉敷村観光振興基本方針の策定完了	観光振興基本計画及び実施計画策定	8月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1		渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ H33	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する。	利用フライト回数：年間42回	運行回数及び搭乗人数：42回、147人	・宿泊施設やHP、船舶予約窓口でのPRにより、利用客数の増加を図る。	2月変更(計画変更に伴う各目標変更)
1		観光情報配信事業	H28 ～ H29	渡嘉敷村の観光振興のため、多様化する国内外観光客のニーズに対応した魅力あふれる観光情報等の配信を実施し、新規観光客の獲得と外国人観光客へのサービス向上を図る。また、観光客の最初の受け皿となる船舶を利用する際の利便性向上やサービス向上のため、インターネットを活用した予約システムの構築を図る。	観光ポータルサイトの構築 インターネットを活用した船舶予約システムの構築	平成29年4月からの観光情報配信及び予約システム供用開始に向けた事業の着実な実施	・観光情報等を港待合所・イベント会場等でより効果的に発信できるようデジタルサイネージを導入、また予約システムと連動した発券・精算システムを構築することで利便性向上を図り、入域者数の増加に繋げる。	8月変更(事業追加)
2		離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から渡嘉敷島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小	村民の島内での購買意欲、購買力向上に繋げる。	
2		自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ H33	離島においては、日常生活を営む中で、医療・教育・福祉関係で沖縄本島での車両利用の機会が増えており、離島住民の負担軽減を図るため、渡嘉敷港・那覇泊港間の車両航送利用者に対し、運賃の半額支援を行う。	渡嘉敷島発、沖縄本島までの往復乗船券購入者の半額を補助する。	自動車航送台数 軽自動車年間 100台 普通乗用車年間 100台	離島における生活環境のハンディが解消されることにより、定住促進に繋がることが期待される。	
3		小学校学習支援員配置事業	H24 ～ H33	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、子ども達の学力向上の推進及び離島の教育環境を改善するため、学習支援員を配置する。	学習支援員配置校 渡嘉敷小学校 1名 阿波連小学校 2名	村内小学校への支援員派遣率：100% 複式学級における学習環境の改善	(今後の展開方針) 児童の学力向上及び離島の教育環境を改善を図る。	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡嘉敷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ H33	村外で実施されるスポーツ大会や、文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な体験を積むことにより、離島の教育的なハンディを克服する。	各種スポーツ大会及び文化活動派遣(小学校2校・中学校1校)	派遣児童・生徒数(累計):222人	(今後の展開方針) 離島の教育的ハンディの克服及び教育意欲の向上を図る。	
3			家庭教育支援事業	H28 ～ H33	小中学生を対象とし、Web会議システムを用いたオンライン双方向授業を実施する。授業では現役の東大大学生を講師とし、日本最高峰の学びを子ども達に提供することにより、教育環境格差の大きい離島地域において、中央と同等レベルの教育を受けることが出来る環境を整備する。	小学校5年(国語・算数)80授業 小学校6年(国語・算数)80授業 中学校1年(数学・英語)80授業 中学校2年(数学・英語)128授業 合計 536授業	全国学力学習状況調査 小学校5年 全国平均以上 小学校6年 全国平均以上 中学校1年 全国平均以上 中学校2年 全国平均以上	平成33年度まで事業を継続し、全国平均を下回らないよう維持していく。	2月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
3			学校ICT活用指導支援事業	H28 ～ H29	教育情報環境を充実させ、コンピュータ操作指導やITに関する専門的な知識の向上、離島における公平な教育機会を確保し学力向上推進を図る。	タブレットパソコンの導入 20台(渡嘉敷小学校18台、阿波連小学校1台、渡嘉敷中学校1台) 学習支援ソフトの導入、(1校4教科) 電子黒板及び周辺機器の導入 7台(渡嘉敷小学校3台、阿波連小学校4台) 教師用講習会	全国学力学習状況調査 小学校5年 全国平均以上 小学校6年 全国平均以上 中学校1年 全国平均以上 中学校2年 全国平均以上 中学校3年 全国平均以上	ICT環境を充実させ、学習意欲の向上、学力向上を図る。	
5			仮戸籍電算化事業	H28	平成25年度に構築した戸籍総合システムに仮戸籍及び福岡戸籍(沖縄の特殊事情による戸籍)をセットアップし、滅失防止を図ると共に、保管・管理の強化を図る。	仮戸籍申告書437戸の電算化 福岡戸籍の96戸の電算化	仮戸籍申告書の電算化率:100% 福岡戸籍の電算化率:100%	臨時戸籍を電算化し、永続的に保管、管理ができるようにする。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			座間味村観光産業活性化事業	H24 ～ H33					
			座間味村海域安全隊事業	H24 ～ H33	村内指定の3ビーチにおいて、観光シーズン及び修学旅行シーズン中、海洋事故防止及び安全確保並びに自然環境の保全活動を図るため、ライフセーバー員等を配置する。	ライフセーバー員等の配置(6名) (7月、8月 8名) ・古座間味ビーチ 2名 ・阿真ビーチ 2名 ・北浜ビーチ 2名 (7月、8月増員2名)	海水浴客等の海洋事故防止と安全確保 死亡事故:H28年度目標0件 (H27年度1件)	事業を継続し、海難防止と海難事故“ゼロ”を目指す	
			座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ H33	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充及び県内外周知活動、県外水族館等での誘致活動等を実施する。	各種イベントへの支援 県内外PRイベントの実施	・ホエールウォッチングフェスタ 7000名 ・ヨットレース:参加35艇 500名 ・座間味島祭りの参加者増、周知強化(850名) ・慶留間島祭りの参加者増、周知強化(300名) ・サバニレース:参加42艇(720名) ・県外水族館等でのPR活動の実施	座間味村観光客入域数の増加に向け 内容を改善しながら支援事業を継続する。 H33年度目標:11万人 H22～26年:平均77,261人	
			座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ H33	外国人を含む観光客の誘客と満足度向上を図るため、村の観光の総合窓口となり様々な事業を実施する観光協会へ支援を行う。	・観光案内所開設365日(台風時等閉鎖) ・イベント等における観光客誘客活動年4回 ・観光事業従事者スキルアップ講座 宿食事メニュー講座 8回 ルルディックイントラ養成 1回 心肺蘇生講習会 1回	・観光案内所利用者数延べ9万人(H27度8万5千人) ・誘客目標 10万2千人 ・観光従事者向けスキルアップ講座開催 宿食事メニュー講座 8回 参加者各10名 ルルディックイントラ養成 1回 イントラ5名 補助イントラ 10名 心肺蘇生講習会 1回 参加者30名	座間味村観光客の更なる満足度を向上に向け内容を改善しながら事業支援を継続する。 また、前年度H33度目標10万人を達成したため、今後は受入キャパを議論しながら誘客活動を展開していく。	
			座間味村美ら島づくり花の森整備事業	H24 ～ H28	国立公園である本村の自然を生かした魅力ある観光地形成と集落内の景観促進のため、座間味・阿嘉・慶留間島において植栽整備を行う。	・村全域サイン整備工事 ・阿嘉・慶留間島の植栽工事 高木・低木・草花植栽	・各区の植栽実施 ・H28年から阿嘉区でも観光協会、港にアンケート調査実施する。 (満足度 H28年は阿嘉で50%)	花木等の植栽でフラワーフェスティバルを開催し、村の目指す観光客11万人に寄与する。	
			ダイバーズ・エッグ・プロジェクト	H26 ～ H28	ダイビング観光客誘客と若年層のダイバーを育てるため、閑散期に(冬場)トライアルプログラム実証調査事業(内容:体験ダイビング)としてダイバーのタマゴを育てその効果検証や調査を行う。	・体験ダイビング 受入人数 500名 ・アンケート調査 500件 ・プロモーション活動 2回	・体験ダイビング受入500名 ・アンケート調査の分析・フィードバック ・1泊での参加者 100名 ・座間味村ダイバーズエッグクラブ会員数800名	引き続きダイビングへのきっかけづくりを行う。参加された方の本村でのCカード取得に向け、村内ダイビング協会とタイアップし、ダイビング産業の活性化を図る	
2			座間味村農林水産産業振興事業	H24 ～ H33					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		計画 期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足 説明等
			H24 ～ H29	村内における漁獲物の付加価値向上と、地産地消の推進、また座間味島・阿嘉島の両鮮魚直売所間の連携強化と商品流通を促進するため漁協の取組を支援する。	地産地消の推進と直売所の強化 賃金2名 流通対策への取組み 大型コンテナボックス 5台 吊り秤 2台	鮮魚直売所の売り上げ 5,000,000円 26年度直売所売上 4,506,735円	観光客や住民に地元産の鮮魚や加工品を安定的に提供し、漁業者の経営安定を目指す。
		H24 ～ H33	サンゴ礁海域の回復に向け、サンゴの種苗の生産と育成、海への植付を行う人材の育成及び施設運営の支援を行う。	・技術者育成 1名 ・種苗センター運営 12ヵ月	・種苗生産の拡大(2,500本) ・サンゴが減少している海域への植付(3回)	サンゴが減少している海域に育成した種苗を継続で植付し、種苗販売の体制が整い植付ダイビングが実施できるまで支援を継続する。	
3		H24 ～ H33					
		H24 ～ H33	悪天候時の離島交通手段を確保するとともに、利用者の利便性向上に向け、船の欠航時やダイヤ変更時にチャーターヘリコプターを利用した場合、運賃の一部支援を行う。	村営船舶航路欠航時等によるヘリコプターチャーター支援の実施	那覇空港～座間味村間フライト290回 H26年度実績182回	関係機関との連携により事業の効率化や利用度向上を図る。	
		H25 ～ H33	離島住民の利便性向上及び高い交通コストの改善を図るため、高額である本島、座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援する。	自動車航送運賃を低減するための支援の実施	支援台数 385台(H26年度実績 385台)	定住促進のために、経済的、精神的負担を軽減し住みよい環境を整備することで、村の総合計画にて目標としている人口増加に努める。	
		H27 ～ H28	災害発生時に、住民や地理に不慣れな観光客が迅速かつ安全に避難場所へ移動できるよう、住民、観光客の安心・安全を図るため、海拔表示板や低地から避難所に向けて避難誘導標識を設置する。	海拔表示板等の設置150基	H27年度に作成した台帳に基づく海拔表示板等の設置完了	設置した海拔表示板等の記載図を広報誌で周知を図り年1回以上の防災訓練を行う。	
		H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から座間味村へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	航路事業者(座間味村)へ対象品目に係る輸送費を支援	・村内登録事業者:8店舗(座間味島5、阿嘉島3) ・1ヶ月あたり証拠書類(船積申込書)530件	運送費の補助を実現したことにより離島住民の定住促進を推進する	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
		多用途住宅整備事業	H27 ～ H28	本村の振興に不可欠なALTや各種団体職員等を安定的に受け入れるため生活の基盤となる住宅を整備する。	・磁気探査の実施 ・多用途住宅建設 RC構造 延べ面積265㎡	・多用途住宅の完成	・住宅に困窮することなく、安定した人材の確保と定住の促進を図る	
4		座間味村外来植物討伐事業	H24 ～ H33	座間味村らしい景観の保全や観光地としての安全性確保のため、村内に自生する外来種（モクマオウ・ギンネム等）の抑制を図る。	委託事業の実施（座間味地区、阿嘉・慶留間地区予定） ・6月～2月、1月平均18人体制	外来植物の討伐（村内一円） ・それぞれの地区において討伐本数年間500本以上	観光地・道路周辺への対応はだいたい対応ができていますが今後は山間部に点在する討伐を実施。（現地への進入路の確保や、安全性への配慮のための下草刈を実施しながらの作業が必要である。また今後は薬品注入を中心に討伐を展開。）	
5		座間味村教育振興事業	H27 ～ H33					
		電子黒板等整備事業	H27 ～ H28	将来を担う児童生徒の人材育成及び学力・情報活用能力等の向上を図るため、児童生徒の興味関心を引き出し集中力を高める分かりやすい授業環境を整えるため各小中学校に電子黒板等を整備する。	・中学校7台 （座間味中3台） （阿嘉中2台） （慶留間中2台） ・電子教科書の導入	・全国学力・学習状況調査において全国平均との差 中学校3年生 平均 +3.7ポイント(現状維持) H27年度の差 +3.7ポイント 全国平均 61.9点 本村平均 65.6点	・整備した電子黒板等を活用した授業の実施。 ・他市町村の活用事例などを参考に、より分かりやすい授業実施の検討を行っていく。	
		教育環境充実事業	H28 ～ H33	児童生徒を対象とする家庭学習支援のため、学校施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向事業を行う「村営学習塾」を開設する。	オンライン授業の実施 賃金職員 4名 備品 PC4台 プリンタ4台 講師派遣 2名	H27年度全国学力・学習状況調査結果 小学校 国語算数 全国平均63.9点 本村平均61.4点= 2.5 小学校 平成29年度 0ポイント（2.5改善） 中学校 国語数学 全国平均61.9点 本村65.6点=37 英語 中学3年卒業までに英語検定試験 3級以上の取得を目指す。	平成33年度まで継続し、レベルの高い高校進学を目指す。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		観光受入支援・整備事業	H24 ～ H33					
1		環境美化促進事業	H24 ～ H33	村内を訪れる観光客の満足度の向上に向けて、観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を実施する。	・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線 ・備品購入(自走式刈払機、チェーンソー) ・満足度調査の実施	・観光地・アクセス道路の観光客受け入れ環境の充実 ・観光客の満足度：70%以上	(今後の展開方針) H29～H33: ・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線 ・観光客の満足度 H33:70%	
1		粟国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ～ H28	粟国村への観光客の誘客を図るため、粟国島「ア」の国まつりの開催、観光ツアーを実施するとともに、粟国島の知名度向上を図るため、島の自然や伝統文化などの地域資源を活用したPRグッズを製作する。	・イベント開催：1回 観光ツアー：1回 ・PRグッズ製作：2点	・イベント来場者数：800人 (参考)H27:800名 H26:700名 ・観光ツアー参加者：35名 (参考)H27:29名 H26:31名 ・来場者満足度調査：90% (参考)H27:92% H26:62% ・観光ツアー満足度調査90% (参考)H27:88% H26:87%	(今後の展開方針) 平成29年度以降は、観光入客数増加に向けた、県内外へ地域情報を発信する。	
1		観光サイン整備事業	H27 ～ H28	粟国島を観光周遊する観光客の利便性の向上を図るため、観光サインを整備する。	・観光サインの設計 観光サインの設置：67箇所 ・路面誘導サイン：10路線	観光サインの設置完了、路面誘導サインの設置完了	事業スケジュール ・H27年度 サイン整備計画策定 ・H28年度 サイン整備計画に基づく観光サインの整備	
1		景観計画策定事業	H28 ～ H29	「粟国島」の豊かな自然や歴史等の風景を活かした魅力的な観光地の景観形成に向けた景観計画を策定するため、基礎調査を実施する。	・景観計画基礎調査の実施	景観計画の策定に向けた環境の整備 ・本村の景観特性、課題の把握 ・風景づくり施策のあり方の整理	(今後の展開方針) H29年度 景観計画の策定 H30年度～H33年度 景観計画に基づく事業の実施	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		照喜名原地区整備事業	H27 ～ H29	粟国島を訪れる観光客の受け入れ基盤を強化するため、「ウグの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。	・照喜名原地区の保全・整備基本設計の実施	・照喜名原地区の保全・整備基本設計の完成	(今後の展開方針) ・H27年度:整備基本計画の策定 ・H28年度:整備計画に基づき基本設計 ・H29年度:実施設計、整備工事 ・H30年度:供用開始 照喜名原地区を訪れる観光入域客数: 約1300人(30年度)観光入域客数(H26:3965人)の3割	8月変更(事業追加)
2		教育振興事業	H27 ～ H33					
2		国際交流支援事業	H27 ～ H33	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材の育成を図るため、村内の中学生の海外短期留学を支援する。 また、留学体験報告の発表を行い、村内小中学生への外国語学習意欲の向上を図る。	・海外ホームステイ生徒派遣 5名 ・報告書作成:20部	・短期留学者から提出された英文報告書を活用した発表の実施 ・英検受験者数の増加(H26実績13人) ・英語スピーチの実施	・派遣予定数 H27年度3名 H28年度5名 H33年度まで各年度5名 合計33名	
2		学力向上支援事業	H27 ～ H33	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、児童生徒の学力向上を図るため、村営塾の運営を行う。	・村営塾の運営	・島内の児童生徒の学習環境の充実 ・全国学力調査で県平均を上回る	・効果的に学習できる環境を整える。 ・村営学習塾(小4～小6)受講率 平成27年度 50%以上 ・村営学習塾(中1～中3)受講率 平成27年度50%以上	10月変更(計画変更に伴う事業内容、活動目標変更)
2		粟国村キャリア教育支援事業	H27 ～ H33	職種が限られた小規模離島における村内の小中学生の職業観の幅を広げ、就業観の形成に向けて、職業を見学・体験をする機会を設けるため、児童・生徒への支援等を行う。	・研修講演 1回 ・沖縄本島での職業見学・体験 1回	島内小中学生の職業を見学・体験をする機会の確保:100% (対象小学生及び中学生全員参加)	H33年度まで事業を継続し、キャリア教育を行う。	12月変更(計画変更に伴う成果目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

粟国村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			児童・生徒派遣支援事業	H27 ～ H33	離島の児童・生徒の島外の大会、教育活動への参加の機会を確保するため、児童・生徒の派遣費を支援する。	・児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援	・島内の児童生徒の島外での諸教育活動への参加機会の確保:100% (県外諸教育活動への要望全部への支援)	・派遣予定数 児童・生徒数各年度約50人	
3			和牛改良支援事業	H25 ～ H28	島内の畜産業の振興を図るため、付加価値の高い仔牛の生産体制を構築に向けて、優良仔牛(母牛になる素牛)の導入する畜産農家を支援する。	・和牛導入支援頭数 10頭 (H25:20頭、H26:10頭、H27:10頭)	・優良仔牛(母牛になる素牛)導入率100%(H25～H28累計) (参考) H25:40%(20頭/50頭) H26累計:60%(30頭/50頭) H27累計:80%(40頭/50頭)	・優良仔牛(母牛になる素牛)約50頭導入(H25～H28累計) 地域内母牛の更新及び改良を行い、付加価値の高い仔牛の出荷の拡大を図る ・仔牛の島外出荷数 ・H28年度見込150頭 (H24年度実績113頭)	
4			定住条件整備事業	H25 ～ H33					
4			離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から粟国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援実証を実施する。	食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(那覇市を100とした場合の指数)の縮小 (参考)H27指標:132程度	(今後の取組) H29～H33: 沖縄本島から粟国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	
4			粟国村交通移動手段安定化対策事業	H27 ～ H33	島民及び観光客の交通ネットワーク手段を安定的に確保するため、航空路線が運航日以外の日にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。	・航空路線が運航日以外の日の島民及び観光客のチャーターヘリ利用料金を一部支援	・定期航空路が運行しない日の島民及び観光客の移動手段の確保	(今後の展開方針) 週7日の定期航空路となるまで継続	
4			粟国村空き家活用推進事業	H28 ～ H29	観光地としての景観向上に向けた島内に残る古民家の保存・再生・活用と定住促進や交流人口の増加に向けた空き家住宅の利活用について検討するため、実態調査を実施し、保全・利活用のための基本計画を作成する。	・保全・活用基本計画の検討	・古民家の保全・再生・活用と空き家住宅の活用に向けた整備を実施するための基礎資料の整理 ・古民家・空き家住宅保全・活用についてとりまとめる。	(今後の展開方針) H29年度 基本計画に基づく整備の実施 H30年度 定住促進・交流人口の増加に向けて、古民家・空き家や住宅を供用開始	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。
H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

粟国村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			福祉文化施設整備事業	H28 ～ H31	定住条件の充実を図るため、子育て・文化振興・健康増進の拠点整備を行う。	・福祉文化施設整備基本計画の策定	・福祉文化施設整備基本計画の完成	(今後の展開方針) ・H28年度:整備基本計画の策定 ・H29年度:整備計画に基づき基本設計 ・H30年度:実施設計 ・H31年度:整備工事 施設を整備することにより子育て・福祉・文化振興の充実が図られ、拠点が集約されることから交流が活発になり、離島の定住条件の充実が図られる。	10月変更(事業追加)
5			粟国村グリーンエコアイランド化推進事業	H27 ～ H28	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、村内に設置されている蛍光灯・ナトリウム灯のLED化事業を実施する。	・防犯灯の設置255本 ・木製柱の撤去63本	・粟国村内防犯灯255灯 CO2年間削減量:19,743kg 基準年度:平成27年度排出量(33,606kg)	・平成29年度以降は、低炭素社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため引き続き地球温暖化対策を行う。	8月変更(事業追加)
6			漁業振興支援事業	H28	後継者が減少している本村漁業の振興に向け、養殖事業の導入可能性調査を行う。	・養殖導入可能性調査の実施	・養殖導入可能性調査の完了	(今後の展開方針) ・H28年度:養殖導入可能性調査 ・H29年度:調査結果を活用し、漁業振興に向けた取組を推進する。	10月変更(事業追加)
7			環境衛生処理事業	H28 ～ H29	循環型社会の形成を図るため、生ごみ処理機を導入し、生ごみの島内処理体制を構築する。	・環境衛生処理施設の実施設設計の実施	・環境衛生処理施設の実施設設計の完成	(今後の取組) ・生ごみ処理機の設置及び生ごみ処理体制の確立を行い、平成30年4月より稼働する。ごみの削減と堆肥による村内環境美化活動を推進する。	10月変更(事業追加) 12月変更(計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	環境保全・美化推進事業	H24 ～ H33	島の自然と人文の調和を基調とした魅力的な観光地づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を実施するとともに、外来植物(ギンネム等)の駆除及び在来植物の保全育成を図る。	集落内及び観光地周辺の緑化や美化を実施することにより渡名喜らしい観光地づくりをめざす。	緑化及び美化活動実施箇所: 28箇所 外来植物駆除実施箇所: 8箇所 在来植物保全育成実施箇所: 14箇所	これまで同様事業を実施し、渡名喜らしい観光地づくりをめざし、観光客や地域の方々が安心・快適に過ごせるよう事業を継続していく。		
2	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ H33	離島観光の利便性及び離島住民の交通基盤の向上を図るため、フェリーが悪天候などにより欠航し、沖縄本島と本村間におけるチャーターヘリを利用した場合、事業所に対し利用者の運賃の一部を支援する。	海上時化によるフェリー欠航でも予定どおり本島へ戻れる安心感や補助金により料金が安価に設定されることで、離島観光の利便性を図ることができ、それに伴う島の活性化も期待できる。	・年間フライト数 35回	・年間フライト数(見込み) H28年度 35回 H29年度～H33年度 50回	12月変更(計画変更に伴う成果目標変更)	
3	渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26 ～ H28	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子ども預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設等からなる多目的拠点施設を整備する。	施設改築工事実施	平成29年4月1日の供用開始に向けた事業の着実な実施(建設完了)	(今後の展開方針) 施設を整備することにより、災害時を想定した避難訓練や幼児・児童と老人との異世代間交流及び福祉関係に関する祭り並びに資料館を使用した渡名喜村の歴史を知るための観光イベントなどを実施していく。		
4	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から渡名喜島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(那覇市を100とした場合の指数)の縮小	本村の食品や日用品等の価格を低減することで、生活コストの低減を図り、本村の定住条件の整備を図る。		
5	児童・生徒の教育活動助成事業	H26 ～ H33	離島のハンディを克服するため、児童・生徒の村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学習への派遣費等を支援する。	小中学生の教育諸活動及び交流学習に係る支援の実施	・スポーツ大会参加(小学生15名、中学生40名) ・文化発表会等(小学生16名、中学生13名) ・交流学習(小学生15名、中学8名)	(今後の展開方針) 人数の多い学校での交流学習や本当地区での大会へ参加することにより、多くの児童・生徒と交流することができ、コミュニケーションスキルの向上や、学習意欲の喚起を図る。	12月変更(計画変更に伴う成果目標変更)	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

渡名喜村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		観光振興整備事業	H27～H31	観光客の受入体制整備が必要とされていることから、観光ルートの整備（案内板設置や安全対策等）や観光施設（トイレ等）の整備に向けた実施設計を行う。	・実施設計業務委託の実施	実施設計の完了	(今後の展開方針) H32: 整備後の利活用 渡名喜ファンを増やし、今後の観光振興等に寄与する。 年間利用者: 1,900人(H27) 年間目標値: 2,300人(H32)	10月交付決定変更(事業追加)

H28活動目標(指標): 平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標): 平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			南大東村定住促進事業						
1			健康診査用機材搬送事業	H24 ～ H33	住民健診が安定的に実施できる環境を整えることにより定住促進を図る為、特定健診等の集団健診に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃及び荷役料、検査技師等の来島渡航費を支援する。	1. 集団健診機材の海上輸送運賃の委託 2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の委託	集団健診受診者数:360人(41.0%)	(今後の展開方針) ・平成28年度以降受診率を維持する。	
1			専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ H33	定住促進を図る為、沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民の渡航費を支援する。	専門病院受診渡航費助成の実施	経済的な事情により、受診を遅らせたり、見送ることが無く早期治療により、重篤化防止に繋がりが安心した生活ができる。 専門病院受診者 155人 付添人 45人	(今後の展開方針) ・平成28年度以降継続的に渡航費の負担軽減を行う。	
1			南大東村多目的交流拠点施設整備事業	H25 ～ H28	村民交流、伝統文化継承や人材育成、農漁村を中心とした各種研修をはじめ、観光客との交流を図るとともに、災害時には、村民及び観光客の避難施設として活用するため、村の多目的拠点施設を整備する。	建築工事実施・備品購入	多目的拠点整備の供用開始。	(今後の展開方針等) ・H28年4月～12月外構工事 ・H28年度内の供用開始	
1			屋根付相撲場整備事業	H27 ～ H28	伝統ある江戸相撲、沖縄相撲をこれからも伝承していく必要がある為、練習場及び試合場を整備し、雨天でも常時使用できる屋根付相撲場を設置する。	建築工事実施	屋根付相撲場建築工事完了。	(今後の展開方針等) ・H28年度:建設工事 ・H29年度:供用開始	
1			離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小(参考)H23指標:142.5	(今後の展開方針等) H29～H33:沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	
1			農業雇用者確保整備事業	H28	島外・国外からの農業雇用者の受け入れ施設を確保し、島外者が安定的に定住できる施設等を整備する。	・国有財産(土地・建物)の取得	・農業雇用者住宅の設置完了	(今後の展開方針等) ・H29年度から農業雇用者住宅の活用	8月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			南大東村観光振興事業						
2			花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ H33	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	・観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 10箇所、アクセス道路 1,000m) 賃金職員雇用3人 工事予定地:夕日の広場アクセス道路	・観光地へのアクセス道路の植栽による景観の向上。 ・観光施設の清掃。	(今後の展開方針) ・H28年度以降継続的に美化清掃、植栽を行う。	
2			大型クルーズ船観光魅力発信支援事業	H28	島の特異な自然・文化・特産品等の魅力発信の為、大型クルーズ船の寄港を誘致する。	島内観光(船11隻、レンタカー25台)・郷土芸能体験(司会1名、芸能4組)	来島数 ・乗客300名 ・クルー50名	(今後の展開方針) ・H28年度以降継続的にクルーズ船誘致を行う。	
3			南大東村人材育成事業						
3			人材育成派遣事業	H25 ～ H33	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	吹奏楽部26名 中学校総合文化祭10名 英語スプリング・スピーチ大会6名 体育関係派遣72名	吹奏楽コンクール・アンサンブル大会(優秀賞受賞)、英語スプリング大会・スピーチコンテスト(県大会出場)、地区大会(60名出場)・県大会(20名出場)中学校総合文化祭(10名)	(今後の展開方針) H33年度まで事業を継続し、練習成果を十分発揮できるように派遣費を補助し人材育成を推進する。	
3			人材育成環境強化事業	H26 ～ H33	村営学習支援塾に講師を配置して、細かな学習支援を行い、質の高い確かな学習を習得させて、情報化社会に対応できる人材育成と学ぶ環境を整備する。	学習支援センター学習支援員1名	小学校話すこと聞くこと、読むこと算数Bひとり5ポイント向上。中学校、国語数学ともひとり5ポイント向上。	(今後の展開方針) ・H33年度まで事業を継続し、県平均を1ポイント上回るようにする。	
4			南大東村安らぎ空間整備事業	H24 ～ H28	墓地管理の利便性を高めるとともに、参拝者や墓地利用者の安らぎの空間づくりに繋げるため、墓地整備計画に基づき、区画整備等を行う。	駐車場、車道、区画整備(3タイプ)の工事実施。	南大東村霊園墓地整備の完成及び平成29年の4月の運用開始。	(今後の展開方針) ・霊園墓地整備後は、公営墓地として整備、運営、管理を一括で行う。又、環境衛生や景観、土地利用等を重視する事により、墓地霊園の分散化、風化にならないよう努める。	
5			南大東村環境保全・景観保全推進事業	H28	南大東村の環境、景観保全を保つ為、最終処分場施設に小型高速燃料焼却炉を設置し整備する。	・小型高速燃料焼却炉の設置及び建屋工事。	・小型高速燃料焼却炉の設置及び建屋完了。	(今後の展開方針等) ・H29年度:小型高速燃料焼却炉の活用	5月変更(事業追加)
6			安心安全強化対策事業	H25 ～ H28	自然災害発生時における住民や観光客の避難場所とする為、ゲートボール場として使われているスパーク南大東(屋内ゲートボール場)の機能強化を図る。	屋内ゲートボール施設(スパーク南大東)の機能強化(補修・補強)工事	屋内ゲートボール施設(スパーク南大東)の機能強化(補修・補強)工事の完了	(今後の展開方針) ・H29年度:スパーク南大東(屋内ゲートボール場)の活用。	8月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	魅力的な観光地づくり促進事業	H24 ～ H33						
1	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ H33	島の文化資源である『八丈太鼓』の担い手を育成するとともに、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。	・大東太鼓担い手育成練習回数(延べ数):9～10日/年 ・演奏備品購入:太鼓(1台) ・文化交流イベントの開催:5回(県外:1回・県内:4回)	・文化資源の担い手育成数:1人 ・文化交流のイベント演奏参加者数:40人(延べ人数)	(今後の展開方針) 文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続		
1	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ H33	島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:清掃員2名	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:2,500m	(今後の展開方針) 修景及び美化の実施雇用を最終年度まで継続		
2	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ H33	遠隔地である離島において、課題となっている教育環境格差を解消する為、都市部と同様の学習環境を提供できるオンライン双方向授業を行う。	・オンライン双方向授業講師:10人 ・オンライン双方向授業受講生徒:35人	・全国学力状況調査における全国平均との差正答率の差を縮小 小学校(4ポイント改善) 北大東村 59点 全国平均 63点 中学校(6ポイント改善) 北大東村 46点 全国平均 52点	(今後の展開方針) 学力向上と教育環境格差の解消を継続		
3	定住条件特別対策事業	H24 ～ H33						
3	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ H33	子育て基盤の構築に向け、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。また、村営塾を充実させるため、学習支援員を配置する。	・幼稚園児の預かり保育の実施のための支援員の配置:2人 ・学習支援員の配置:1人	・預かり保育を利用する園児数:10人 ・村営塾受講者数:35人	(今後の展開方針) 預かり保育・特別支援・学習支援配置を継続		
3	離島の児童の交流促進事業	H24 ～ H33	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進するため、スポーツや交流学習における渡航費の支援を行う。	・渡航助成の実施	・スポーツや交流学習等の為に派遣する児童生徒数(延べ数):30人	(今後の展開方針) スポーツや交流学習派遣を継続		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

北大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ H33	離島の不利性を克服し、妊婦・特定重病患者等の健康を守るため、妊婦検診や島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の支援を行う。	・妊婦検診助成の実施 ・特定重病患者の検診助成の実施	・妊婦検診助成回数(延べ数):50回 H27年度:5回/1人 ・特定重病患者(延べ数):45回	(今後の展開方針) 妊婦検診の際の渡航費・滞在費助成を継続	
4			北大東村景観形成事業	H26 ～ H33	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行う。	・村一周海岸道路の植樹環境整備 監理・工事の実施:900m	・村一周海岸道路の植樹環境整備 監理・工事の完了:900m(累計:3,500m(進捗率38.9%(全長9,000m)) 雑木伐採等の完了:900m(累計:3,500m(進捗率38.9%(全長9,000m))	(今後の展開方針) ・村特有の岩礁や風景を活かした景観形成を行う事で、観光客の誘致、観光産業の振興に繋げる	
5			北大東村防犯・安全景観整備事業	H27 ～ H28	島を訪れる観光客や車両運転手・歩道歩行者等から街路灯・歩道照明の不足が指摘されており、防災・防犯・安全や景観整備の観点から街路灯・歩道照明の設置整備を行う。	・島内主要道路・歩道の街灯照明設置:街路灯:54箇所・歩道照明:650個 設計監理・工事の実施	・島内主要道路の街路灯・歩道照明設置の完了:26,000m	(今後の展開方針) ・主要道路の街路灯・歩道照明を設置し、防災・防犯・安全や景観整備し、車両運転手・歩行者の利用に繋げる	
6			離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から北大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(那覇市を100とした場合の指数)の縮小 (参考)H22指標:143程度	沖縄本島から北大東島へ輸送される食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	
7			北大東村コミュニティ施設周辺整備事業	H27 ～ H30	北大東村内で毎年行われる祭り行事において、県内・県外から、多くの関係者や観光客が訪れている。水産・観光業の発展を図る近隣場所として、歴史継承や文化的景観の保全・活用の為、コミュニティ施設周辺整備を行う。	・金比羅宮備品格納倉庫(25㎡)・櫓の整備 ・大東宮周辺整備設計の実施	・金比羅宮備品格納倉庫(25㎡)・櫓の整備完了 ・大東宮周辺整備設計の完了	(今後の展開方針) ・施設周辺の備品格納倉庫・境内園路・観覧席・櫓等を整備し、産業・観光振興への観光誘致に繋げる	5月変更(事業追加)
8			定住受入基盤構築事業	H28	島外や県外からの移住を促進する為、集合住宅(6世帯)を建設し、定住者の受入基盤を整備する。	・定住住宅の整備(6世帯):設計の実施 ・定住住宅の整備(6世帯):工事の実施	・定住住宅(6世帯)の設計完了 ・定住住宅(6世帯)の工事完了	(今後の展開方針) ・定住住宅を建設し、農林水産業・観光業・教育等の人材受入基盤の整備が図られる。	5月変更(事業追加) 10月変更(計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			伊平屋島観光商工業活性化事業	H24 ～ H33					
1			商工観光産業支援事業	H24 ～ H33	伊平屋島の安住を支える重要な産業である観光を振興するため、協会への支援を通し、受入体制の強化、村内への誘致活動、各種イベントの開発能力の向上を図る。それにより、リピーター及び新規顧客の獲得による観光消費額の増大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 観光推進協議会職員の雇用(3名) 視察研修(年2回) 人材育成講座開催(3回) 集客誘致活動(年2回) 旅館業取得民家との業務調整 マリンアクティビティ備品の整備 教育旅行誘致業務委託 活動車両整備 	<ul style="list-style-type: none"> 旅館業取得民家の増加 21戸 平成29年3月 29戸 人材バンクの増加 3人 平成29年3月 7人 マリンアクティビティ備品の整備完了 教育旅行誘致 1校 活動車両整備完了 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用した商品・サービスの開発と販売 各種プログラムの品質管理、安全管理 行政への企画提案と情報共有 国・県等からの外部資金調達等 	5月変更 (計画変更に伴う各目標変更) 8月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
1			観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ H33	魅力的な観光地づくりの推進を目的とし、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設等の美化、清掃や花木の植栽などを実施する。	環境美化作業員16名	観光アクセス道路の美化清掃:51.6km 観光関連施設の美化作業 18カ所	(今後の展開方針) H33年度:観光客数3万人	
1			誘客イベント推進事業	H24 ～ H33	村のメインイベントである「いへやまつり」「伊平屋ムーンライトマラソン」や村の自然資源等を活用した、イベント並びに、島外において「伊平屋村」をPRするイベントを開催することにより、伊平屋村の認知度を高め、入域観光客数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> イベント開催委託 10件 イベント開催支援 3件 観光コーディネーター 1名 	「対象イベント等誘客数 平成27年度 7,589名」 (平成26年度7,514名 入域観光客数2,4,5,7,10月入域観光客数より算出) 「キャンプツアーを含む誘客受入体制の構築」	入域観光客数を毎年、前年度比1%増を目標とし、H33年には21,000人を超えることを目標としている。	
1			海浜公園植栽及び緑化体制整備事業	H24 ～ H28	村のキャンプ場として位置づけられる米崎海浜公園の利便性、快適性の向上や良好な景観形成に向け、公園内の植栽をおこなうと共に島内の緑化推進に向け、中核となる人材の育成を図り、村民参画による島内緑化推進体制の整備を行う。	フクギ等植栽 1,700本程度 視察研修、植栽実施研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 植栽木の成長により、緑陰機能の回復が図られ、利便性、快適性の向上 村民参画による緑化推進体制の整備 	(今後の展開方針) 平成28年度:供用開始 H33年度:観光客数3万人	
1			公園修景等整備事業	H28 ～ H30	国指定を受けた念頭平松を中心とした、景観に配慮した、衛生施設(トイレ)、休憩施設の整備を行い、快適性、利便性の向上とともに観光地としてのイメージアップ、伊平屋らしい原風景の創出を図る。	調査設計業務の実施	調査設計業務の完了	平成29年度～平成30年度 工事 平成30年10月供用開始予定	
2			伊平屋島農林水産業振興事業	H24 ～ H30					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			病害虫防除事業	H24 ～ H30	作物の生産性の向上と農家所得の向上を目指し、さとうきびの収穫量低下の原因となっている病害虫の被害を防ぐため防除駆除を実施する。	防虫剤(フェロモン剤)散布:160ha	・病害虫の防除等によるサトウキビ生産量の安定化 H23年度 1,758t H28年度 4,900t	(今後の展開方針) さとうきび反収量 目標値(H33年度):4.0t 基準値(H23年度):2.2t	
2			伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ H30	本村の畜産業の振興を図る為、計画的に優良繁殖雌牛を導入し、肉用牛繁殖農家へ導入費用の一部を助成することで肉用牛の増頭と飼育農家の経営安定化を図る。	優良繁殖雌牛導入頭数 14頭	優良繁殖雌牛の飼育頭数の増 H27年度 190頭 204頭	(今後の展開方針) H26年度:15頭 H27年度:15頭 H28年度:14頭 H29年度:14頭 H30年度:14頭 を年次的に導入する。	
2			伊平屋村農業用資材(堆肥)供給施設機能強化事業	H28 ～ H30	農作物の反収増加を図り農家所得の向上と経営の安定化に資するため、堆肥の安定生産と生産量の増加を図る必要があることから、老朽化した堆肥センターの機能強化のための、実施測量設計を行う。	実施測量設計業務の発注	実施測量設計業務の完了	(今後の展開方針) H29年度:施設機能強化工事 H30年度:施設使用機械等機能強化を導入する。	10月変更 (事業追加)
3			伊平屋島人材育成強化事業	H24 ～ H33					
3			伝統文化継承支援事業	H24 ～ H28	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座の実施や保存会等の活動を支援する。	伝統文化教室の開催:14教室/11回 島内芸能保存団体補助:8団体	伝統文化教室の参加者数:100名 伝統芸能保存活動及び後継者育成 ・地謡(三線)継承者の育成5名	(今後の展開方針) 伝統文化教室開講数 目標値(H28年度):14教室 基準値(H24年度):11教室	
3			特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ H33	村立幼稚園での特別支援が必要な園児に対し特別支援員を配置するとともに、中学校での習熟度に遅れのある通級児童生徒を対象に学習支援員を配置し、授業のサポートや課外学習として、中学3年生を対象に村営塾を開講し個々にあったきめ細かい学習支援を実施する。	○幼稚園特別支援員の配置1名 ○学習支援員の配置2名	○学力テストにおける無回答者の減少 ○幼稚園教育における個々の学習環境の充実	(今後の展開方針) H25年度～H33年度 安定的に中学生への学習支援を実施する。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			英語学習支援事業	H25 ～ H33	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を推進する。	・海外短期留学(アメリカ) : 3名 ・イングリッシュキャンプ : 40名	○英語検定合格者の増加 ・H25年度25名 H27年度30名 ・留学終了後のムーンライトマラソン等のボランティア協力及び実践発表会開催 ○島外英語スピーチコンテストへの派遣:3名	(今後の展開方針) H25年度～H33年度 海外短期留学 3名 サマ-キャンプ 40名	
3			伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ H33	村外で実施されるスポーツ大会や文化交流等各種教育活動に積極的に参加し、離島の小規模校では経験できない他地域での各種体験をとおし、児童生徒の健全な育成を推進するため、派遣費用を助成する。	・島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加 小学校 : 5回 中学校 : 6回 ・対象児童生徒 小学校 : 児童110名 中学校 : 生徒51名	保護者の経済的負担の軽減	(今後の展開方針) 毎年10回程度の派遣助成をする。 また、実績に応じた助成等も行っていく	
3			学校ICT推進事業	H27 ～ H29	小・中学校の教育用パソコン、電子黒板等のICT環境を整備し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに「分かりやすい授業」を実践し「確かな学力」を定着させ、将来を担う人材育成を推進する。	伊平屋小学校・伊平屋中学校・野甫小中学校電子黒板等の整備 ・電子黒板 : 17台 ・教育用コンピューター 23台 ・学習用ソフトウェア 一式	・ICTを活用した授業の割合 小学校25% (H27 10%) 中学校30% (H27 25%)	(今後の展開方針) H28年度～H29年度 ・電子黒板等導入	
3			伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ～ H30	島の活性化に欠かせない人材育成を中学卒業までの間に米やサトウキビ等島内産の特産品を活用した商品開発、沖縄本島での様々な職種に触れる実践及び経験等を交え、島での産業発掘をテーマに起業する力を身につけさせる。	起業家人材育成中学1年生18名 中学2年生21名 計39名	・プレゼンカの向上 パワーポイント活用者中学1,2年生徒39名 発表会開催(生徒による、パワーポイントを活用した発表)	・島内での起業展開意識の萌芽 ・村内資源の再認識	
3			伊平屋村「ふるさとの音景」CD制作プロジェクト	H28	島の生活の中で生まれる「音」を収録したCDを制作し、「島発ち」を迎える15歳の村内在住者、成人式で帰郷する方等に対し、音によるメッセージで情報発信を継続的に行い、村の愛着の萌芽、望郷の念の醸成に取組、今後村の振興発展に寄与する人材を育成、再発掘を行う。	伊平屋村の日常の音の収録(波風、まつりの音、学校校歌等) 島の子供達と作詞作曲した「ふるさとの宝箱」の収録 ムーンライトマラソンテーマソング収録 ジャケットデザイン編集 CDプレス インターネットプロモーション用ダイジェスト映像作成	・「ふるさとの音景」CD制作 1,000枚	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	5月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	伊平屋島定住条件整備事業	H24 ～ H33						
4	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ H28	伊平屋島の定住条件を整備するため、幼稚園預かり保育強化として嘱託保育士を配置する。	嘱託保育士の配置:1名	預かり保育対象児童数:6名程度	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人		
4	慢性疾患児童等通院時渡航費助成事業	H25 ～ H33	島内に無い専門医療健診の受診促進のため、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。	慢性疾患児童等通院時渡航を支援する。30回	専門医通院治療に係る住民負担の軽減	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)	
4	ウェルネスいへや推進事業	H27 ～ H33	高齢化社会や地理的要因から生ずる医療格差に対応するためには、病気にかけられない予防対策が非常に重要である。 そこで、健康づくりは自ら行い、地域で支え合う環境を整備するため、各字公民館にフィットネスプログラム映像機器設置(CG映像を活用した運動メニューの提供)と健康教室を開催する。	・フィットネスプログラム映像機器を5集落に設置 ・フィットネスプログラムを活用した健康教室の開催 年間12回	・住民健診の受診率の向上 H26年度 59.9% H28年度 65.0% ・1人当たりの運動習慣の向上 H26年度 41% H28年度 55%	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人		
4	住民健診フォローアップ推進事業	H27 ～ H33	住民健診の結果により、がん検診等において要精密検査となった者やメタボリック・シンドローム及びその予備軍を対象とした二次健診の受診に掛かる渡航費を支援する。	住民検診等による精密検査等再検査の渡航費支援 24人	精密等未受診率の減 H27年度 未受診率 51% 平成28年度 30%	(今後の展開方針) 定住人口 目標値(H33年度):1,500人 基準値(H23年度):1,290人	2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)	
4	地域自立支援推進事業	H24 ～ H29	行政と住民が協働して行う島づくりの体制の構築に向けて、地域が自主的に考え取り組むためのワークショップ開催を支援する。	行動計画の実施及び成果確認(ワークショップ10回)	行政と住民が協働で行う島づくり体制の強化 作成した行動計画の着実な実施	(今後の展開方針) H28 ワークショップの開催・講演会の実施 H29 ワークショップの開催・講演会の実施 地域住民の参加率 H29 5割		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			集落環境整備事業	H25 ～ H29	地域住民による自助、共助、公助の仕組みづくりを促進するため、住民協働による、清掃活動、拝所の修繕、危険箇所対策等主体的な取り組みについて支援する。	実施計画 1. 地域住民による美化・緑化活動 (集落内公園等や集落道の環境及び美化作業) 2. 地域住民による集落景観の保全、危険箇所の改善(集落内の排水路、不在住宅及び敷地の補修等) 3. 地域文化の保全、社会教育活動の推進(豊年祭、スポーツイベント等) 4. 地域住民による、自助、協助、公助の推進に係る取組 上記 1.2.3 に係る 5. 地域防災体制の構築に係る取組(地域防災計画に基づく点検作業)	行政と住民が協働で行う島づくり体制の強化 作成した行動計画の着実な実施	(今後の展開方針) 計画に基づき計画的な地域環境等の整備の推進 活動への地域住民の参加率 H29 5割	
4			自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ H33	島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減するため、その一部を支援し、定住環境の改善を図る。	自動車航送運賃の低減 H28年度:年間5,448台(H26年度: 4,570台)	車両航送運賃の補助による定住環境の改善	自動車航送運賃の低減による定住環境の改善 H33年度目標 年間 5,520台	2月変更 (計画変更に伴う活動目標変更)
4			伊平屋村火葬場機能強化事業	H26 ～ H28	本村の火葬場は整備後24年が経過し老朽化が進んでおり、斎場としてのスペースが無く、トイレ・待合室などもバリアフリーとなっていない。そのため、葬儀に係る住民負担の軽減と定住条件の向上に向け、火葬場の機能強化の為に改修、増築及び備品購入を行う。	・火葬場改修工事監理業務委託 ・火葬場改修工事(防水・待合室・ホール・トイレ・湯沸室) A=219.1㎡ ・備品購入(待合室) 一式	・火葬場改修工管理業務委託の完了 ・火葬場改修工事の完了 ・備品一式の購入完了	(今後の展開方針) H28 葬祭場施設の管理委託及び施設の利用開始	
4			不法投棄未然防止事業	H28 ～ H29	島内に産業廃棄物等の処理施設を保有していない事から、不法投棄が多くその処理について、観光振興の観点からも早急に取り組む必要がある。又、今後抑止力を高めるの事業計画を策定する。	残存、新規不法投棄の数量調査を実施する。	不法投棄問題解決へ向けて、検討協議会等で方向性の確立を図る。不法投棄調査の完了	新たな不法投棄の未然防止及び廃棄物ゴミの減量化を目指す。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			生ゴミ等循環型資源活用事業	H28 ~ H29	本村における生ゴミの処理は、一般可燃物と同時に回収または集落前海岸埋設又は投棄されており、集落の環境衛生悪化及びゴミ焼却施設における処理機能のコスト負担増の要因となっているため、環境保全啓蒙活動及び現状把握調査及び処理システムの整備を図る。	生ゴミ処理及び一般廃棄物処理にかかる協議会発足と先進地視察研修等を行い生ゴミ資源化に対する村民への啓蒙活動の徹底	・生ゴミ処理及び一般廃棄物処理に係る協議会発足 ・先進地調査の完了 ・生ゴミ資源化に対する村民意識の向上	(今後の展開方針) ・H29年度事業(農林水産課管轄)堆肥センター機能強化事業の生ゴミ処理機導入計画とのタイアップをはかり、生ゴミの堆肥有効利用により、循環型資源活用サイクルの定着化	
4			離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ~ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から伊平屋島、野甫島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小 (参考)H27指標:128.9	・H28~H33 沖縄本島から伊平屋島・野甫島へ輸送される食品や衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る	
4			障がい者自立支援事業	H25 ~ H29	本村の障害者活動団体の支援を月8回程度行いながら、就労支援に向けた信頼関係を深め、絆を構築しながら年間活動を行っていく。又、就労支援施設整備に向けた障がい者拠点施設実施設計を行う。	・障がい者活動団体支援員の配置 ・障がい者自立支援施設実施設計業務委託	・障がい者活動団体支員の配置 1名 ・障がい者自立支援施設実施設計業務委託の完了	(今後の展開方針) ・H29:施設建設工事 ・H30就労支援施設開設予定	5月変更(事業追加) 8月変更(計画変更に伴う各目標変更)
4			伊平屋村環境保全整備事業	H28	住民や観光客が安心して過ごせる島づくりに向け、島内かつ県内で処理が困難な廃棄物の適正処理を行う。	・伊平屋村環境保全整備業務委託発注 ・処理困難物の島外への収集収集運搬の完了 100%	・伊平屋村環境保全整備業務委託の完了 ・処理困難物の適正処理完了 100%	(今後の展開方針) ゴミの広域化を目指し、島外近隣市町村への要請活動を行っていく。	10月変更(事業追加)
5			伊平屋島「災害に強い村づくり」推進事業	H25 ~ H28					

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		消防力強化機材整備事業	H28	災害時及び水難事故発生時における、遭難者不明者の捜索活動や救出活動に速やかに対応出来るよう救助艇の導入並びに人材育成を行うことにより消防団の機能強化を促進する。	水難事故等救助艇(運搬台車込) 1艇 購入 水難者救助用ライフスレッド購入 1台 救助艇運用資格者育成講習派遣 5名	水難事故等救助艇(運搬台車込) 1艇購入の完了 水難者救助用ライフスレッド購入完了 1台 救助艇運用資格取得者 5名	(今後の展開方針) 団員の技術向上の救助訓練の充実 その他老朽化機材の整備を図る	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		伊是名島観光振興事業	H24 ~ H33					
1		観光地等クリーンアップ事業	H24 ~ H33	本村に数多く点在する史跡や文化財を地域資源として活用していくため、村内の各種イベントで使用する会場や観光施設、観光ルート等の草刈作業や花壇等の環境整備を行い、花木の植栽など美化活動を行う。	観光ルート等の雑草の除去及び花木の植栽、肥培管理の実施 まつり会場(1カ所)、フットパスコース(1カ所)、集落内外(5カ所)、フラワーロード(4カ所)、観光施設等(4カ所) バックホウ、ホイールローダーの導入	美化緑化により観光客受入態勢の構築 美化緑化整備箇所:15カ所 バックホウ導入:1台 ホイールローダー導入:1台	入域観光客数 平成34年度:43,000人	10月変更 (計画変更に伴う各 目標変更)
1		いげな尚円王まつり支援事業	H24 ~ H33	本村の魅力を発信し、観光客の誘客を図るため、いげな尚円王まつりにおいて、各字・島外文化交流、マリンレジャー、スポーツ交流、各種体験プログラム等を実施する。	いげな尚円王まつりの開催支援	いげな尚円王まつりの来場者数:2,000人 (参考 H27来場者数:2,060人)	まつり来場者数 平成33年度:2,500人	
1		いげな88トライアスロン大会支援事業	H25 ~ H33	いげな88トライアスロン大会の受入体制の強化、イメージアップを図るため、大会運営を支援する。	いげな88トライアスロン大会の支援	トライアスロン参加選手:600人 ボランティア・関係者及び観戦者:400人 (参考 H27参加者:555人、関係者:305人)	大会運営に必要な備品等を計画的に調え、安全な大会運営を維持し、参加者の満足度向上を目指していく。	
1		「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ~ H28	魅力ある歴史の島づくりを進め、更なる誘客による観光振興を図るため、PR活動を行う一方、尚円王に関する史跡等の整備・復元を行う。	・観光ガイド等養成講座の実施 ・みほ所修復整備設計業務 ・旧蔵品修復・復元業務 ・史曲「尚円」の上演	平成28年度入域観光客数:35,000人 観光ガイド、インストラクター等養成講座の実施による観光人材育成:5人	入域観光客数 平成34年度:43,000人	
1		伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ~ H33	観光誘客を促進するため、場外離着陸場を活用した新たなイベント事業として、モータースポーツ大会を支援する。	ドラックレース大会の開催:3回 スーパードリフト大会の開催:3回 エキサイティング・ジムカーナ大会の開催:2回	ドラックレース大会来場者数:300人 スーパードリフト大会来場者数:400人 エキサイティング・ジムカーナ大会来場者数:200人	規模を徐々に拡大していき、モータースポーツのメッカとしての地位を築くことで観光誘客に繋げていく。	12月変更 (計画変更に伴う活 動目標変 更)
1		いいな運天港いちゃり場まつり支援事業	H26 ~ H33	観光誘客を促進するため、伊是名村・伊平屋村・今帰仁村の三村交流連携事業である「いいな運天港いちゃり場まつり」を支援する。	「いいな運天港いちゃり場まつり」の支援	「いいな運天港いちゃり場まつり」の実施による三村の交流	伊平屋村・伊是名村・今帰仁村、三村の広域連携事業として、継続して開催していく。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1		沖縄らしい風景づくり推進事業	H26 ～ H33	人と自然が共生する村づくりを推進し、地域と一体となった魅力的な景観形成を推進するため、個人が実施する外観形成に有効な赤瓦屋根の葺き替えに要する経費を支援する。また、地域での景観形成活動を行う団体にも活動費の一部を支援する。	景観形成への支援 団体支援 5団体 赤瓦助成 1件	景観の向上:5集落 赤瓦助成:1件	景観重点地区に限定した赤瓦屋根の新設・葺き替えに対し赤瓦助成をする。これにより、伊是名らしい景観保全が図られ、観光誘客が期待されるため、実施に向け取り組んでいく。	10月変更(計画変更に伴う事業内容、各目標変更)
1		屋之下原スポーツアイランド事業	H28 ～ H33	地域資源を活かした産業振興のため、サーキット場、パークゴルフ場等を整備する。	屋之下原スポーツアイランド基本計画策定業務の実施	屋之下原スポーツアイランド基本計画の策定	基本計画に基づき、H29基本設計を実施する。	
1		臨海施設機能強化事業	H28 ～ H33	本村の玄関口である仲田港ターミナルを含む臨海施設を機能強化するための基本計画を策定する。	臨海施設機能強化基本計画策定業務の実施	臨海施設機能強化基本計画の策定	基本計画に基づき、H29以降に実施していく。	8月変更(事業追加)
1		尚円王マラソン大会支援事業	H28 ～ H33	尚円王マラソン大会の受入体制の強化、イメージアップを図るため、大会運営を支援する。	尚円王マラソン大会の支援	参加者:900人	大会運営に必要な備品等を計画的に調え、安全な大会運営を維持し、参加者の満足度向上を目指していく。	12月変更(事業追加)
2		伊是名島定住条件整備事業	H24 ～ H33					
2		伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ H33	離島の定住促進を図るため、沖縄本島の今帰仁村運天港とを結ぶフェリーの自動車航送運賃を軽減する。	自動車航送コスト支援の実施	自動車航送コスト負担軽減数:5,733台	自動車航送コスト負担軽減数 平成33年度:6,000台	
2		妊婦健診渡航費助成事業	H24 ～ H33	離島ハンデを克服し、定住条件を整備するため、14回の妊婦健康診査時の交通費及び宿泊費、36週以降の滞在時の宿泊費の一部を支援する。	妊婦健診に要する経費支援の実施	妊婦健診に要する経費の支援件数:98件	配偶者同行時の配偶者への支援、また、産後の健診時や1ヵ月健診時の交通費及び宿泊費の支援を検討する。	
2		人工透析医療受給者助成事業	H24 ～ H33	人工透析受給者の通院医療の安定化を図るため、医療受診に要する本島への交通費及び宿泊費を支援する。	人工透析に要する経費支援の実施	人工透析に要する経費の支援人数:3人	2日に1回の透析通院は高齢者にとって非常に負担となっており、少しでも軽減できるよう対策を検討する。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	火葬場整備事業	H27 ~ H28	住民が安心して定住できる環境を整備するため、火葬場の機能を強化する。	工事監理業務の実施 火葬場増改修工事の実施 火葬炉整備工事の実施 遺体用保冷库購入の実施 非常用発電機購入の実施	工事監理業務の完了 火葬場増改修工事の完了 火葬炉整備工事の完了 遺体用保冷库購入の完了 非常用発電機購入の完了	住民サービス向上に繋がり、住み慣れた島で安心して暮らしていける島づくりを目指す。	12月変更(計画変更に伴う各目標変更)	
2	地域活動拠点活性化事業	H27 ~ H30	地域活動の活性化を図るため、拠点施設を整備する。	地域活動拠点施設基本設計業務の実施	基本設計の取りまとめ	H29:実施設計 H30:実施(建築) H31:供用開始		
2	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ~ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から本村へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小(参考)H27指標:129.5	実施後の効果を検証し、本島との価格の格差を是正を図っていく。		
2	地域防災計画策定事業	H28	地域の特性をふまえて、村民や観光客の安全安心等を確保するため、地域防災計画を策定する。	地域防災計画策定業務の実施	地域防災計画の策定	防災計画を基に、災害対策に必要な整備を施し、安全・安心な村づくりに努める。		
2	伊是名村総合的なサービス提供体制強化事業	H28	村内に居住する独居老人、老夫婦世帯及び障害児等を対象とした総合的な福祉サービス事業を展開するため、送迎用車両及び地域訪問用車両を導入する。	送迎車両:1台 巡回訪問車両:1台	介護予防事業のため週3回の送迎一人暮らし世帯等の週5回の巡回	充実した福祉サービスが可能となることから、地域包括ケアシステムが助長され、共に生き・支え合う住みよい村づくりを促進できる。	8月変更(事業追加)	
2	高齢者福祉施設整備事業	H28	本村で一カ所しかない高齢者福祉施設の需要増加による受入に対応するため、高齢者福祉施設を機能強化する。	機能強化設計業務の実施	実施設計完了	充実した福祉サービスが可能となることから、地域包括ケアシステムが助長され、共に生き・支え合う住みよい村づくりを促進できる。	10月変更(事業追加)	
3	尚円王の里人材育成事業	H24 ~ H33						
3	人材育成事業(日高小との交流事業)	H24 ~ H33	沖縄と北海道という異なる生活圏で暮らす子ども達が、それぞれの地域を訪れ、その地域の自然や歴史、生活に触れ、体験学習・交流学習を通して友情を育むことで、広い視野と協調の精神を養うため、日高小との交流事業を実施する。	日高小学校との交流・体験学習の実施 児童:11人 引率者:5人	児童の協調の精神等の向上についてまとめた報告書の作成	22回を経過したことで、これまでの事業内容等を精査した上で、より効果的な事業展開を図る。		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ~ H33	離島である本村の児童生徒の島外スポーツ活動及び文化活動への積極的な参加を促すために、派遣費を支援する。	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数:7団体	大会等派遣児童生徒数(累計):300人以上	引き続き大会等に参加できる機会を増やし、意欲や能力の向上を図っていく。	
3			幼稚園預かり保育支援事業	H24 ~ H33	保護者が安心して仕事ができる環境を整備するため、幼稚園預かり保育の嘱託保育士を配置し、教育課程に係る教育時間終了後に預かり保育を実施する。	保育士の雇用:2人	預かり保育を利用する幼児数:30人	夫婦共働き世帯が多く、保護者から時間延長の要望があることから引き続き継続していく。	
3			グッジョブ連携推進事業	H27 ~ H33	児童生徒に自己理解・自己実現に向けた意欲の向上、また、目的意識の高揚や就業意識の向上を図るため、小学校ではジョブシャドウイング、中学校では職場体験等のキャリア教育を実施する。	小学校:ジョブシャドウイングの実施 小学校5年生:15人 中学校:職場体験学習の実施 中学校2年生:19人	児童生徒の目的意識の高揚や就業意識向上についてまとめた報告書の作成	島内外での多種多様な職場体験企業の発掘。 事業継続により、学びの興味や関心に対する希薄さの解消及び体験、経験することによる意欲の向上を図る。	
3			学習支援事業	H24 ~ H33	児童生徒の学力向上を図るため、村営学習塾及び特別支援員教育支援員、学習支援員を配置する。	週5日程度学習塾を開講 学習支援員の確保:2人	学習塾利用生徒数:46人	学習塾の開講及び学習支援員の配置について、民間の専門的指導力を導入することで、小中学生の学力向上を図っていく。	
3			学校ICT推進事業	H25 ~ H28	基礎学力の定着及び学力の向上を図るため、電子黒板を整備する。	中学校に電子黒板を設置:6台	電子黒板の活用講習:2回 沖縄県到達度調査において地区平均を上回る。	電子黒板の活用について、講習会等を実施し、学校と教育委員会が連携を図り取り組んでいく。	
4			伊是名村農林水産振興事業	H24 ~ H33					
4			伊是名村土づくり支援事業	H24 ~ H33	安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上のため、沖縄本島からの堆肥購入費用及び輸送費用を支援する。	堆肥導入数量:3,000t	堆肥の散布を行うことによる地力の向上 (散布目標面積 38ha)	堆肥散布することで地力増強につながることを農家へ周知し、土づくりを促進することによる生産性の向上を図る。	12月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業	H25～H30	本村における畜産業の振興を図るため、計画的に優良繁殖雌牛を導入する肉用牛繁殖農家等に対し、導入費用の一部を支援する。	優良繁殖雌牛導入頭数:7頭	H28年度:7頭(導入率91%)	計画的に繁殖牛を導入することで、村内の飼養頭数が増加し、現在不足している堆肥原料を確保する。 H29年度:7頭(導入率100%)	
4		伊是名村地域資源リサイクル促進事業	H28	堆肥原料の確保を図るため、既存の地域資源リサイクル施設に大型破砕機を導入する。	自走式破砕機の導入	自走式破砕機の導入:1台	破砕された木屑等を不足している堆肥原料へ混入することで、堆肥原料の確保を図り、最終的には農家へと還元されることにより農作物の生産性の向上を図る。	8月変更(事業追加)
4		植物工場実証事業	H28	現在利用されていない鉄骨ハウスを修繕し、植物工場として再利用するための検討・実証を行う。	植物工場実証調査業務の実施	調査報告書の作成完了	今年度の調査を踏まえ、次年度に実証事業を実施し、平成30年度以降に植物工場事業を展開していく。	10月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			久米島農林水産業活性化推進事業	H24 ～ H33					
1			漁港施設機能強化事業	H24 ～ H33	本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要漁港に漁船巻揚機の設置を行う団体へ支援を行う。	漁船巻上機(1基)の導入	巻き上げ機整備率(全体10基)50%	平成29年度供用開始 荒天時(台風等)に大型漁船を避難できる体制を整備し、漁民の労働負担や経費負担を軽減する。	
1			モズク加工場機能強化事業	H24 ～ H33	本町水産業の主要品目であるモズクの加工施設の強化を図り生産性の向上につなげるため、モズクの品質向上に必要な冷凍設備の整備を行う団体へ支援を行う。	・冷凍設備設置	生産性の向上と品質管理の確立	平成29年度供用開始 冷凍保管により商品の品質を保ち出荷し漁家所得向上に繋げる。	
1			車エビ養殖場設備強化事業	H24 ～ H33	本町の主要品目である車エビの品質及びブランド力向上のために必要な、車エビ養殖場の水門、2号池中央排水、仕切壁及びエプロンの整備を行う団体へ支援を行う。	・2号池中央排水、仕切壁及びエプロン整備 ・水門の整備	生産性の向上と衛生管理の確立	計画的な施設の機能強化を図り、養殖車エビの品質向上・ブランド化に取り組む。	
1			優良雌牛導入事業	H26 ～ H33	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を図り畜産業の振興につなげるため、優良遺伝繁殖雌牛の導入事業を行う団体へ支援を行う。	優良繁殖雌牛導入(70頭)	・優良雌牛導入率:32% (導入予定:510頭)	導入頭数(累計) H33年度:510頭 農家の高齢化等により成牛が減少傾向にある。安定した出荷体制を確保するため、導入予定を240頭から510頭へ変更した。	
2			久米島特産品開発・販路開拓事業	H24 ～ H33					
2			久米島紬販売促進事業	H24 ～ H33	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した販売会や問屋呉服店への販即訪問等を行う団体へ支援を行う。	県内・外での展示会参加数 8回	・反物売上額 H28年度 7,700万円 (参考H27年度 7,500万円) ・小物売上額 H28年 1,500万円 (参考H27年度 1,400万円)	反物売上額 H26(基準年) 7,100万円 H33(最終年) 7,950万円 小物売上額 H26(基準年) 1,000万円 H33(最終年) 2,050万円	
2			久米島特産品販路開拓事業	H24 ～ H33	本町特産品の販路拡大を図るため、県内外で開催される物産展への出展を支援する。また、加工食品製造スキルアップ研修会の開催や統一デザイン装飾品製作等を行う団体へ支援を行う。	・物産展開催・参加 10回 ・講習会、勉強会の開催 12回	・物産展における販売額 H28年度 2,648万円 ・久米島加工食品製造スキルアップ研修会参加事業所数 8社	物産展における販売額 H26(基準年) 2,238万円 H33(最終年) 3,030万円 アンテナショップ:H28.7事業取下げ	10月変更 (計画変更に伴う事業内容、各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			久米島観光誘客促進事業	H24 ～ H33					
3			久米島観光誘客支援事業	H24 ～ H33	久米島の良さを効果的に伝え観光客の誘客を促進するため、島の魅力を活かした旅行商品の企画、各種イベントの開催や広報活動等を実施する。	観光案内人2名配置 イベント開催(3件) 広報推進事業 広報活動 7件 団体ツアー商品造成 40ツアー 観光パンフレット製作 1件	観光情報案内及びニーズを把握し、観光満足度の向上を図る。 ・入域観光客数 平成28年度 105,000人 ・イベント参加人数 平成28年度 920人 ・広報推進事業 広報活動 7件/久米島の認知度向上	入域観光客 H26(基準年) 92,771人 H30(観光振興計画最終年) 120,000人 イベント開催 H26年度(基準年)参加者 758人 H33年度(最終年)参加者1,070人	
3			久米島観光プロモーション事業	H25 ～ H33	本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。	・国内大手の旅行及び宿泊予約サイトを活用した誘客促進 ・観光PR映像を活用した誘客促進 ・メディアプロモーション(県外テレビ放映)	・メディアミックスプロモーション 1社 ・WEBプロモーション 1社 ・メディアプロモーション(県外テレビ放映):1件	国内大手のWEBエージェントにて久米島の春夏秋冬の情報を4回発信する。併せてマスメディアによるPRを行う。情報の拡散効果を図るためFacebookも活用する。	
3			体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ H28	本町の観光入域客数を増加させ観光産業の振興を図るため、修学旅行受入促進のための旅行商品の開発、販売促進事業を実施する団体へ支援を行う。	・民泊の営業許可の取得件数 10件 ・体験プログラム・開発・改良件数10件	・修学旅行入域者数 H28年度 700人(参考H27年度 577人) ・体験プログラム利用者数 H28年度 1,450人(参考H27年度 1,376人)	修学旅行 H28年度(最終年)入域目標 700名	
3			スポーツ合宿誘致事業	H26 ～ H33	観光客が減少する冬季の誘客促進を図るため、スポーツ合宿の誘致活動を実施し、スポーツコンベンションの推進を図る。	野球・陸上合宿誘致 パークゴルフ大会、愛好者誘致	陸上合宿 4件(40名) 大学野球合宿 6件 パークゴルフ大会 2件(島外参加者数160人) パークゴルフ愛好者(観光客) 1,800人	H33年度(最終年) 陸上合宿6件 大学野球合宿6件 パークゴルフ大会2件、愛好者2,100人	
3			航空路線拡充対策事業	H26 ～ H33	伸び悩む観光入域誘客の増加に繋げるため、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、航空路の充実・強化を図る。	チャーター便実現の為、久米島空港での給油を行う。 新規航空会社の誘致及び誘致に係る調査及び活動を行う。	チャーター便運航数:H28年度 114便(参考H27年度 38便) 要請及び調査活動:4回 新規航空会社誘致体制の確立	H33年度(最終年) チャーター便運航数:114便 新規参入航空会社 1社	10月変更(計画変更に伴う成果目標変更)
4			「夢つむぐ島」づくり推進事業	H28 ～ H33					
4			子育て支援事業	H28 ～ H33	子育て支援の充実を図るため、幼児から小学生が気軽に安心安全に遊べる施設を整備する。また、家族連れの観光客が安心して遊べる公園を整備することにより、観光地としての魅力アップを図る。	・ふれあい公園遊具の設置	・公園内の遊具を充実させることで子育て支援体制の整備を図る。 ・遊具整備率(全体3公園)33%	・ふれあい公園:H29年度供用開始 ・H31年度 遊具整備(仲里A公園(仮称)) ・H33年度 遊具整備(イーファ公園(仮称))	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			火葬場・葬祭場施設整備事業	H28 ～ H29	町民の安心安全な生活環境を確保するため、火葬場及び葬祭場を整備する。	・火葬場・葬祭場施設実施設計 ・火葬場・葬祭場建設工事	・火葬場・葬祭場施設実施設計の完了 ・火葬場・葬祭場建設工事の完了	・平成29年10月供用開始予定 H29: 駐車場整備工事	8月変更 (計画変更に伴う各目標変更)
5			久米島環境保全・美化推進事業	H24 ～ H28					
5			球美の島エコアイランド化推進事業	H24 ～ H28	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。	約535灯のLED防犯灯を整備・設置	・LED防犯灯整備率: 100% (導入予定: 1,650灯)	事業完了 適切な維持管理に努める	
5			球美の島緑化推進事業	H24 ～ H28	久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。	ツツジゾーン造成、植栽工事及び駐車場整備工事	ツツジゾーン造成、植栽工事及び駐車場整備工事の完了	平成29年4月全面供用開始	
6			久米島地域資源発掘・活用促進事業	H24 ～ H33					
6			沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ H33	本町の優れた景観を次世代に受け継ぎ独自の景観形成を推進するため、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を支援する。	・景観活動団体支援 ・景観形成支援	・景観活動団体支援 3団体 ・景観形成支援 2戸	(今後の展開方針) 助成件数(累計): H33年度 ・景観活動団体支援 18団体 ・景観形成支援 18戸	
6			個性豊かな文化の振興事業	H24 ～ H33	伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行っている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。	・民俗芸能の保存・継承・後継者育成 ・民俗芸能発表会の開催	・発表会出演者130名 来場者450名 ・継承に関する聞き取り調査資料2件	団体の掘りおこし ・H33年度 育成団体 累計27 発表会出演団体数 ・H33年度 累計81	
6			文化遺産保存活用事業	H24 ～ H33	豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため古文書(博物館資料)の修復を行う。	・古文書修復 件数: 145件 ・翻刻・口語訳 件数: 36件	・古文書修復の割合29% (1625件中476件(累計)の修復) ・翻刻・口語訳の割合47% (288件(1625件中、重要史料数)中138件(累計)の修復)	・修復した割合 H30年度: 58% H33年度(最終年): 100% ・翻刻・口語訳した割合 H30年度: 68% H33年度(最終年): 100% ・修復した古文書の公開活用 H29年展示準備・検討を行う H30年展示公開活用を行う	

H28活動目標(指標): 平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標): 平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6			久米島現代版組踊り創作事業	H24 ～ H33	若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを実演する。	若い世代(中高生)による創作現代版の組踊り公演 40名～50名参加	・ふるさとの歴史や文化を地域の人々が再発見し、その誇りと魅力を自発的に発信し歴史的文化観光資源を創出する。 ・公演回数:15回	久米島でのイベント等での公演や島外での公演を行なうことで久米島の魅力のアピールを行なう。中高校生が文化の担い手として文化歴史を紹介するガイドの育成に繋げる。	
7			久米島教育環境の充実・整備事業	H24 ～ H33					
7			英語指導員配置事業	H24 ～ H33	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。	英語指導員配置数:小学校1名 小学校3年生から6年生(3,4年生120時間、5,6年生210時間)で実施する。	英語指導員の配置 小学校:1名 町内全6小学校の児童が英語を活用してコミュニケーション力の向上。	中学校の外国語教諭と連携を密にし授業改善(内容・単語・センテンス等)について検討する。	
7			基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ H33	確かな学力を身につける教育の推進を図るため、学習未定着率の高い小学校へ補助指導員を配置し、国語・算数を中心とした基礎学力向上支援を行う。	基礎学力向上学習支援員配置数: 小学校3校に各1名。	学習未定着児童の学力向上 各種調査(全国学力学習状況調査等)で県平均以上にする。	H33年度まで事業を継続し、全国平均以上とする。	
7			特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ H33	特別に支援を要する児童に対し個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等教師と連携した支援体制の充実を図るため、特別支援員を各学校へ派遣する。	特別支援教育支援員配置数:小学校12名、中学校3名。	児童生徒の総合的な学力向上に繋げる。全国学力学習状況調査等で、正答率30%未満の児童生徒の数を減少させる。 小学校6.7% 5% 中学校27.5% 23%	H33年度まで事業を継続し、正答率30%未満の児童生徒を小学校3%、中学校10%以下とする。	
7			児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ H33	児童・生徒の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、課外活動として島外で開催される各種大会への派遣旅費について支援を行う。	管内中学校生徒 700名参加	生徒派遣(700名)により多様な能力と心身の発達や育成を図る。	・遠征費に係る補助割合の検証 ・参加することができなかった生徒の検証 ・大会参加者の目標・成果の検証	
7			教育用ソフト導入事業	H27 ～ H28	わかりやすい授業で学習意欲や学力の向上を図るため、中学校において主要教科のデジタル教科書、操作用ノートパソコン及び電子黒板付きプロジェクターの整備を図る。	・ソフトウェア購入 2中学校×3学年×5教科 ・操作端末購入ノート型PC 23台 ・電子黒板機能付きプロジェクター15教室	生徒の総合的な学力の向上。沖縄県到達度調査の正答率過去3年間平均値からの向上。 国語(過去平均)59.9 61.9(目標値) 数学(過去平均)41.7 43.7(目標値) 理科(過去平均)35.6 37.6(目標値) 社会(過去平均)52.1 54.1(目標値) 英語(過去平均)48.1 50.4(目標値)	教諭の研修などを行い、よりわかりやすい授業を展開する。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			八重瀬町外国語指導強化事業	H24～H33	国際化に柔軟に対応できる力を養うため、授業を行いながら外国語にふれることでグローバルな人材育成を行う。	外国語指導助手:3人 (4園4小) 英語指導助手:2人 (2中へそれぞれ配置)	配置率100% H28年度児童生徒数 4小学校(5・6年生)620人、及び2中学校985人うち検定希望者、 英語検定受験者中8割合格	(今後の展開方針) H33年までに幼稚園3,271人、小学校5,964人(5・6年対象)、中学校8,589人計17,824人の児童生徒に国際化に柔軟に対応できる力を養うために外国語をふれ合う機会を与える。	
1			八重瀬町パソコン指導強化事業	H24～H33	パソコン操作の能力向上を強化するため、ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置する。	パソコン指導員配置数:4人 (小学校に2人配置中学校に2人配置)	配置率100% H28年度児童生徒数3.67人 4小学校希望者、2中学校検定希望者、 ワープロ検定受験者中8割合格	H33年までに幼稚園3,271人、小学校17,483人、中学校8,589人計29,343人の児童生徒に情報の基本操作及び情報活用能力を養う。	
1			八重瀬町伝統芸能文化の継承事業	H24～H33	八重瀬町の伝統文化の継承を図るため、組踊、三線、エイサー等の伝統文化の授業を行い、授業の成果として発表会を開催する。	中学校への講師招聘:24人	特別授業終了後の発表会参加生徒数:3学年245人	H33までに中学校6,392人の生徒に地域の伝統文化の継承と地域の方達との交流を学ぶ。	
1			八重瀬町学力向上支援事業	H25～H33	学習の遅れがある児童生徒への学習指導を通して、児童ひとり一人の学習意欲を高め学力向上のため、小学校及び中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員配置数:16人 (小学校:10人 中学校6人)	配置率100% 到達度テストの沖縄県平均	今後も同様な人数の確保及び増員をさせて、学習意欲の向上に努めながら、到達度テストの県平均正答率向上	
1			八重瀬町特別支援員配置事業	H27～H33	心身に障害を持つ児童生徒に対し、適切な支援を行うため、各小中学校に特別支援員を配置し支援体制の充実を図る。	特別支援員配置数:20人 (小学校:14人 中学校6人)	配置率100% 支援児童生徒38名	対象となる児童生徒数や状況を見極め、適正な特別支援員配置をとおして安全性の確保、教育の公平性を確保する。	
1			切磋琢磨学力パワーアップ事業	H26～H28	町内中学校県教育委員会の学力向上の主要施策「にぬふい星プラン」のもと推進されてきたが、未だ全国学力・学習状況調査では全国と大きな差があるため、学力向上の下支えとなる、土曜講座や長期休業中講座等の補習を中心に学力向上を図る。	土曜講座 38回×2中学校 平成28年6月～平成29年2月 定期テスト補習講座 5回×2中学校 長期休業中講座 5回×2中学校 三年生対象高校入試模試 1回×2中学校	全国学力学習状況テストにおいて、全国との差が10ポイント以上あるので、その差を5ポイント以内に縮める。また、中学三年生は高等学校への合格率を上げる。	個別指導を中心に自己肯定感を高めながら基礎的・基本的な事項の定着を図る。 事業開始時期を4月に位置付け、早期の取り組み開始を図り、全国学力状況テストの正答率の全国平均の差10ポイントの差をできるだけ無くす。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ～ H33	国際的視野を広め、国際化時代に対応する青少年の育成を図るため、教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を行う青少年リーダーを海外に派遣する。	海外短期派遣生徒数：12人	ホームステイの実施 帰国後の研修会及び報告会の実施 短期派遣を実施した結果、英語を学ぶ関心・意欲が高まり、視野が広がった生徒の割合：100% 報告書の作成(100冊)	海外短期派遣生徒数(累計) H33年度：120人 ・派遣留学生のみならず、報告会の実施による波及効果により町内の児童生徒の英語への学習意欲を高める	
1		八重瀬町青少年人材育成交流事業	H26 ～ H33	幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や、集団生活を通して、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけ、心身ともに健やかな青少年の健全育成を図るため、風土・文化の違う他県の子どもたちと交流を行う。	(夏期) 児童生徒交流者数 12人 (冬期) 児童生徒派遣者数 38人 事後報告書の作成 研修報告書の作成	沖縄にはない他県の歴史や文化、風俗、習慣等を学ぶことで、地元への関心を高め視野が広がった生徒の割合：100% 事後報告会の開催(1回) 研修報告書作成(100冊)	H28～H33 延派遣者数 300人	
1		渡嘉敷リーダー研修事業	H26 ～ H33	風土、文化の異なる、多文化圏での活動を通し、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活により規律・協調・友愛・奉仕等の精神を養い、心身ともにすこやかな青少年の健全育成を図るため、リーダー研修を実施する。	渡嘉敷リーダー研修の実施	渡嘉敷リーダー研修の実施(参加者100名)	継続して100名以上の参加者を募り、毎年リーダーを輩出する。	
2		八重瀬町イベント事業	H24 ～ H33	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する団体を支援する。	こいのぼりあしびイベントの開催支援 まるごと八重瀬フェアイベント開催支援 青年エイサー祭り開催支援 やえせ桜まつりイベント開催支援	こいのぼりあしび来場者数3,500人 まるごと八重瀬フェア来場者数4,000人 青年エイサー祭り来場者数 10,000人 やえせ桜まつり来場者数 4,000人	H28～33年度： こいのぼりあしびイベント開催 H28～33年度： 青年エイサー祭り開催 H28～33年度： やえせ桜まつりイベント開催	
2		八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ～ H33	観光地としての魅力向上を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路等の美化清掃を行う。	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業	観光地・アクセス道路の除草作業、緑化作業 観光地：8箇所 アクセス道路：4.0路線	定期的な除草を行い安心安全な観光地としての受入れ体制を整える。	
2		八重瀬さくらのまち整備事業	H25 ～ H33	南部唯一のさくらの名所として県内外に広くアピールし、知名度の向上と観光地の魅力向上を図るため、さくらまつり会場である八重瀬公園のさくらを、年間を通して集中的に生育保全を行う。	さくらの植栽工事 公園内のさくらの生育保全	さくらのまち整備事業の進捗率：88%	桜の名所として八重瀬公園の桜を充実させ、桜まつりにおける来場者数の増加を図る。	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			破名城の郷整備事業	H24 ～ H28	破名城の郷を整備することにより、観光施設の充実を図り、町のイベントや浜での自然体験等を行い観光振興につなげるため、アクセス道路や遊歩道の整備を行う。	遊歩道の整備工事及び用地取得 トイレ、シャワー施設の実施設設計及び 施設整備工事	用地取得率100% 破名城の郷整備事業の完了	H29年度供用開始に伴い、遊歩道及びアクセス道路を有効活用し、本町のさらなる観光振興を目指す。	
2			八重瀬町戦跡整備事業	H25 ～ H28	八重瀬町の地域資源を活用するため、町内の戦争遺跡を整備し、歴史・平和学習等へ活用する。	・実施戦跡公園整備(遊歩道、東屋等)	戦跡公園整備の完了	戦跡公園(遊歩道、休憩所等)を整備し、利便性を向上させることにより、年間利用者数の増加を図る。	
2			運動公園施設等整備事業	H24 ～ H33	プロチーム・大学のキャンプでも利用されるサッカー場・野球場・サブグラウンド等の施設を整備しハイレベルな練習環境等を整え、スポーツツーリズムの振興を図る。	サッカー場、プロ仕様芝生整備 野球場、サブグラウンドの段差解消工事 芝管理機械の購入	県外からの野球チーム(3チーム)、サッカーチーム(3チーム)のスポーツキャンプを受入	H28年度～33年度 スポーツキャンプ受入	
2			八重瀬町観光資源活用事業	H28	町内の史跡や遺跡などの文化財を含む公園施設等を観光資源として活用するために周辺道路に誘導看板を設置し、本町を初めて訪れる観光客が目的地に迷うことなく快適に移動できる環境整備を行う。また、公園施設の利用案内パンフレットを製作し、文化財巡りや公園施設活用の利便性を高める。	周辺道路の誘導看板の詳細設計 案内パンフレット情報内容を検討	誘導看板の設置 西部プラザ公園の案内パンフレットの製作	誘導看板を整備することで町内の文化財や公園施設へ快適に誘導する。 西部プラザ公園において案内パンフレットを製作し、文化財巡りや施設活用の利便性を高める	
2			八重瀬町スポーツ交流マネジメント計画策定委託事業	H28	さらなるスポーツキャンプの誘致、観光客の集客を図るため、八重瀬町スポーツ交流マネジメント計画を策定する。	交流マネジメントの計画の検討	本町の現状、課題の把握 年後に向けたスポーツ施設の強化、修繕の計画の決定	計画を活用して、有効的な施設整備を行う。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		八重瀬町観光拠点施設整備事業	H27 ～ H33	本町の観光を推進する拠点機能としての観光インフォメーション施設、特産品等の販売施設、体験型・交流観光推進施設等の観光振興機能の導入を図るとともに、沖縄本島南部観光における中継地点として利用されるよう整備する。	・八重瀬町観光拠点施設の建設 観光拠点施設本体 (RC2階 1,110㎡) 屋外トイレ (RC1階 101㎡) 屋外広場 (S造 181㎡) 小型駐車場整備 76台 大型駐車場整備 6台	・八重瀬町観光拠点施設の完成 観光拠点施設本体 (RC2階 1,110㎡) 屋外トイレ (RC1階 101㎡) 屋外広場 (S造 181㎡) 小型駐車場整備 76台 大型駐車場整備 6台	○平成29年4月施設供用開始予定 ○観光拠点施設内の事業内容 ・特産品等の販売 ・観光団体の受け入れ ・観光案内所の開設 ・イベントの開催等 ○今後の展開 H29 自動車充電施設の導入 H33 FM局の導入	5月変更 (事業追加)
2		八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26 ～ H30	観光事業が落ち込む冬場に注目度の高いJリーグ加盟のサッカーチームキャンプを誘致し、観光誘客を図る。	・Jチーム3チーム以上の誘致 ・地域交流：サッカースクール町内小学生80名 ・イベント開催、参加	・イベント：ファン感謝まつり等開催 ・キャンプ来客数：8,000人(H27来客数：5,000人)	(今後の展開方針) ・継続したJチームのキャンプ開催 ・地域交流事業の開催	5月変更 (事業追加)
3		八重瀬町観光ブランド魅力創出事業	H24 ～ H33	本町の地域資源を魅力ある観光資源として提供するために、地域資源の調査・ブラッシュアップを実施し、魅力を伝えるためのプロモーション、体験観光イベントの開催、地域との協働による受け入れ体制の仕組み創り、まち歩き等観光資源の商品プログラム作成を行う。	県外観光プロモーションの実施 2回 誘客のための観光企画プログラムの作成 3個 体験観光の実証イベント 1回	体験観光の実証イベント 来客数 500人 観光PR企画の実施 3回	八重瀬町の魅力ある観光ブランドを創出し誘客を行っていくために、地域との合意形成を図りながら受け入れ体制の構築とプロモーションを同時に図り、体験滞在型の観光振興を実施していく。	
3		八重瀬ブランド販路構築支援事業	H24 ～ H33	八重瀬町の地域資源を活用した八重瀬ブランドの構築と拡張のための取り組みを支援するとともに、小規模事業者であるブランド参画事業者を支援し全体的な底上げを図る。そして参画事業者の所得向上及び地域活性化を促すように、販路構築の支援を行う。	参画事業者の集中支援 3社 中期実行計画に基づいたブランドイメージの再構築 ブランド情報誌作成のための情報収集とパンフレット作成	新商品開発 2品 八重瀬ブランドコンセプト制作 ブランド発信情報誌の制作 1万部 情報誌の設置 県内道の駅、店舗他 30か所	小規模事業者を八重瀬ブランドとして確立させるために必要な支援を行い、参画事業者の所得向上に繋がるように販路拡大支援を継続的に実施していく。 新規に開発した商品の目標売上額(平成32年度) 1,170千円	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ H33	八重瀬町の観光振興を推進するにあたり、観光施策を構築し積極的な観光プロモーションを実施するため、観光プロモーションの管理業務支援員の配置、発地への観光プロモーション等の旅費、観光パンフレットの作成を行う。	プロモーション支援員 2人配置 多言語観光パンフレット作成 観光プロモーション 2回	多言語観光パンフレットの設置 県内30か所 八重瀬町プロモーションの企画提案実施 5回 県外観光客誘客プロモーション 2回	八重瀬町の認知度向上を図るために県内外に観光プロモーションを実施し、観光パンフレット等必要な施策を効果的に構築させることにより魅力ある八重瀬町を観光プロモーションしていく。	
4			八重瀬町地産地消フェア事業	H26 ～ H30	農林水産業の振興を図るため、本町にて拠点産地に指定されている農作物等や畜産物・水産物及びそれらを使用した加工品等について、イベント開催を通じて地場産業の情報発信や展示販売等を実施する。	地産地消まつり開催支援(2箇所) 農作物のPR 農作物の展示販売の実施	地産地消まつり来場者数:2,000人 農作物の展示販売額(60万円)	八重瀬町の認知度向上、農作物のPR効果を測定し、今後の事業展開を適切に見直していく。	
4			八重瀬町和牛改良支援事業	H26 ～ H30	農家の経営の安定化・質の高い食用牛の改良を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。	優良母牛導入頭数:30頭	優良母牛導入率:60%	H26～H30 優良母牛150頭導入(累計)	
5			防災備蓄品整備事業	H26 ～ H28	大規模災害時には物資の補給が困難となり、孤立してしまう恐れがあるため、災害に備え避難所に避難してきた住民に対し災害用トイレ袋、トイレトイレットペーパー、毛布等の備蓄品を供給できるようにする。	防災備蓄品の購入 災害用トイレ袋 4,000枚 トイレトイレットペーパー 384個 毛布 440枚	目標備蓄数に対する達成率(平成28年度) 災害用トイレ袋 : 100% トイレトイレットペーパー : 100% 毛布 : 100%	防災備蓄品の充実を図ることで、大規模災害時に孤立した場合でも物資の供給ができ、避難者の生命を守ることができるとともに避難所での混乱を防ぐ。	
5			避難誘導案内標識設置事業	H28 ～ H29	住民や本町を訪れる観光客等の安心・安全を確保するため、八重瀬町に適した避難誘導案内標識の設置を行う。	設置箇所検討 表示内容の設定検討 案内標識の詳細設計	避難誘導案内標識設置に向けた設置箇所の決定及び詳細設計の決定	決定した設置箇所及び設置方法によって避難誘導案内標識の設置をH29年度に行う。	
6			やえせのシーちゃん広場整備事業	H27 ～ H28	八重瀬町では土地区画整理事業による総合的な魅力を備えた交流拠点としての整備により、新たな中心市街地の形成のため、やえせのシーちゃん広場を整備する。	シーちゃん広場実施設計監理及び工事	シーちゃん広場工事完了	広域的な交流拠点として、多くの人やもの等のにぎわいが創出され、本町の新しい中心地としての活性化に期待ができる。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ H29	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるためとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手の旅費を支援する。	バスケットボールクリニックの開催 ハンドボールクリニックの開催 児童生徒の県外派遣費の助成	バスケットボールクリニックの実施 ハンドボールクリニックの実施 児童生徒の県外派遣費助成 クリニック参加者数 200名	離島であるハンディを多少なりとも支援し、県外で活躍できる選手の育成を図る。	
8			子育て世帯ゆいまーる支援事業	H27 ～ H33	各クラブの会計・事務の補助を行い、指導員が保育業務の向上を図る環境を整える。各学童の施設情報、空き状況の情報管理及び窓口での情報提供体制を整える。	各児童クラブの会計、事務管理の支援及び施設情報、空き状況の情報管理支援員の配置 1人	児童クラブの会計・事務管理の支援により、各学童クラブの施設情報・空き状況の情報及び窓口での情報提供を行えるようにする	指導員が保育業務向上を図れる環境整備。 現状把握し、課題の改善に取り組みながら、H34年まで支援を続ける。	
9			運動公園省エネ化推進事業	H28 ～ H33	運動公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため運動公園の照明設備をLED取替工事を行う。	東風平運動公園陸上競技場:LED照明設置	(東風平運動公園陸上競技場) 電力費・CO2削減 約45.6%削減 電力費:約501,000円/年削減 CO2 :約20.47t/年削減	環境にやさしい運動公園の施設整備として、LED照明を積極的に導入し、二酸化炭素と消費電力の削減を行い、地球温暖化の防止を図ります。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを、

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを、なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

多良間村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			美化緑化推進事業	H25 ～ H33	快適な観光地を形成するため、観光関連施設や周辺道路等の美化・緑化を行う。	年間とおして美しい環境で利用できるようにする。	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施 農村公園、ふるさと海浜公園、八重山遠見台、ミッジ公園等9カ所	年間とおして美化・緑化の行き届いた施設を利用して観光客誘致を進める。	
1			多良間村観光振興基本計画策定事業	H27 ～ H28	観光産業を振興するため、その柱となる観光振興基本計画を策定する。	多良間村観光基本計画の検討	多良間村観光振興基本計画の策定完了 (平成29年度～平成38年度の10年間計画)	多良間村観光振興基本計画を基本とした施策を企画・立案し実施する。	
1			観光関連施設整備事業(食事・土産品施設)	H27 ～ H29	地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、観光客等への食事・土産品の提供の場を整備するための基本設計をする。	基本設計・実施設計の作成	基本設計・実施設計の作成完了	実績を基に実施設計、施設整備を行う。	5月変更(事業追加) 10月変更(計画変更に伴う各目標変更)
2			イネヨトウかく乱法防除事業(フェロモンチュウブ)	H25 ～ H29	さとうきびの生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチュウブを設置し、雌を探す雄の行動を阻害し、交尾率を低下させることにより、イネヨトウの次世代密度低下を図る。	さとうきびのイネヨトウ被害を防ぐためフェロモンチュウブ設置による防除を行う。 フェロモンチュウブ設置対象面積416ha	さとうきびの安定生産と品質向上により、農家所得の向上が図れる。	(今後の展開方針) イネヨトウの繁殖、被害状況等を調査しながら今後も実施していく。	
2			多良間新製糖工場整備事業	H27 ～ H28	本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、製糖事業者の製糖コストの軽減、製品の品質向上及び安心・安全な製品の確保を図るため、含みつ糖製糖施設を整備する。	含みつ糖製糖施設外構工事整備	外構工事調査測量設計業務、外構工事を実施	(今後の展開方針) 平成29年度供用開始予定	
2			優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ H31	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	優良繁殖雌牛の導入頭数:15頭	H27～H31の5年間で75頭 H28優良繁殖雌牛導入率:20%	H27～H31の5年間で75頭(15頭×5年)の優良繁殖雌牛を導入予定	
3			児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27 ～ H33	児童生徒の意識の高揚、スポーツの技術力向上等、未来を拓く子ども達の能力向上を図るため、島外で実施される各種大会へ児童生徒を派遣する。	各種大会への児童生徒派遣	児童生徒の派遣による交流推進と意識高揚	(今後の展開方針) 引き続き各種大会へ派遣し、児童生徒の意識高揚、能力向上を図る。	
3			学力向上推進ALT活用事業	H27 ～ H33	国際化社会に対応できる児童生徒の学力向上を図るため、ALTを招聘し国際感覚を養いながら児童生徒の英語力の向上を図る。	ALT招聘:年間20回	ALTを招聘し児童生徒の英語力向上を図り、国際化社会に対応できる人材育成を図る。	ALTを活用して国際化社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

多良間村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
バ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			幼稚園預かり保育事業	H28 ～ H33	幼稚園の教育時間終了後も引き続き園児の健全な成長を支援するため、保育教諭(保育士)を配置する。	多良間幼稚園預かり保育教諭(保育士)の配置	預かり保育を希望する園児の100%受け入れ	園児の安全確保、健全育成を図る。	
3			村営学習塾開設事業	H28 ～ H33	学力向上、高校受験対策の一環として生徒の学習をきめ細かに支援するため、村営の学習塾を開設する。	村営学習塾の開設	・高等学校入学者選抜学力検査全員合格 ・全国学力学習状況調査の全国平均との格差縮小	児童生徒の学力向上を図る。	
3			歴史・伝統文化継承事業	H28	多良間村の方言文化の継承保存のため、方言辞典を作成する。	方言辞典の作成、音声録音保存	「しまくとぅば」の保存継承、会話を「しまくとぅば」できるようにし、各郷友会へも普及する。	小学校、中学校の総合学習、社会教育の方言教室で活用する。	
4			多良間村自動車航走コスト負担軽減事業	H27 ～ H33	離島住民の利便性向上を確保するため、高額である宮古島 多良間島間のフェリー自動車航走に係る運賃補助を実施する。	宮古島 多良間島間の自動車航走コスト負担の軽減	自動車航走コスト負担軽減による、定住環境の改善	自動車航走コストの負担軽減により、離島の地理的条件の不利性を軽減し定住環境の改善に繋げる。	
4			離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島及び宮古島から多良間島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費の支援	沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小 (参考) H27指数:127.2程度	沖縄本島及び宮古島から多良間島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	
5			多良間港(前泊地区)屋根付き荷捌き施設整備事業	H28	生活物資の大部分をフェリー貨物に依存している本村において、生活物資等の貨物を雨風から保護し一時的に保管することにより、住民の生活環境基盤の向上を図るため、物流の拠点である多良間港前泊地区に荷捌き施設を整備する。	実施設計の作成、屋根付き荷捌き施設整備工事の実施	実施設計の完了、屋根付き荷捌き施設整備工事の完了	施設を整備することにより、船積みされる貨物を一時保管し、貨物等を風雨から守り利用者の利便性向上を図る。	8月変更(事業追加)
6			防風林及びほ場境界止壁設置事業	H28 ～ H33	当地区の防風林は団体営ほ場整備事業で整備されたが、ほ場及び防風林の境界がないため、大型機械等が防風林帯に浸食し、生育阻害要因となっている。止壁を設置することにより防風林を保護し、台風や塩害から農作物を守り、品質向上を図る	実施設計の作成	実施設計の作成完了	実績を基に工事を行う。	10月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
7		多良間村公共施設等エコ推進事業	H28 ~ H33	多良間村全体のCO2削減のためエコアクションプログラムの作成と、公共施設及び村内街灯の照明機器等の省エネルギー化のためLEDへ切り替えるなど、観光客及び村民の安全確保と防犯の充実を図る。	エコアクションプログラムの策定	エコアクションプログラムの策定完了	公共施設をLED照明切り替え省エネルギー化によるエコの推進を図る。 また、地震・津波災害時避難所へ避難誘導灯の設置と夢パティオ前泊港間、一周道路に省エネ街灯を整備し観光客及び村民の安全確保と防犯の充実を図る。	12月変更 (事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			定住条件整備プラン	H26 ~ H33					
1			妊婦支援事業	H24 ~ H33	妊婦が安心して出産を迎えられるよう、妊婦健康検診受診時の船舶及び航空機運賃並びに出産待機宿泊費について支援し、経済的負担軽減を図る。	・交通費支援50人 ・宿泊費支援20人	・交通費支援50人以上の達成 (基準年度 平成26年度:48人) ・宿泊費支援20人以上の達成 (基準年度 平成26年度:12名)	子育て世代の負担軽減による定住促進を図る	
1			健康診査用機材搬送事業	H26 ~ H33	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診)時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。	検診機材搬送年3回実施 (検診3回×5島6地区=18件)	3検診の総受診者数 1,700人 (基準年度 平成26年度:1,645人)	町民の健康意識の改善及び健康診査受診率促進を図る	
1			竹富町お出かけサポートモデル事業	H26 ~ H30	高齢者及び障害者等の外出機会増加による、自立生活助長を図るため、お出かけサポートモデル事業を西表島西部及び東部地区にて実施する。	・送迎サービス西表島西部地区及び東部地区 ・アンケート調査実施による利用状況等の把握	・年間利用者数見込み・延べ人数500人 ・サービス提供エリア拡張 ・本格運行に向けた利用料金及び利用状況の把握	アンケート及び利用実績等を分析検討し、29年度以降他地区への展開	
1			竹富町民等船賃負担軽減事業	H27 ~ H33	島々を結ぶ高速船の船賃をJR料金並みにすることで、竹富町民等の交通費に要していた負担を軽減すると共に、生活の利便性を高める。	地域住民等の高速船船賃の一部支援	対象航路の利用者数の増加 89,407人(基準年度H26) 125,200人(40%増)	竹富町民等の交通費負担軽減により、利用者の増加及び生活の利便性を高め、本町への定住条件の整備を図る	12月変更(計画変更に伴う成果目標変更)
1			複合型福祉施設整備事業	H27 ~ H33	本町での、質の高い幼児期の学校教育・保育及び地域の子ども・子育て支援事業と、各地区の高齢者等を対象とした介護予防等の活動拠点となる福祉施設を竹富町各地区へ整備する。	・複合型福祉施設整備基本計画の4地区分策定業務(西表島2地区・竹富島・黒島)の実施 ・複合型福祉施設建築設計委託業務(波照間)	・西表島(東部・西表)、竹富島、黒島地区複合型福祉施設整備基本計画の策定完了 ・実施設計・建設に向けた、基本設計業務を実施する。	整備計画に基づく今後の整備内容及び設置場所等の選定、波照間島の複合型福祉施設の工事着工	
1			竹富町情報化計画策定事業	H28	採算性の問題から民間通信事業者による超高速通信サービスが進まない本町において、地理的不利益性の克服と行政・教育・医療及び産業等の活性化を図るため、県事業「沖縄県離島地区情報通信基盤整備推進事業」と本町ネットワーク回線との接続を見据えた情報化行政に必要な基本計画の策定に取り組む。	情報化計画の検討	情報化計画の策定完了	策定した基本計画に基づき、情報化の推進を図る。	5月変更(計画変更に伴う事業名変更、事業内容変更、各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
パ	細				H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1			離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ H33	沖縄本島及び八重山の経済圏域である石垣市から本町の各島々へ輸送される住民が生活するうえで通常必要とするものの輸送経費を支援し、本町における食品・日用品の価格を低減する。	食品及び日用品輸送費の支援	食品及び日用品の価格の低減	住民が生活するうえで必要となる食品・日用品の輸送費支援による価格低減の実現。生活の利便性向上と地域活性化と定住化促進を図る。		
1			竹富町緊急車両(消防車)導入事業	H28	本町内にて発生する火災等の災害への消防団の防災対応力強化を図るため緊急車両(消防車)を導入する。災害時の早急な対応及び被害拡大抑制等のため、本町の実情に合った装備の車両を配備することにより、地域住民の生活向上と、今後さらに増加する観光入域者の安全・安心な観光環境の整備を図る。	・緊急車両(消防車)の導入実施	・緊急車両(消防車)の1台導入完了	・地元消防団による消防車を利活用した防災訓練及び災害時の対応強化等	5月変更(事業追加)	
2			観光環境整備プラン	H24 ～ H33						
2			うなり崎公園整備事業	H24 ～ H28	旧太陽の村(観光施設)跡地の公園整備を実施し、優れた景観を活かした新たな観光スポットを形成し地域振興を図る。	施設管理倉庫の整備	施設管理倉庫の整備完了【公園等整備工事了(整備率:100%)】	今後当該公園を、中心とした西表島の自然景観体験の観光コース等の構築と様々な観光イベント発信地として利活用していく		
2			観光誘客・受入対策事業	H26 ～ H29	本町の滞在型観光を促進することを目的とした誘客宣伝活動及び受け入れ体制の強化・整備を実施する。	・宿泊支援システムの運用 ・星空、接遇、保険等セミナー開催 ・誘客宣伝6会場(国内)	・宿泊システムを導入した事業者数の増加25事業者(基準年度H26年度:7事業者) ・観光客誘致活動来場動員数8万人(基準年度H26年度:6万人) ・竹富町入域観光客数120万人(基準年度H27年度:115万人)	H29年度までに平均滞在日数を+0.3泊(=1.0泊)に延伸		
2			小浜島観光関連事業	H27 ～ H28	小浜島へ訪れる数多くの観光客に安心、安全で快適な観光誘客を図っていくために、西大岳展望所への遊歩道の整備と大型バス対応駐車場整備工事を行う。	遊歩道100m、駐車場300㎡整備工事	・西大岳展望台への遊歩道100m整備完了 ・駐車場300㎡の整備完了	西大岳を中心とした新たな観光メニューコース等開発による地域活性化		
2			波照間観光関連事業	H27 ～ H30	波照間島へ訪れる観光客の増加に伴い、観光スポットへの通行の利便性、新たな観光地の整備、観光客への印象向上を図るため、進入道路等の整備を行う。	星空観測タワー駐車場整備工事 駐車場進入路整備工事	星空観測タワー駐車場整備完了 駐車場進入路整備完了	・H29 ニシ浜園地駐車場整備 ・H30 高那崎公園駐車場整備 ・観光客受入体制の充実		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	忘勿石進入道路等整備事業	H26 ～ H28	西表東部の南風見田海岸にある忘勿石之碑へ続く歩道が未整備であり、観光客や地域住民が立ち寄りにくい状態にある。このような状態を改善し、多くの方々が立ち入れる場所となるよう、駐車場及び遊歩道等の整備を行う。	・進入道路の整備工事 ・駐車場の整備工事	・進入道路の整備完了 ・駐車場の整備完了	忘勿石之碑を中心とした戦争平和体験型等の新たな観光メニュー開発による地域振興を図っていく		
2	竹富島観光関連事業	H27 ～ H28	竹富島を訪れる多くの観光客が「カイジ浜」へと足を運ぶ。しかし、周辺には休憩施設等がないため、これまで以上の安心で安全、そして快適な観光とするため、休憩施設等整備を実施し、観光満足度向上を図る。	・休憩所等整備工事 ・浄化槽の設計設置	・休憩所等の整備完了 ・浄化槽の設置完了	休憩所及び公衆用トイレ整備を観光客へ周知し利用を促す		
2	ムシャーマ公園整備事業	H27 ～ H28	ムシャーマ公園は、島の伝統行事「ムシャーマ」の開催会場として、多くの地域住民及び観光客等が利用する場所である。また、祭日以外も多くの観光客の立ち寄り場所となっているが、公衆トイレ及び休憩所等がなく、多くの方々が不便をきたしている。このため公園内に、公衆トイレ及び休憩所等を整備しさらなる観光満足度等向上を図る。	公衆用トイレ等整備工事実施	公衆用トイレ等の整備完了	供用開始後は地元公民館との維持管理委託業務締結し適性管理運営し観光客への利便性向上を図る		
2	小浜島結願祭会場整備事業	H27 ～ H28	小浜島の結願祭は、国の重要無形民俗文化財の指定を受けており、毎年多くの観光客及び地域住民が参加している。しかし、会場にある公衆トイレの老朽化により、結願祭に参加する観光客及び地域住民に不便をきたしている。多くの方々の利便性等を向上を図るためにも会場内に公衆トイレの整備を行う。	公衆トイレ整備工事	結願祭会場公衆トイレ整備完了	施設整備の主な目的は地域伝統文化の現地公開を支援するものであるが、平時における観光客への利活用の拡大も図っていく		
2	観光道路美化推進事業	H24 ～ H33	魅力的な観光地づくりの推進を図るため、観光客が往来の多い主要な観光路線の美化清掃及び植栽を実施し、観光客等の満足度向上及び道路等美化推進運動の推進を図る。	観光道路(3路線)の美化及び植栽整備 ・竹富一周線:3,285m ・細崎線:3,033m ・波照間海岸線:4,078m	観光道路(3路線)の美化及び植栽整備の完了 ・竹富一周線:3,285m ・細崎線:3,033m ・波照間海岸線:4,078m	観光地沿線に集中した美化活動により観光基盤水準の向上		
2	鳩間島野外ステージ周辺環境整備事業	H28 ～ H29	鳩間島に整備されている、鳩間島野外ステージ周辺に、出演者等控室及び公衆トイレを整備し、当該施設の利便性向上及び鳩間島を訪れる観光客や各種イベント使用時の地域住民等の観光満足度等向上を図る。	・施設設計委託業務の実施 ・地域住民との施設配置等の協議	・施設設計完了 ・地域住民との施設配置等の協議完了	・H29年度 整備工事着工 ・H30年度 供用開始		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			竹富町キャッシュレス環境整備促進事業	H28 ～ H29	金融機関(郵便局以外)のATMが不足している本町において、観光客等が宿泊施設や観光地での買物等の際に、手持ち現金のみで消費していることから、電子マネー、クレジットカード等のキャッシュレス決済で支払が行えるよう、町内事業所における決済環境の整備を推進し、観光客等の利便性向上を図る。	電子決済端末の導入	電子決済端末導入台数 30台	離島の離島である本町でも電子決済が可能であることの認知を普及させ、観光客消費の活性化を図る。	5月変更(事業追加)
3			教育環境促進プラン	H24 ～ H33					
3			読書支援事業	H24 ～ H33	図書館設置が困難な地理的条件にある本町の幼児、児童生徒を含む地域住民への生涯学習支援として学校図書館を地域へ開放する取り組みとして、学校図書館へ人員を配置し活発な読書支援を図る。	・保育所等への読み書かせ会を実施 ・地域への広報(図書館だより)配布、提示	・読み聞かせ会参加児童数 100人/年 ・黒島学校図書室利用人数(地域住民) 75人/年 (基準年度 平成26年度:57人) ・小浜学校図書室利用人数(地域住民)100人/年 (基準年度 平成26年度:143人)	図書支援員の巡回 各15回/月(黒島校・小浜校)	
3			児童生徒派遣費支援事業	H24 ～ H33	小・中学校児童生徒のスポーツ等各種大会への派遣費を支援し、負担軽減や各種大会等での貴重な体験経験を活かした人材育成により、沖縄本島と離島の格差是正を図る。	児童生徒選手等の派遣	児童生徒選手等の派遣人数470人 (基準年度 平成24年度:442人)	平成33年度までの児童生徒選手等派遣人数(目標470人)	
3			学校ICT支援員派遣事業	H26 ～ H30	児童・生徒の学習意欲等の向上を目指し、教育用PC・電子黒板・タブレットPC等のICT機器を効果的に活用した分かりやすい授業の実現を支援するため、各小中学校へICT支援員を派遣する。	・各学校、月に1回の派遣 ・ICT支援員による教職員向け研修 小中学校13校×2回	2日に1回以上授業でICT機器を使用する教職員数80%	H30年度の各年度1名支援員派遣 教職員のICT機器使用率100%	
3			デジタル教科書整備事業	H27 ～ H28	ICT教育環境の向上を図り、児童の学習への興味関心を高めるため、デジタル教科書を各中学校へ整備する。	本町中学校9校へのデジタル教科書(7教科)の導入	本町中学校9校へのデジタル教科書(7教科)の導入完了	デジタル教科書を活用した学習機会の増加を図り、授業でのICT機器の活用を促進する	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			外国語指導助手派遣事業	H27 ～ H31	<p>生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語によるコミュニケーション能力の向上と国際感覚の養成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手の派遣 小学校11校 幼稚園3園 ・担当教諭によるアンケート調査実施（児童のコミュニケーション能力向上の把握） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校11校への派遣完了 ・幼稚園3園への派遣完了 ・担当教諭へのアンケート調査完了 	H31年度まで各年度1人外国語指導助手派遣	
3			教育環境整備事業	H26 ～ H28	<p>高温多湿の沖縄特有の亜熱帯気候に対応した、教育施設の空調設備の整備を実施し、快適な教育環境を実現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校普通教室12教室への空調設備の設置 ・中学校2校普通教室5教室への空調設備の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校12教室の空調設備の設置完了 ・中学校2校5教室の空調設備の設置完了（全体計画の進捗率：100%） 	H29年度 供用開始	10月変更（計画変更に伴う各目標変更）
3			芸術文化体験事業	H27 ～ H31	<p>離島・へき地である本町において、普段の生活圏におけるクラシック音楽等の鑑賞機会は極端に少ない。本町各離島においてクラシックコンサートを開催し、地域の子どもからお年寄りまでがその文化体験をすることにより、生涯教育の推進と町民生活の質の向上を図る。</p>	<p>小浜島でのクラシックコンサートの開催</p>	<p>小浜島クラシックコンサート来場者100人</p>	竹富島、黒島、波照間島等竹富町の各島々でのクラシックコンサートの開催	8月変更（計画変更に伴う各目標変更）
3			学校ICT環境整備事業（小学校用電子黒板）	H28	<p>わかりやすく深まる授業を実現し、教育の質向上と児童生徒同士の学習意欲の向上を図るため、ICT機器（電子黒板）を整備する。</p>	<p>電子黒板の整備41台 （町内小学校全11校26クラス分） （町内中学校全 8校15クラス分）</p>	<p>電子黒板整備完了 （町内小学校全11校26クラス分） （町内中学校全 8校15クラス分）</p>	H29年度 供用開始	10月変更（計画変更に伴う各目標変更）
4			環境保全と産業振興プラン	H24 ～ H33					
4			竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ H33	<p>優良母牛の導入支援（購入費の1/2以内上限50万円）及び口蹄疫の進入防止対策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化することで産業の振興を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・離島港湾靴底消毒用マット設置6カ所（竹富・小浜・黒島・波照間・西表東部・西表西部） ・優良母牛導入支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・離島港湾靴底消毒用マット6箇所設置の完了 ・優良遺伝繁殖雌牛導入支援90頭 	<p>・H33年度： 子牛平均価格380,000円 基準年度 （H23年度：327,000円）</p>	

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			竹富町ペット適正飼養推進事業	H24 ～ H33	西表島の貴重な生態系の保全と国の特別天然記念物であるイリオモテヤマネコの保護を目的に、島内のペットの適正飼養を推進し、併せて国立公園である西表島の生態系や生物多様性の保全推進を図る。	・逸出ペットの保護収容 ・収容個体の各種ウイルス検査等 ・適正飼養普及啓発講演会等を4回開催 ・ペット適正飼養推進会議を1回開催	・逸出ペットの保護収容数5頭減(10頭) (基準年度:H23年度15頭) ・収容個体の各種ウイルス検査等全頭 ・啓発講演会等の4回開催完了 ・ペット適正飼養推進会議の開催完了	国の特別天然記念物であるイリオモテヤマネコの絶滅保護活動の促進及び生息する町内地域住民の町民生活環境の保全推進を図る	
4			文化財保全事業	H24 ～ H33	本町の有する多くの文化財美化保全を推進し、本町特有の歴史文化や景観を恒久的に維持し、歴史文化財資料及び観光資源として利活用し地域振興を図る。	指定文化財13箇所の美化保全清掃の実施	指定文化財13箇所の美化保全清掃完了	文化財巡視や観光コース化等、文化財の活用を図る	
4			ピサダ道保存整備事業	H26 ～ H29	西表島祖納集落西側に隣接する「ピサダ道」は、現在も当時の石段がその姿を残す町指定史跡である。太平洋戦争時に大きく損傷した箇所についての復元整備要望が地域住民より上がっており、史跡復元資料作成の調査業務を実施する。	・遺構確認調査の実施 ・遺構復元方法の検討委員会開催 ・遺構復元工事計画の作成	・遺構確認調査の完了 ・遺構復元方法の検討委員会の開催完了 ・工事計画作成完了	・H29年度 遺構復元工事実施完成 ・H30年度 供用開始	
4			文化財説明板整備事業	H27 ～ H31	町内に点在する指定文化財等についての認知度を高めてもらうため、文化財説明文を多言語(日本語、英語、中国語)にて掲示し、増加する国内外からの観光客の観光満足度向上を図る。	文化財説明板の設置(4箇所)	文化財説明板の設置完了(4箇所)	平成29年度各年度4箇所程度整備	
4			イリオモテヤマネコ保護啓発事業	H28	国の特別天然記念物であるイリオモテヤマネコの生息する西表島は年間約38万人が訪れる県内屈指の観光地である。本事業ではイリオモテヤマネコの保護や西表島の自然環境保護の重要性を地域住民、観光客へ広く普及啓発する活動を行う。	・イリオモテヤマネコ保護啓発活動実施	・イリオモテヤマネコ保護啓発活動完了	・関係機関(環境省等)との、総合的な保護活動と連携した、各種イベント等の実施	5月変更(事業追加)
4			ヤシガニ生息実態調査等事業	H28	竹富町の貴重な水産資源であるヤシガニの持続的な活用と枯渇予防を目的とし、適正な資源管理体制の構築のため、保護地区及び禁漁期間の設定に科学的知見を反映させるための現状個体数の把握及び生態環境調査を実施する。	・ヤシガニ生息実態調査等業務の実施	・ヤシガニ保護条例(仮)の制定	・ヤシガニ保護条例(仮)等による安定的な水産資源としての資源管理体制の構築によるさらなる付加価値のついた資源確保	5月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考		
パ	細				H28事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1			観光客等誘致促進・受入体制強化事業	H24 ～ H33						
1			地域振興対策事業	H24 ～ H33	「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」に、これまでの入賞者やゲスト等を招くことにより既存の観光イベントへの参加促進を図る。また、夜間のイベントとして、島内では滅多に行われない花火の打ち上げ、他の体験型観光メニューへの参加者の招待などの企画も行う。既に定着しているイベントとの連携を図る。このような複合かつ多様な「イベント」の連携を図り、かつ、内容の「情報発信」を行うことで、観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進し、地域振興に結び付けるための支援を行う。	カジキ釣り大会の補助(7月) 一周マラソン大会の補助(11月)	イベント開催月入域観光客数 H28年度 カジキ釣り大会:3,000人(7月) 一周マラソン大会:3,500人(11月) 合計:6,500人	(今後の展開方針) イベント開催月入域観光客数 H33年度:7,000人 H24実績:5,100人 H25実績:5,200人 H26実績:5,300人 H27実績:6,400人 H28目標:6,500人		
1			与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ H29	離島地区であり、日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知ってもらう為に、県内及び県外の物産展などの集客力を利用し出展を行い、特産品のPRを行って県内及び県外への販路開拓を図る。また、前年度に引き続き参加事業所には更なるレベルアップした店舗レイアウトや陳列方法、POPの作成方法などの専門家による事前講習を行い、より魅力を伝える事の出来る特産品のアピールを目指す。	講習会の開催、特産品の県内及び県外の物産展への出展 講習会4回 県内出展1回、県外出展1回	販売促進及びPRの向上、物産展出展による特産品販路拡大 物産展出店数:12事業者	(今後の展開方針) H29年度:出店数:15事業者 H29年度:物産展出展数:15事業者 H25実績:8事業者 H26実績:10事業者 H27実績:11事業者 H28目標:12事業者		
1			観光振興ブランディング事業	H28 ～ H29	与那国町では近年、第一次産業に次いで観光産業が中心産業の一つとして成長してきた。しかしながら、ダイビングや大物釣り目的以外の客層へ提供される観光メニューの少なさから、観光客数は減少傾向にある。そのため、「与那国町観光振興計画」を基に、島に数多く存在する魅力的な地域資源を活用した新たな観光メニュー開発に取組み、与那国島の観光価値の向上を図る。	・先進事例調査 ・地域内事業者等へのヒアリング ・入域旅行者へのヒアリング ・試験モニターツアーの実施 ・地域資源活用型地型ツアーの整理 ・調査結果の取りまとめ	・地域資源活用型地型観光メニューの提案(1件) ・調査報告書作成完了(一式)	(今後の展開方針) H29年度:地域資源活用型地型観光メニューの展開に向けた支援業務の実施(実施事業者の事業起ち上げバックアップ)	10月変更(事業追加)	
2			農水産業活性化事業	H24 ～ H33						
2			優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ～ H33	与那国町の和牛生産を推進すると共に、繁殖雌牛の生産基盤の拡充・強化を図り、改良を促進し、肉用牛の資質向上を図るために、与那国町の農業従事者団体に対して、優良繁殖雌牛購入費用の一部を支援を実施する。	優良牛繁殖雌牛導入の実施	優良繁殖雌牛導入率:45%(H28年度) 優良繁殖雌牛導入目標頭数:120頭 (H25～H33)	(今後の展開方針) 基準年(H23):子牛平均価格300,000円 H33年度:子牛平均価格350,000円		

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			農水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ~ H33	与那国町は、離島のさらに離島であるが為、地理的不利性を解消し、農水産業の活性化を図るため、与那国町漁業協同組合が出荷する生鮮水産物及び農業協同組合、農業生産法人、その他団体が出荷する野菜、果樹、薬用作物の沖縄県内への空路輸送料に対し支援を行う。	生鮮水産物の空路輸送費支援の実施 農産物の空路輸送費支援の実施	生鮮水産物の出荷量 28年度40トン(27年度38トン実績) 農産物の出荷量 28年度21トン(27年度15トン実績)	(今後の展開方針) 生鮮水産物 基準年(H25):平均漁獲高: 2,500,000円 H33年度:平均漁獲高:3,000,000 円 農産物 基準年(H27):出荷実績15 ^{トン} 、 H33年度:出荷実績36 ^{トン}	8月変更 (計画変更 に伴う事 業名、事 業内容、 各目標変 更)
2			与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ~ H33	小規模離島である与那国町では漁業は重要な産業の一つである。しかし、近年漁業従事者の高齢化が進むとともに、過疎化も進んでいることから、島内外から次世代の担い手を積極的に育成することが極めて重要である。そのために、与那国町の漁業従事者団体に支援を行い、新規・既存漁業者に漁業設備の貸出をすることで漁業経営の安定化を図る。	漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入に対し支援の実施	漁業経営の安定確保 既存漁業従事者数の維持確保:32人	(今後の展開方針) 基準年(H25)漁業従事者:32人 H33年度漁業従事者数:40人	
3			教育環境充実事業	H24 ~ H33					
3			家庭学習支援モデル事業	H24 ~ H33	本事業では、小中学生を対象とする家庭学習支援のため、既存の複合型公共施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。 授業は現役東大生を講師とし、日本最高峰の学びを与那国の子供たちへ提供することにより、単に知識のみでなく、勉強の方法や学ぶ姿勢を身につける場を提供し、教育環境格差の大きい離島の地において、中央と同じ授業を受けることが可能な環境を整備する。これにより、U・Iターンを阻害する要因である中央との教育環境の格差を解消し、人口の増加と地域の活性化を担う人材の育成を図る。	町営学習塾の実施	・学習塾受講率(中学生) H28年度 60% (基準年(H23):40%) ・学習塾受講率(小学生) H28年度 60% 基準年(H25):44%	(今後の展開方針) 学習塾受講率 H29年度:80% 基準年(H23):40%(中学生) 基準年(H23):40%(小学生)	
3			教育諸活動助成事業	H24 ~ H33	本事業は、町内の児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を支援することにより、与那国に住む子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供する。この住民負担の軽減により、貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。	各種大会派遣の実施	各種大会派遣人数:H28年度 390人	(今後の展開方針) 各種大会派遣人数 H29年度:390人 H30年度:390人	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	地域国際交流事業	H24 ～ H33	本事業では、本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、島の次世代を担う少年少女に異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材を育成を図る。	台湾「花蓮市」へホームステイの実施	・台湾「花蓮市」へホームステイ生徒数：15人 ・学力向上推進実践報告会：ホームステイ報告 ・異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミュニケーション能力を備えた人材の育成	(今後の展開方針) ホームステイ派遣生徒数(各年) H29～H33年度：15人/年		
3	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H24 ～ H33	本事業は、町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への語学研修(短期ホームステイ)の支援を行う。ジュニア期の語学研修は、海外での生活体験を通して外国語への学習意欲を喚起する。また、国際交流を通して地域文化を見つめ直す機会を提供することになり、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成、及び町の将来を担う人材の育成を図る。	海外語学研修派遣事業の実施 ・アメリカ：4人	・派遣語、アンケートによる意識調査、進路先調査の実施(中学生4名派遣) ・異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミュニケーション能力を備えた人材の育成	(今後の展開方針) 帰国後の体験発表会を通して英語学習の意欲向上、異文化への関心等について町内中学生への波及を図る。		
4	与那国方言保存継承支援事業	H24 ～ H29	本事業は、2009年UNESCOに消滅危機言語として登録された与那国語の記録保存と伝承、再活性化を目的とし、主として辞書作成を行う。並行して、保存継承のための企画を展開して衰退しつつある言語の使用を推奨する。	前年度に引き続き「与那国語辞典」発刊に向け、語彙収集・調査・録音・記録を行う。 関連して、スナカニ大会を開催する。	辞典発刊にむけ各種作業の完了及び先行辞典との比較協議を行う。	(今後の展開方針) 「与那国語辞典」の発刊により、次世代に継承する能力を備えた人材を育成し、言語、人、文化の記録、方言の保存・継承を展開する。		
5	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ～ H33	就学前児童及び生徒を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、遊びの場を提供し、保護者の子育て支援をする。	子育て支援指導員の雇用 指導員雇用：3人	・預かり人数 27名以上 (平成27年度 25名～31名)	(今後の展開方針) 保護者の子育てを支援し定住促進を図る。		
6	少子高齢化対策事業	H24 ～ H33	本町唯一の医療機関である与那国診療所には、各専門医がないため、出産または専門医療を受けるためには、海で離れた石垣島の病院へ通院する必要がある。そのため妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用について支援を行う。	妊産婦定期健診の実施 妊産婦一人当たり受診回数：12回/人	・支援人数 11名 (平成27年度 10名)	(今後の展開方針) 一人でも多い子供を産み育てる環境を整える。 平成33年2.5名程度		
7	離島定住条件基盤整備事業	H24 ～ H33						

H28活動目標(指標)：平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標)：平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
パ	細				H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7			公共交通路線支援事業	H24 ~ H33	本事業は、地方バス運営に必要な費用を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するための必要な条件整備すると共に、来島者の利便性向上を図る。	公共交通路線バス運行費用への支援	公共交通路線バス運行便数：2,555便/8,500人/年（H26年度2,555便/8,338人）	(今後の展開方針) 安定的な運営を維持し、住民並びに来島者（観光客等）への利便性向上を図る。また、民間業者等での運営並びに路線の確保など調査及び検証し安定的な運営に努める。	
7			与那国町遺体安置設備整備事業	H28	島内での死亡事案発生時に遺体を即座に遺族に引き渡せない状況がある。適切な遺体安置設備を整備し、遺体を理想的な状態で数日間保管できることを可能にすることにより、離島による不利性を解消し、警察捜査への協力及び遺族感情への配慮、遺体腐乱による感染症等の防止等の効果が見込まれる。	遺体安置用冷蔵庫の購入及びその保管庫を設置	遺体安置設備の整備完了	(今後の展開方針) 今後の死亡事案発生時に使用	
7			離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ~ H33	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島及び石垣島から与那国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小(参考)H27指標:134.3程度	(今後の展開方針) H29～H33 沖縄本島及び石垣島から与那国島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	
7			与那国町古民家活用型定住促進事業	H26 ~ H30	平成26年度与那国町古民家活用型定住促進モデル実施計画の成果に基づき、平成27年度に古民家解体並びに解体古材資源活用マニュアルの作成を基に、古材を重視した耐震補強、部材修理等を含め、古い建築技術と現代の建築技術を融合させた設計監理業務、定住促進住宅整備工事を実施する。	体験型住宅1棟の設計・工事の実施	体験型住宅1棟の設計・工事の完了	(今後の展開方針) 実施計画にのっとり、体験用住宅1棟の整備を実施し、1ターン・Uターン者の受け皿、及び交流型観光に繋げる。	5月変更(事業追加) 10月変更(計画変更に伴う各目標変更)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。